

第 13 回

教育用コンピュータ等に関するアンケート調査

報告書

令和 4 年 6 月



一般社団法人 日本教育情報化振興会

URL: <https://www.japet.or.jp/>

This page is intentionally left blank

はじめに

一般社団法人日本教育情報化振興会会長

山西 潤一（やまにし じゅんいち）

日本教育情報化振興会では、情報化調査委員会国内調査部会が中心になって、隔年で教育の情報化に関わるアンケート調査を実施してきています。学校における情報化の現状や課題、それを支える教育委員会の実情や課題、教育の情報化を支援する企業サイドの問題など、今後の教育の情報化推進に向けたさまざまなデータが提供できるものと、20年以上に渡って調査活動を行ってきているものです。

この度、令和3年度の調査結果がまとまりましたので、ここに報告させていただきます。調査にあたっては、全国市区町村1,741自治体教育委員会、全国の公立小中学校を対象とさせていただき、回答を頂いた教育委員会、学校のデータをもとに実情や課題を分析させていただきました。

ご存知の通り、GIGAスクール構想のもと、1人1台端末や高速大容量の通信回線の整備が実現されて2年になりますが、この学習環境の維持管理はもとより、充実した学習支援のための教育用コンテンツや、学習支援人材の問題、安全で安心な利活用のための教育情報セキュリティポリシーや児童・生徒の情報モラル教育など、まだまだ課題も多いものと思われます。

特に、ネットワーク環境やその利活用に関して、自治体・学校の格差が大きく、データのクラウド活用もまだまだ進んでいない現状が見て取れました。ネットワーク技術の高度化、セキュリティ対策など、教育委員会や学校での対応が厳しい現状で、国もGIGAスクール運営支援センター整備を進めています。ICT支援人材の整備も含め、関連企業との協力のもと、教員の負担軽減の観点からも、この新たな学習環境の保守・管理の充実を期待したいと思います。

また、児童・生徒1人1台端末の整備によって、いつでもどこでも必要に応じて活用する、活用の日常化に対する教員の意識、児童・生徒に係る問題も明らかになってきています。教員の意識改革や授業づくりのための研修制度の一層の充実を望む声も多く聞かれました。家庭への持ち帰りで、学校と家庭をシームレスにつなぐ学び、自律的な学習を促す一方、今まで以上にセキュリティやモラル教育の必要性も明らかにされました。

GIGAスクール構想がめざす個別最適な学びや協働的な学びをすすめるためにも、環境、コンテンツ、支援人材の一層の充実、教員、児童・生徒、保護者のリテラシーの向上が不可欠です。今後とも、教育の情報化に関わる全ての組織の協力で、令和の学びのスタンダードの充実を図っていききたいと思います。

最後に、お忙しい中、アンケートにご回答いただいた教育委員会、学校の皆さんに心から感謝申し上げます。本報告書が、その一助になれば幸いです。

令和4年5月

目次

第Ⅰ部 調査概要編	1
調査の概要	2
1. 調査目的	2
2. 調査計画	3
3. 回答状況	5
4. 調査内容	6
5. 調査結果の分析及び課題	6
第Ⅱ部 教育委員会編	10
1 全国の自治体教育委員会の調査結果	11
1-0 プロフィール	11
1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	12
1-2 ハードウェアに関する項目	26
1-3 ソフトウェアに関する項目	46
1-4 保守サポートに関する項目	62
1-5 予算に関する項目	69
1-6 情報セキュリティに関する項目	72
1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目	83
第Ⅲ部 学校編	90
2 全体的傾向（小中学校別の集計）	91
2-0 回答者プロフィール	91
2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目	93
2-2 ハードウェアに関する項目	102
2-3 ソフトウェアに関する項目	114
2-4 保守サポートに関する項目	127
2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目	129
3 先進地域／一般地域別の集計比較	140
3-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目	140
3-2 ハードウェアに関する項目	144
3-3 ソフトウェアに関する項目	149
3-4 保守サポートに関する項目	153
あとがき	154

第Ⅰ部 調査概要編

調査概要編は、今回の調査の概要について整理しまとめた要約編である。本編は、次の5つの項目で構成している。

- 1 調査目的
- 2 調査計画
- 3 回答状況
- 4 調査内容
- 5 調査結果の分析および課題

調査の概要

日本教育情報化振興会では、これまで 20 年以上にわたり、全国自治体の教育委員会および公立小中学校に対して、隔年で大規模なアンケート調査を実施してきた。主な調査内容は、ICT 環境整備状況、ICT 活用状況、ICT 推進体制・サポート体制、ICT 機器・ソフトウェアの購入予算の実態、ICT 利活用に関する意識についてなど、多岐にわたっている。近年は、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」が短期間で改訂され、GIGA スクール構想で学校の ICT 環境は大きく変化している。国の組織もデジタル庁が設置され、文部科学省内に DX 関係の部署が設置されるなど行政機関の新しい動きに加え、新型コロナウイルスの蔓延も長引いており、学校を取り巻く状況も変わっている。このため、教育委員会や、学校の変化を知るうえで本調査の重要性が増している。今回の本調査は GIGA スクール構想の整備後数か月後であったが、GIGA スクール構想実施前の状況と比較するには貴重な資料になるものと考ええる。

本調査に近いものとして、文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」が、国内の全学校を対象とする悉皆調査として昭和 63 年以来毎年実施されている。この文部科学省による調査は、統計法に基づいた政府統計の一つとして、調査体制や調査項目の規定に従っており、信頼度も高く、経年の変化を知るうえで基本的な情報が得られる貴重なものである。当会の調査は同様の調査と思われるかもしれない。しかし、当会のアンケート調査は、文部科学省の調査対象とならないような、最新の整備動向や ICT 環境の活用状況に加え、導入されている学習者用デジタル教科書の教科や情報化に対する意識など独自の意義を有するものである。これまでに、当調査の報告内容が、文部科学省をはじめとする各種機関や団体の資料・文献に引用されてきた実績を持っている。

この調査で提供するデータは、技術の変化や教育の変化に応じた観点から、学校における教育の情報化の実態と進展状況をとらえたものであり、教育委員会等の内部で具体的な整備計画や対応策を立案するために役立てる資料としても、重要なデータとなっている。

近年、学校教員の負担の大きな要因の一つとして、学校外からの様々な調査に対応する負荷が挙げられており、働き方改革が進められている。当会としても、この点については早くから意識し、学校現場には、あくまで任意でのご協力をお願いするものである点を依頼状に明記強調するとともに、実施は 2 年に 1 回とし、調査対象もできるだけ全国的な傾向が分かるように絞り込んで行っている。また、回答フォーマットや回答の受取方法についても、できるだけ学校の負担が大きくなるよう、学校の実態に即して行っている。今回の調査でも、多くの教育委員会・学校からの回答をいただけたことに、深く感謝したい。

1. 調査目的

本調査は、以下の 3 つを目的としている。

- ① 教育の情報化に関わる企業・団体の集まりである当会の特色を生かし、現場目線での教育委員会・学校における教育の情報化の実態や意識を把握すること。
- ② 調査結果を国や自治体への政策提案に反映するとともに、教育の情報化の進展に向けた提言として活用すること。
- ③ ICT 環境整備に関する教育委員会の施策状況等を調査することで、当会の会員企業の教育ビジネスに役立つ情報を収集し提供すること。

2. 調査計画

(1) 調査対象

全国自治体の教育委員会の情報教育担当及び全国の公立小中学校の情報担当教諭

(2) 調査地域

全国自治体の教育委員会及び全国の公立小中学校

(3) 標本調査

- ① 全国市区町村の 1,741 自治体教育委員会すべて。(全数対象調査)
- ② 全国公立小中学校のリストから、一定規模の児童・生徒数※を有する範囲の学校を選出。

※小学校・中学校の調査にあたっては、学校の規模（児童・生徒数）を基準にして調査対象範囲を決定している。本調査の設問は、1 学年が複数の学級から構成されるような規模の学校を想定した調査となっており、複式学級となるような小規模校は調査対象から外すことにしている。また、1 学年の児童・生徒数があまりにも大きい学校についても、調査対象としてはやや特殊な状況にあることが推察される点や、回収結果が平均的な学校規模から大きく変わってしまう可能性を考慮し、対象から外すこととした。今回の調査では、小学校については児童数が 80 以上 800 未満、中学校については生徒数 140 以上 700 未満を対象とし、結果としては、小学校 3,691 校、中学校 1,559 校の合計 5,250 校を標本として選択した（図 1）。この作業には、学校の住所と児童・生徒数が記載されている市販の住所録を使用した。なお、学校の分割・統合・廃校・新設などもあるため、得られた結果のデータは、必ずしも意図された範囲の中に収まらないものも存在した。

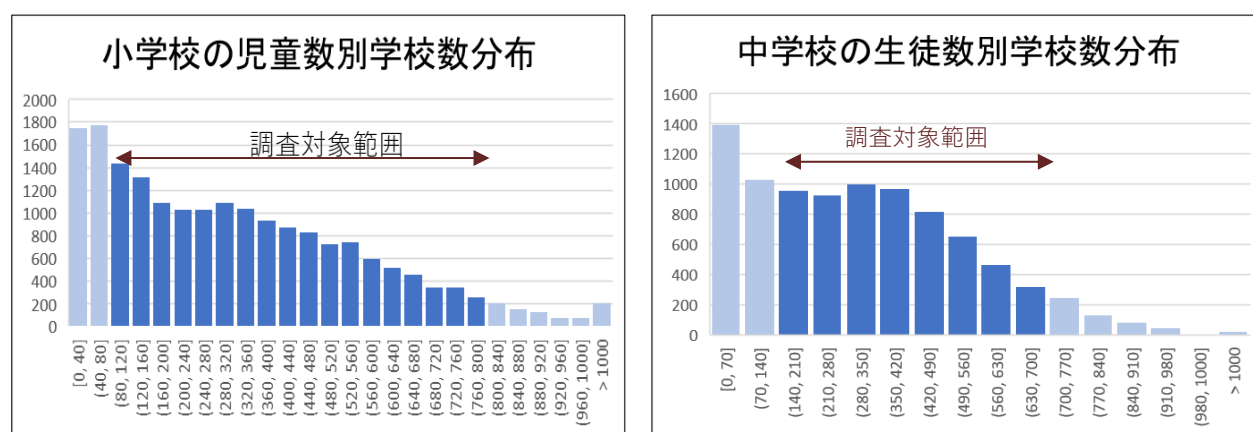


図 1 全国の小学校・中学校の児童・生徒数別の学校数分布と今回の調査範囲

(4) 調査時期

令和 3 年 8 月～9 月

(5) 調査方法

アンケートの実施は、以下のような手順によって行った。

- ①調査対象（教育委員会・学校）への回答依頼状の送付
- ②依頼状に記載された URL から回答フォーム（Google フォーム）への入力（図 2）
- ③回答の集計と分析

上記のうち②が調査対象者の作業となる。この作業は、学校及び教育委員会の情報担当者に実施いただくことを想定し、極力担当される方の作業負担が大きくなるように、以下の点に留意した。

- ・質問項目を厳選し、可能な限り項目数を増やさないようにした。
- ・回答結果をメールで返信し回答内容を確認できるようにした。同時に回答修正用のリンクを返信し、回答の修正や回答を途中まで入力し再開することを可能とした。

学校アンケート

平素より一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET&CEO）の事業活動に多大なご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本会は、日本のより良い学校教育の実現に向けて、教育の情報化を進めている団体です。これまでに皆様のご協力をいただき、隔年で通算12回にわたって学校教育の情報化の状況を調査し、その調査結果を国への政策提言・予算獲得や教育ICT関連製品の改善に反映してまいりました。

この度は、最新の教育の情報化の進捗状況を調査いたしたく、下記の要領でアンケートをお願いする次第でございます。ご多忙の折、大変お手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和3年8月 日本教育情報化振興会

※メールアドレスは必須です。入力いただいたメールアドレスに回答結果を送付いたします。

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。詳細

*必須

メールアドレス *

メールアドレス

次へ 1/8 ページ フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

学校アンケート

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。詳細

2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目

2-1-1 校内LANは授業や校務処理で有効に活用していますか。
(いくつでも)

☐ ① 普通教室の授業で有効活用している

☐ ② 特別教室の授業で有効活用している

☐ ③ 校務処理で有効活用している

☐ ④ 情報共有で有効活用している

☐ ⑤ 授業準備で有効活用している

2-1-2 インターネットを通じて、授業や授業準備のために外部の情報を活用していますか。

☐ ① 毎日活用している

☐ ② 週に数回活用する

☐ ③ 月に数回活用する

☐ ④ 学期に数回活用する

☐ ⑤ ほとんど活用しない

図 2 回答フォームの例

いくつかの自治体ではセキュリティポリシーにより Google フォームなどの Web からのデータ入力を禁止する設定がなされていたため、質問一覧（エクセル）に対し回答を記入し返信いただいた。

3. 回答状況

回答状況は、教育委員会の回答率 26.6%、学校の回答率 34.9%と良好な数値結果となった（表 1・図 3）。学校では前回と比べ回答率が 10%程度増加したが、Web から簡単に回答ができることが要因と考えられる。教育委員会では回答率がそれほど伸びていないが、回答前に上席確認などの手順を取る必要があるなど、手間がそれほど軽減されていないことが考えられる。

表 1 過去の回答状況

		第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
		2005	2007	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021
教育委員会	回答数	246	218	176	183	146	298	614	419	463
	回答率	61.5%	54.5%	44.0%	10.5%	36.5%	17.1%	35.3%	24.1%	26.6%
	発信数	400	400	400	1,743	400	1,740	1,738	1,741	1,741
小中学校	回答数	1,375	900	860	2,988	983	780	1,815	1,281	1,832
	回答率	34.4%	30.0%	28.7%	11.3%	23.4%	13.0%	34.6%	24.4%	34.9%
	発信数	4,000	3,000	3,000	26,442	4,200	6,000	5,250	5,244	5,250

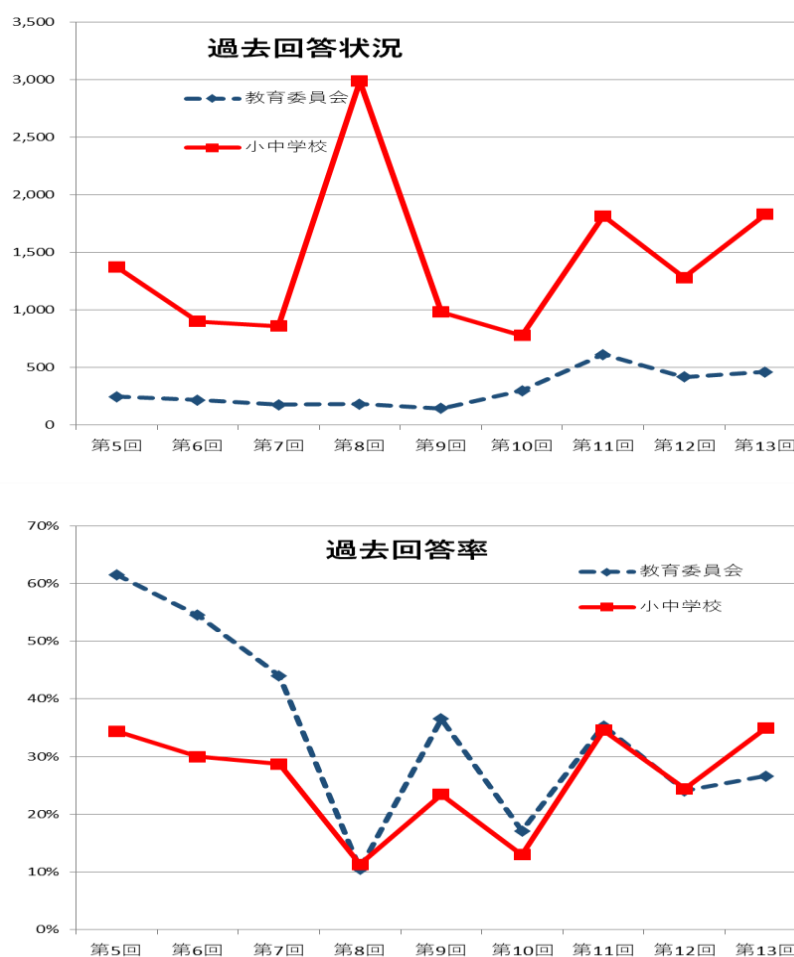


図 3 過去の回答状況・回答率

4. 調査内容

今回の設問の項目数を、以下の表 2 に示す。

表 2 教育委員会及び学校への調査のカテゴリ別設問項目数

(教育委員会)		(学校)	
設問カテゴリ	項目数	設問カテゴリ	項目数
回答者プロフィール	18	回答者プロフィール	12
ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	22	ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	15
ハードウェアに関する項目	38	ハードウェアに関する項目	23
ソフトウェアに関する項目	23	ソフトウェアに関する項目	18
保守サポートに関する項目	11	保守サポートに関する項目	2
予算に関する項目	4	教育の情報化に対する意識に関する項目	22
情報セキュリティに関する項目	18	合計	92
教育の情報化に対する意識に関する項目	14		
合計	148		

5. 調査結果の分析及び課題

(1) ネットワーク環境の整備状況

【特徴】

無線 LAN の整備状況は、全ての普通教室で使用できるとしている教育委員会は小中学校とも 9 割を大きく超えており、アクセスポイントも約 9 割が常設型で設置されており、GIGA スクール構想で無線 LAN 環境の整備は大きく進んだ。

自治体規模で大きな差があるが、校務データ・学習用データを保存するサーバは、外部のデータセンターやクラウドサービスを利用しているところが前回調査に比べて大きく増えている。その内訳は、校務データは民間事業者等のデータセンター、学習用データは民間のクラウドサービスの利用が多い結果となっている。

【課題】

文部科学省が令和 4 年 3 月に示した教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインの第 2 回改訂に沿ったネットワーク再構築はまだ進んでいない。ネットワーク整備に関して課題と感じた点は、予算の確保、ネットワーク等の技術的な知識等多岐にわたっており、教育委員会の苦労が見て取れる。

校務データの保存場所に関しては、自治体規模で大きな差が出ており、町・村で 6 割ほどが学校内のサーバで保存している。セキュリティの観点からも外部のデータセンターやクラウドサービスの利用の検討が必要である。

(2) ハードウェアの整備状況

【特徴】

GIGA スクール構想の進展に伴う学校の ICT 環境の変化に対応し、質問項目を刷新した。特に 1 人 1 台端末の整備について、導入時期や選定した OS、端末やアカウントの種類、さらに同時導入したソフトウェア、サービスまで質問をし、端末整備の特色を捉えられるようにした。また端末の利用について、持ち帰り状況や自宅での使用状況、自宅ネットワークへの接続や他端末でのアカウント利用の可否など、

1人1台環境ならではの質問を踏み込んで行った。コンピュータ教室の存続や周辺什器整備の進展など、教育委員会により判断の分かれる部分についても質問をし、1人1台端末整備に伴う周辺環境への影響についても計れるようにした。

【課題】

児童・生徒の1人1台環境整備に対して、教員の指導者用端末の整備は遅れている。学校向けの調査では、1人1台端末が100%整備されている学校は小学校で50.3%、中学校で48.8%であり全体で49.8%しかない。それ以外の学校は、共用での端末利用が全体で71.0%、校務端末の授業利用が全体で37.7%もあり、専用の授業用端末が持てない状況が明らかである。さらに懸念されるのは、私物端末の利用が全体で37.1%ある点であり、指導者用端末の整備を促進する早急な対策が必要となっている。

(3) 統合型校務支援システムと学習用ソフトウェア・コンテンツの導入状況

【特徴】

統合型校務支援システムの導入について、既に導入している自治体は全体で63.9%と、前回調査の41.6%、前々回調査の32.7%と比較して、確実に導入が進んでいる様子がうかがえる。

学習者用デジタル教科書の導入について、全体で小学校では55.9%が、中学校では50.5%が導入している。これは、文部科学省「学習者用デジタル教科書普及促進事業」によるものであり、自治体予算による導入はまだまだ進んでいないのが現状である。

【課題】

GIGA スクール構想による1人1台端末の整備が進み、学習用ソフトウェア・コンテンツの充実が望まれるが、購入予定のない学校が、全体で小学校では42.4%、中学校では36.6%という結果となっている。一方、必要と思われるソフトウェア・コンテンツに関する調査では、ドリル型教科学習用コンテンツが全体で小学校では84.7%、中学校では83.4%と高くなっている。次いで、協働学習支援ソフトウェアも全体で小学校では74.7%、中学校では75.6%が必要という結果となっており、現場のニーズに対応した予算措置が望まれる。

政令市等での統合型校務支援システムの導入は進んでいるが、市・町・村と、自治体の規模が小さくなるにつれて導入率が低くなっている。共同調達・共同利用など、導入に向けてのさらなる取り組みが望まれる。

(4) 保守・サポート体制

【特徴】

ICT 支援員の整備に関しては、各学校に配置しているところは数少なく、4校に1人程度配置しているところが自治体規模に差はなく2割を超えている。それに対して、ICT 支援員を未だに配置していない自治体は全体で3割強となっているが、小規模自治体ほどICT 支援員が配置されていない。町・村では4割を超えている。

ICT 支援員に期待する業務や実際に学校現場で支援を依頼している業務は、授業にかかわる技術的なサポートや活用方法のアドバイスなど授業にかかわるところが多くなっているが、教員研修も重要な業務となっている。

【課題】

GIGA スクール構想で端末が一挙に増え、ネットワーク技術の高度化、セキュリティの強化、デジタル教材・大型提示装置の普及など学校現場を取り巻く ICT 環境は大きく変化しており、ICT 環境の保守やサポートを教育委員会や学校だけに求めるのは無理がある。導入業者の活用や、ICT 支援員の配備は、現場の負担軽減だけではなく、ICT 環境の活用促進につながると考えられる。導入や機器更新時の予算は確保しても、保守・サポートの予算確保は難しいようであるが、より積極的な整備が望まれる。

今回、GIGA スクール端末の持ち帰りに関して、自宅からの問い合わせにどのように対応するかという質問をしたところ、学校で対応との回答が5割を超えており学校現場の負担が大きくなっていることが懸念される。

(5) 予算に関する項目

【特徴】

2021 年度の教育の情報化に関する予算は GIGA スクール構想以前より増えていると回答した教育委員会は全体で 7 割を超えている。それに対して 2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針の目標を達成しているかという問いに対して、現状では達成の見込みが立っていないという教育委員会が全体で 35%となっている。

GIGA スクール端末の更新の計画に関しては、現時点で未定という教育委員会が6割弱となっている。

【課題】

2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針の目標に対して、現状では達成の見込みが立っていないという教育委員会が全体で 35%となっており何らかの対策が必要と考える。

今後、GIGA スクール端末で使用するソフトウェア・アプリ・コンテンツの充実や、GIGA スクール端末の更新など、地域の事情に合わせた ICT 整備計画を立て、確実な予算化が望まれる。

(6) 情報セキュリティ

【特徴】

文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に沿った調査と、GIGA スクール構想で整備された環境に関する情報セキュリティ対策状況についての調査を行った。

組織体制に関して、情報セキュリティ委員会などを設置している自治体は、政令市等で約 7 割、市で約 4 割、町・村で約 2 割となっており、自治体規模によって顕著な差がある。

GIGA スクール端末に関しては、フィルタリングなどの対策を講じている自治体が全体の約 9 割、児童・生徒の個別 ID を教育委員会が一元管理していない自治体が全体の約 3 割、端末にユーザ認証の設定をしていない自治体が全体の約 1 割となっている。

【課題】

文部科学省のセキュリティガイドラインで示されている対策が、必ずしも進んでいるとは言えない。また、GIGA スクール構想によって整備された端末や環境が、教育委員会の下で必ずしも適切に管理されているとは言えない。

組織体制、規定・ルール、人的・技術的対策等、いずれにおいても自治体規模によって対応状況に差が

あり、規模の大きな自治体ほど情報セキュリティ対策を実施している傾向が見られる。特に町・村等の小規模自治体では対応が遅れており、早急な対応のための予算補助や支援が望まれる。

(7) 教育委員会や学校現場の意識

【特徴】

1人1台端末を有効活用するために新たな教員研修が必要という問いに対して、教育委員会も学校現場も「強くそう思う」「そう思う」を合わせて全体で95%を超えており、強く望まれている。同様に、リモートでの教員研修も強く望まれている。

指導者用デジタル教科書・学習者用デジタル教科書の整備が必要かという設問では、教育委員会・学校とも必要という声が圧倒的である。

学校のICT環境の整備で、より分かる授業の実践や児童・生徒が積極的に学習活動に参加するようになったかという設問に関して、大半が肯定的な回答であった。先進地域の方がその傾向がより強く出ている。

【課題】

教育委員会、学校ともデジタル教科書の整備や、実情に合わせた教員研修、ICT支援員等の環境整備が必要と考えているが、実態はそうになっていない。現場の努力で補っていると思われるが限界がある。より一層のICT環境整備とその活用が望まれる。

第Ⅱ部 教育委員会編

教育委員会編は、全国の教育委員会に対して調査を行い、得られた結果を自治体（市区町村）の規模別に集計し、掲載している。本編は、以下の7つの節からなる。

- 1-0 プロフィール
- 1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目
- 1-2 ハードウェアに関する項目
- 1-3 ソフトウェアに関する項目
- 1-4 保守・サポートに関する項目
- 1-5 予算に関する項目
- 1-6 情報セキュリティに関する項目
- 1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目

1 全国の自治体教育委員会の調査結果

1-0 プロフィール

教育委員会を対象とする調査は、1,741 の自治体教育委員会に依頼を発信し、463(26.6%)の教育委員会から回答が得られた。以下に、回答が得られた教育委員会の内訳を、自治体規模別に示す。また、各教育委員会の所管の小学校・中学校の平均校数も自治体規模別に示す。

	自治体数	比率	平均 小学校数	平均 中学校数
政令市	6	1.3%	141.8	65.0
中核市	29	6.3%	48.1	23.0
特別区	8	1.7%	28.5	10.9
市	194	41.9%	12.8	5.9
町	181	39.1%	3.6	1.8
村	45	9.7%	1.8	1.1
合計	463	100.0%	12.3	5.8

以下の2つの表は、回答が得られた教育委員会が所管する学校数の分布を示したものである。

小学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
～3校							5	2.6%	95	52.5%	39	86.7%	139	30.0%
4校～10校							88	45.4%	85	47.0%	6	13.3%	179	38.7%
11校～20校					2	25.0%	75	38.7%	1	0.6%			78	16.8%
21校～30校			2	6.9%	3	37.5%	22	11.3%					27	5.8%
31校～80校	2	33.3%	27	93.1%	3	37.5%	4	2.1%					36	7.8%
81校～160校	3	50.0%											3	0.6%
161校～	1	16.7%											1	0.2%
総計	6	100.0%	29	100.0%	8	100.0%	194	100.0%	181	100.0%	45	100.0%	463	100.0%

中学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
～3校							42	21.6%	164	90.6%	44	97.8%	250	54.0%
4校～10校					6	75.0%	136	70.1%	17	9.4%	1	2.2%	160	34.6%
11校～20校			9	31.0%	1	12.5%	15	7.7%					25	5.4%
21校～30校			17	58.6%	1	12.5%	1	0.5%					19	4.1%
31校～80校	5	83.3%	3	10.3%									8	1.7%
81校～160校	1	16.7%											1	0.2%
総計	6	100.0%	29	100.0%	8	100.0%	194	100.0%	181	100.0%	45	100.0%	463	100.0%

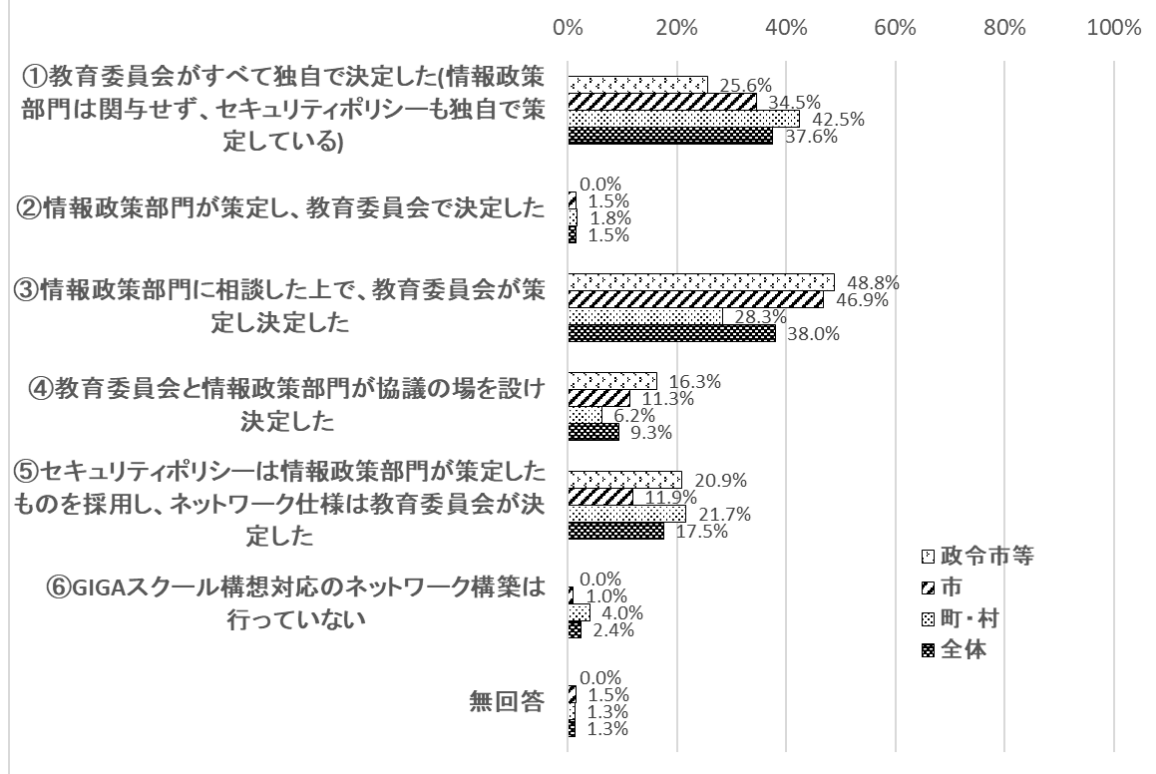
本報告書の次頁以降における集計では、上記の政令市・中核市・特別区を合わせて「政令市等」とし、また町と村を合わせて「町・村」とした。

※本報告書において、各項目のグラフ下にあるコメントで、(XX.X%→XX.X%)となっている場合は、前回調査の結果→今回調査の結果という変化を表している。

1-1 ネットワーク及びICT環境整備に関する項目

1-1-01 GIGAスクール構想対応のネットワーク構築に関して、どのように決定しましたか。(いくつでも)

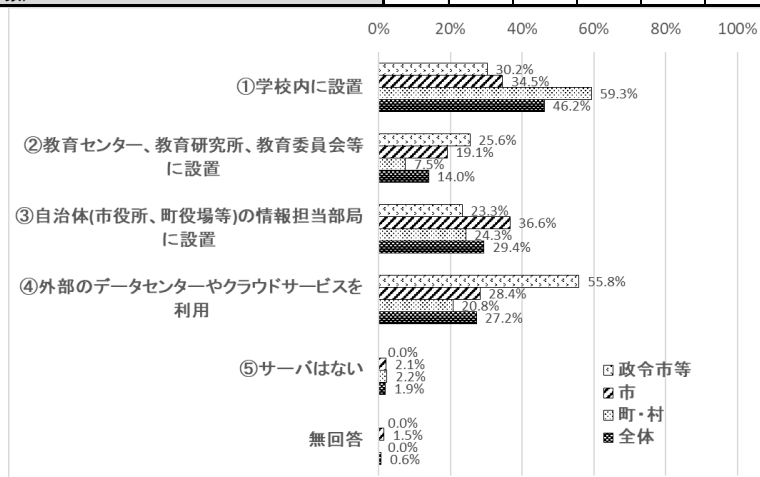
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会がすべて独自で決定した(情報政策部門は関与せず、セキュリティポリシーも独自で策定している)	11	25.6%	67	34.5%	96	42.5%	174	37.6%
②情報政策部門が策定し、教育委員会で決定した			3	1.5%	4	1.8%	7	1.5%
③情報政策部門に相談した上で、教育委員会が策定し決定した	21	48.8%	91	46.9%	64	28.3%	176	38.0%
④教育委員会と情報政策部門が協議の場を設け決定した	7	16.3%	22	11.3%	14	6.2%	43	9.3%
⑤セキュリティポリシーは情報政策部門が策定したものを採用し、ネットワーク仕様は教育委員会が決定した	9	20.9%	23	11.9%	49	21.7%	81	17.5%
⑥GIGAスクール構想対応のネットワーク構築は行っていない			2	1.0%	9	4.0%	11	2.4%
無回答			3	1.5%	3	1.3%	6	1.3%
回答数合計	48	111.6%	211	108.8%	239	105.8%	498	107.6%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「③情報政策部門に相談した上で、教育委員会が策定し決定した」が政令市等で48.8%、市で46.9%、「④教育委員会と情報政策部門が協議の場を設け決定した」は、政令市等が16.3%、市が11.3%と自治体規模が大きいほど、情報政策部門に相談する傾向が見て取れる。

1-1-02(1) 校務データを保存するサーバの設置場所について伺います。(いくつでも)

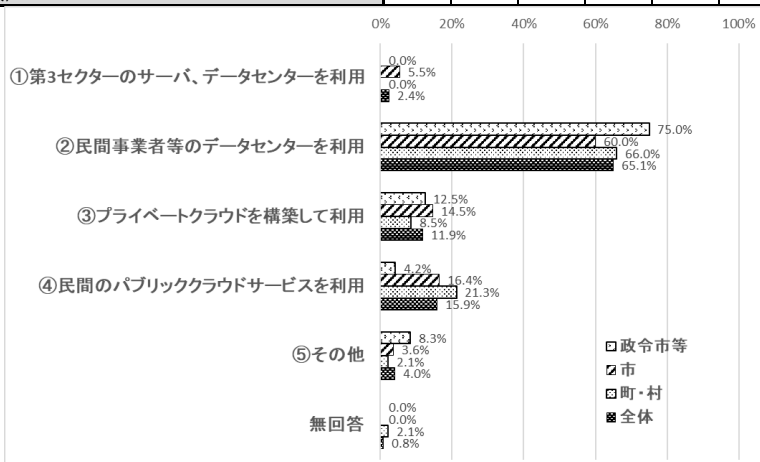
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	13	30.2%	67	34.5%	134	59.3%	214	46.2%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	11	25.6%	37	19.1%	17	7.5%	65	14.0%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部局に設置	10	23.3%	71	36.6%	55	24.3%	136	29.4%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	24	55.8%	55	28.4%	47	20.8%	126	27.2%
⑤サーバはない			4	2.1%	5	2.2%	9	1.9%
無回答			3	1.5%			3	0.6%
回答数合計	58	134.9%	237	122.2%	258	114.2%	553	119.4%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※町・村では「①学校内に設置」が59.3%と最も多く、政令市等では「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」が55.8%となっており、自治体規模により大きな差が出ている。

1-1-02(2) 前問で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。

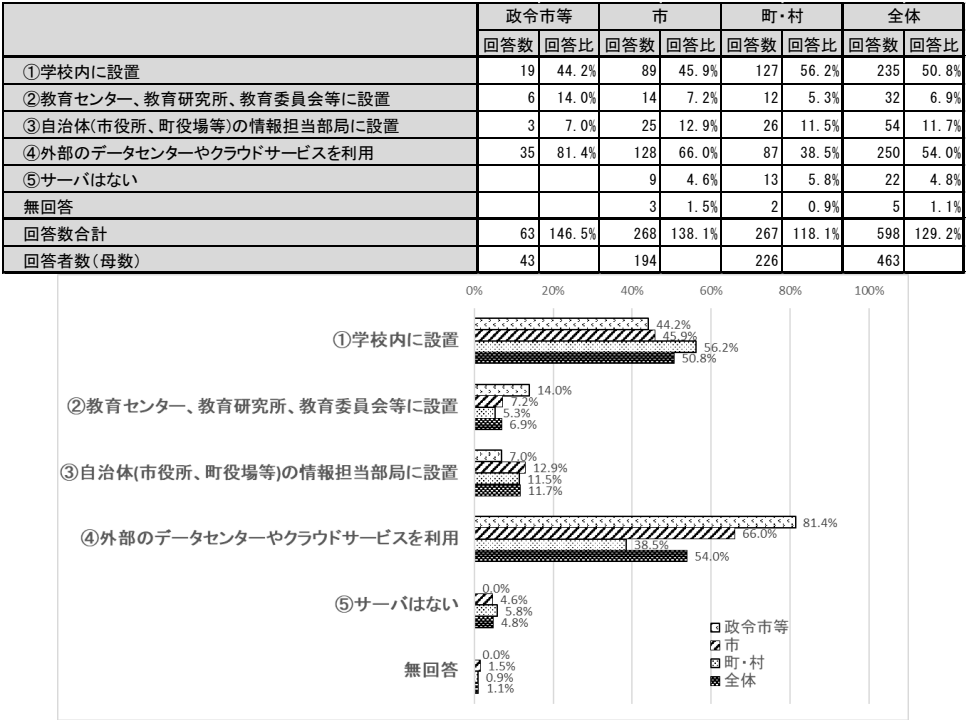
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用			3	5.5%			3	2.4%
②民間事業者等のデータセンターを利用	18	75.0%	33	60.0%	31	66.0%	82	65.1%
③プライベートクラウドを構築して利用	3	12.5%	8	14.5%	4	8.5%	15	11.9%
④民間のパブリッククラウドサービスを利用	1	4.2%	9	16.4%	10	21.3%	20	15.9%
⑤その他	2	8.3%	2	3.6%	1	2.1%	5	4.0%
無回答					1	2.1%	1	0.8%
回答者数(母数)	24	100.0%	55	100.0%	47	100.0%	126	100.0%



※「②民間事業者等のデータセンターを利用」が自治体規模を問わず最も多く、全体で65.1%となっている。

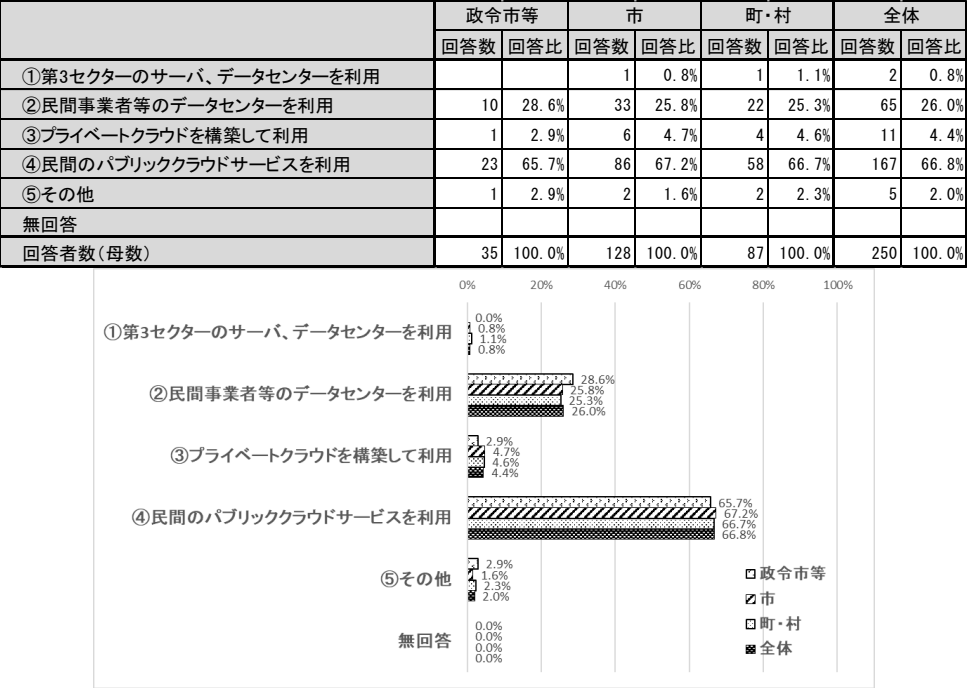
「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」は政令市等で4.2%とあまり利用されていない。個人情報保護条例の関係があるものと考えられる。

1-1-02(3) 学習用データを保存するサーバはどこに設置していますか。(いくつでも)



※「①学校内に設置」は自治体規模で大きな差はなく、全体で(53.7%→50.8%)となっている。
「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」は、政令市等が(63.0%→81.4%)、
市が(27.9%→66.0%)、町・村が(12.3%→38.5%)と自治体規模で大きな差が出ているが、
前回からそれぞれ大きく数字を伸ばしており、外部のデータセンターやクラウドサービスの利
用が進んでいる。

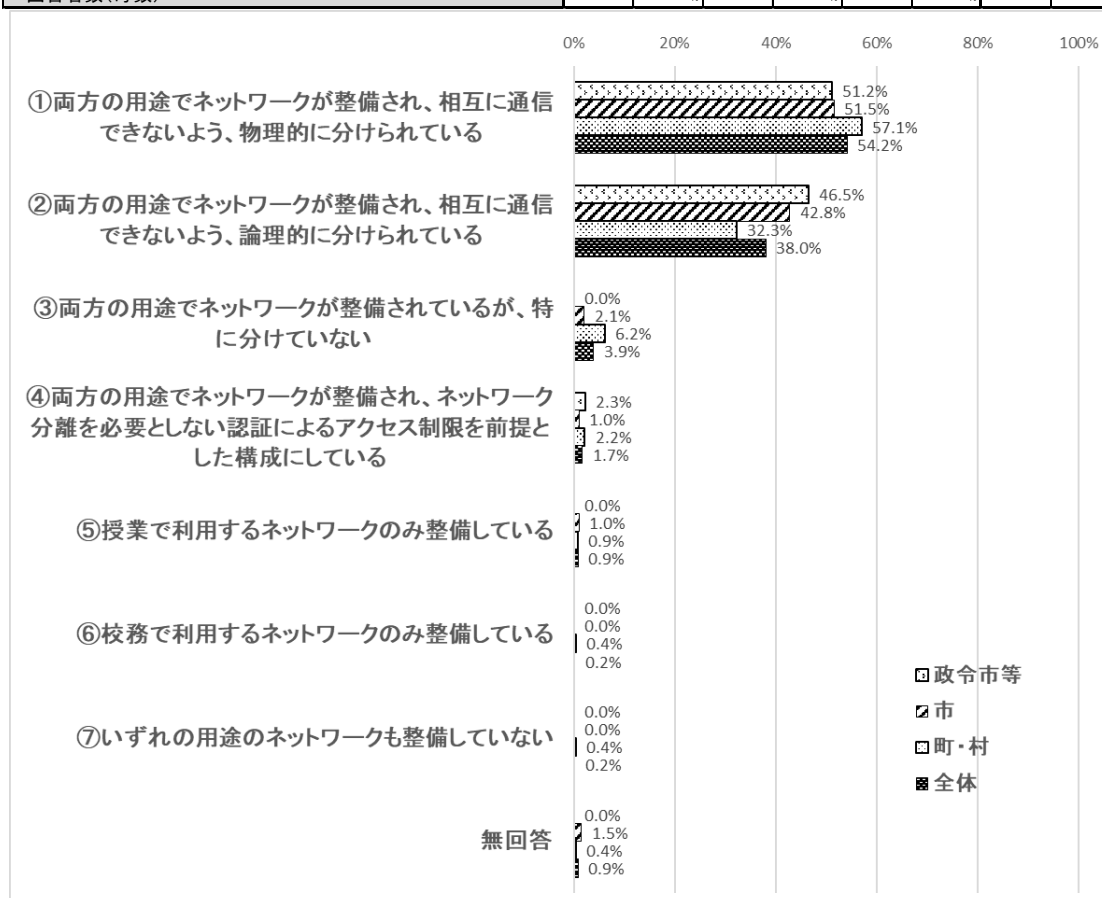
1-1-02(4) 前問で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。



※自治体規模での差はなく「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」が最も多く、全体で
66.8%となっている。個人情報を含まない学習用データの保存はパブリッククラウドの活用が
進んでいる。

1-1-03(1) 学校で利用する用途別(授業利用と校務利用)のネットワークの整備状況についてあてはまるものを一つ選択してください。

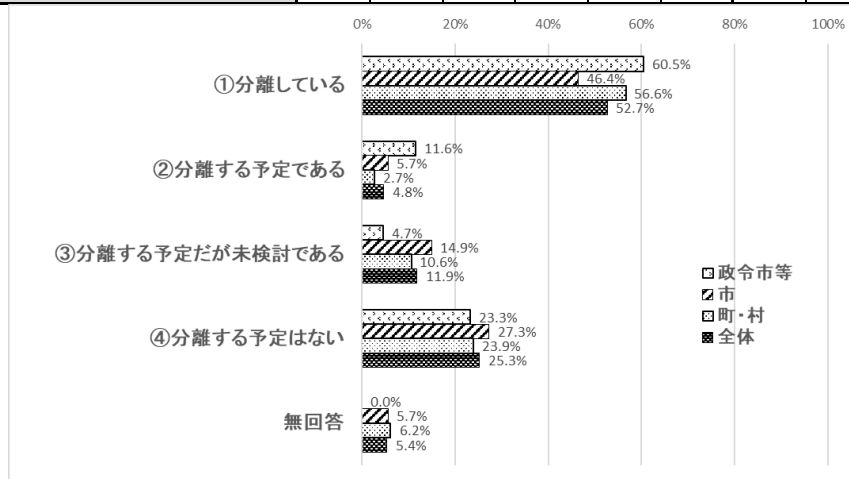
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、物理的に分けられている	22	51.2%	100	51.5%	129	57.1%	251	54.2%
②両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、論理的に分けられている	20	46.5%	83	42.8%	73	32.3%	176	38.0%
③両方の用途でネットワークが整備されているが、特に分けていない			4	2.1%	14	6.2%	18	3.9%
④両方の用途でネットワークが整備され、ネットワーク分離を必要としない認証によるアクセス制限を前提とした構成にしている	1	2.3%	2	1.0%	5	2.2%	8	1.7%
⑤授業で利用するネットワークのみ整備している			2	1.0%	2	0.9%	4	0.9%
⑥校務で利用するネットワークのみ整備している					1	0.4%	1	0.2%
⑦いずれの用途のネットワークも整備していない					1	0.4%	1	0.2%
無回答			3	1.5%			4	0.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、物理的に分けられている」は自治体規模での差はなく、全体で 54.2%となっている。「②両方の用途でネットワークが整備され、相互に通信できないよう、論理的に分けられている」は全体で 38.0%となっており、ネットワーク分離は進んでいる。

1-1-03(2) 前問で①②④⑥と回答された方に伺います。校務利用ネットワークを、機微な個人情報を取り扱う校務系ネットワークと、授業準備や外部メール等の校務外部接続系ネットワークに分離していますか。

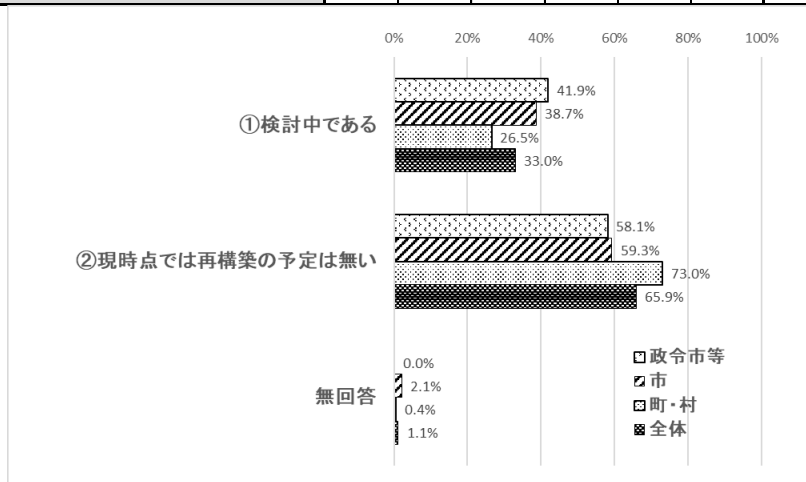
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①分離している	26	60.5%	90	46.4%	128	56.6%	244	52.7%
②分離する予定である	5	11.6%	11	5.7%	6	2.7%	22	4.8%
③分離する予定だが未検討である	2	4.7%	29	14.9%	24	10.6%	55	11.9%
④分離する予定はない	10	23.3%	53	27.3%	54	23.9%	117	25.3%
無回答			11	5.7%	14	6.2%	25	5.4%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①分離している」が自治体規模に関わらず最も多く、全体で 52.7%となっている。次いで「④分離する予定はない」が全体で 25.3%となっている。

1-1-03(3) 情報セキュリティポリシーに関するガイドラインの第2回改訂(令和3年5月)により、ネットワークの再構築を検討しますか。

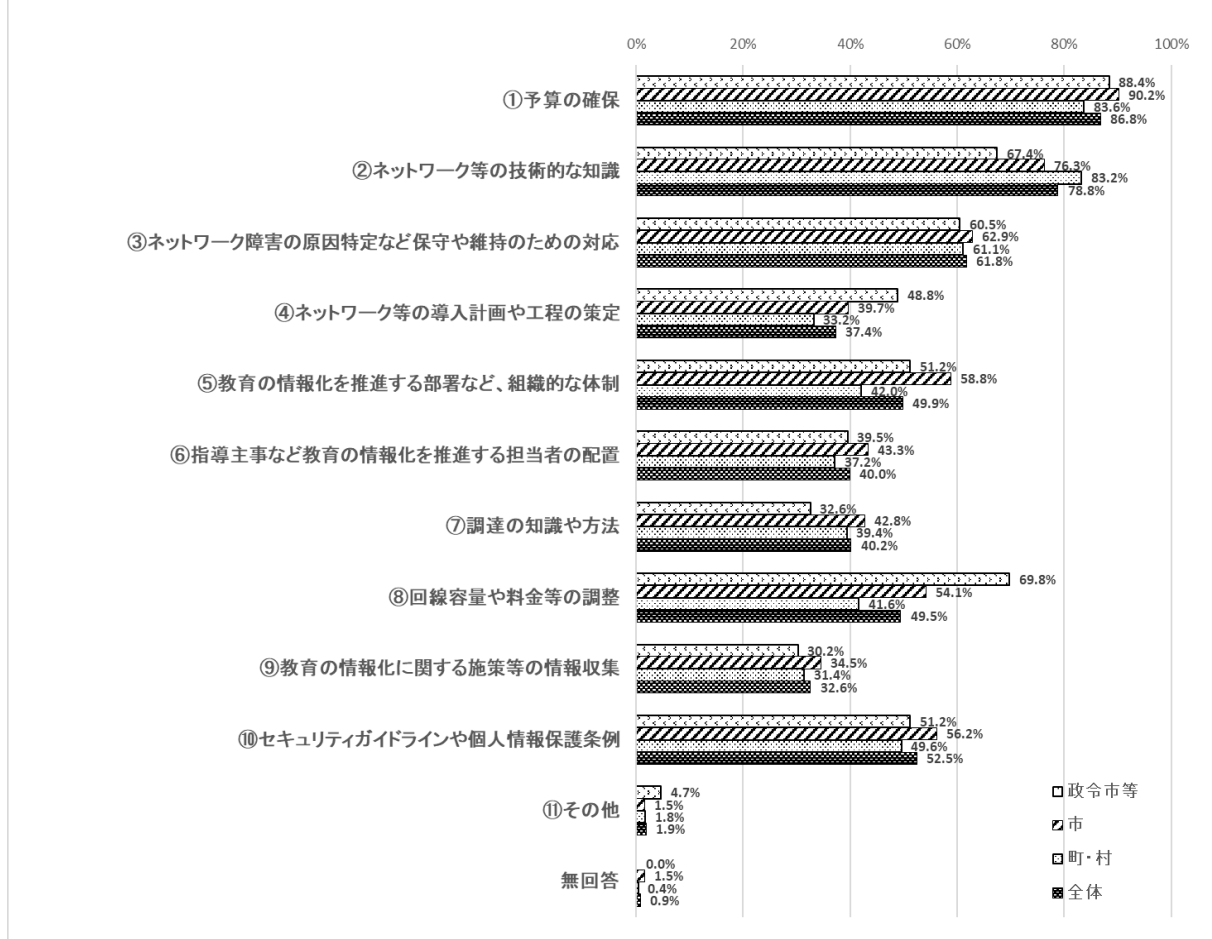
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①検討中である	18	41.9%	75	38.7%	60	26.5%	153	33.0%
②現時点では再構築の予定は無い	25	58.1%	115	59.3%	165	73.0%	305	65.9%
無回答			4	2.1%	1	0.4%	5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※調査時点では「②現時点では再構築の予定は無い」が全体で 65.9%となっている。町・村は 73.0%と最も多くなっている。

1-1-03(4) ネットワークの整備にあたり課題と感じた点についてあてはまるものをすべて選択してください。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①予算の確保	38	88.4%	175	90.2%	189	83.6%	402	86.8%
②ネットワーク等の技術的な知識	29	67.4%	148	76.3%	188	83.2%	365	78.8%
③ネットワーク障害の原因特定など保守や維持のための対応	26	60.5%	122	62.9%	138	61.1%	286	61.8%
④ネットワーク等の導入計画や工程の策定	21	48.8%	77	39.7%	75	33.2%	173	37.4%
⑤教育の情報化を推進する部署など、組織的な体制	22	51.2%	114	58.8%	95	42.0%	231	49.9%
⑥指導主事など教育の情報化を推進する担当者の配置	17	39.5%	84	43.3%	84	37.2%	185	40.0%
⑦調達の知識や方法	14	32.6%	83	42.8%	89	39.4%	186	40.2%
⑧回線容量や料金等の調整	30	69.8%	105	54.1%	94	41.6%	229	49.5%
⑨教育の情報化に関する施策等の情報収集	13	30.2%	67	34.5%	71	31.4%	151	32.6%
⑩セキュリティガイドラインや個人情報保護条例	22	51.2%	109	56.2%	112	49.6%	243	52.5%
⑪その他	2	4.7%	3	1.5%	4	1.8%	9	1.9%
無回答			3	1.5%	1	0.4%	4	0.9%
回答数合計	234	544.2%	1,090	561.9%	1,140	504.4%	2,464	532.2%
回答者数(母数)	43		194		226		463	

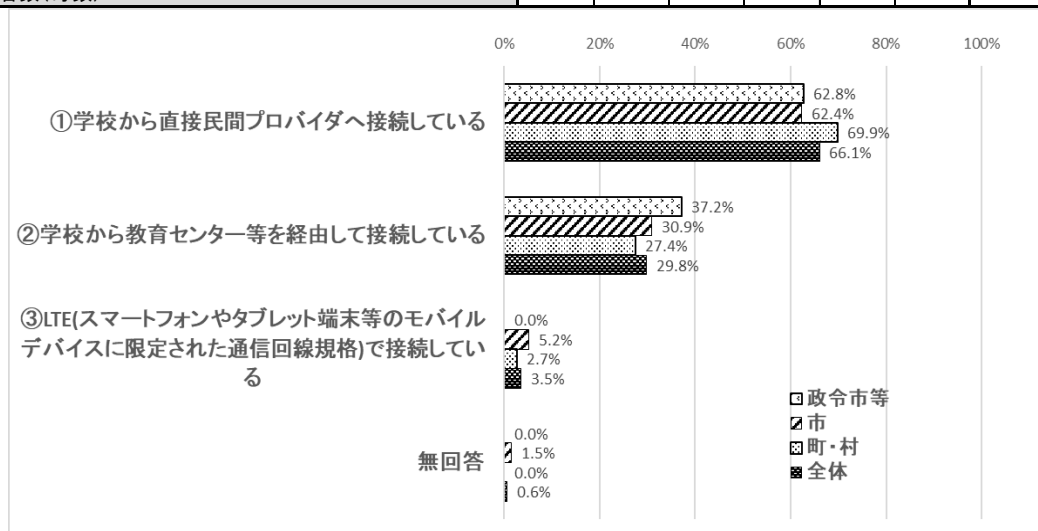


※「①予算の確保」が最も多く、全体で 86.8%、次いで「②ネットワーク等の技術的な知識」が全体で 78.8%となっている。自治体規模別で見ると「⑧回線容量や料金等の調整」で政令市等が 69.8%とかなり多くなっている。

回答数を見ると、平均で 1 自治体が 5 つ以上選択しており、自治体担当者の苦勞が多いものと考えられる。

1-1-04(1) 学校が授業で利用するインターネットについて、ネットワークへの接続手段についてあてはまるものを選択してください。

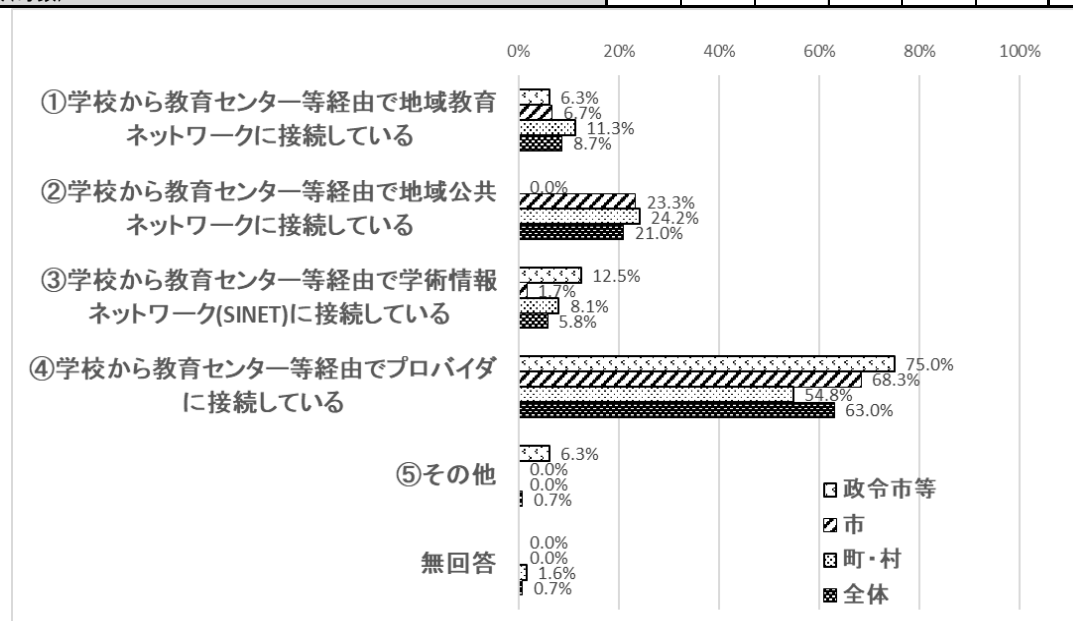
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校から直接民間プロバイダへ接続している	27	62.8%	121	62.4%	158	69.9%	306	66.1%
②学校から教育センター等を経由して接続している	16	37.2%	60	30.9%	62	27.4%	138	29.8%
③LTE(スマートフォンやタブレット端末等のモバイルデバイスに限定された通信回線規格)で接続している			10	5.2%	6	2.7%	16	3.5%
無回答			3	1.5%			3	0.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①学校から直接民間プロバイダへ接続している」が全体で 66.1%となっている。「③LTE(スマートフォンやタブレット端末等のモバイルデバイスに限定された通信回線規格)で接続している」は全体で 3.5%に留まっている。

1-1-04(2) 前問で②と回答された方に伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校から教育センター等経由で地域教育ネットワークに接続している	1	6.3%	4	6.7%	7	11.3%	12	8.7%
②学校から教育センター等経由で地域公共ネットワークに接続している			14	23.3%	15	24.2%	29	21.0%
③学校から教育センター等経由で学術情報ネットワーク(SINET)に接続している	2	12.5%	1	1.7%	5	8.1%	8	5.8%
④学校から教育センター等経由でプロバイダに接続している	12	75.0%	41	68.3%	34	54.8%	87	63.0%
⑤その他	1	6.3%					1	0.7%
無回答					1	1.6%	1	0.7%
回答者数(母数)	16	100.0%	60	100.0%	62	100.0%	138	100.0%



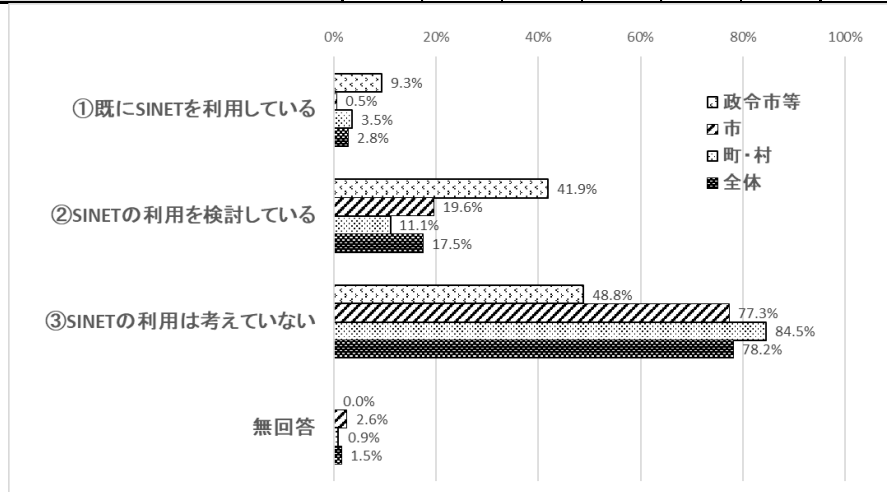
※「④学校から教育センター等経由でプロバイダに接続している」が最も多く、全体で63.0%となっており、政令市等では75.0%と多い。次いで「②学校から教育センター等経由で地域公共ネットワークに接続している」が、全体で21.0%となっている。しかしながら政令市等では0.0%と特徴的な結果となっている。

※学術情報ネットワーク(SINET)とは

日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所(NII)が構築運用しているネットワークのこと。

1-1-04(3) SINET(学術情報ネットワーク)の利用に関して伺います。

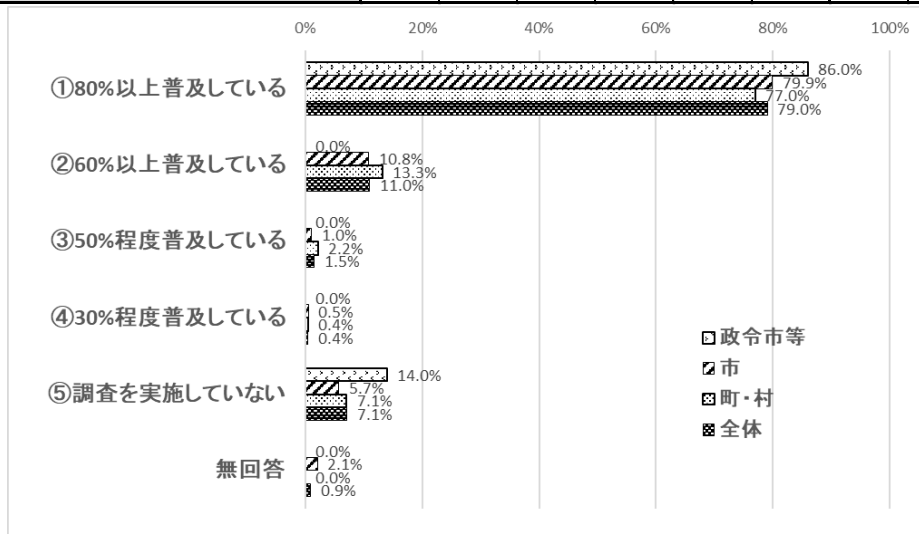
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既にSINETを利用している	4	9.3%	1	0.5%	8	3.5%	13	2.8%
②SINETの利用を検討している	18	41.9%	38	19.6%	25	11.1%	81	17.5%
③SINETの利用は考えていない	21	48.8%	150	77.3%	191	84.5%	362	78.2%
無回答			5	2.6%	2	0.9%	7	1.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「③SINETの利用は考えていない」が全体で78.2%となっている。政令市等では「②SINETの利用を検討している」が41.9%と高くなっている。

1-1-05 児童・生徒の家庭でのWi-Fi環境について伺います。

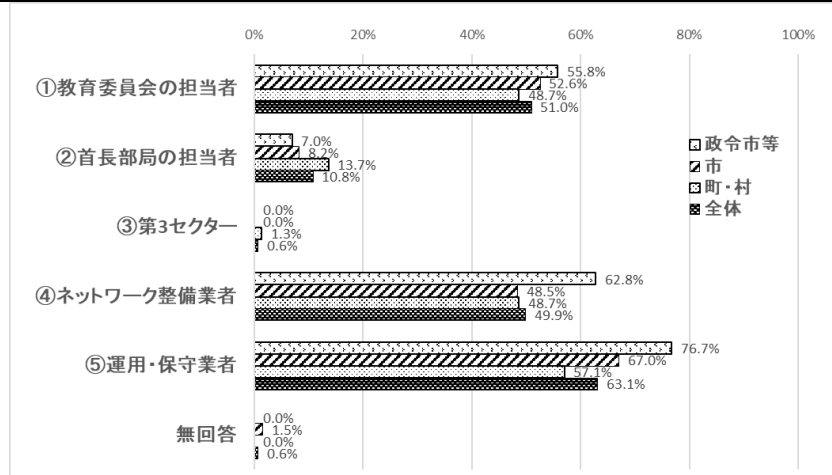
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①80%以上普及している	37	86.0%	155	79.9%	174	77.0%	366	79.0%
②60%以上普及している			21	10.8%	30	13.3%	51	11.0%
③50%程度普及している			2	1.0%	5	2.2%	7	1.5%
④30%程度普及している			1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
⑤調査を実施していない	6	14.0%	11	5.7%	16	7.1%	33	7.1%
無回答			4	2.1%			4	0.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①80%以上普及している」が全体で79.0%と、家庭でのWi-Fiはかなり普及している。

1-1-06 ネットワークについて、サーバや機器の運用・保守は、誰が行っていますか。(いくつでも)

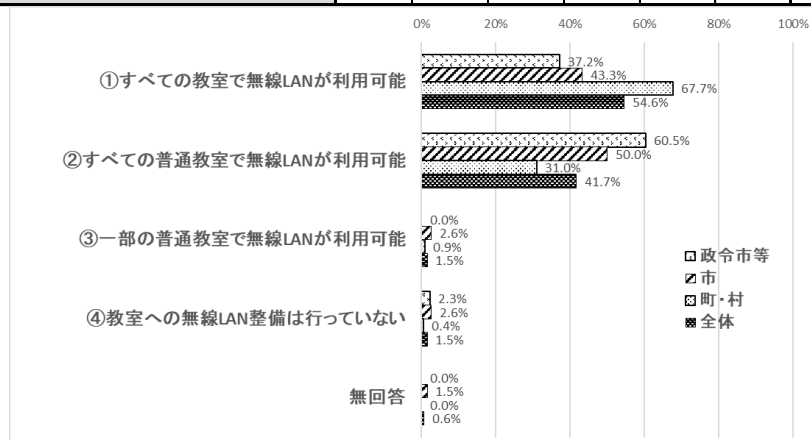
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会の担当者	24	55.8%	102	52.6%	110	48.7%	236	51.0%
②首長部局の担当者	3	7.0%	16	8.2%	31	13.7%	50	10.8%
③第3セクター					3	1.3%	3	0.6%
④ネットワーク整備業者	27	62.8%	94	48.5%	110	48.7%	231	49.9%
⑤運用・保守業者	33	76.7%	130	67.0%	129	57.1%	292	63.1%
無回答			3	1.5%			3	0.6%
回答数合計	87	202.3%	345	177.8%	383	169.5%	815	176.0%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※全体で「⑤運用・保守業者」63.1%、「①教育委員会の担当者」51.0%、「④ネットワーク整備業者」49.9%となっている。

1-1-07(1) 小学校の無線 LAN 整備について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての教室で無線LANが利用可能	16	37.2%	84	43.3%	153	67.7%	253	54.6%
②すべての普通教室で無線LANが利用可能	26	60.5%	97	50.0%	70	31.0%	193	41.7%
③一部の普通教室で無線LANが利用可能			5	2.6%	2	0.9%	7	1.5%
④教室への無線LAN整備は行っていない	1	2.3%	5	2.6%	1	0.4%	7	1.5%
無回答			3	1.5%			3	0.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

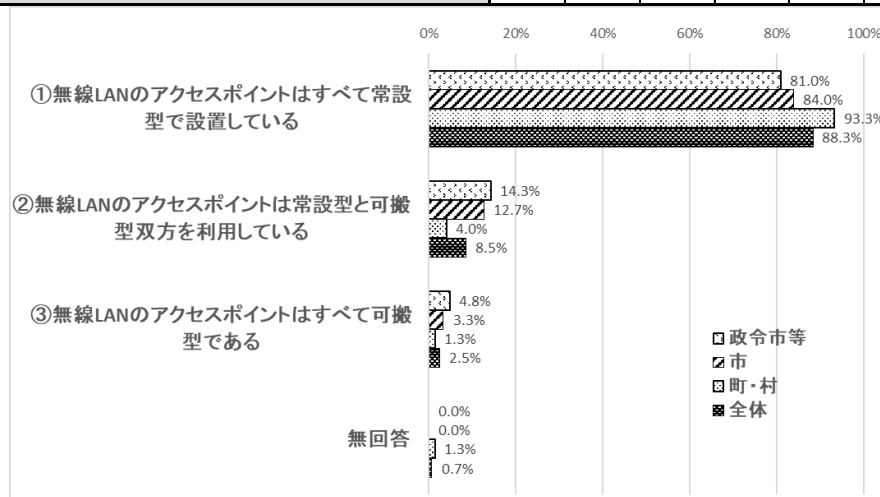


※「①すべての教室で無線 LAN が利用可能」は全体で (31.0%→54.6%)、特に町・村では (41.5%→67.7%) となっている。

「①すべての教室で無線 LAN が利用可能」「②すべての普通教室で無線 LAN が利用可能」を合わせて全体で (57.3%→96.3%) となっており、かなり普及している。

1-1-07(2) 前問で①②と回答された方に伺います。

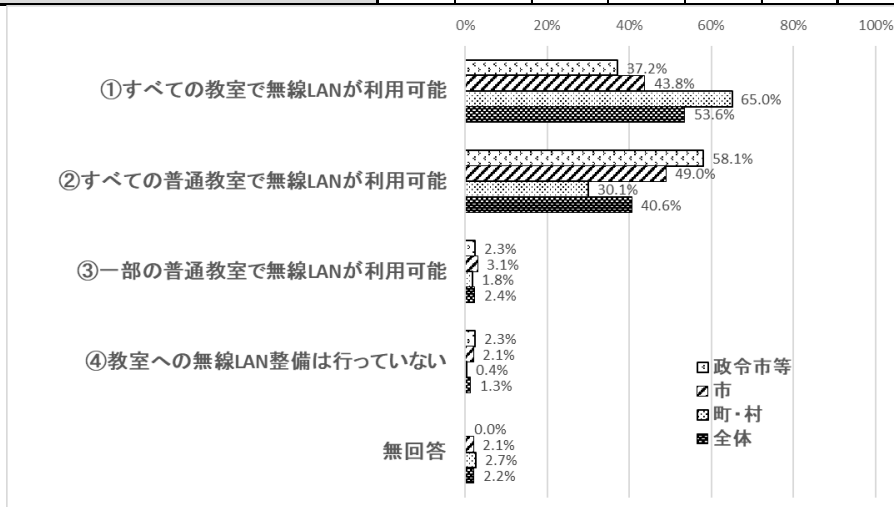
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①無線LANのアクセスポイントはすべて常設型で設置している	34	81.0%	152	84.0%	208	93.3%	394	88.3%
②無線LANのアクセスポイントは常設型と可搬型双方を利用している	6	14.3%	23	12.7%	9	4.0%	38	8.5%
③無線LANのアクセスポイントはすべて可搬型である	2	4.8%	6	3.3%	3	1.3%	11	2.5%
無回答					3	1.3%	3	0.7%
回答者数(母数)	42	100.0%	181	100.0%	223	100.0%	446	100.0%



※「①無線 LAN のアクセスポイントはすべて常設型で設置している」が全体で (64.6%→88.3%) と、ほぼアクセスポイントは常設型で設置されている。

1-1-07(3) 中学校の無線 LAN 整備について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての教室で無線LANが利用可能	16	37.2%	85	43.8%	147	65.0%	248	53.6%
②すべての普通教室で無線LANが利用可能	25	58.1%	95	49.0%	68	30.1%	188	40.6%
③一部の普通教室で無線LANが利用可能	1	2.3%	6	3.1%	4	1.8%	11	2.4%
④教室への無線LAN整備は行っていない	1	2.3%	4	2.1%	1	0.4%	6	1.3%
無回答			4	2.1%	6	2.7%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

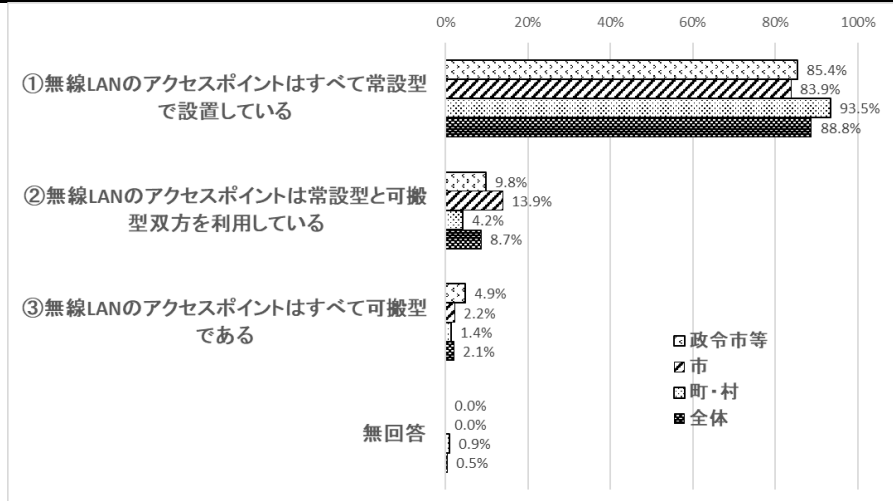


※「①すべての教室で無線 LAN が利用可能」が全体で (31.5%→53.6%) となっている。

「①すべての教室で無線 LAN が利用可能」「②すべての普通教室で無線 LAN が利用可能」を合わせて全体で (59.2%→94.2%) と、無線 LAN の整備が進んでいる。

1-1-07(4) 前問で①②と回答された方に伺います。

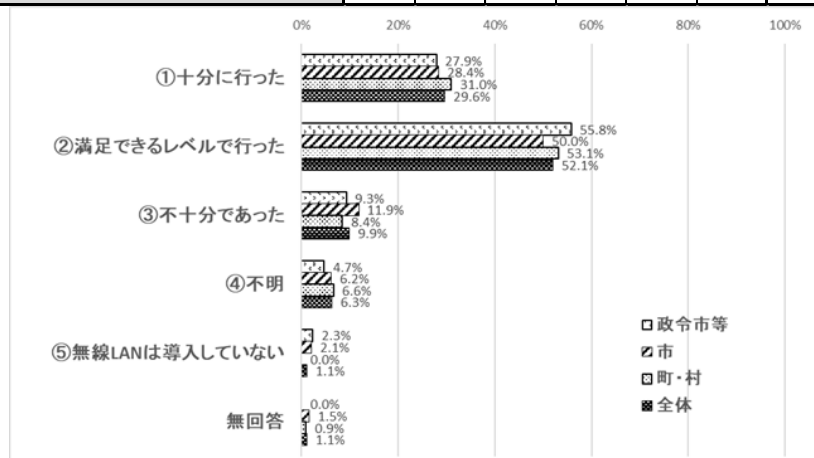
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①無線LANのアクセスポイントはすべて常設型で設置している	35	85.4%	151	83.9%	201	93.5%	387	88.8%
②無線LANのアクセスポイントは常設型と可搬型双方を利用している	4	9.8%	25	13.9%	9	4.2%	38	8.7%
③無線LANのアクセスポイントはすべて可搬型である	2	4.9%	4	2.2%	3	1.4%	9	2.1%
無回答					2	0.9%	2	0.5%
回答者数(母数)	41	100.0%	180	100.0%	215	100.0%	436	100.0%



※「①無線 LAN のアクセスポイントはすべて常設型で設置している」が全体で (67.7%→88.8%) と、アクセスポイントはほぼ常設型で設置されている。

1-1-08(1) 無線 LAN は、十分に設計および現地調査(現地サーベイ)をしてから導入したと思いますか。
あてはまるものを一つ選択してください。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	12	27.9%	55	28.4%	70	31.0%	137	29.6%
②満足できるレベルで行った	24	55.8%	97	50.0%	120	53.1%	241	52.1%
③不十分であった	4	9.3%	23	11.9%	19	8.4%	46	9.9%
④不明	2	4.7%	12	6.2%	15	6.6%	29	6.3%
⑤無線LANは導入していない	1	2.3%	4	2.1%			5	1.1%
無回答			3	1.5%	2	0.9%	5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

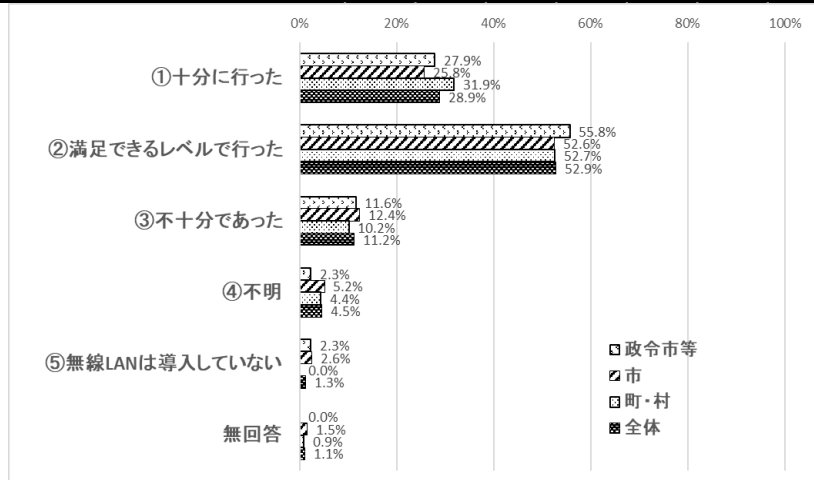


※「①十分に行った」「②満足できるレベルで行った」を合わせて、自治体規模での差は無く全体で (53.5%→81.7%) となっている。

「③不十分であった」が全体で 9.9%あり、注意が必要である。

1-1-08(2) 無線 LAN 導入後、十分に接続試験を実施しましたか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	12	27.9%	50	25.8%	72	31.9%	134	28.9%
②満足できるレベルで行った	24	55.8%	102	52.6%	119	52.7%	245	52.9%
③不十分であった	5	11.6%	24	12.4%	23	10.2%	52	11.2%
④不明	1	2.3%	10	5.2%	10	4.4%	21	4.5%
⑤無線LANは導入していない	1	2.3%	5	2.6%			6	1.3%
無回答			3	1.5%	2	0.9%	5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

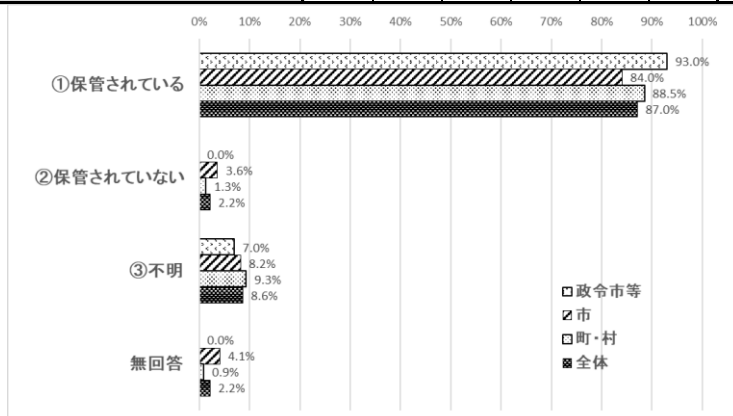


※「①十分に行った」「②満足できるレベルで行った」を合わせて全体で 81.8%となっている。
「③不十分であった」は全体で 11.2%あり、学校現場での活用に影響が出ている可能性がある。

★学校編の 2-1-03「ネットワークの利用について感じていることについて伺います。」では
「①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる」が全体で 43.3%、「⑦
校内で繋がりにくい場所・時間(つながらない)がある」が全体で 63.2%と不安がある。

1-1-08(3) 無線 LAN 整備時の初期導入資料は保管されていますか。(設計資料や現地サーベイ資料、現地接続試験結果資料等のドキュメント資料)

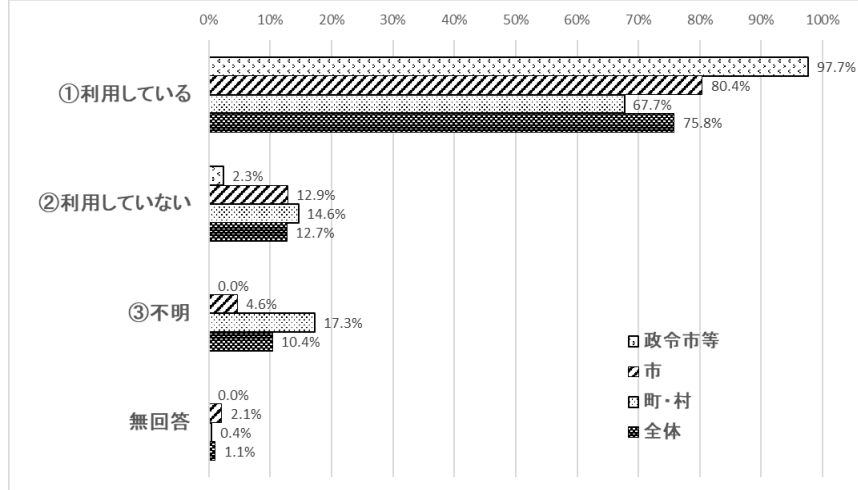
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保管されている	40	93.0%	163	84.0%	200	88.5%	403	87.0%
②保管されていない			7	3.6%	3	1.3%	10	2.2%
③不明	3	7.0%	16	8.2%	21	9.3%	40	8.6%
無回答			8	4.1%	2	0.9%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①保管されている」が全体で (46.5%→87.0%) となっている。

1-1-09 普通教室で利活用されている１人１台端末でMDM(モバイルデバイス管理ソフト)を利用していますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用している	42	97.7%	156	80.4%	153	67.7%	351	75.8%
②利用していない	1	2.3%	25	12.9%	33	14.6%	59	12.7%
③不明			9	4.6%	39	17.3%	48	10.4%
無回答			4	2.1%	1	0.4%	5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

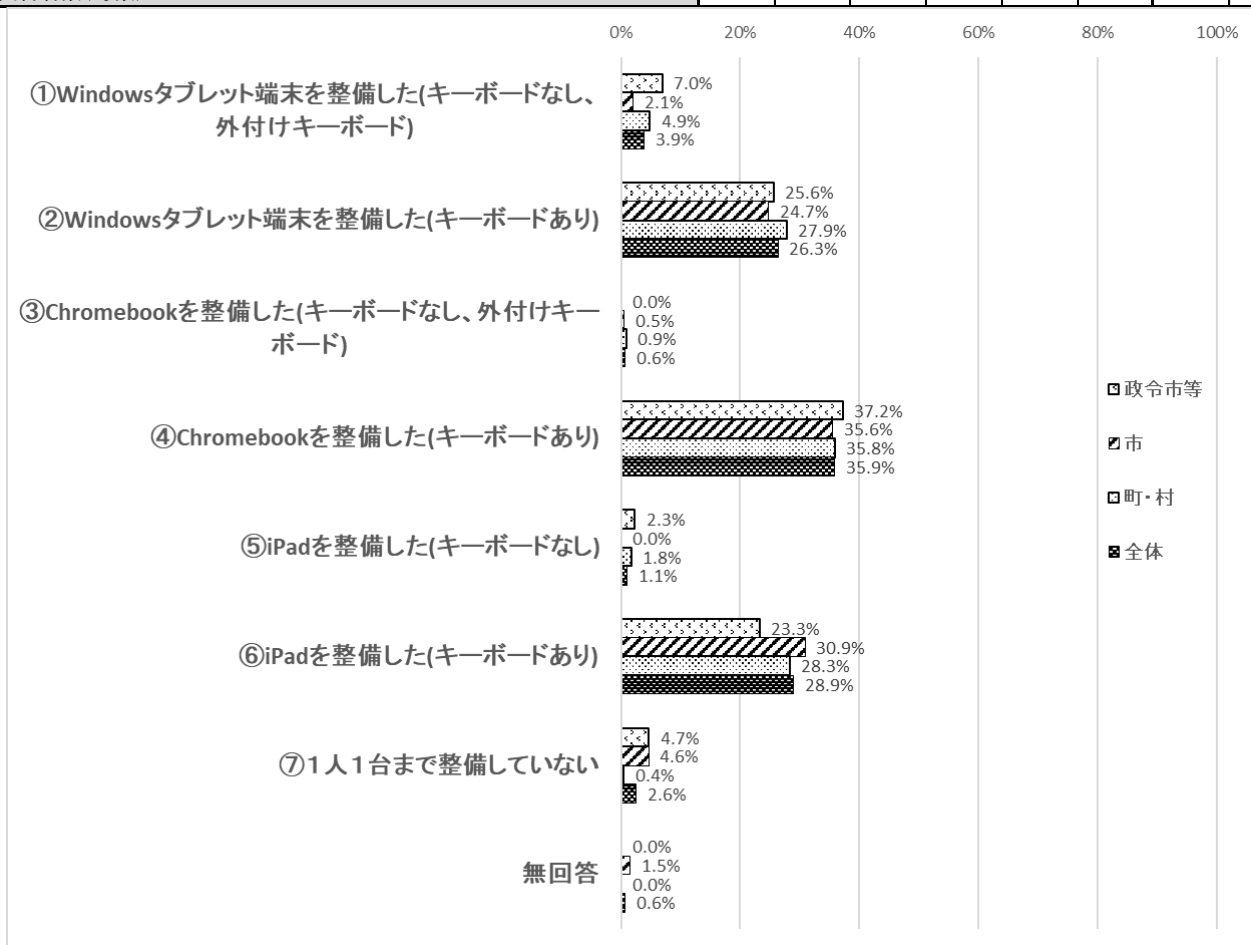


※「①利用している」が政令市等では（33.3%→97.7%）、市が（23.4%→80.4%）、町・村が（16.9%→67.7%）と、MDMはかなり導入されているが自治体規模で差がある。

1-2 ハードウェアに関する項目

1-2-01 GIGA スクール構想により小学校に整備した1人1台端末について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット端末を整備した(キーボードなし、外付けキーボード)	3	7.0%	4	2.1%	11	4.9%	18	3.9%
②Windowsタブレット端末を整備した(キーボードあり)	11	25.6%	48	24.7%	63	27.9%	122	26.3%
③Chromebookを整備した(キーボードなし、外付けキーボード)			1	0.5%	2	0.9%	3	0.6%
④Chromebookを整備した(キーボードあり)	16	37.2%	69	35.6%	81	35.8%	166	35.9%
⑤iPadを整備した(キーボードなし)	1	2.3%			4	1.8%	5	1.1%
⑥iPadを整備した(キーボードあり)	10	23.3%	60	30.9%	64	28.3%	134	28.9%
⑦1人1台まで整備していない	2	4.7%	9	4.6%	1	0.4%	12	2.6%
無回答			3	1.5%			3	0.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

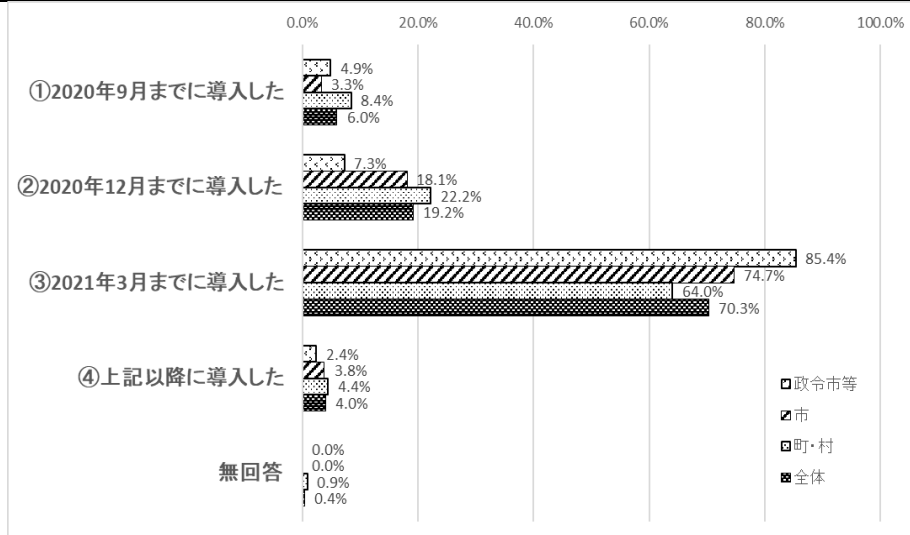


※この調査では文部科学省の調査と異なるが、キーボードの在り方によって回答を区分した。

「④Chromebook を整備した(キーボードあり)」が全体で 35.9%と最も高く、続いて「⑥iPad を整備した(キーボードあり)」が 28.9%、「②Windows タブレット端末を整備した(キーボードあり)」は 26.3%となった。Chromebook の導入が多いが、Windows と iOS も 30%程度あり、3OS に均等に分かれた状態となった。

1-2-02 前問で①～⑥と回答された方に、端末の導入時期について伺います。

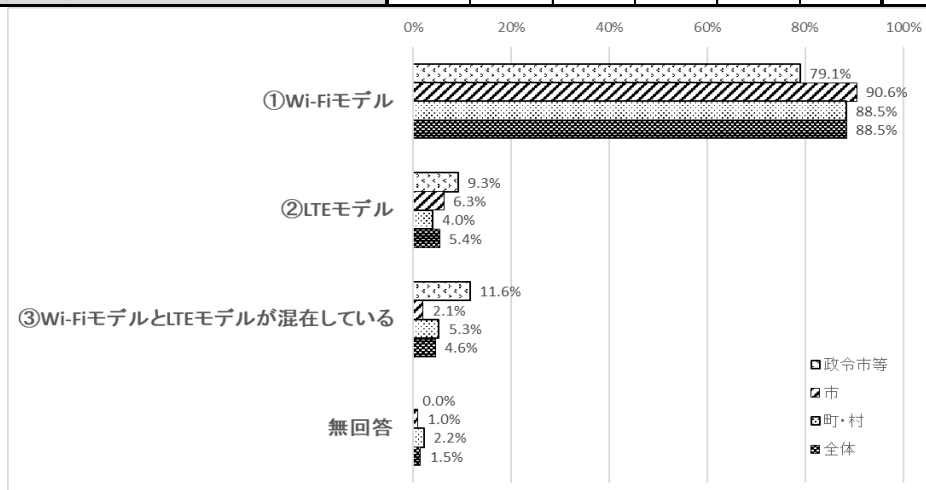
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①2020年9月までに導入した	2	4.9%	6	3.3%	19	8.4%	27	6.0%
②2020年12月までに導入した	3	7.3%	33	18.1%	50	22.2%	86	19.2%
③2021年3月までに導入した	35	85.4%	136	74.7%	144	64.0%	315	70.3%
④上記以降に導入した	1	2.4%	7	3.8%	10	4.4%	18	4.0%
無回答					2	0.9%	2	0.4%
回答者数(母数)	41	100.0%	182	100.0%	225	100.0%	448	100.0%



※「③2021年3月までに導入した」が全体で70.3%と最も多く、年度末にかけての整備が多かったことが分かる。

1-2-04 「1-2-01」について、次のどのタイプで整備していますか。

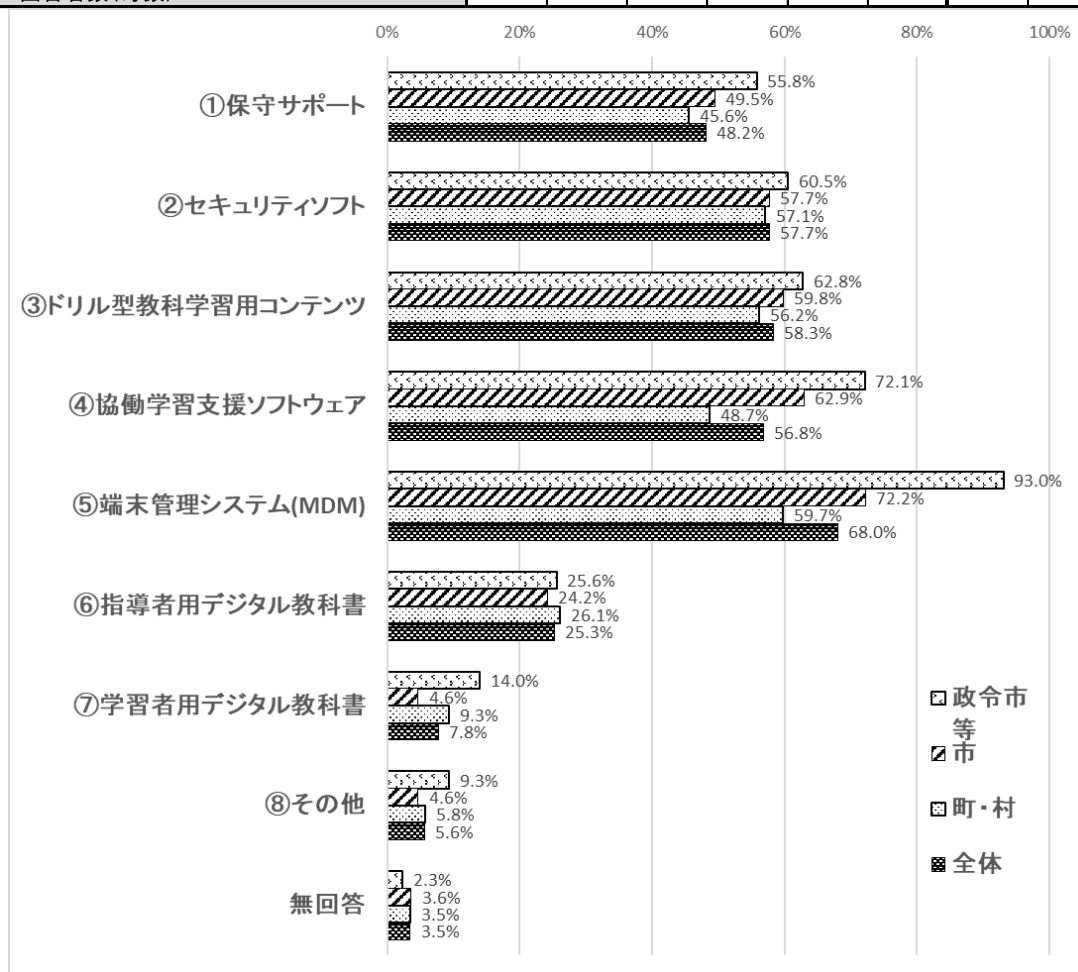
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Wi-Fiモデル	34	79.1%	173	90.6%	200	88.5%	407	88.5%
②LTEモデル	4	9.3%	12	6.3%	9	4.0%	25	5.4%
③Wi-FiモデルとLTEモデルが混在している	5	11.6%	4	2.1%	12	5.3%	21	4.6%
無回答			2	1.0%	5	2.2%	7	1.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	191	100.0%	226	100.0%	460	100.0%



※「①Wi-Fiモデル」が全体で88.5%あり、大半を占めている。

1-2-05 GIGA スクール構想による整備で、小学校で端末と合わせて整備したものを教えてください。
(いくつでも)

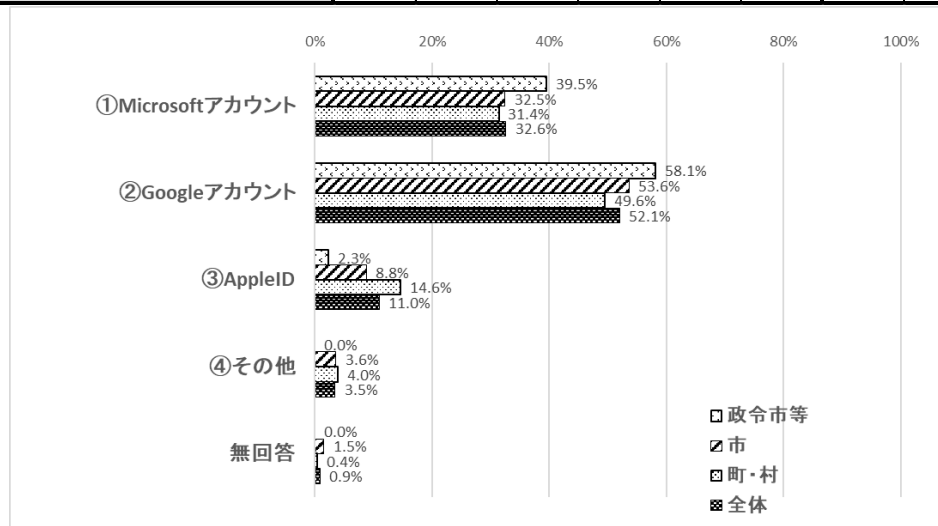
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保守サポート	24	55.8%	96	49.5%	103	45.6%	223	48.2%
②セキュリティソフト	26	60.5%	112	57.7%	129	57.1%	267	57.7%
③ドリル型教科学習用コンテンツ	27	62.8%	116	59.8%	127	56.2%	270	58.3%
④協働学習支援ソフトウェア	31	72.1%	122	62.9%	110	48.7%	263	56.8%
⑤端末管理システム(MDM)	40	93.0%	140	72.2%	135	59.7%	315	68.0%
⑥指導者用デジタル教科書	11	25.6%	47	24.2%	59	26.1%	117	25.3%
⑦学習者用デジタル教科書	6	14.0%	9	4.6%	21	9.3%	36	7.8%
⑧その他	4	9.3%	9	4.6%	13	5.8%	26	5.6%
無回答	1	2.3%	7	3.6%	8	3.5%	16	3.5%
回答数合計	170	395.3%	658	339.2%	705	311.9%	1,533	331.1%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「⑤端末管理システム(MDM)」が全体で 68.0%と最も多く、次いで「③ドリル型教科学習型コンテンツ」が 58.3%と多い。「②セキュリティソフト」や「④協働学習支援ソフトウェア」も 50%を超えており、端末とともに整備されたことが分かる。

1-2-06 小学校の児童用アカウントは何を利用されていますか。

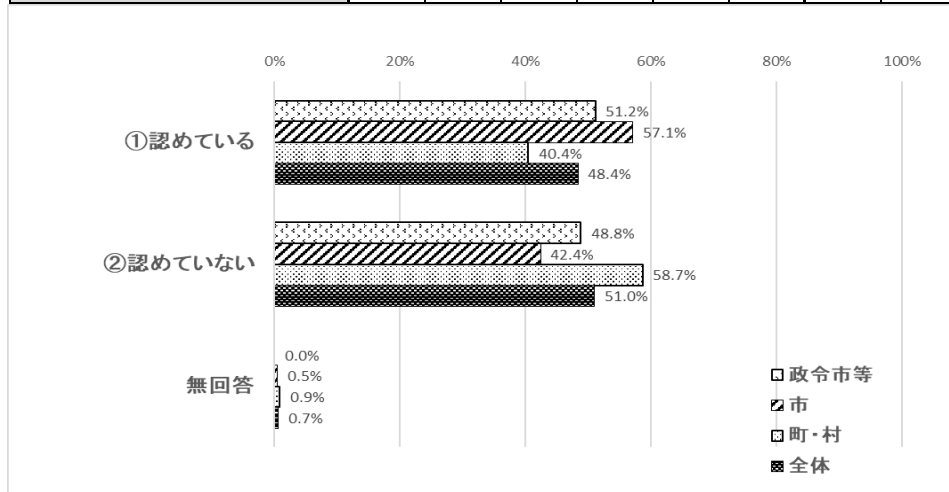
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	17	39.5%	63	32.5%	71	31.4%	151	32.6%
②Googleアカウント	25	58.1%	104	53.6%	112	49.6%	241	52.1%
③AppleID	1	2.3%	17	8.8%	33	14.6%	51	11.0%
④その他			7	3.6%	9	4.0%	16	3.5%
無回答			3	1.5%	1	0.4%	4	0.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※1-2-01 では GIGA スクール構想で整備された端末は Chromebook が全体で 36.5%と回答されているが、児童用アカウントは「②Google アカウント」が全体で 52.1%とアカウントの割合が高くなっている。一方、AppleID は全体で 11.0%と iPad が導入された 30.0%と比べて低いことから、iPad で Google アカウントが利用されていることがうかがえる。

1-2-07 前問で選択されたアカウントを、他の端末で利用することを認めていますか。

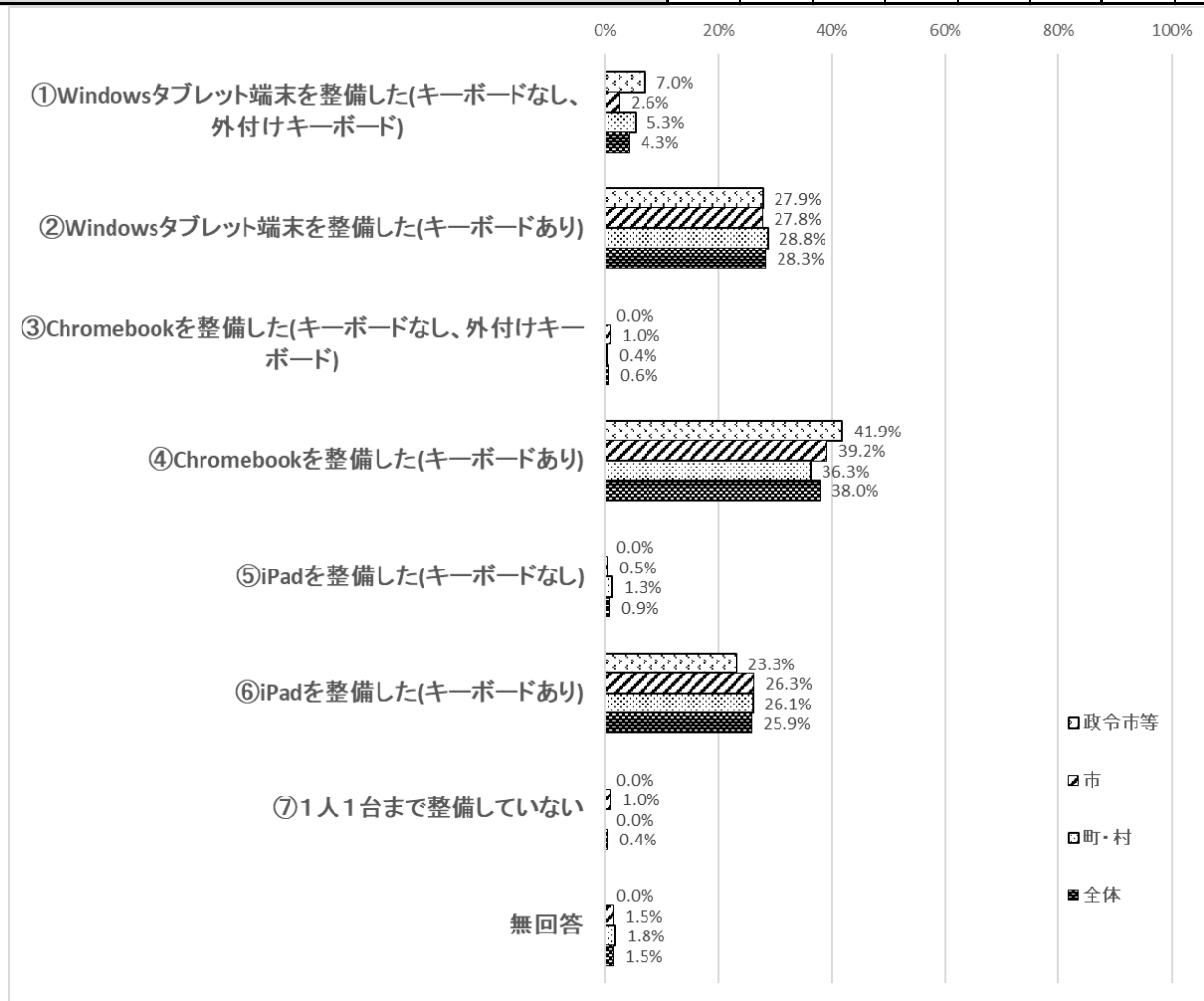
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①認めている	22	51.2%	109	57.1%	91	40.4%	222	48.4%
②認めていない	21	48.8%	81	42.4%	132	58.7%	234	51.0%
無回答			1	0.5%	2	0.9%	3	0.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	191	100.0%	225	100.0%	459	100.0%



※「②認めていない」が全体で 51.0%とやや多いが、判断が分かれる結果となった。

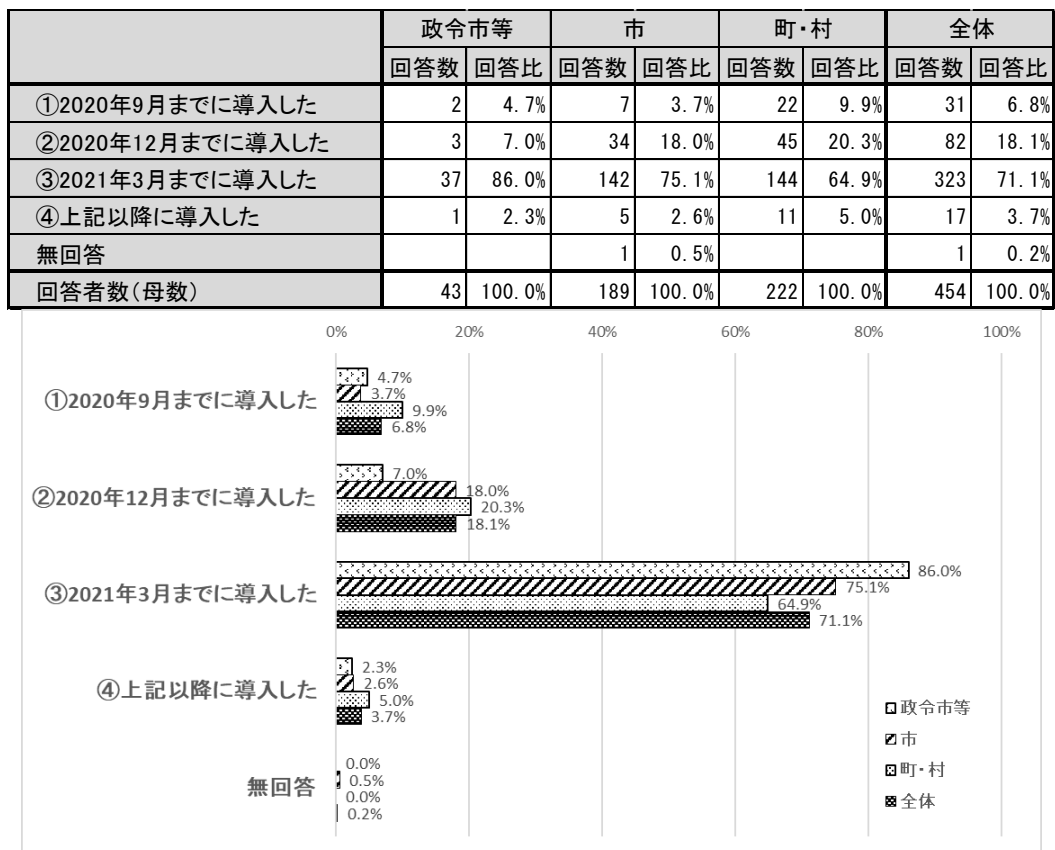
1-2-08 GIGA スクール構想により中学校に整備した1人1台端末について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット端末を整備した(キーボードなし、外付けキーボード)	3	7.0%	5	2.6%	12	5.3%	20	4.3%
②Windowsタブレット端末を整備した(キーボードあり)	12	27.9%	54	27.8%	65	28.8%	131	28.3%
③Chromebookを整備した(キーボードなし、外付けキーボード)			2	1.0%	1	0.4%	3	0.6%
④Chromebookを整備した(キーボードあり)	18	41.9%	76	39.2%	82	36.3%	176	38.0%
⑤iPadを整備した(キーボードなし)			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
⑥iPadを整備した(キーボードあり)	10	23.3%	51	26.3%	59	26.1%	120	25.9%
⑦1人1台まで整備していない			2	1.0%			2	0.4%
無回答			3	1.5%	4	1.8%	7	1.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

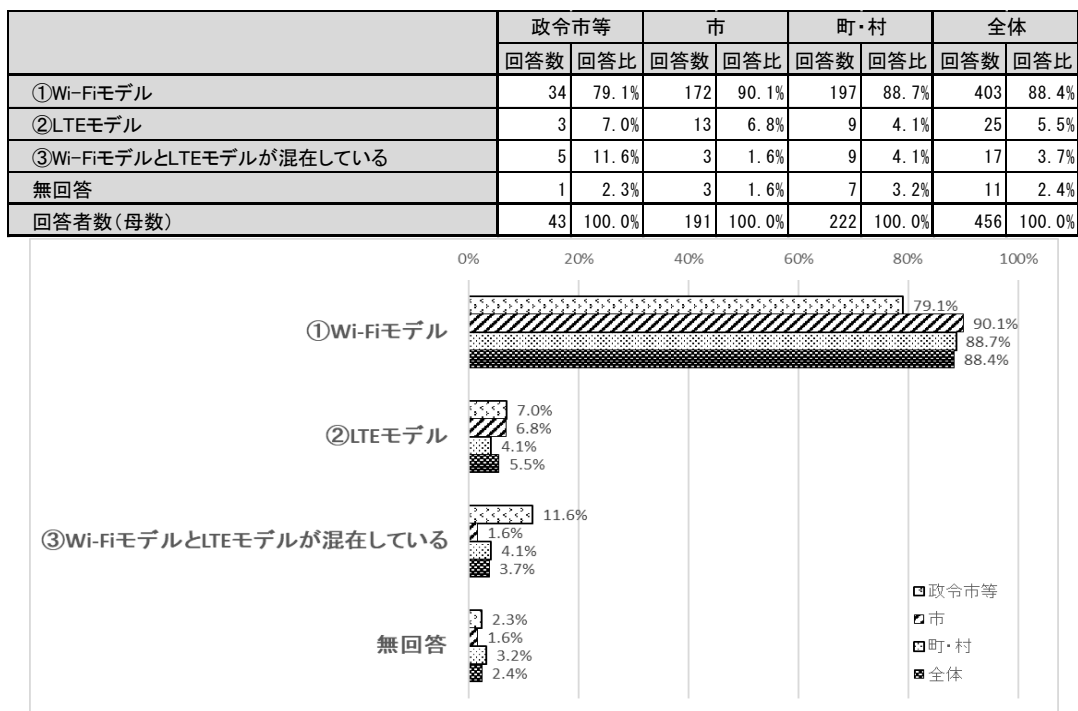


※この調査では「④Chromebook を整備した(キーボードあり)」が全体で 38.0%と最も高く、続いて「②Windows タブレット端末を整備した(キーボードあり)」が 28.3%、「⑥iPad を整備した(キーボードあり)」は 25.9%となった。小学校と比べ Windows が 2 番手に来ているが差は小さく、こちらも 3OS に均等に分かれた状態となった。

1-2-09 前問で①～⑥と回答された方に、端末の導入時期について伺います。

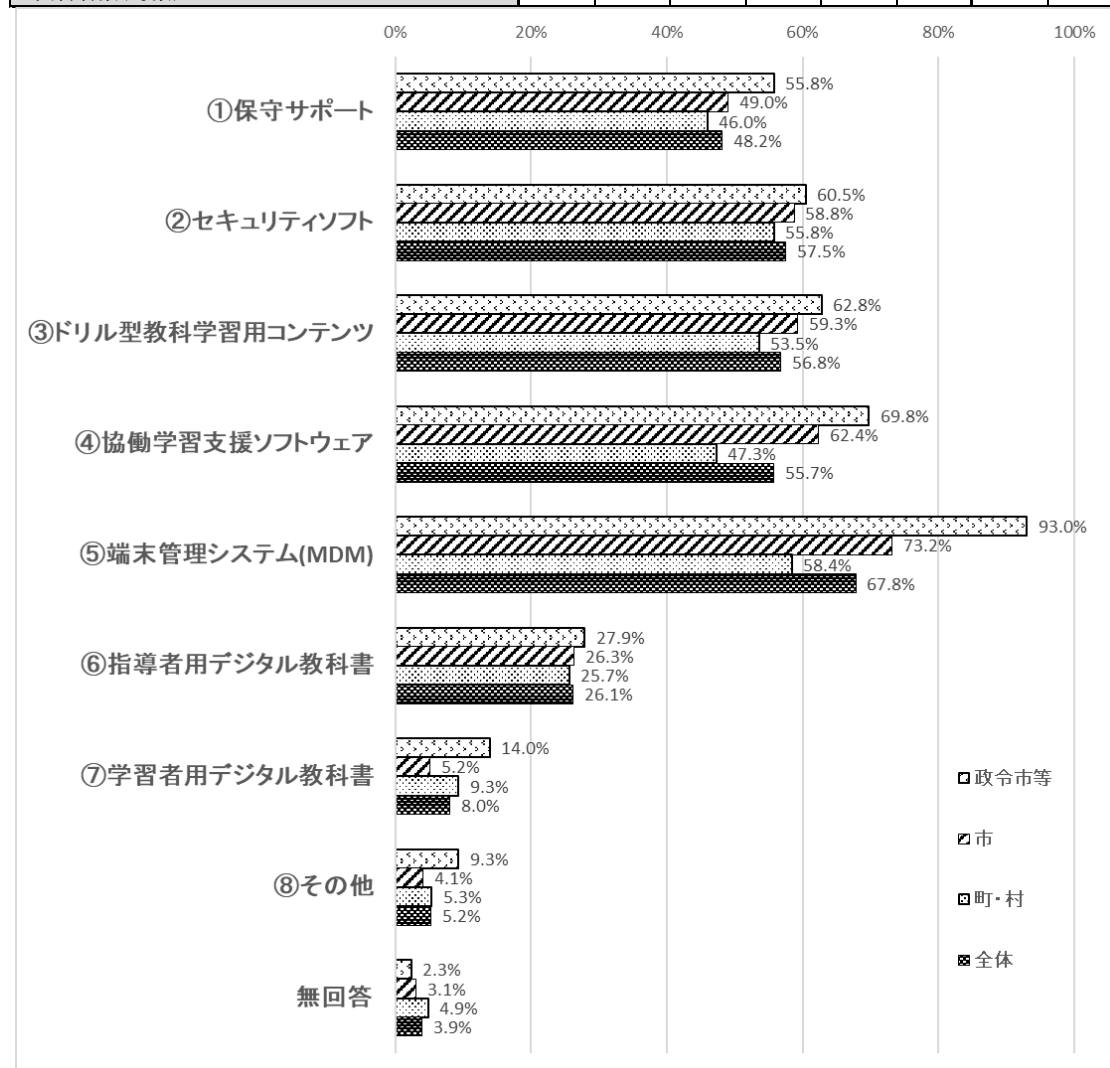


1-2-11 「1-2-08」について、次のどのタイプで整備していますか。



1-2-12 GIGA スクール構想による整備で、中学校で端末と合わせて整備したものを教えてください。
(いくつでも)

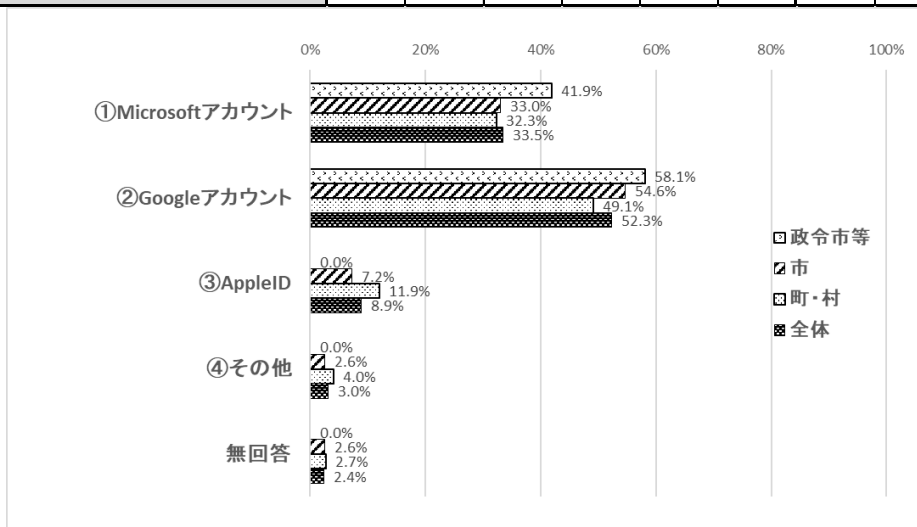
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保守サポート	24	55.8%	95	49.0%	104	46.0%	223	48.2%
②セキュリティソフト	26	60.5%	114	58.8%	126	55.8%	266	57.5%
③ドリル型教科学習用コンテンツ	27	62.8%	115	59.3%	121	53.5%	263	56.8%
④協働学習支援ソフトウェア	30	69.8%	121	62.4%	107	47.3%	258	55.7%
⑤端末管理システム(MDM)	40	93.0%	142	73.2%	132	58.4%	314	67.8%
⑥指導者用デジタル教科書	12	27.9%	51	26.3%	58	25.7%	121	26.1%
⑦学習者用デジタル教科書	6	14.0%	10	5.2%	21	9.3%	37	8.0%
⑧その他	4	9.3%	8	4.1%	12	5.3%	24	5.2%
無回答	1	2.3%	6	3.1%	11	4.9%	18	3.9%
回答数合計	170	395.3%	662	341.2%	692	306.2%	1,524	329.2%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「⑤端末管理システム(MDM)」が全体で 67.8%、次いで「②セキュリティソフト」が 57.5%、「③ドリル型教科学習用コンテンツ」は 56.8%、「④協働学習支援ソフトウェア」は 55.7%と、4 システムで 50%を超える整備となっている。政令市等は市、町・村と比べて、すべての項目において導入率が高い。

1-2-13 中学校の生徒用アカウントは何を利用されていますか。

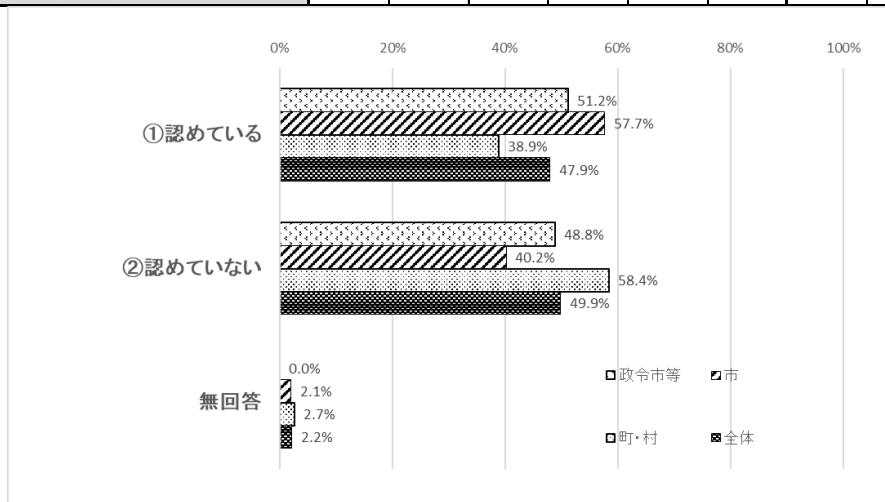
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	18	41.9%	64	33.0%	73	32.3%	155	33.5%
②Googleアカウント	25	58.1%	106	54.6%	111	49.1%	242	52.3%
③AppleID			14	7.2%	27	11.9%	41	8.9%
④その他			5	2.6%	9	4.0%	14	3.0%
無回答			5	2.6%	6	2.7%	11	2.4%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※小学校と同様に「②Google アカウント」が最も多く、全体で 52.3%となった。2 番目に「①Microsoft アカウント」が 33.5%となり、この 2 つで 85.8%となっている。

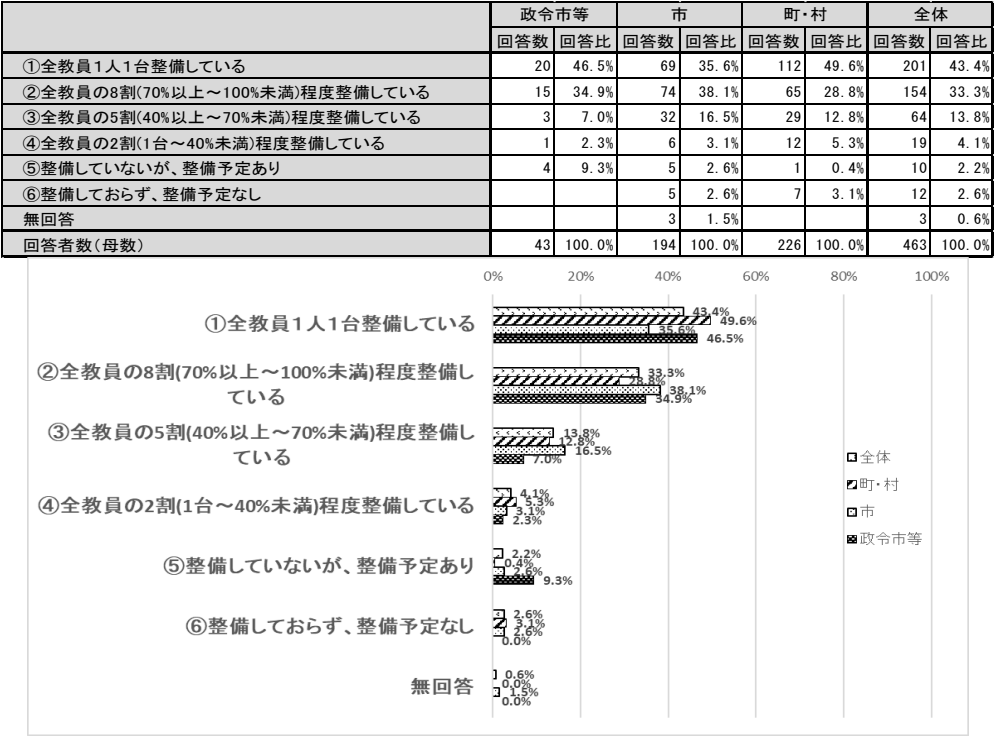
1-2-14 前問で選択されたアカウントを、他の端末で利用することを認めていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①認めている	22	51.2%	112	57.7%	88	38.9%	222	47.9%
②認めていない	21	48.8%	78	40.2%	132	58.4%	231	49.9%
無回答			4	2.1%	6	2.7%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



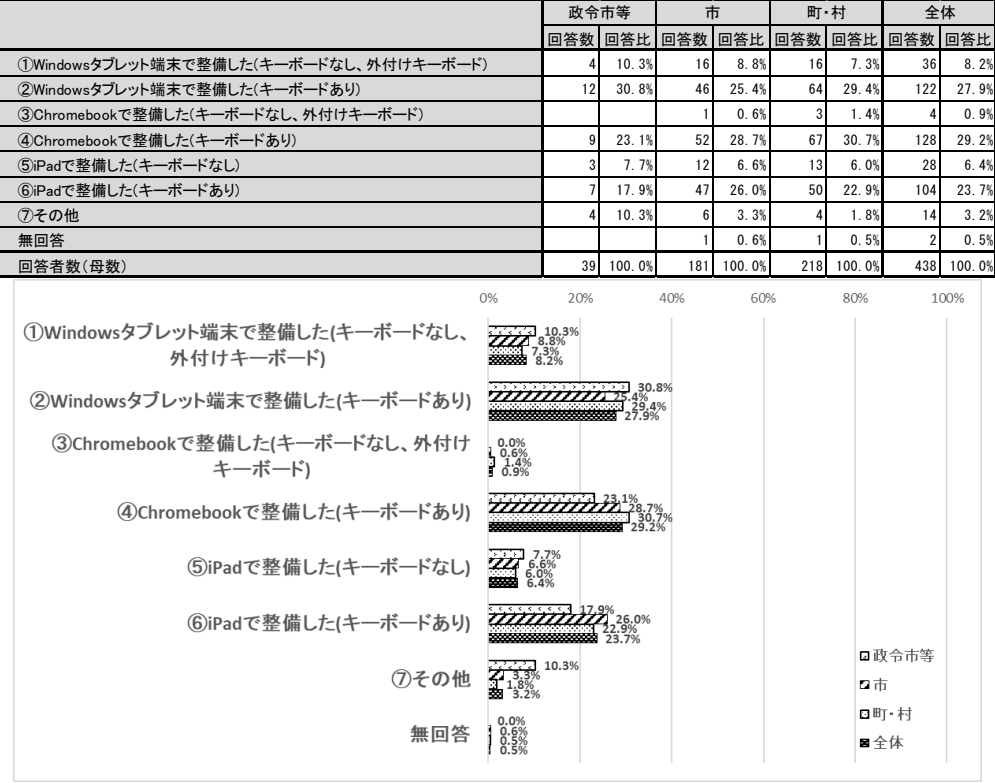
※「②認めていない」が全体で 49.9%とやや多く、「①認めている」は 47.9%と判断が分かれる結果となった。

1-2-15 小学校の教員が授業で使用する(校務用ではない)端末の整備状況について伺います。



※「①全教員1人1台整備している」が全体で43.4%と、半分にも達していない。「②全教員の8割(70%以上～100%未満)程度整備している」が33.3%、「③全教員の5割(40%以上～70%未満)程度整備している」が13.8%となっており、早期の1人1台整備が望まれる。

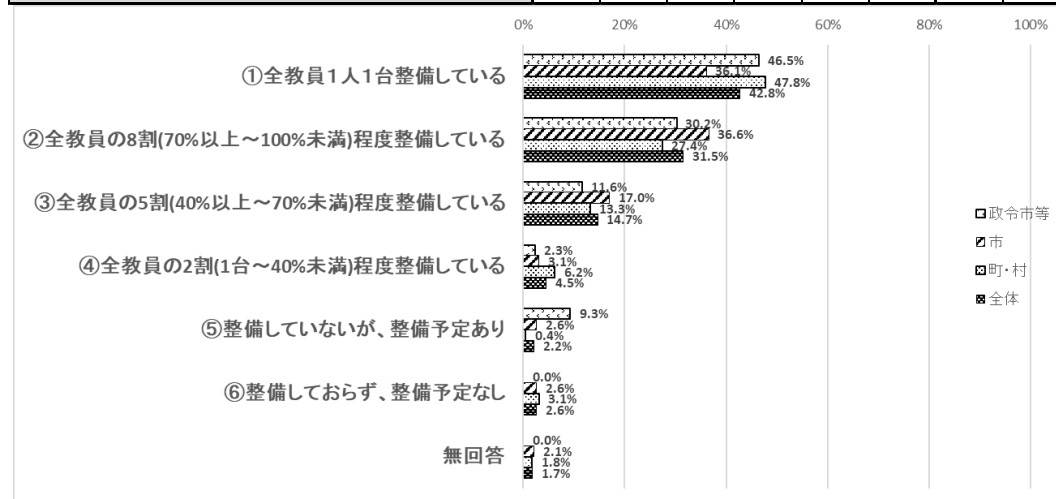
1-2-16 前問で①～④と回答された方に、端末の種類について伺います。



※「④Chromebookで整備した(キーボードあり)」が全体で29.2%と一番多いが、OSの選択で見るとWindowsOSが36.1%と最も多くなっている。

1-2-17 中学校の教員が授業で使用する(校務用ではない)端末の整備状況について伺います。

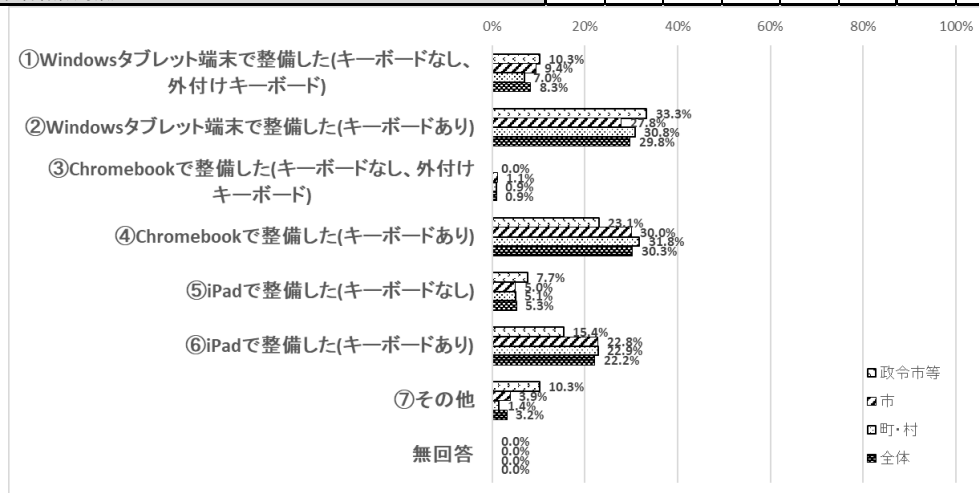
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員1人1台整備している	20	46.5%	70	36.1%	108	47.8%	198	42.8%
②全教員の8割(70%以上～100%未満)程度整備している	13	30.2%	71	36.6%	62	27.4%	146	31.5%
③全教員の5割(40%以上～70%未満)程度整備している	5	11.6%	33	17.0%	30	13.3%	68	14.7%
④全教員の2割(1台～40%未満)程度整備している	1	2.3%	6	3.1%	14	6.2%	21	4.5%
⑤整備していないが、整備予定あり	4	9.3%	5	2.6%	1	0.4%	10	2.2%
⑥整備しておらず、整備予定なし			5	2.6%	7	3.1%	12	2.6%
無回答			4	2.1%	4	1.8%	8	1.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※1-2-15の小学校の教員への設問と同様の傾向で、「①全教員1人1台整備している」は全体で42.8%と一番多いが、半数に届いておらず、早期の整備が望まれる。

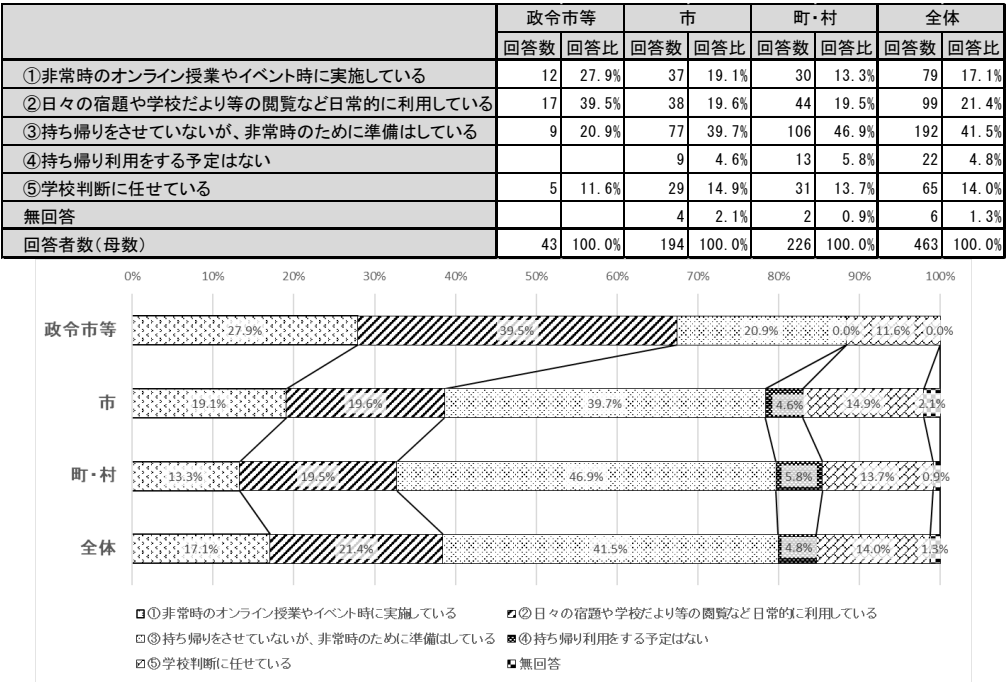
1-2-18 前問で①～④と回答された方に、端末の種類について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット端末で整備した(キーボードなし、外付けキーボード)	4	10.3%	17	9.4%	15	7.0%	36	8.3%
②Windowsタブレット端末で整備した(キーボードあり)	13	33.3%	50	27.8%	66	30.8%	129	29.8%
③Chromebookで整備した(キーボードなし、外付けキーボード)			2	1.1%	2	0.9%	4	0.9%
④Chromebookで整備した(キーボードあり)	9	23.1%	54	30.0%	68	31.8%	131	30.3%
⑤iPadで整備した(キーボードなし)	3	7.7%	9	5.0%	11	5.1%	23	5.3%
⑥iPadで整備した(キーボードあり)	6	15.4%	41	22.8%	49	22.9%	96	22.2%
⑦その他	4	10.3%	7	3.9%	3	1.4%	14	3.2%
無回答								
回答者数(母数)	39	100.0%	180	100.0%	214	100.0%	433	100.0%



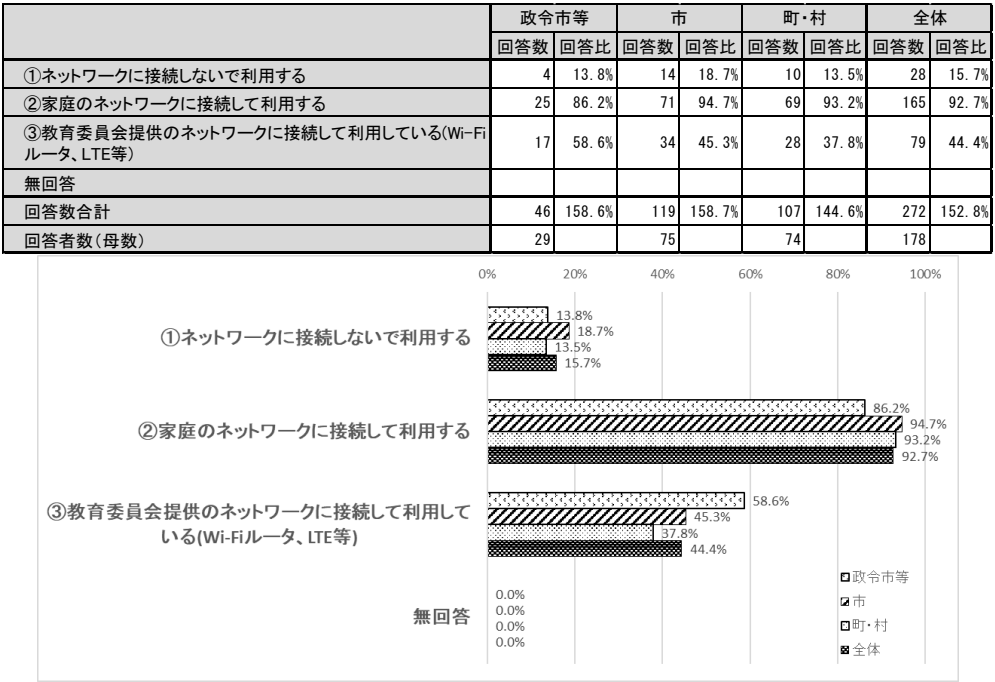
※「④Chromebookで整備した(キーボードあり)」が全体で30.3%と一番多いが、OSの選択で見るとWindowsOSが38.1%と最も多くなっている。

1-2-19 GIGA スクール構想により小学校に整備した1人1台端末の持ち帰り利用について伺います。



※「②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している」が全体で21.4%、「①非常時のオンライン授業やイベント時に実施している」が17.1%となり、①と②の合計38.5%の自治体では持ち帰りを実施している。特に政令市等で「②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している」が39.5%と高くなっている。

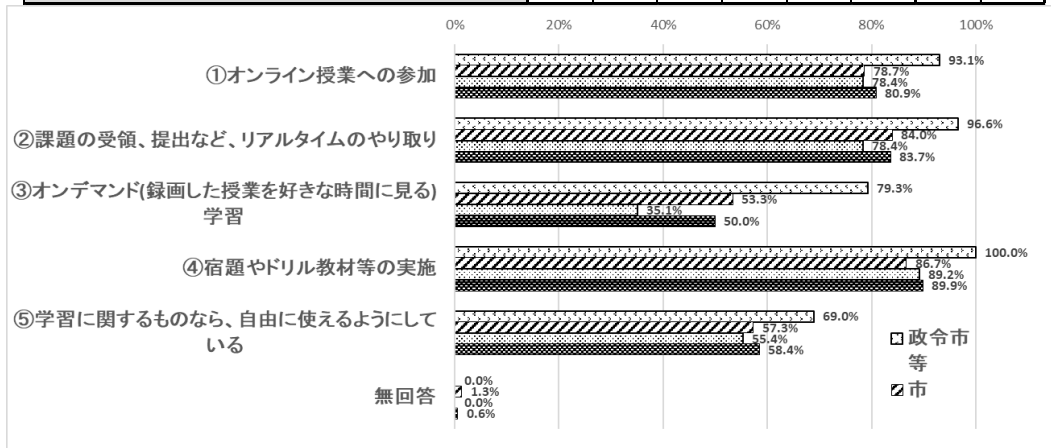
1-2-20 前問で①②と回答された方に伺います。ネットワーク利用について教えてください。(いくつでも)



※「②家庭のネットワークに接続して利用する」が全体で92.7%と最も多くなっており、家庭のネットワーク環境が整っていることが分かる。一方で「③教育委員会提供のネットワークに接続して利用している(Wi-Fiルータ、LTE等)」も全体で44.4%ある。

1-2-21 「1-2-19」で①②と回答された方に伺います。小学校では、家庭においてどのような端末活用が可能となっていますか。(いくつでも)

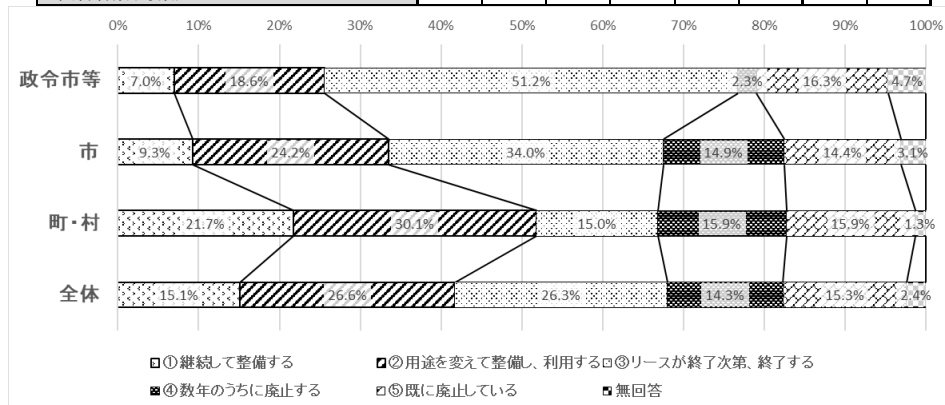
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①オンライン授業への参加	27	93.1%	59	78.7%	58	78.4%	144	80.9%
②課題の受領、提出など、リアルタイムのやり取り	28	96.6%	63	84.0%	58	78.4%	149	83.7%
③オンデマンド(録画した授業を好きな時間に見る)学習	23	79.3%	40	53.3%	26	35.1%	89	50.0%
④宿題やドリル教材等の実施	29	100.0%	65	86.7%	66	89.2%	160	89.9%
⑤学習に関するものなら、自由に使えるようにしている	20	69.0%	43	57.3%	41	55.4%	104	58.4%
無回答			1	1.3%			1	0.6%
回答数合計	127	437.9%	271	361.3%	249	336.5%	647	363.5%
回答者数(母数)	29		75		74		178	



※ 「④宿題やドリル教材等の実施」が全体で 89.9%と最も高く、次いで「②課題の受領、提出など、リアルタイムのやり取り」が 83.7%となっている。また「①オンライン授業への参加」が 80.9%となっており、授業での活用も進んでいることが分かる。

1-2-22 小学校のコンピュータ教室について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①継続して整備する	3	7.0%	18	9.3%	49	21.7%	70	15.1%
②用途を変えて整備し、利用する	8	18.6%	47	24.2%	68	30.1%	123	26.6%
③リースが終了次第、終了する	22	51.2%	66	34.0%	34	15.0%	122	26.3%
④数年のうちに廃止する	1	2.3%	29	14.9%	36	15.9%	66	14.3%
⑤既に廃止している	7	16.3%	28	14.4%	36	15.9%	71	15.3%
無回答	2	4.7%	6	3.1%	3	1.3%	11	2.4%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

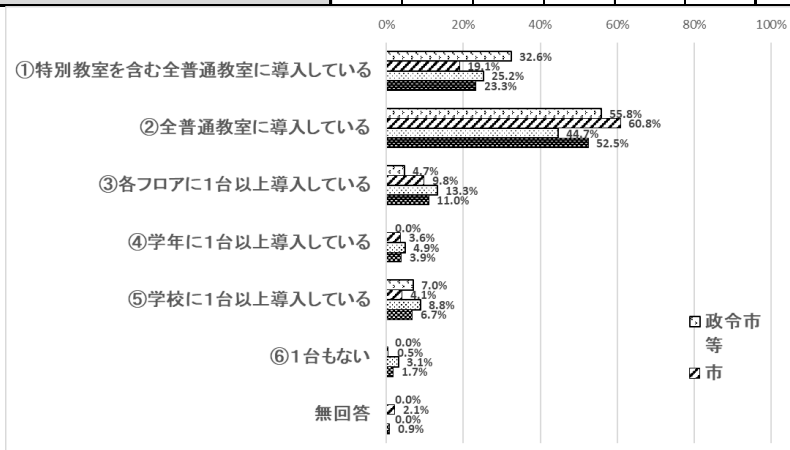


※ 「②用途を変えて整備し、利用する」が全体で 26.6%、「③リースが終了次第、終了する」が 26.3%となっている。「①継続して利用する」は 15.1%しかない。特に、政令市等は 5 割以上が廃止方向だが、町・村は継続整備または用途を変えて整備し、利用するが 5 割を超えており、自治体規模により方針の違いがみられる。

1-2-23 小学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

1-2-23(1) 大型提示装置

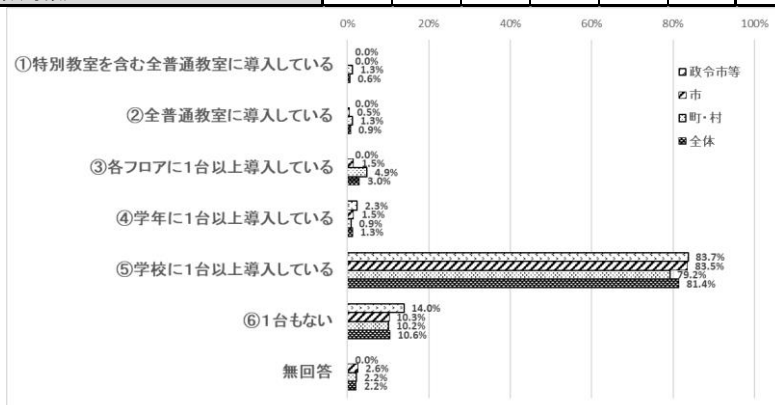
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	14	32.6%	37	19.1%	57	25.2%	108	23.3%
②全普通教室に導入している	24	55.8%	118	60.8%	101	44.7%	243	52.5%
③各フロアに1台以上導入している	2	4.7%	19	9.8%	30	13.3%	51	11.0%
④学年に1台以上導入している			7	3.6%	11	4.9%	18	3.9%
⑤学校に1台以上導入している	3	7.0%	8	4.1%	20	8.8%	31	6.7%
⑥1台もない			1	0.5%	7	3.1%	8	1.7%
無回答			4	2.1%			4	0.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「②全普通教室に導入している」が全体で 52.5%、「①特別教室を含む全普通教室に導入している」が 23.3%と、合わせて 75.8%が普通教室に大型提示装置を導入している。

1-2-23(2) カラープリンタ

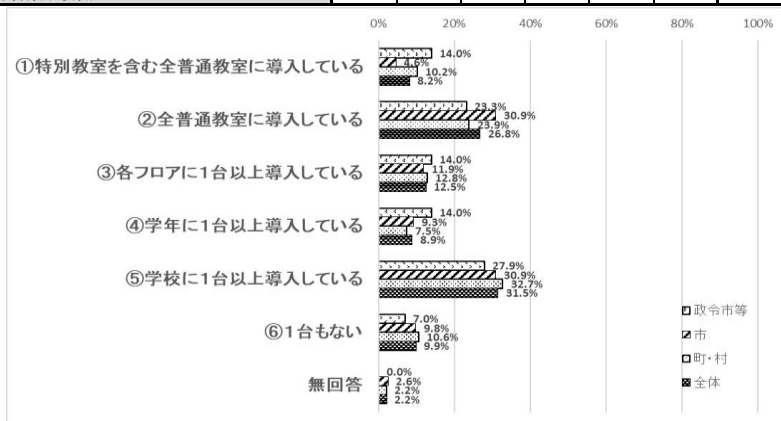
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している					3	1.3%	3	0.6%
②全普通教室に導入している			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
③各フロアに1台以上導入している			3	1.5%	11	4.9%	14	3.0%
④学年に1台以上導入している	1	2.3%	3	1.5%	2	0.9%	6	1.3%
⑤学校に1台以上導入している	36	83.7%	162	83.5%	179	79.2%	377	81.4%
⑥1台もない	6	14.0%	20	10.3%	23	10.2%	49	10.6%
無回答			5	2.6%	5	2.2%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「⑤学校に1台以上導入している」が全体で 81.4%と最も多い。普通教室にはほとんど導入されていない。

1-2-23(3) 実物投影機

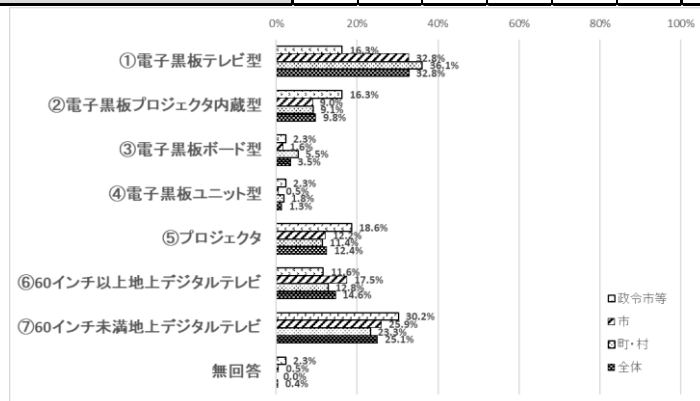
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	6	14.0%	9	4.6%	23	10.2%	38	8.2%
②全普通教室に導入している	10	23.3%	60	30.9%	54	23.9%	124	26.8%
③各フロアに1台以上導入している	6	14.0%	23	11.9%	29	12.8%	58	12.5%
④学年に1台以上導入している	6	14.0%	18	9.3%	17	7.5%	41	8.9%
⑤学校に1台以上導入している	12	27.9%	60	30.9%	74	32.7%	146	31.5%
⑥1台もない	3	7.0%	19	9.8%	24	10.6%	46	9.9%
無回答			5	2.6%	5	2.2%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「⑤学校に1台以上導入している」が全体で31.5%と最も多い。「②全普通教室に導入している」の26.8%、「①特別教室を含む全普通教室に導入している」の8.2%を合わせて35.0%が全普通教室に整備されているが、普通教室へのさらなる普及が望まれる。

1-2-24 「1-2-23(1)」で答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

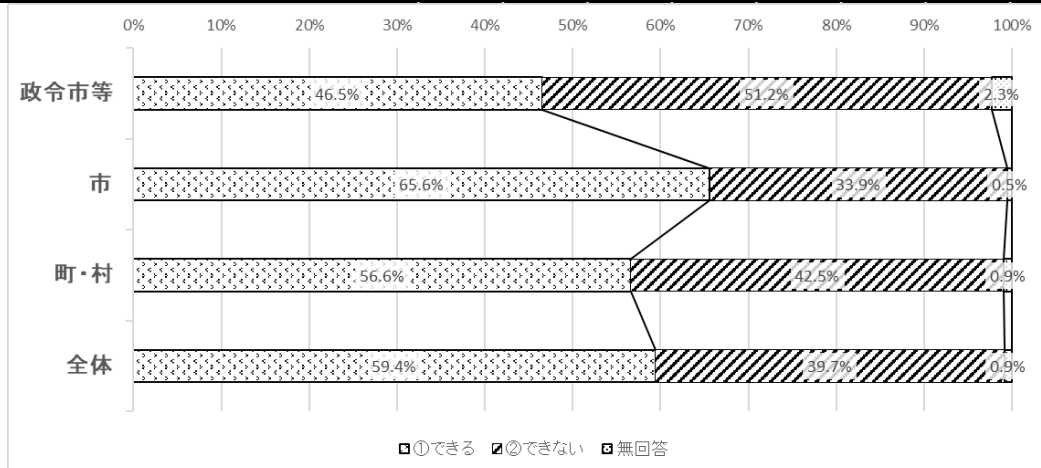
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	7	16.3%	62	32.8%	79	36.1%	148	32.8%
②電子黒板プロジェタ内蔵型	7	16.3%	17	9.0%	20	9.1%	44	9.8%
③電子黒板ボード型	1	2.3%	3	1.6%	12	5.5%	16	3.5%
④電子黒板ユニット型	1	2.3%	1	0.5%	4	1.8%	6	1.3%
⑤プロジェクタ	8	18.6%	23	12.2%	25	11.4%	56	12.4%
⑥60インチ以上地上デジタルテレビ	5	11.6%	33	17.5%	28	12.8%	66	14.6%
⑦60インチ未満地上デジタルテレビ	13	30.2%	49	25.9%	51	23.3%	113	25.1%
無回答	1	2.3%	1	0.5%			2	0.4%
回答者数(母数)	43	100.0%	189	100.0%	219	100.0%	451	100.0%



※「①電子黒板テレビ型」が全体で32.8%と最も多く、「⑦60インチ未満地上デジタルテレビ」が25.1%、「⑥60インチ以上地上デジタルテレビ」が14.6%と続く。全体ではプロジェクタ型よりテレビ型が多くなっている。

1-2-25 「1-2-23(1)」でお答えいただいた大型提示装置は、端末を無線で接続できますか。

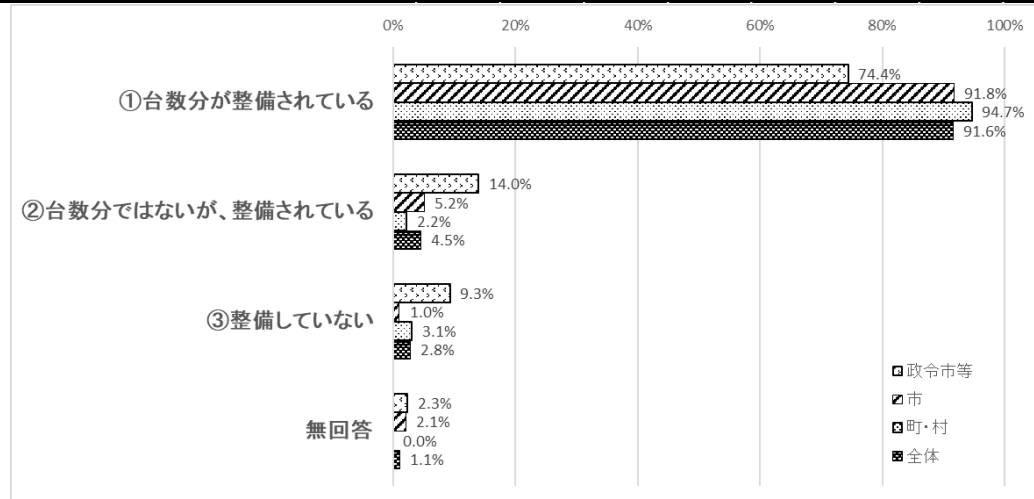
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①できる	20	46.5%	124	65.6%	124	56.6%	268	59.4%
②できない	22	51.2%	64	33.9%	93	42.5%	179	39.7%
無回答	1	2.3%	1	0.5%	2	0.9%	4	0.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	189	100.0%	219	100.0%	451	100.0%



※「①できる」が全体で 59.4%となっており、端末の無線接続での利用が進んでいる。

1-2-26 小学校に整備した充電保管庫は、1人1台の端末台数分を整備していますか。

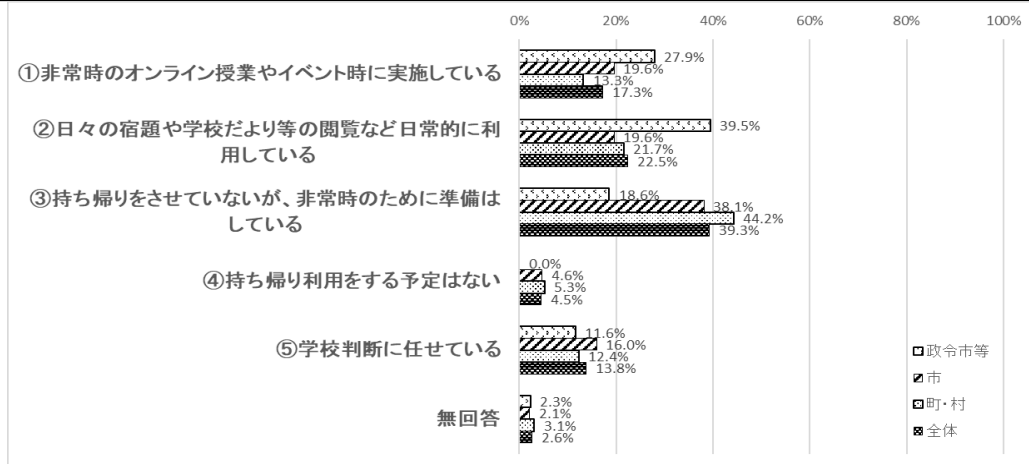
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①台数分が整備されている	32	74.4%	178	91.8%	214	94.7%	424	91.6%
②台数分ではないが、整備されている	6	14.0%	10	5.2%	5	2.2%	21	4.5%
③整備していない	4	9.3%	2	1.0%	7	3.1%	13	2.8%
無回答	1	2.3%	4	2.1%			5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①台数分が整備されている」が全体で 91.6%となり、ほとんどが GIGA スクール構想の整備方針通りの整備がされている。政令市等では「②台数分ではないが、整備されている」が 14.0%、「③整備していない」が 9.3%もある。

1-2-27 GIGA スクール構想により中学校に整備した1人1台端末の持ち帰り利用について伺います。

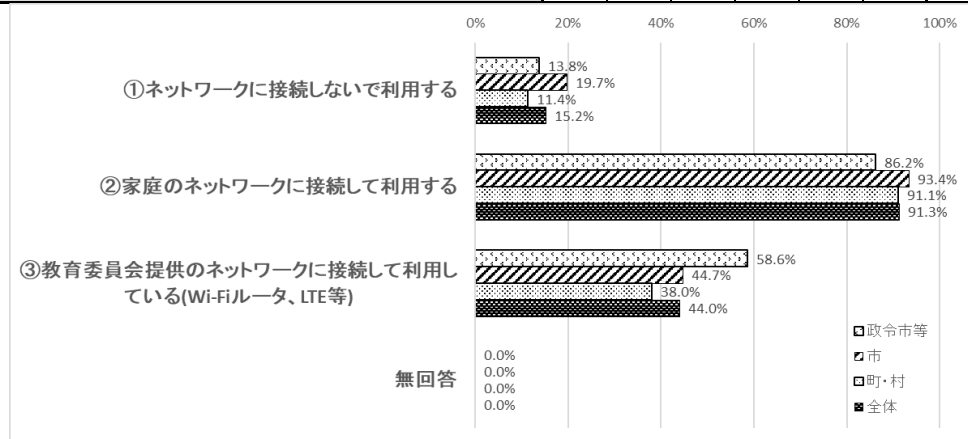
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①非常時のオンライン授業やイベント時に実施している	12	27.9%	38	19.6%	30	13.3%	80	17.3%
②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している	17	39.5%	38	19.6%	49	21.7%	104	22.5%
③持ち帰りをさせていないが、非常時のために準備はしている	8	18.6%	74	38.1%	100	44.2%	182	39.3%
④持ち帰り利用をする予定はない			9	4.6%	12	5.3%	21	4.5%
⑤学校判断に任せている	5	11.6%	31	16.0%	28	12.4%	64	13.8%
無回答	1	2.3%	4	2.1%	7	3.1%	12	2.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している」が全体で22.5%、「①非常時のオンライン授業やイベント時に実施している」が17.3%となり、①と②の合計39.8%の自治体では持ち帰りを実施している。特に政令市等は「②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している」が市、町・村に比べ39.5%と高くなっている。

1-2-28 前問で①②と回答された方に伺います。ネットワーク利用について教えてください。(いくつでも)

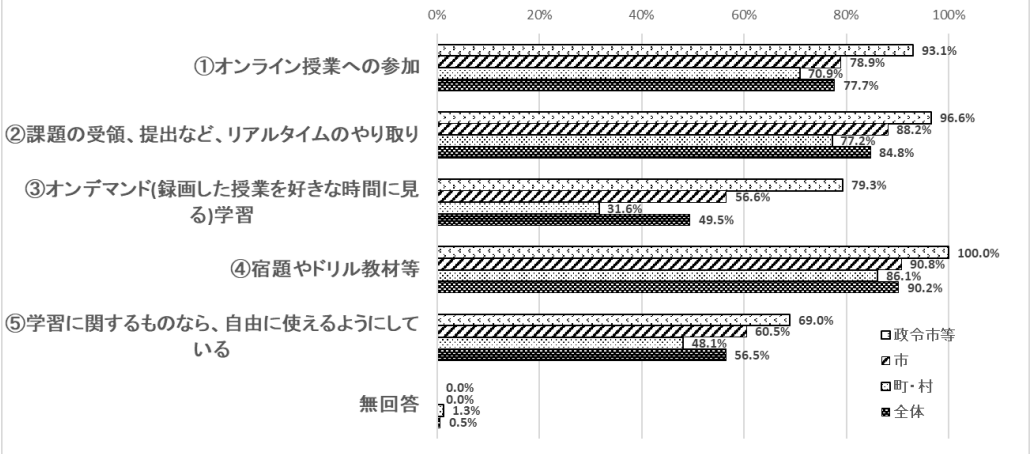
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワークに接続しないで利用する	4	13.8%	15	19.7%	9	11.4%	28	15.2%
②家庭のネットワークに接続して利用する	25	86.2%	71	93.4%	72	91.1%	168	91.3%
③教育委員会提供のネットワークに接続して利用している(Wi-Fiルータ、LTE等)	17	58.6%	34	44.7%	30	38.0%	81	44.0%
無回答								
回答数合計	46	158.6%	120	157.9%	111	140.5%	277	150.5%
回答者数(母数)	29		76		79		184	



※「②家庭のネットワークに接続して利用する」が全体で91.3%、「③教育委員会提供のネットワークに接続して利用している(Wi-Fiルータ、LTE等)」が44.0%である。

1-2-29 「1-2-27」で①②と回答された方に伺います。中学校では、家庭においてどのような端末活用が可能となっていますか。(いくつでも)

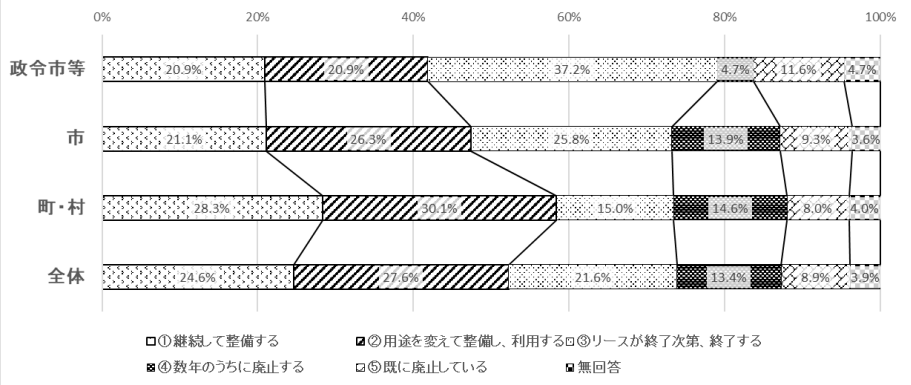
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①オンライン授業への参加	27	93.1%	60	78.9%	56	70.9%	143	77.7%
②課題の受領、提出など、リアルタイムのやり取り	28	96.6%	67	88.2%	61	77.2%	156	84.8%
③オンデマンド(録画した授業を好きな時間に見る)学習	23	79.3%	43	56.6%	25	31.6%	91	49.5%
④宿題やドリル教材等	29	100.0%	69	90.8%	68	86.1%	166	90.2%
⑤学習に関するものなら、自由に使えるようにしている	20	69.0%	46	60.5%	38	48.1%	104	56.5%
無回答					1	1.3%	1	0.5%
回答数合計	127	437.9%	285	375.0%	249	315.2%	661	359.2%
回答者数(母数)	29		76		79		184	



※「④宿題やドリル教材等の実施」が全体で 90.2%と最も高く、次いで「②課題の受領、提出など、リアルタイムのやり取り」が 84.8%、「①オンライン授業への参加」も 77.7%となっている。政令市等では「⑤学習に関するものなら、自由に使えるようにしている」も 69.0%となっている。

1-2-30 中学校のコンピュータ教室について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①継続して整備する	9	20.9%	41	21.1%	64	28.3%	114	24.6%
②用途を変えて整備し、利用する	9	20.9%	51	26.3%	68	30.1%	128	27.6%
③リースが終了次第、終了する	16	37.2%	50	25.8%	34	15.0%	100	21.6%
④数年のうちに廃止する	2	4.7%	27	13.9%	33	14.6%	62	13.4%
⑤既に廃止している	5	11.6%	18	9.3%	18	8.0%	41	8.9%
無回答	2	4.7%	7	3.6%	9	4.0%	18	3.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

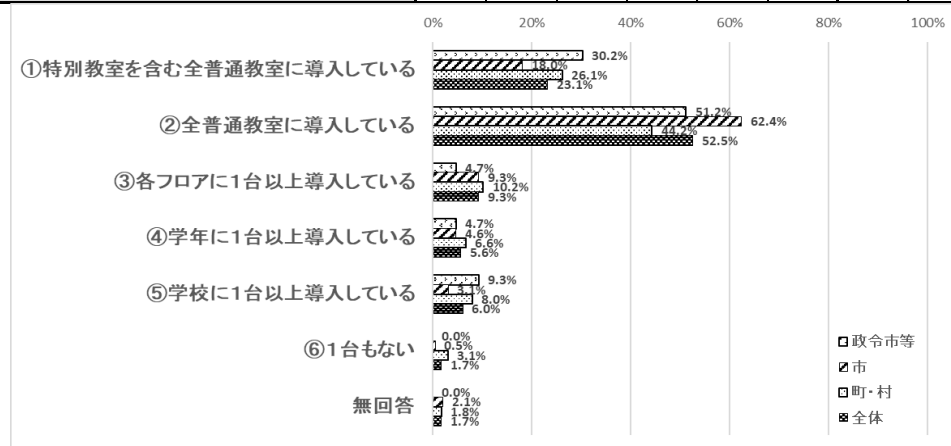


※中学校では、「①継続して整備する」と「②用途を変えて整備し、利用する」を足すと全体で 52.2%となっており、小学校(41.7%)との違いがあることが分かる。

1-2-31 中学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

1-2-31(1) 大型提示装置

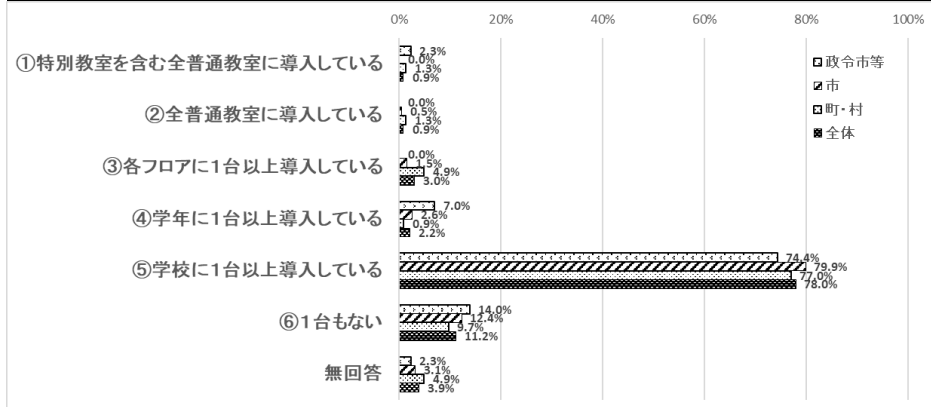
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	13	30.2%	35	18.0%	59	26.1%	107	23.1%
②全普通教室に導入している	22	51.2%	121	62.4%	100	44.2%	243	52.5%
③各フロアに1台以上導入している	2	4.7%	18	9.3%	23	10.2%	43	9.3%
④学年に1台以上導入している	2	4.7%	9	4.6%	15	6.6%	26	5.6%
⑤学校に1台以上導入している	4	9.3%	6	3.1%	18	8.0%	28	6.0%
⑥1台もない			1	0.5%	7	3.1%	8	1.7%
無回答			4	2.1%	4	1.8%	8	1.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「②全普通教室に導入している」が全体で 52.5%、「①特別教室を含む全普通教室に導入している」が 23.1%と、合わせて 75.6%が普通教室に大型提示装置を導入している。小学校 (75.8%) とほぼ同じ数値となっている。

1-2-31(2) カラープリンタ

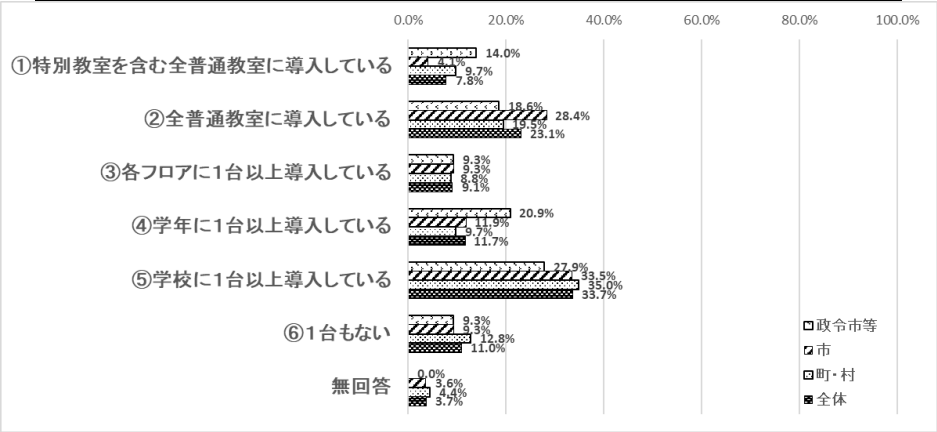
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	1	2.3%			3	1.3%	4	0.9%
②全普通教室に導入している			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
③各フロアに1台以上導入している			3	1.5%	11	4.9%	14	3.0%
④学年に1台以上導入している	3	7.0%	5	2.6%	2	0.9%	10	2.2%
⑤学校に1台以上導入している	32	74.4%	155	79.9%	174	77.0%	361	78.0%
⑥1台もない	6	14.0%	24	12.4%	22	9.7%	52	11.2%
無回答	1	2.3%	6	3.1%	11	4.9%	18	3.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「⑤学校に1台以上導入している」が全体で 78.0%と最も多い。「⑥1台もない」が 11.2%もあり、学校への普及が望まれる。

1-2-31(3) 実物投影機

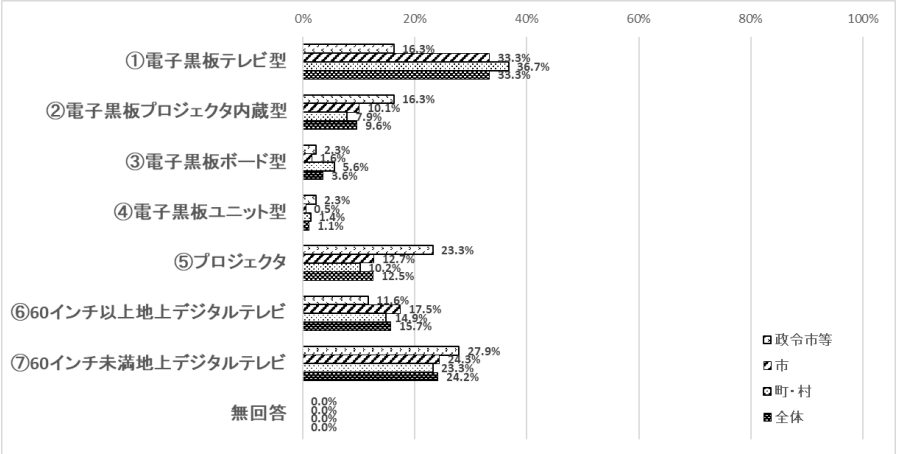
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	6	14.0%	8	4.1%	22	9.7%	36	7.8%
②全普通教室に導入している	8	18.6%	55	28.4%	44	19.5%	107	23.1%
③各フロアに1台以上導入している	4	9.3%	18	9.3%	20	8.8%	42	9.1%
④学年に1台以上導入している	9	20.9%	23	11.9%	22	9.7%	54	11.7%
⑤学校に1台以上導入している	12	27.9%	65	33.5%	79	35.0%	156	33.7%
⑥1台もない	4	9.3%	18	9.3%	29	12.8%	51	11.0%
無回答			7	3.6%	10	4.4%	17	3.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「⑤学校に1台以上導入している」が全体で33.7%と最も多い。「②全普通教室に導入している」の23.1%、「①特別教室を含む全普通教室に導入している」の7.8%を合わせて30.9%が全普通教室に整備している。

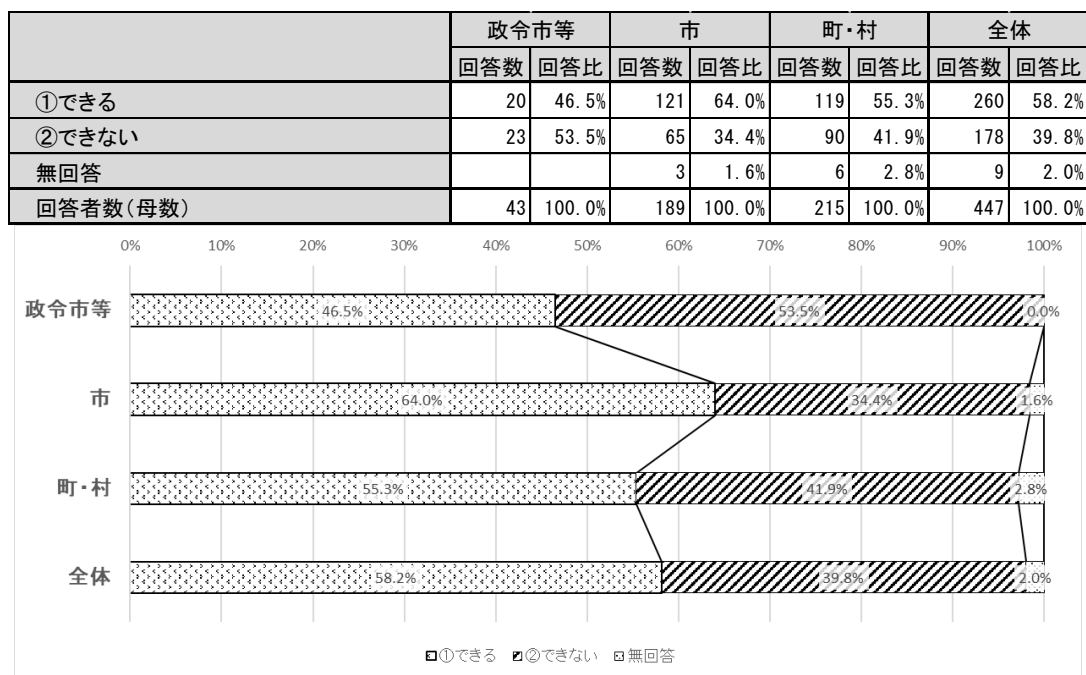
1-2-32 「1-2-31(1)」で答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	7	16.3%	63	33.3%	79	36.7%	149	33.3%
②電子黒板プロジェクト内蔵型	7	16.3%	19	10.1%	17	7.9%	43	9.6%
③電子黒板ボード型	1	2.3%	3	1.6%	12	5.6%	16	3.6%
④電子黒板ユニット型	1	2.3%	1	0.5%	3	1.4%	5	1.1%
⑤プロジェクタ	10	23.3%	24	12.7%	22	10.2%	56	12.5%
⑥60インチ以上地上デジタルテレビ	5	11.6%	33	17.5%	32	14.9%	70	15.7%
⑦60インチ未満地上デジタルテレビ	12	27.9%	46	24.3%	50	23.3%	108	24.2%
無回答								
回答者数(母数)	43	100.0%	189	100.0%	215	100.0%	447	100.0%



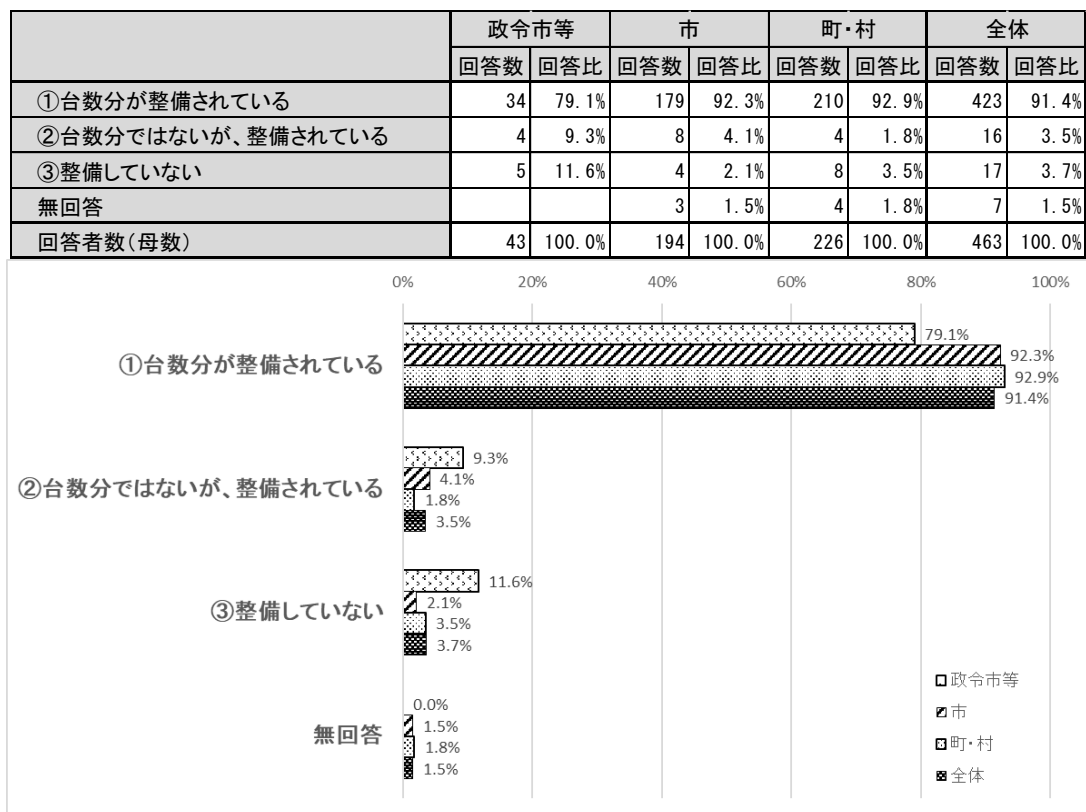
※「①電子黒板テレビ型」が全体で33.3%と最も多く、「⑦60インチ未満地上デジタルテレビ」が24.2%、「⑥60インチ以上地上デジタルテレビ」が15.7%と続く。全体ではプロジェクタ型よりテレビ型が多くなっている。

1-2-33 「1-2-31(1)」でお答えいただいた大型提示装置は、端末を無線で接続できますか。



※「①できる」が全体で 58.2%と多く、端末の無線接続での利用が進んでいる。

1-2-34 中学校に整備した充電保管庫は、1人1台の端末台数分を整備していますか。

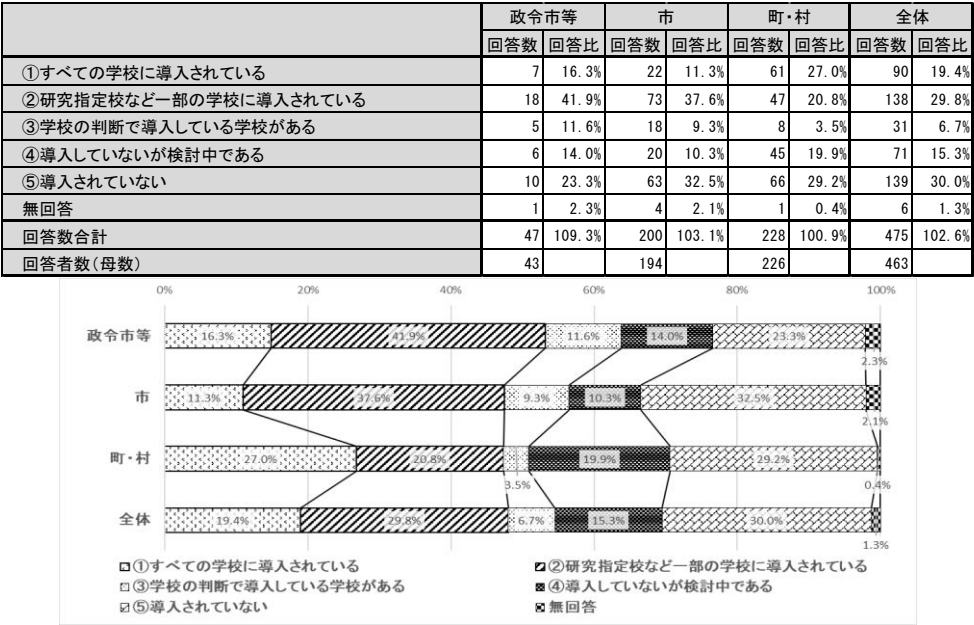


※「①台数分が整備されている」が全体で 91.4%となり、ほとんどが GIGA スクール構想の整備方針通りの整備がされているが、特に政令市等では「②台数分ではないが、整備されている」が 9.3%、「③整備していない」が 11.6%もある。

1-3 ソフトウェアに関する項目

1-3-01 学習者用デジタル教科書の導入について伺います。

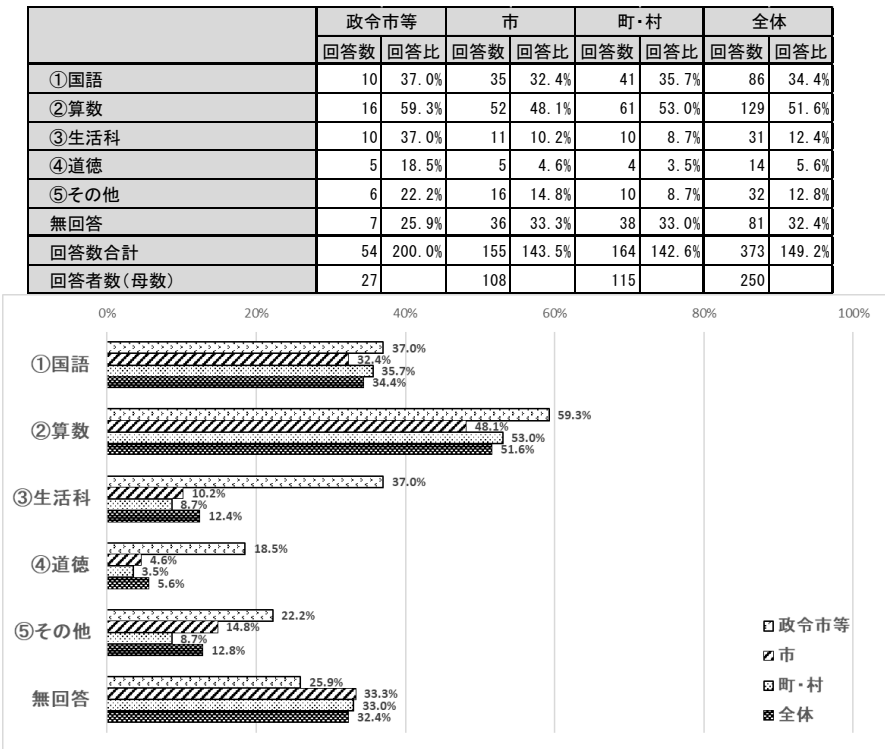
1-3-01(1) 学習者用デジタル教科書は小学校に導入されていますか。(いくつでも)



※「①すべての学校に導入されている」「②研究指定校など一部の学校に導入されている」「③学校の判断で導入している学校がある」を合わせると、政令市等では 69.8%、市では 58.2%、町・村では 51.3%となっている。

1-3-01(2) 前問で①～③と回答された方に伺います。導入されている教科は何ですか。

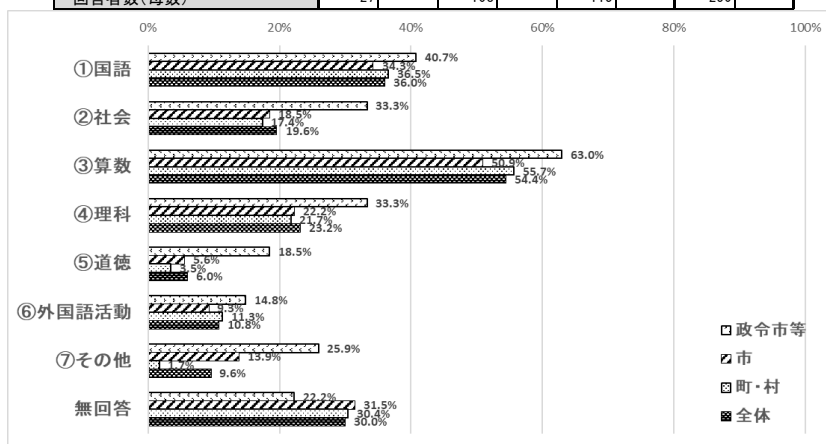
1-3-01(2.1) 低学年(いくつでも)



※「②算数」が最も多く、全体で 51.6%となっている。次いで「①国語」が全体で 34.4%となっている。「③生活科」は、政令市等で 37.0%となっている。

1-3-01(2.2) 中学年(いくつでも)

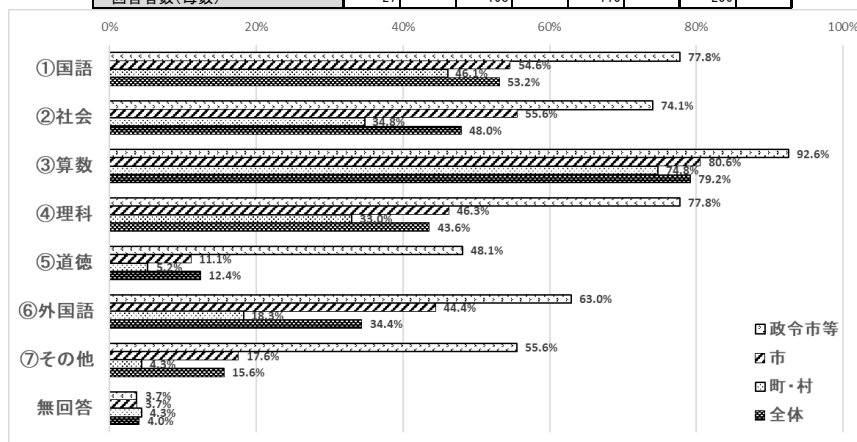
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	11	40.7%	37	34.3%	42	36.5%	90	36.0%
②社会	9	33.3%	20	18.5%	20	17.4%	49	19.6%
③算数	17	63.0%	55	50.9%	64	55.7%	136	54.4%
④理科	9	33.3%	24	22.2%	25	21.7%	58	23.2%
⑤道德	5	18.5%	6	5.6%	4	3.5%	15	6.0%
⑥外国語活動	4	14.8%	10	9.3%	13	11.3%	27	10.8%
⑦その他	7	25.9%	15	13.9%	2	1.7%	24	9.6%
無回答	6	22.2%	34	31.5%	35	30.4%	75	30.0%
回答数合計	68	251.9%	201	186.1%	205	178.3%	474	189.6%
回答者数(母数)	27		108		115		250	



※「③算数」が最も多く、全体で 54.4%となっている。次いで「①国語」が全体で 36.0%、「④理科」が全体で 23.2%となっている。

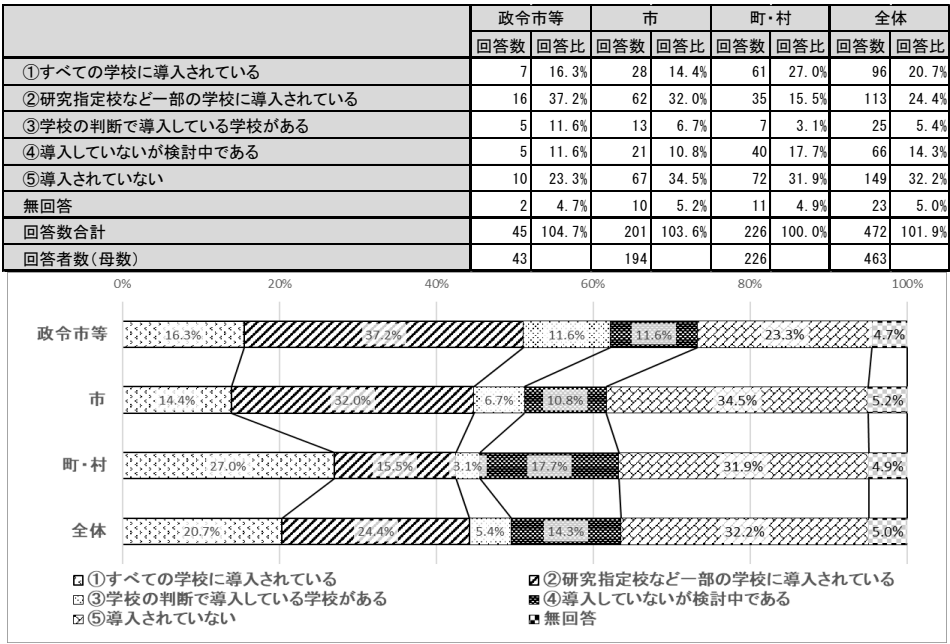
1-3-01(2.3) 高学年(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	21	77.8%	59	54.6%	53	46.1%	133	53.2%
②社会	20	74.1%	60	55.6%	40	34.8%	120	48.0%
③算数	25	92.6%	87	80.6%	86	74.8%	198	79.2%
④理科	21	77.8%	50	46.3%	38	33.0%	109	43.6%
⑤道德	13	48.1%	12	11.1%	6	5.2%	31	12.4%
⑥外国語	17	63.0%	48	44.4%	21	18.3%	86	34.4%
⑦その他	15	55.6%	19	17.6%	5	4.3%	39	15.6%
無回答	1	3.7%	4	3.7%	5	4.3%	10	4.0%
回答数合計	133	492.6%	339	313.9%	254	220.9%	726	290.4%
回答者数(母数)	27		108		115		250	



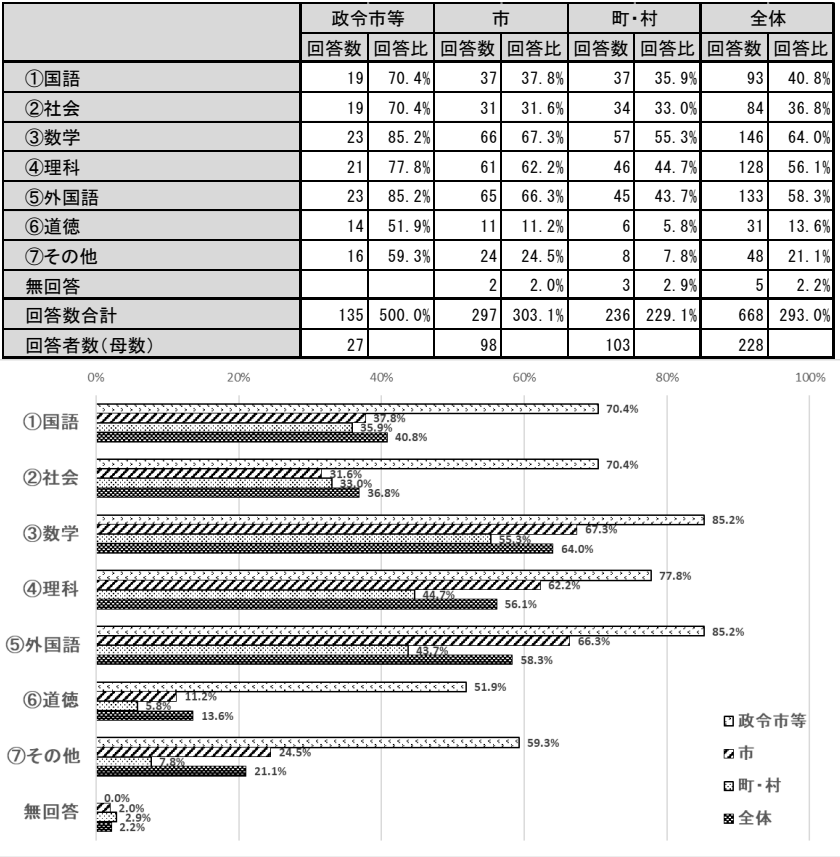
※「③算数」が最も多く、全体で 79.2%となっており、低学年・中学年と比較しても際立っている。次いで「①国語」が全体で 53.2%、「②社会」が全体で 48.0%、「④理科」が全体で 43.6%と拮抗しており、高学年は複数教科導入していることがうかがえる。特に政令市等では、4教科が 70%を超えている。

1-3-01(3) 学習者用デジタル教科書は中学校に導入されていますか。(いくつでも)



※「①すべての学校に導入されている」「②研究指定校など一部の学校に導入されている」「③学校の判断で導入している学校がある」を合わせると、政令市等では 65.1%、市では 53.1%、町・村では 45.6%となっている。

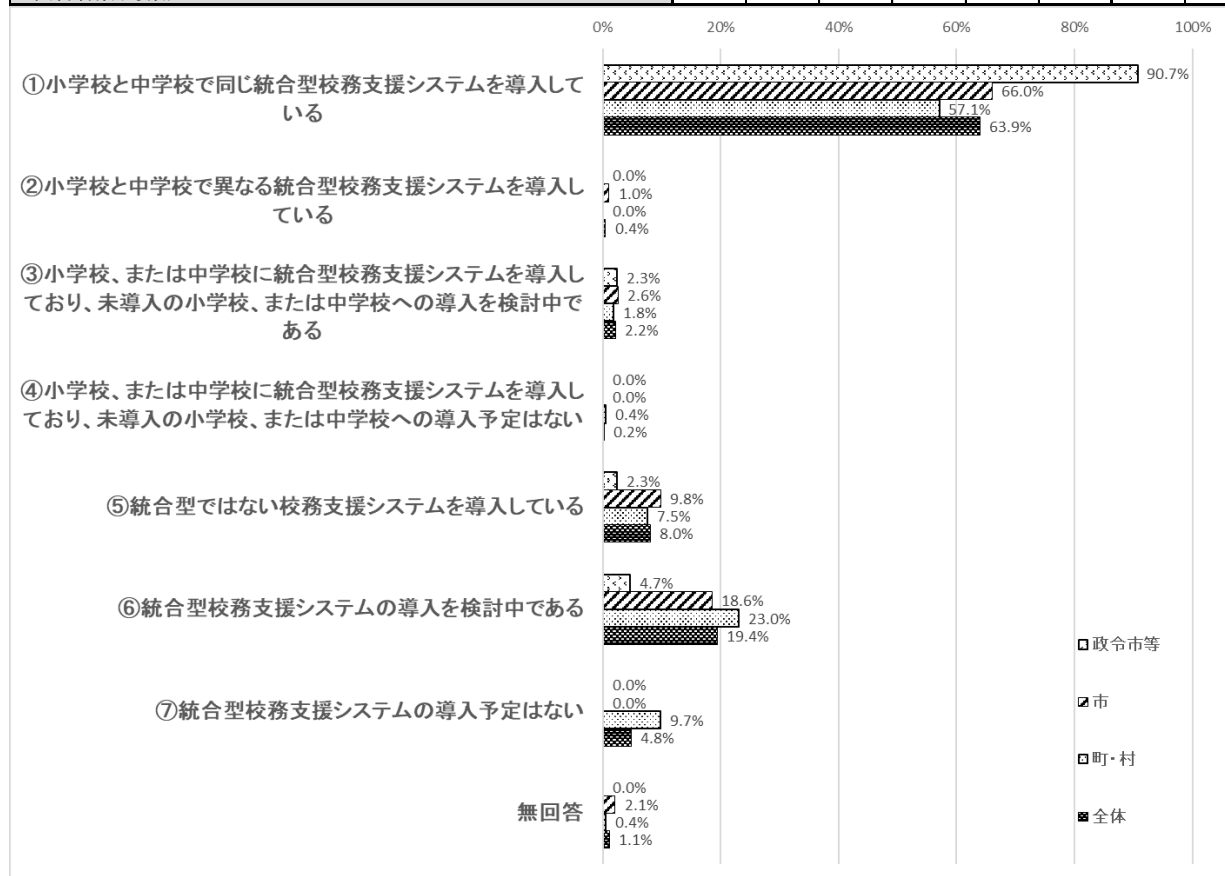
1-3-01(4) 前問で①～③と回答された方に伺います。導入されている教科は何ですか。(いくつでも)



※「③数学」が最も多く、全体で 64.0%となっている。次いで「⑤外国語」が全体で 58.3%、「④理科」が全体で 56.1%となっており、中学校も複数教科導入していることがうかがえる。特に政令市等では、「③数学」「⑤外国語」が 85.2%となっている。

1-3-02 統合型校務支援システム導入について伺います。

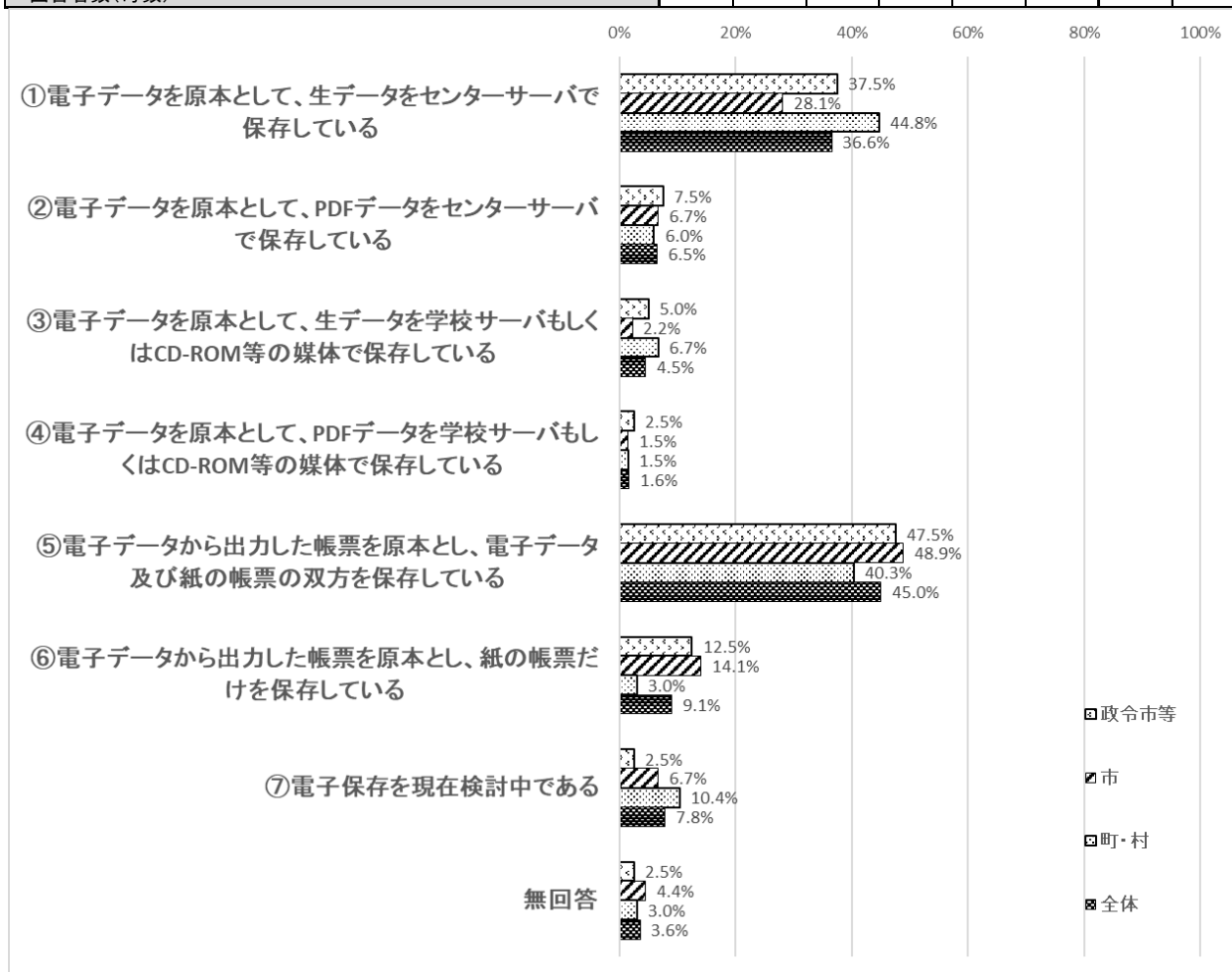
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①小学校と中学校で同じ統合型校務支援システムを導入している	39	90.7%	128	66.0%	129	57.1%	296	63.9%
②小学校と中学校で異なる統合型校務支援システムを導入している			2	1.0%			2	0.4%
③小学校、または中学校に統合型校務支援システムを導入しており、未導入の小学校、または中学校への導入を検討中である	1	2.3%	5	2.6%	4	1.8%	10	2.2%
④小学校、または中学校に統合型校務支援システムを導入しており、未導入の小学校、または中学校への導入予定はない					1	0.4%	1	0.2%
⑤統合型ではない校務支援システムを導入している	1	2.3%	19	9.8%	17	7.5%	37	8.0%
⑥統合型校務支援システムの導入を検討中である	2	4.7%	36	18.6%	52	23.0%	90	19.4%
⑦統合型校務支援システムの導入予定はない					22	9.7%	22	4.8%
無回答			4	2.1%	1	0.4%	5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※自治体規模により大きな差が出ている。「①小学校と中学校で同じ統合型校務支援システムを導入している」は、政令市等で90.7%、市で66.0%、町・村で57.1%となっており、前回調査と比較すると全体で(41.1%→63.9%)と増加している。「⑦統合型校務支援システムの導入予定はない」は、前々回・前回調査と比較すると全体で(28.0%→8.1%→4.8%)と減少している。

1-3-03 前問で①～④と回答された方に伺います。指導要録などを電子保存していますか。(いくつでも)

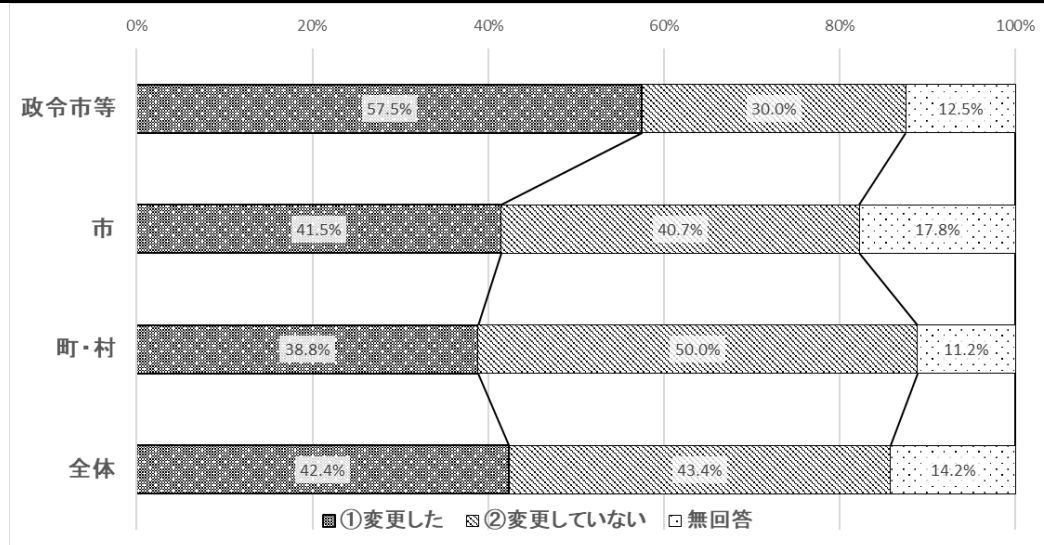
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子データを原本として、生データをセンターサーバで保存している	15	37.5%	38	28.1%	60	44.8%	113	36.6%
②電子データを原本として、PDFデータをセンターサーバで保存している	3	7.5%	9	6.7%	8	6.0%	20	6.5%
③電子データを原本として、生データを学校サーバもしくはCD-ROM等の媒体で保存している	2	5.0%	3	2.2%	9	6.7%	14	4.5%
④電子データを原本として、PDFデータを学校サーバもしくはCD-ROM等の媒体で保存している	1	2.5%	2	1.5%	2	1.5%	5	1.6%
⑤電子データから出力した帳票を原本とし、電子データ及び紙の帳票の双方を保存している	19	47.5%	66	48.9%	54	40.3%	139	45.0%
⑥電子データから出力した帳票を原本とし、紙の帳票だけを保存している	5	12.5%	19	14.1%	4	3.0%	28	9.1%
⑦電子保存を現在検討中である	1	2.5%	9	6.7%	14	10.4%	24	7.8%
無回答	1	2.5%	6	4.4%	4	3.0%	11	3.6%
回答数合計	47	117.5%	152	112.6%	155	115.7%	354	114.6%
回答者数(母数)	40		135		134		309	



※「①②③④電子データを原本としている」自治体は全体で 49.2%、「⑤⑥電子データから出力した帳票を原本としている」自治体は全体で 54.1%となっており、電子保存が進んでいる。

1-3-04 「1-3-02」で①～④と回答された方に伺います。統合型校務支援システムを導入するにあたり、これまでの校務のルールを変更しましたか。

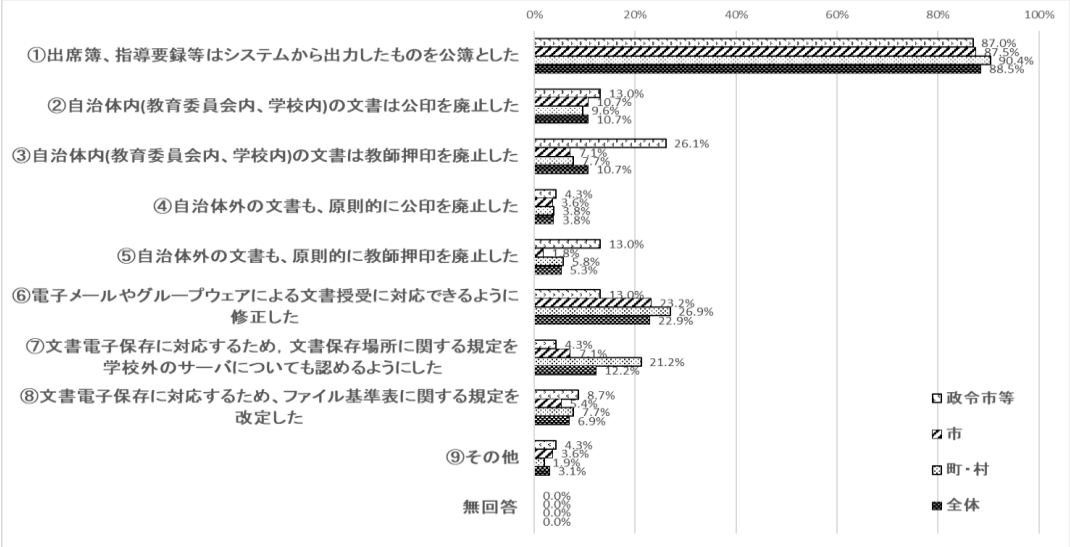
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①変更した	23	57.5%	56	41.5%	52	38.8%	131	42.4%
②変更していない	12	30.0%	55	40.7%	67	50.0%	134	43.4%
無回答	5	12.5%	24	17.8%	15	11.2%	44	14.2%
回答者数(母数)	40	100.0%	135	100.0%	134	100.0%	309	100.0%



※政令市等では「①変更した」57.5%が「②変更していない」30.0%より多くなっているが、市では「①変更した」41.5%「②変更していない」40.7%とほぼ均等、町・村では「①変更した」38.8%より「②変更していない」50.0%が多くなっており、自治体規模により差が出ている。より効率よく校務を進めるためには、校務のルールを見直すことが望ましいと思われる。

1-3-05 前問で①と回答された方に伺います。変更した具体的な内容はどのようなものですか。(いくつでも)

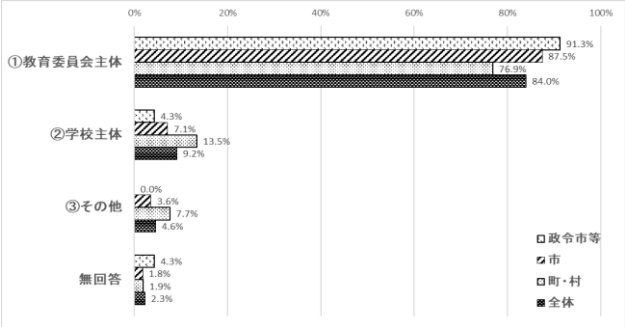
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした	20	87.0%	49	87.5%	47	90.4%	116	88.5%
②自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は公印を廃止した	3	13.0%	6	10.7%	5	9.6%	14	10.7%
③自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は教師押印を廃止した	6	26.1%	4	7.1%	4	7.7%	14	10.7%
④自治体外の文書も、原則的に公印を廃止した	1	4.3%	2	3.6%	2	3.8%	5	3.8%
⑤自治体外の文書も、原則的に教師押印を廃止した	3	13.0%	1	1.8%	3	5.8%	7	5.3%
⑥電子メールやグループウェアによる文書授受に対応できるように修正した	3	13.0%	13	23.2%	14	26.9%	30	22.9%
⑦文書電子保存に対応するため、文書保存場所に関する規定を学校外のサーバについても認めるようにした	1	4.3%	4	7.1%	11	21.2%	16	12.2%
⑧文書電子保存に対応するため、ファイル基準表に関する規定を改定した	2	8.7%	3	5.4%	4	7.7%	9	6.9%
⑨その他	1	4.3%	2	3.6%	1	1.9%	4	3.1%
無回答								
回答数合計	40	173.9%	84	150.0%	91	175.0%	215	164.1%
回答者数(母数)	23		56		52		131	



※「①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした」が、自治体規模に差異なく、全体で 88.5% となっている。

1-3-06 「1-3-04」で①と回答された方に伺います。誰が主体となってルールを変更しましたか。

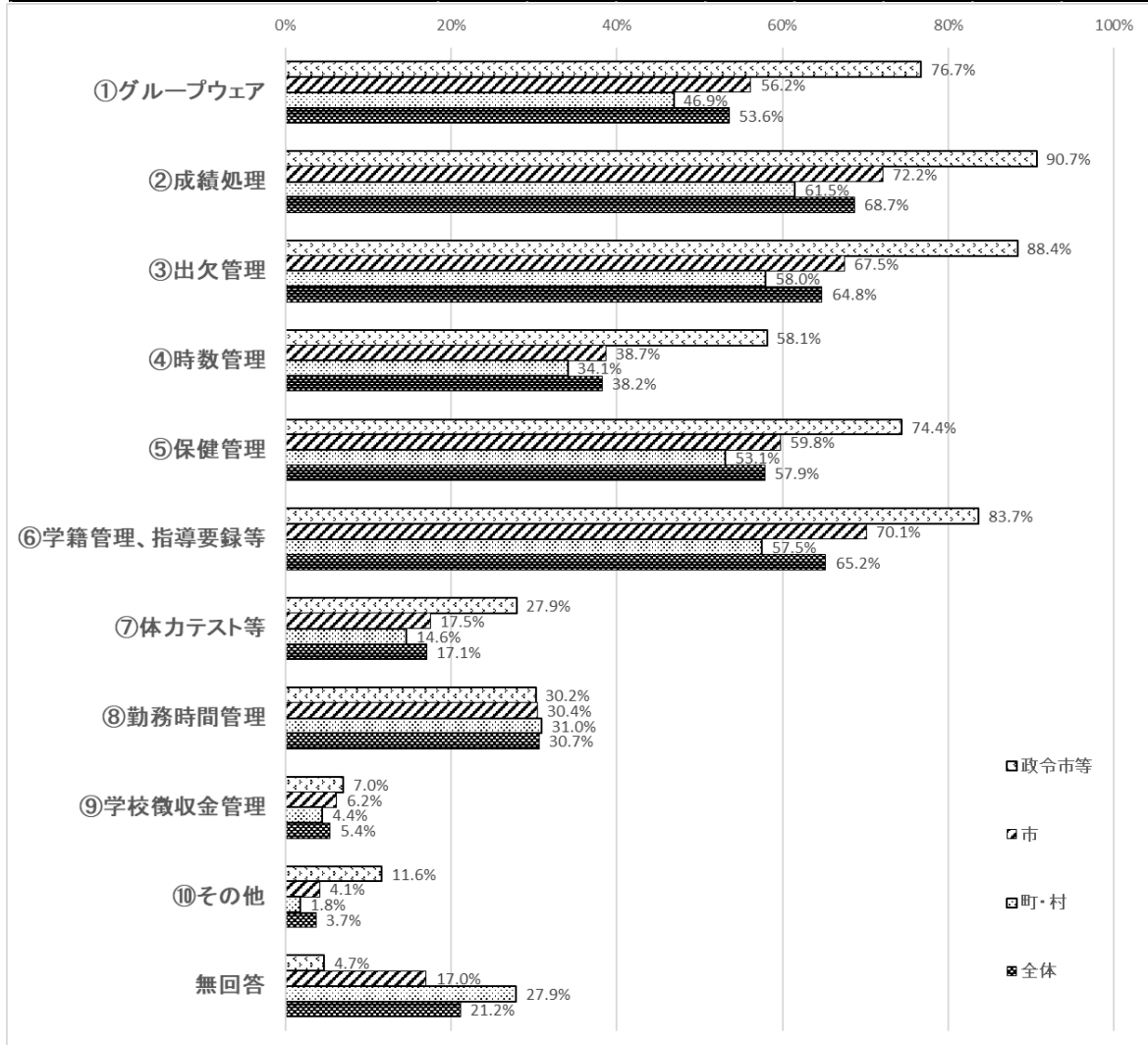
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会主体	21	91.3%	49	87.5%	40	76.9%	110	84.0%
②学校主体	1	4.3%	4	7.1%	7	13.5%	12	9.2%
③その他			2	3.6%	4	7.7%	6	4.6%
無回答	1	4.3%	1	1.8%	1	1.9%	3	2.3%
回答者数(母数)	23	100.0%	56	100.0%	52	100.0%	131	100.0%



※「①教育委員会主体」が政令市等で 91.3%、市で 87.5%、町・村で 76.9%と若干の差異は見受けられるが、全体で 84.0%と最も多くなっている。

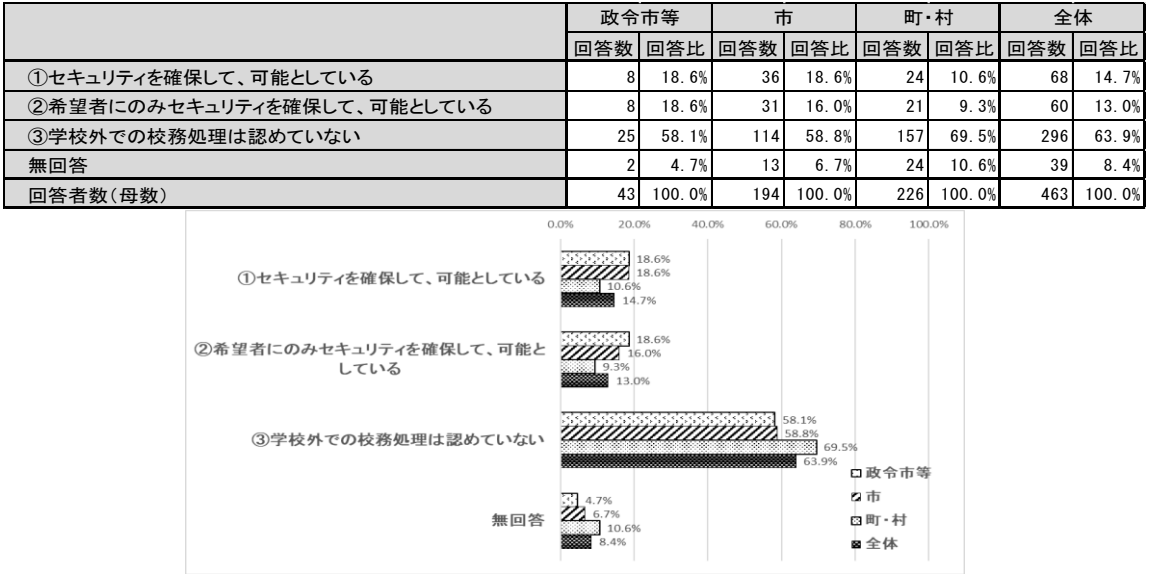
1-3-07 校務支援システムのどの機能を導入していますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①グループウェア	33	76.7%	109	56.2%	106	46.9%	248	53.6%
②成績処理	39	90.7%	140	72.2%	139	61.5%	318	68.7%
③出欠管理	38	88.4%	131	67.5%	131	58.0%	300	64.8%
④時数管理	25	58.1%	75	38.7%	77	34.1%	177	38.2%
⑤保健管理	32	74.4%	116	59.8%	120	53.1%	268	57.9%
⑥学籍管理、指導要録等	36	83.7%	136	70.1%	130	57.5%	302	65.2%
⑦体力テスト等	12	27.9%	34	17.5%	33	14.6%	79	17.1%
⑧勤務時間管理	13	30.2%	59	30.4%	70	31.0%	142	30.7%
⑨学校徴収金管理	3	7.0%	12	6.2%	10	4.4%	25	5.4%
⑩その他	5	11.6%	8	4.1%	4	1.8%	17	3.7%
無回答	2	4.7%	33	17.0%	63	27.9%	98	21.2%
回答数合計	238	553.5%	853	439.7%	883	390.7%	1,974	426.3%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



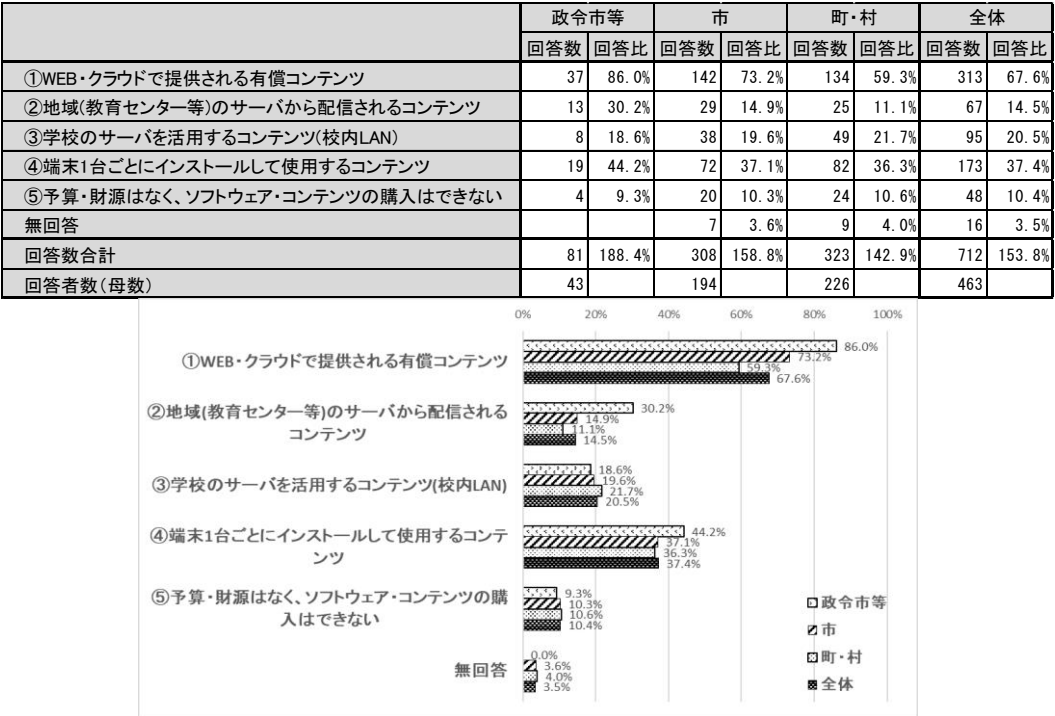
※前回調査と比較すると、全体で「②成績処理」(45.6%→68.7%)、「⑥学籍管理、指導要録等」(46.1%→65.2%)、「③出欠管理」(45.3%→64.8%)と、いずれも増加している。「⑧勤務時間管理」は自治体規模に差異なく、全体で30.7%となっている。

1-3-08 学校外での校務処理についてあてはまるものを一つ選択してください。



※「③学校外での校務処理は認めていない」が全体で 63.9%となっている。意識に関する設問 1-7-01(8)「セキュリティを確保して、学校外で校務処理を可能とすべきである」が、「③あまりそう思わない」「④まったくそう思わない」を合わせて 47.5%となっており、差異が見受けられる。

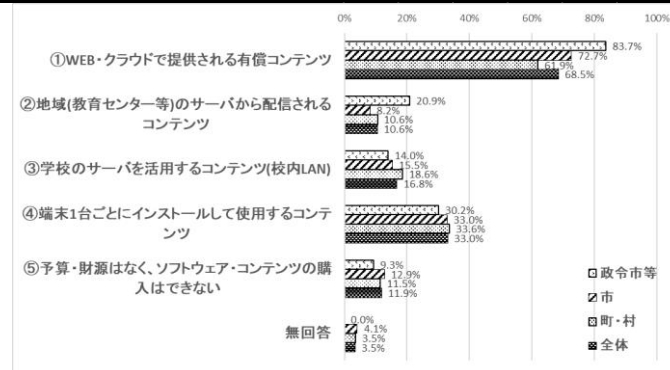
1-3-09(1) 小学校で教員が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入していますか。(いくつでも)



※「①WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ」が最も多く、政令市等が 86.0%、市が 73.2%、町・村が 59.3%で、自治体規模が大きいほど割合も大きくなっている。次いで「④端末 1 台ごとにインストールして使用するコンテンツ」が全体で 37.4%となっている。「②地域 (教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ」は、自治体規模によりややばらつきがみられ、政令市等が 30.2%、市が 14.9%、町・村が 11.1%となっている。

1-3-09(2) 小学校で児童が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入していますか。(いくつでも)

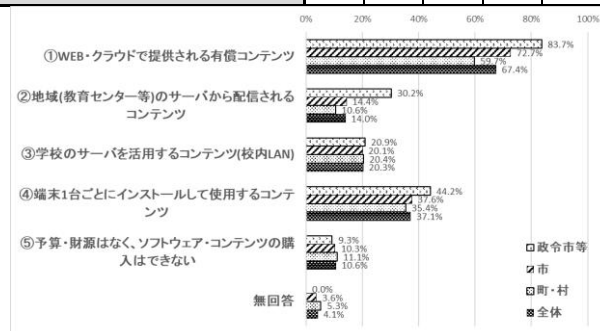
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ	36	83.7%	141	72.7%	140	61.9%	317	68.5%
②地域(教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ	9	20.9%	16	8.2%	24	10.6%	49	10.6%
③学校のサーバを活用するコンテンツ(校内LAN)	6	14.0%	30	15.5%	42	18.6%	78	16.8%
④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ	13	30.2%	64	33.0%	76	33.6%	153	33.0%
⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない	4	9.3%	25	12.9%	26	11.5%	55	11.9%
無回答			8	4.1%	8	3.5%	16	3.5%
回答数合計	68	158.1%	284	146.4%	316	139.8%	668	144.3%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「①WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ」が最も多く、政令市等が83.7%、市が72.7%、町・村が61.9%で、自治体規模が大きいほど割合も大きくなっている。次いで「④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ」が全体で33.0%となっている。「②地域(教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ」は、自治体規模によりややばらつきがみられ、政令市等が20.9%、市が8.2%、町・村が10.6%となっている。

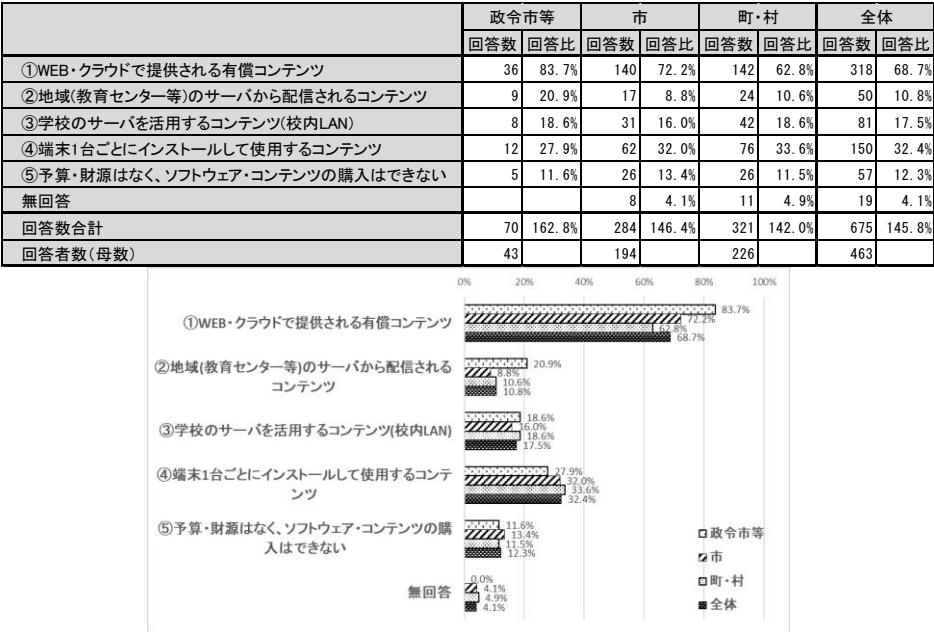
1-3-09(3) 中学校で教員が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入していますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ	36	83.7%	141	72.7%	135	59.7%	312	67.4%
②地域(教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ	13	30.2%	28	14.4%	24	10.6%	65	14.0%
③学校のサーバを活用するコンテンツ(校内LAN)	9	20.9%	39	20.1%	46	20.4%	94	20.3%
④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ	19	44.2%	73	37.6%	80	35.4%	172	37.1%
⑤予算・財源はなく、ソフトウェア・コンテンツの購入はできない	4	9.3%	20	10.3%	25	11.1%	49	10.6%
無回答			7	3.6%	12	5.3%	19	4.1%
回答数合計	81	188.4%	308	158.8%	322	142.5%	711	153.6%
回答者数(母数)	43		194		226		463	

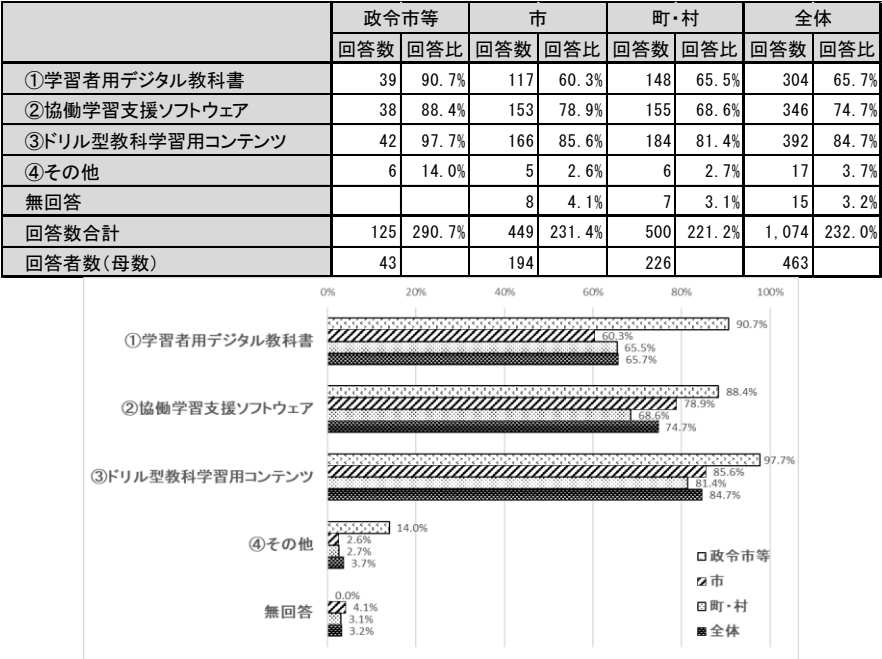


※「①WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ」が最も多く、政令市等が83.7%、市が72.7%、町・村が59.7%で、自治体規模が大きいほど割合も大きくなっている。次いで「④端末1台ごとにインストールして使用するコンテンツ」が全体で37.1%となっている。「②地域(教育センター等)のサーバから配信されるコンテンツ」は、自治体規模によりややばらつきがみられ、政令市等が30.2%、市が14.4%、町・村が10.6%となっている。

1-3-09(4) 中学校で生徒が授業で使用する学習用ソフトウェア・コンテンツは主としてどのようなものを購入していますか。(いくつでも)

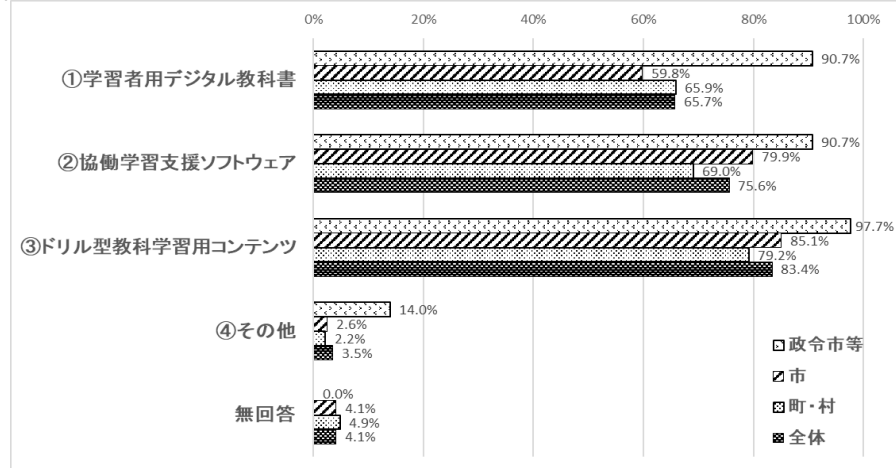


1-3-10(1) 小学校で1人1台端末を活用するために必要と思われるソフトウェア・コンテンツは何ですか。(いくつでも)



1-3-10(2) 中学校で1人1台端末を活用するために必要と思われるソフトウェア・コンテンツは何ですか。(いくつでも)

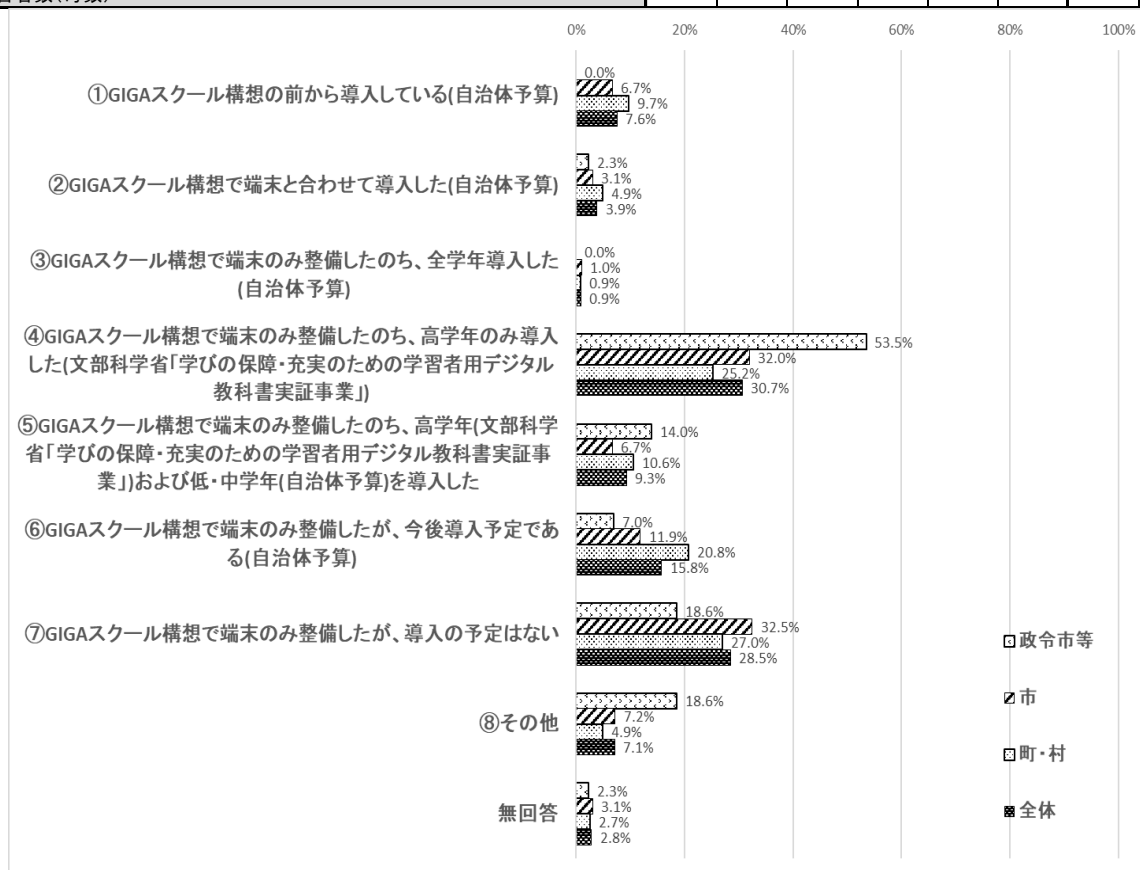
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習者用デジタル教科書	39	90.7%	116	59.8%	149	65.9%	304	65.7%
②協働学習支援ソフトウェア	39	90.7%	155	79.9%	156	69.0%	350	75.6%
③ドリル型教科学習用コンテンツ	42	97.7%	165	85.1%	179	79.2%	386	83.4%
④その他	6	14.0%	5	2.6%	5	2.2%	16	3.5%
無回答			8	4.1%	11	4.9%	19	4.1%
回答数合計	126	293.0%	449	231.4%	500	221.2%	1,075	232.2%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「③ドリル型教科学習用コンテンツ」が最も多く、全体で83.4%。次いで「②協働学習支援ソフトウェア」が全体で75.6%、「①学習者用デジタル教科書」が全体で65.7%となっている。いずれの選択肢でも、政令市等は90%を超えている。

1-3-11(1) 小学校で GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末整備にともなう学習者用デジタル教科書の導入について伺います。(いくつでも)

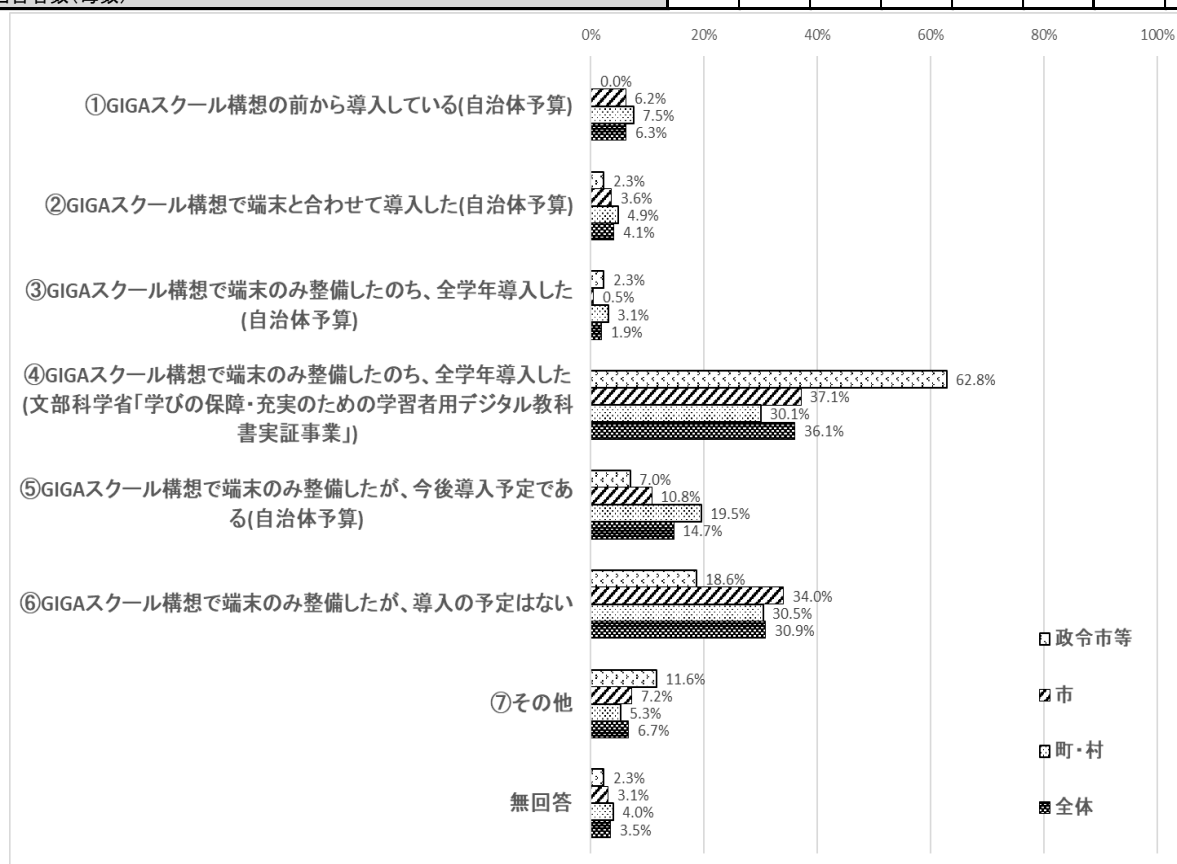
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①GIGAスクール構想の前から導入している(自治体予算)			13	6.7%	22	9.7%	35	7.6%
②GIGAスクール構想で端末と合わせて導入した(自治体予算)	1	2.3%	6	3.1%	11	4.9%	18	3.9%
③GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、全学年導入した(自治体予算)			2	1.0%	2	0.9%	4	0.9%
④GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、高学年のみ導入した(文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」)	23	53.5%	62	32.0%	57	25.2%	142	30.7%
⑤GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、高学年(文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」)および低・中学年(自治体予算)を導入した	6	14.0%	13	6.7%	24	10.6%	43	9.3%
⑥GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、今後導入予定である(自治体予算)	3	7.0%	23	11.9%	47	20.8%	73	15.8%
⑦GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、導入の予定はない	8	18.6%	63	32.5%	61	27.0%	132	28.5%
⑧その他	8	18.6%	14	7.2%	11	4.9%	33	7.1%
無回答	1	2.3%	6	3.1%	6	2.7%	13	2.8%
回答数合計	50	116.3%	202	104.1%	241	106.6%	493	106.5%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※自治体予算で導入している「①GIGA スクール構想の前から導入している」「②GIGA スクール構想で端末と合わせて導入した」「③GIGA スクール構想で端末のみ整備したのち、全学年導入した」を合わせると全体で 12.4%となっている。文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」及びそれに絡めて低・中学年を導入している「④GIGA スクール構想で端末のみ整備したのち、高学年のみ導入した」「⑤GIGA スクール構想で端末のみ整備したのち、高学年および低・中学年を導入した」は合わせて、全体で 40.0%となっている。なお、政令市等では「④GIGA スクール構想で端末のみ整備したのち、高学年のみ導入した」は 53.5%となっている。

1-3-11(2) 中学校で GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末整備にともなう学習者用デジタル教科書の導入について伺います。(いくつでも)

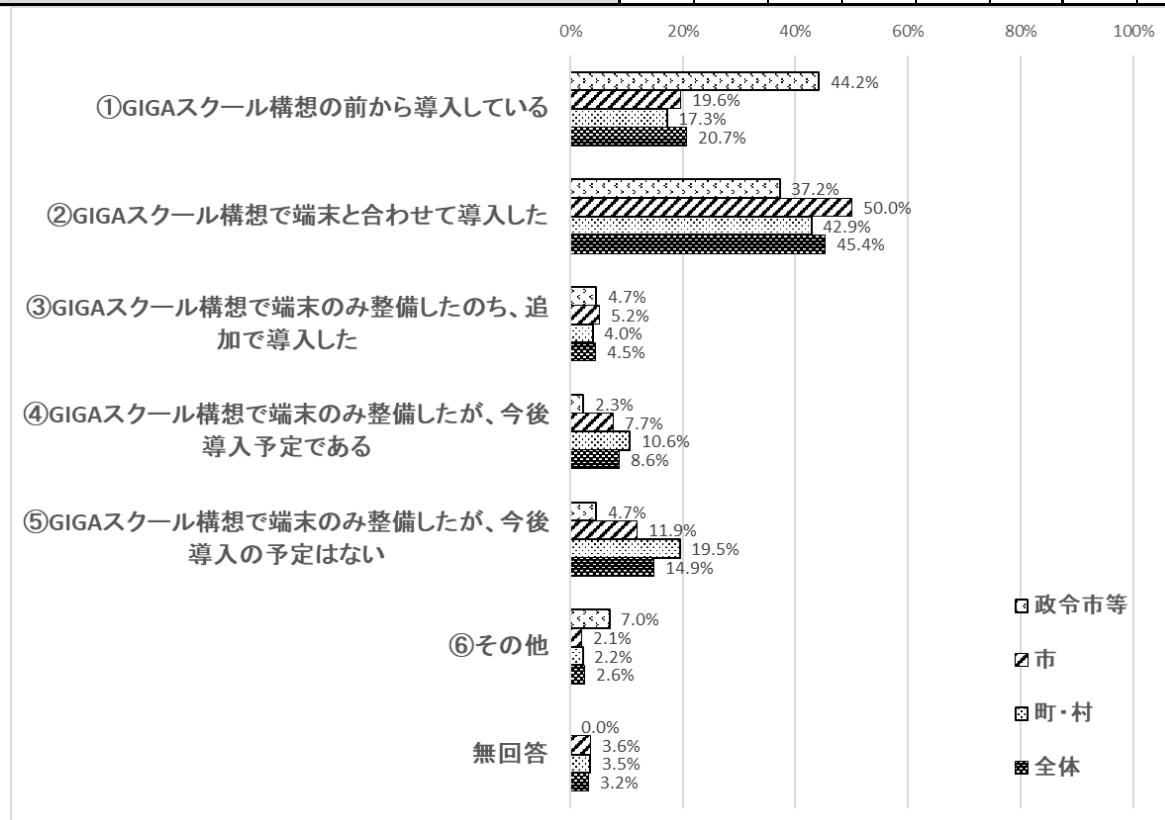
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①GIGAスクール構想の前から導入している(自治体予算)			12	6.2%	17	7.5%	29	6.3%
②GIGAスクール構想で端末と合わせて導入した(自治体予算)	1	2.3%	7	3.6%	11	4.9%	19	4.1%
③GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、全学年導入した(自治体予算)	1	2.3%	1	0.5%	7	3.1%	9	1.9%
④GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、全学年導入した(文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」)	27	62.8%	72	37.1%	68	30.1%	167	36.1%
⑤GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、今後導入予定である(自治体予算)	3	7.0%	21	10.8%	44	19.5%	68	14.7%
⑥GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、導入の予定はない	8	18.6%	66	34.0%	69	30.5%	143	30.9%
⑦その他	5	11.6%	14	7.2%	12	5.3%	31	6.7%
無回答	1	2.3%	6	3.1%	9	4.0%	16	3.5%
回答数合計	46	107.0%	199	102.6%	237	104.9%	482	104.1%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※自治体予算で導入している「①GIGA スクール構想の前から導入している」「②GIGA スクール構想で端末と合わせて導入した」「③GIGA スクール構想で端末のみ整備したのち、全学年導入した」を合わせると全体で 12.3%となっている。また、文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」による導入 (④)は 36.1%となっている。その他、今後導入予定である・導入の予定はないを含めて、ほぼ 1-3-11(1)の小学校と変わりはない。なお、政令市等では「④GIGA スクール構想で端末のみ整備したのち、全学年導入した」は 62.8%となっている。

1-3-12 GIGA スクール構想による1人1台端末整備にともなう協働学習支援ソフトウェアの導入について伺います。

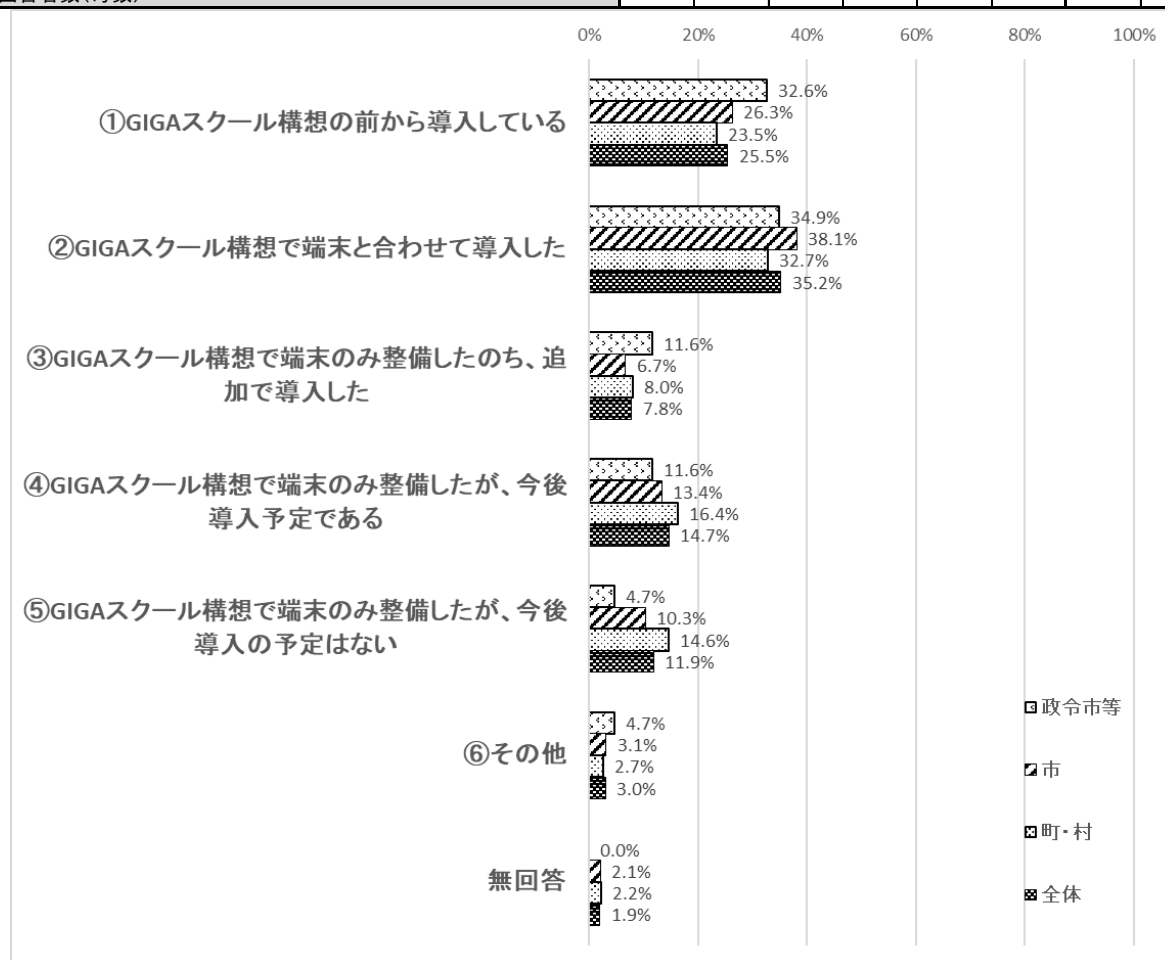
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①GIGAスクール構想の前から導入している	19	44.2%	38	19.6%	39	17.3%	96	20.7%
②GIGAスクール構想で端末と合わせて導入した	16	37.2%	97	50.0%	97	42.9%	210	45.4%
③GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、追加で導入した	2	4.7%	10	5.2%	9	4.0%	21	4.5%
④GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、今後導入予定である	1	2.3%	15	7.7%	24	10.6%	40	8.6%
⑤GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、今後導入の予定はない	2	4.7%	23	11.9%	44	19.5%	69	14.9%
⑥その他	3	7.0%	4	2.1%	5	2.2%	12	2.6%
無回答			7	3.6%	8	3.5%	15	3.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※全体でみると、「②GIGA スクール構想で端末と合わせて導入した」が最も多く 45.4%となっており、自治体規模別にみると、政令市等は、「①GIGA スクール構想の前から導入している」が最も多く 44.2%、市、町・村は、「②GIGA スクール構想で端末と合わせて導入した」が最も多い（市 50.0%、町・村 42.9%）。GIGA スクール前後での導入を合計（①＋②＋③）すると、全体で 70.6%が整備済みで、自治体規模が大きいほど導入されている（政令市等 86.0%、市 74.7%、町・村 64.2%）。

1-3-13 GIGA スクール構想による1人1台端末整備にともなうドリル型教科学習用コンテンツの導入について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①GIGAスクール構想の前から導入している	14	32.6%	51	26.3%	53	23.5%	118	25.5%
②GIGAスクール構想で端末と合わせて導入した	15	34.9%	74	38.1%	74	32.7%	163	35.2%
③GIGAスクール構想で端末のみ整備したのち、追加で導入した	5	11.6%	13	6.7%	18	8.0%	36	7.8%
④GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、今後導入予定である	5	11.6%	26	13.4%	37	16.4%	68	14.7%
⑤GIGAスクール構想で端末のみ整備したが、今後導入の予定はない	2	4.7%	20	10.3%	33	14.6%	55	11.9%
⑥その他	2	4.7%	6	3.1%	6	2.7%	14	3.0%
無回答			4	2.1%	5	2.2%	9	1.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

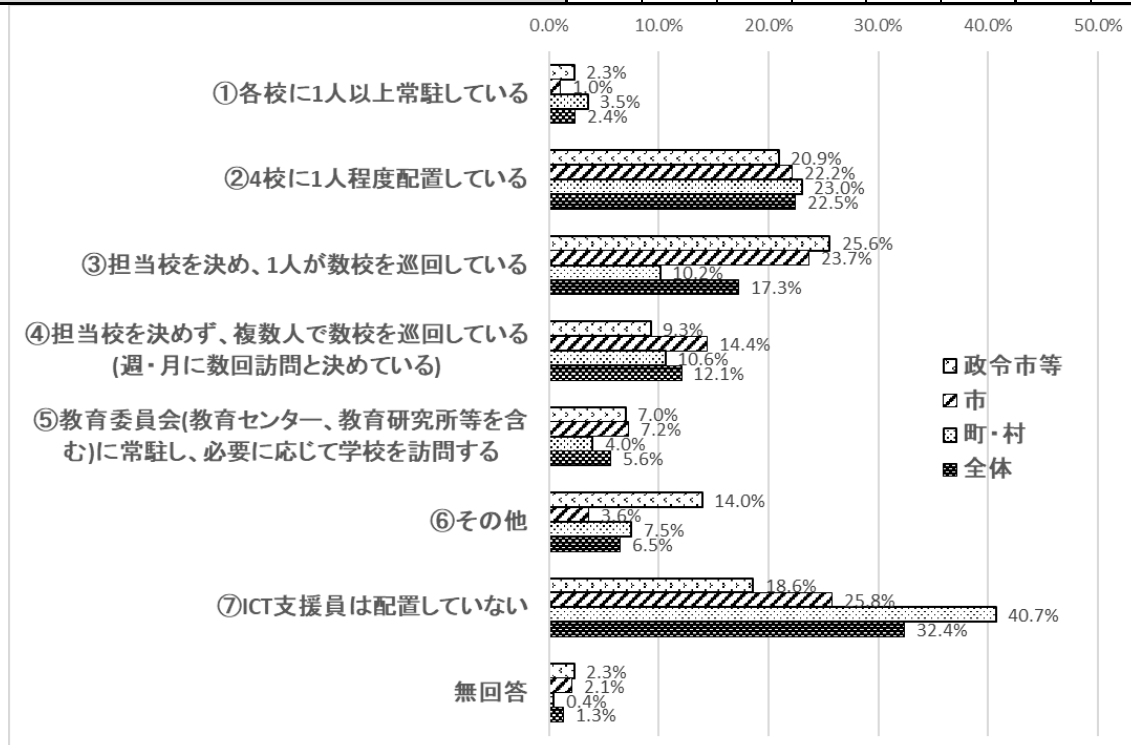


※自治体規模に関わらず、「②GIGA スクール構想で端末と合わせて導入した」が最も多く、全体で 35.2%。GIGA スクール前後での導入も合計（①＋②＋③）すると、全体で 68.5%が整備済みで、自治体規模が大きいほど導入されている（政令市等 79.1%、市 71.1%、町・村 64.2%）。

1-4 保守サポートに関する項目

1-4-01 ICT 支援員の配置について伺います。

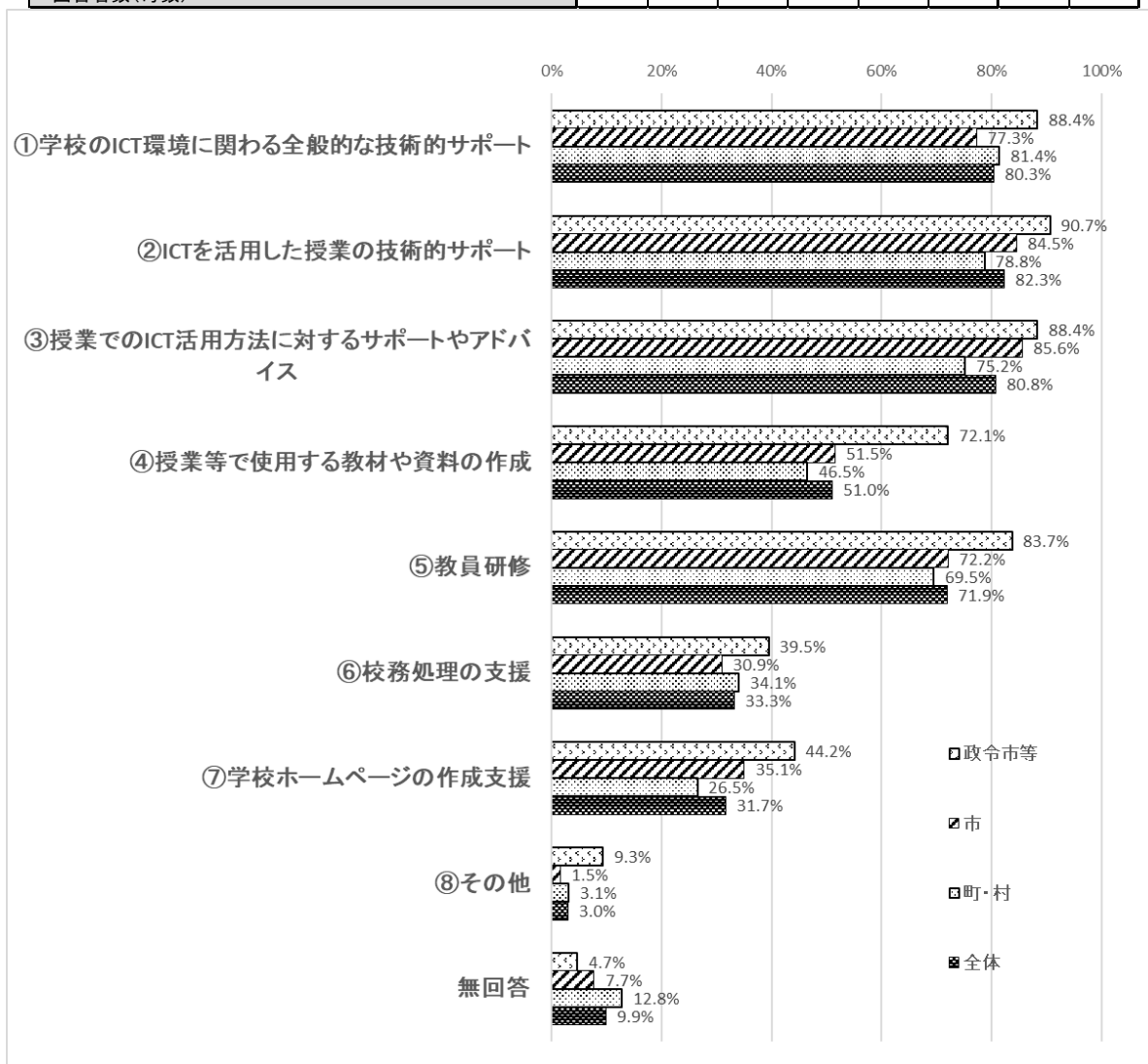
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①各校に1人以上常駐している	1	2.3%	2	1.0%	8	3.5%	11	2.4%
②4校に1人程度配置している	9	20.9%	43	22.2%	52	23.0%	104	22.5%
③担当校を決め、1人が数校を巡回している	11	25.6%	46	23.7%	23	10.2%	80	17.3%
④担当校を決めず、複数人で数校を巡回している(週・月に数回訪問と決めている)	4	9.3%	28	14.4%	24	10.6%	56	12.1%
⑤教育委員会(教育センター、教育研究所等を含む)に常駐し、必要に応じて学校を訪問する	3	7.0%	14	7.2%	9	4.0%	26	5.6%
⑥その他	6	14.0%	7	3.6%	17	7.5%	30	6.5%
⑦ICT支援員は配置していない	8	18.6%	50	25.8%	92	40.7%	150	32.4%
無回答	1	2.3%	4	2.1%	1	0.4%	6	1.3%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※国の整備指針である「②4校に1人程度配置している」が自治体規模に差はなく、全体で(5.7%→22.5%)となっている。「⑦ICT支援員は配置していない」は全体で(58.7%→32.4%)であり、ICT支援員の整備は進んできているがまだまだ十分ではない。

1-4-02 ICT 支援員に期待する業務について伺います。(いくつでも)

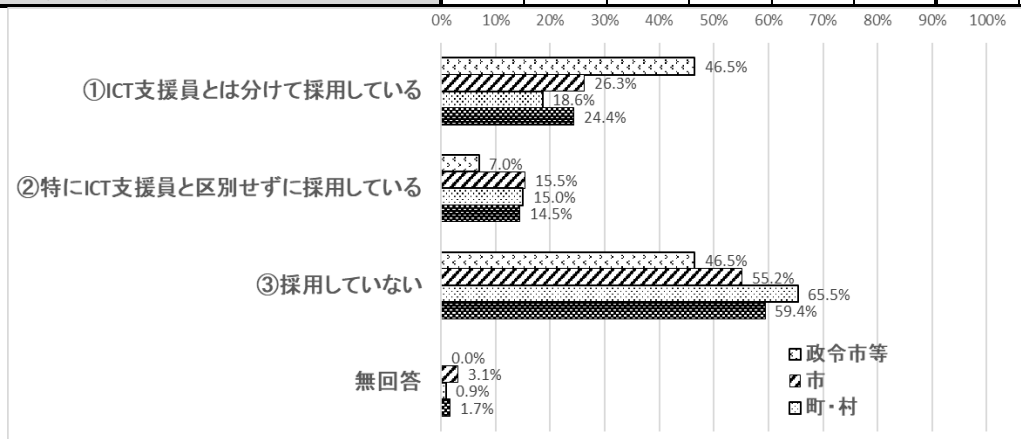
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	38	88.4%	150	77.3%	184	81.4%	372	80.3%
②ICTを活用した授業の技術的サポート	39	90.7%	164	84.5%	178	78.8%	381	82.3%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	38	88.4%	166	85.6%	170	75.2%	374	80.8%
④授業等で使用する教材や資料の作成	31	72.1%	100	51.5%	105	46.5%	236	51.0%
⑤教員研修	36	83.7%	140	72.2%	157	69.5%	333	71.9%
⑥校務処理の支援	17	39.5%	60	30.9%	77	34.1%	154	33.3%
⑦学校ホームページの作成支援	19	44.2%	68	35.1%	60	26.5%	147	31.7%
⑧その他	4	9.3%	3	1.5%	7	3.1%	14	3.0%
無回答	2	4.7%	15	7.7%	29	12.8%	46	9.9%
回答数合計	224	520.9%	866	446.4%	967	427.9%	2,057	444.3%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「①学校の ICT 環境に関わる全般的な技術的サポート」「②ICT を活用した授業の技術的サポート」「③授業での ICT 活用方法に対するサポートやアドバイス」が全体で 80%を超えている。政令市等では「⑤教員研修」も（55.6%→83.7%）と高くなっている。ICT 支援員の必要度はますます増している。

1-4-03 GIGA スクールサポーターを採用していますか。

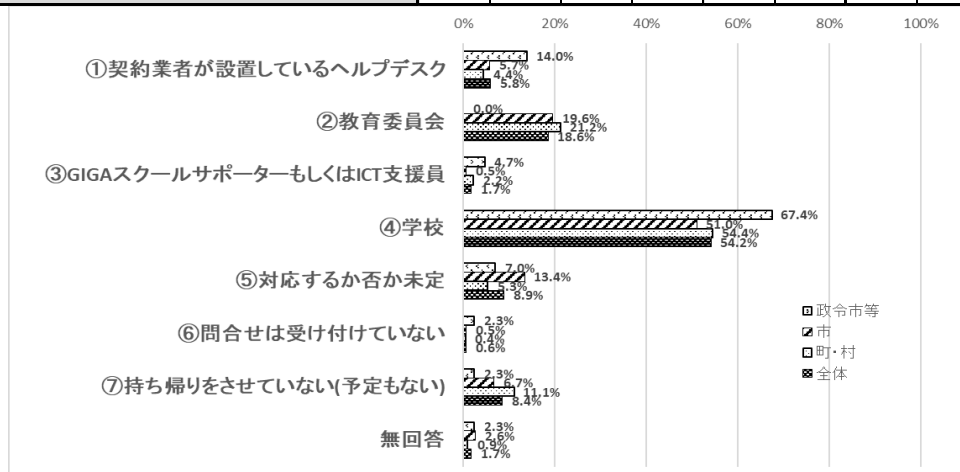
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT支援員とは分けて採用している	20	46.5%	51	26.3%	42	18.6%	113	24.4%
②特にICT支援員と区別せずに採用している	3	7.0%	30	15.5%	34	15.0%	67	14.5%
③採用していない	20	46.5%	107	55.2%	148	65.5%	275	59.4%
無回答			6	3.1%	2	0.9%	8	1.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①ICT 支援員とは分けて採用している」は政令市等が 46.5%、市が 26.3%、町・村が 18.6% と自治体規模で差が出ている。「③採用していない」は、全体で 59.4%となっている。

1-4-04 1人1台端末が整備され、持ち帰り利用を行っている場合や持ち帰りを予定している場合、家庭からの問合せにはどのように対応(する予定含む)していますか。

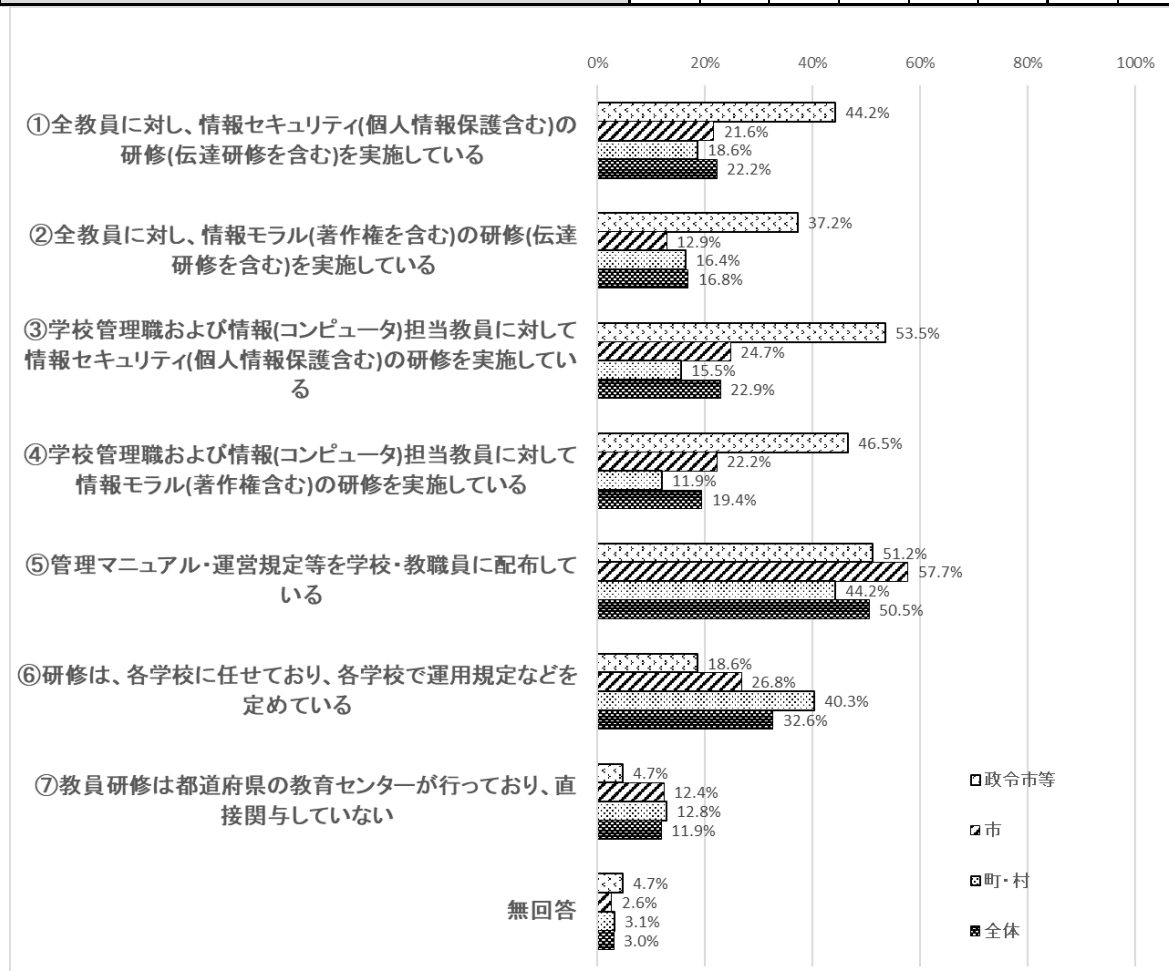
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①契約業者が設置しているヘルプデスク	6	14.0%	11	5.7%	10	4.4%	27	5.8%
②教育委員会			38	19.6%	48	21.2%	86	18.6%
③GIGAスクールサポーターもしくはICT支援員	2	4.7%	1	0.5%	5	2.2%	8	1.7%
④学校	29	67.4%	99	51.0%	123	54.4%	251	54.2%
⑤対応するか否か未定	3	7.0%	26	13.4%	12	5.3%	41	8.9%
⑥問合せは受け付けていない	1	2.3%	1	0.5%	1	0.4%	3	0.6%
⑦持ち帰りをさせていない(予定もない)	1	2.3%	13	6.7%	25	11.1%	39	8.4%
無回答	1	2.3%	5	2.6%	2	0.9%	8	1.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「④学校」が最も多く、全体で 54.2%、政令市等で 67.4%となっている。学校現場の負担が増している可能性が高い。対応策が望まれる。

1-4-05 教育委員会で実施している情報セキュリティや情報モラルの研修について伺います。(いくつでも)

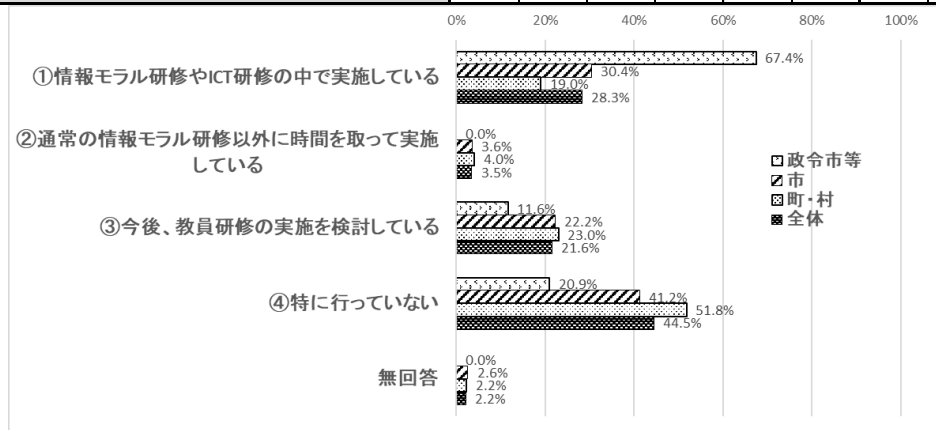
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員に対し、情報セキュリティ(個人情報保護含む)の研修(伝達研修を含む)を実施している	19	44.2%	42	21.6%	42	18.6%	103	22.2%
②全教員に対し、情報モラル(著作権を含む)の研修(伝達研修を含む)を実施している	16	37.2%	25	12.9%	37	16.4%	78	16.8%
③学校管理職および情報(コンピュータ)担当教員に対して情報セキュリティ(個人情報保護含む)の研修を実施している	23	53.5%	48	24.7%	35	15.5%	106	22.9%
④学校管理職および情報(コンピュータ)担当教員に対して情報モラル(著作権含む)の研修を実施している	20	46.5%	43	22.2%	27	11.9%	90	19.4%
⑤管理マニュアル・運営規定等を学校・教職員に配布している	22	51.2%	112	57.7%	100	44.2%	234	50.5%
⑥研修は、各学校に任せており、各学校で運用規定などを定めている	8	18.6%	52	26.8%	91	40.3%	151	32.6%
⑦教員研修は都道府県の教育センターが行っており、直接関与していない	2	4.7%	24	12.4%	29	12.8%	55	11.9%
無回答	2	4.7%	5	2.6%	7	3.1%	14	3.0%
回答数合計	112	260.5%	351	180.9%	368	162.8%	831	179.5%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「⑤管理マニュアル・運営規定等を学校・教職員に配布している」が全体で50.5%と最も多いが自治体規模で差が出ている。政令市等では多くの研修が実施されており回答数も260.5%となっている。

1-4-06 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス：Social Networking Service)を取り上げた教員研修を実施していますか。

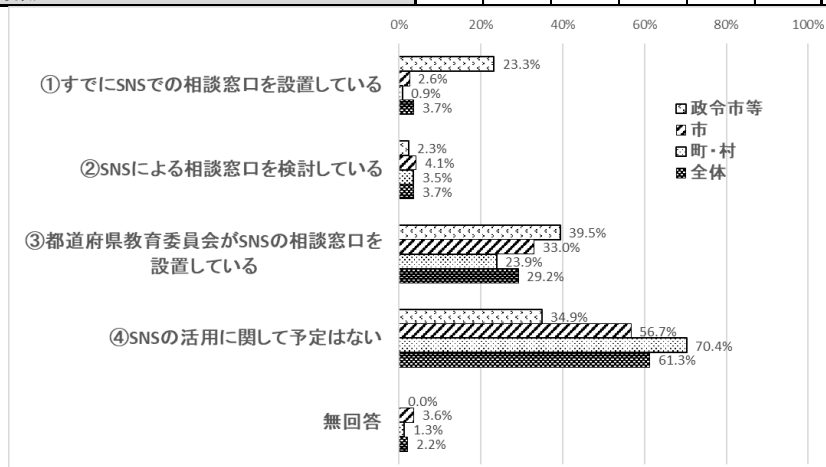
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①情報モラル研修やICT研修の中で実施している	29	67.4%	59	30.4%	43	19.0%	131	28.3%
②通常の情報モラル研修以外に時間を取って実施している			7	3.6%	9	4.0%	16	3.5%
③今後、教員研修の実施を検討している	5	11.6%	43	22.2%	52	23.0%	100	21.6%
④特に行っていない	9	20.9%	80	41.2%	117	51.8%	206	44.5%
無回答			5	2.6%	5	2.2%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※自治体規模で回答に大きな差が出ている。「①情報モラル研修や ICT 研修の中で実施している」は、政令市等で 67.4%、市では 30.4%、町・村では 19.0%となっている。「④特に行っていない」は町・村では 51.8%と半数を超えている。

1-4-07 児童・生徒の学校での悩み事やトラブルの相談窓口として SNS の活用を行っていますか。

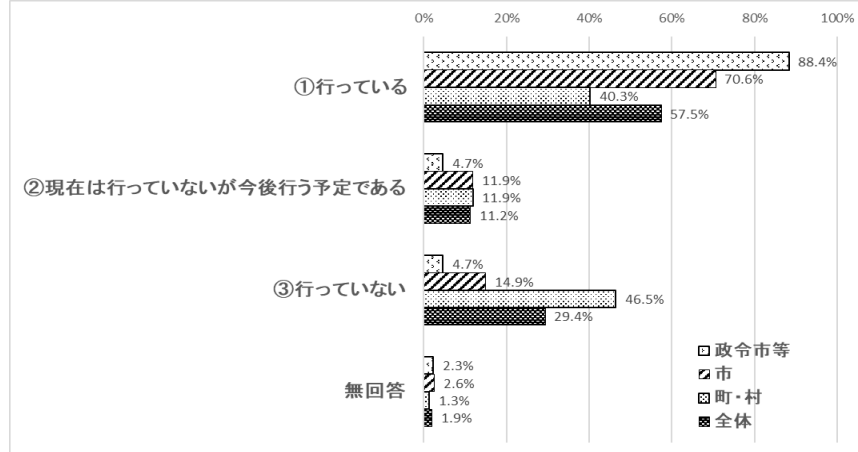
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでにSNSでの相談窓口を設置している	10	23.3%	5	2.6%	2	0.9%	17	3.7%
②SNSによる相談窓口を検討している	1	2.3%	8	4.1%	8	3.5%	17	3.7%
③都道府県教育委員会がSNSの相談窓口を設置している	17	39.5%	64	33.0%	54	23.9%	135	29.2%
④SNSの活用に関して予定はない	15	34.9%	110	56.7%	159	70.4%	284	61.3%
無回答			7	3.6%	3	1.3%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「④SNS の活用に関して予定はない」が最も多く全体で 61.3%であるが、政令市等が 34.9%、市が 56.7%、町・村が 70.4%と自治体規模で大きな差がある。「③都道府県教育委員会が SNS の相談窓口を設置している」は全体で 29.2%である。一方で政令市等でも「①すでに SNS での相談窓口を設置している」が 23.3%に留まっている。

1-4-08 リモートでの教員研修を行っていますか。

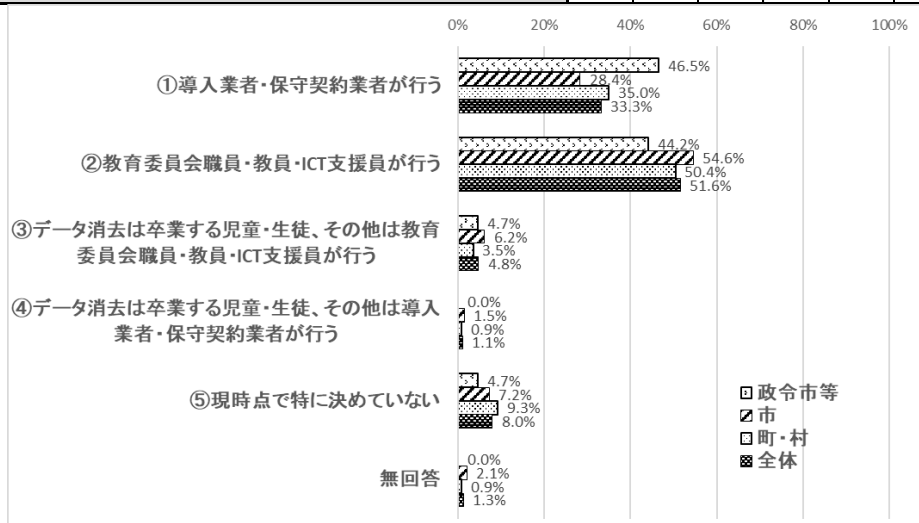
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①行っている	38	88.4%	137	70.6%	91	40.3%	266	57.5%
②現在は行っていないが今後行う予定である	2	4.7%	23	11.9%	27	11.9%	52	11.2%
③行っていない	2	4.7%	29	14.9%	105	46.5%	136	29.4%
無回答	1	2.3%	5	2.6%	3	1.3%	9	1.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①行っている」は全体で 57.5%と多いが、政令市等は 88.4%、市は 70.6%、町・村は 40.3%と自治体規模で大きな差が出ている。

1-4-09 1人1台端末の年次更新(卒業した児童・生徒のデータ消去、新入生のアカウント登録等)作業は誰が行いますか。

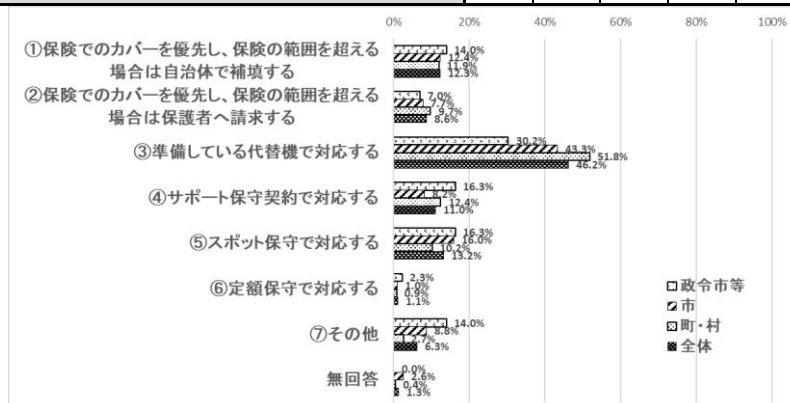
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入業者・保守契約業者が行う	20	46.5%	55	28.4%	79	35.0%	154	33.3%
②教育委員会職員・教員・ICT支援員が行う	19	44.2%	106	54.6%	114	50.4%	239	51.6%
③データ消去は卒業する児童・生徒、その他は教育委員会職員・教員・ICT支援員が行う	2	4.7%	12	6.2%	8	3.5%	22	4.8%
④データ消去は卒業する児童・生徒、その他は導入業者・保守契約業者が行う			3	1.5%	2	0.9%	5	1.1%
⑤現時点で特に決めていない	2	4.7%	14	7.2%	21	9.3%	37	8.0%
無回答			4	2.1%	2	0.9%	6	1.3%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①導入業者・保守契約業者が行う」は全体で 33.3%に留まっている。「②教育委員会職員・教員・ICT支援員が行う」は全体で 51.6%となっており、現場の負担が重くなっている。なんらかの対応策が望まれる。

1-4-10 GIGA スクール構想で導入した1人1台端末の故障・破損等の対応について伺います。

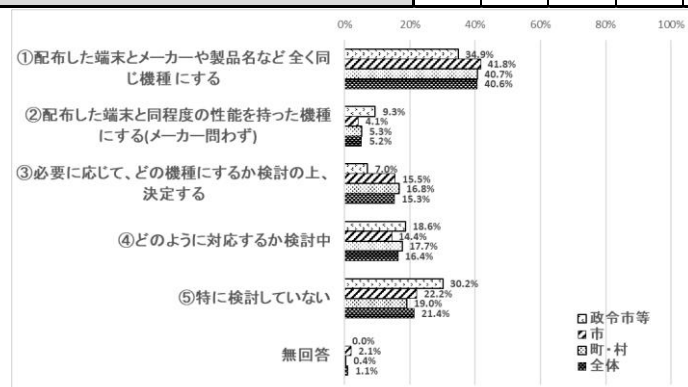
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保険でのカバーを優先し、保険の範囲を超える場合は自治体で補填する	6	14.0%	24	12.4%	27	11.9%	57	12.3%
②保険でのカバーを優先し、保険の範囲を超える場合は保護者へ請求する	3	7.0%	15	7.7%	22	9.7%	40	8.6%
③準備している代替機で対応する	13	30.2%	84	43.3%	117	51.8%	214	46.2%
④サポート保守契約で対応する	7	16.3%	16	8.2%	28	12.4%	51	11.0%
⑤スポット保守で対応する	7	16.3%	31	16.0%	23	10.2%	61	13.2%
⑥定額保守で対応する	1	2.3%	2	1.0%	2	0.9%	5	1.1%
⑦その他	6	14.0%	17	8.8%	6	2.7%	29	6.3%
無回答			5	2.6%	1	0.4%	6	1.3%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「③準備している代替機で対応する」が最も多く全体で46.2%だが、政令市等は30.2%、町・村は51.8%で差が出ている。児童生徒数の差と考えられる。次いで「⑤スポット保守で対応する」が全体で13.2%、「①保険でのカバーを優先し、保険の範囲を超える場合は自治体で補填する」が全体で12.3%、「④サポート保守契約で対応する」が全体で11.0%と対応が分かっている。

1-4-11 児童・生徒数の増加や予備機の不足による端末追加購入について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①配布した端末とメーカーや製品名など全く同じ機種にする	15	34.9%	81	41.8%	92	40.7%	188	40.6%
②配布した端末と同程度の性能を持った機種にする(メーカー問わず)	4	9.3%	8	4.1%	12	5.3%	24	5.2%
③必要に応じて、どの機種にするか検討の上、決定する	3	7.0%	30	15.5%	38	16.8%	71	15.3%
④どのように対応するか検討中	8	18.6%	28	14.4%	40	17.7%	76	16.4%
⑤特に検討していない	13	30.2%	43	22.2%	43	19.0%	99	21.4%
無回答			4	2.1%	1	0.4%	5	1.1%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①配布した端末とメーカーや製品名など全く同じ機種にする」が最も多く全体で40.6%となっている。「⑤特に検討していない」が全体で21.4%、「④どのように対応するか検討中」は全体で16.4%とまだ決まっていないところも多い。

1-5 予算に関する項目

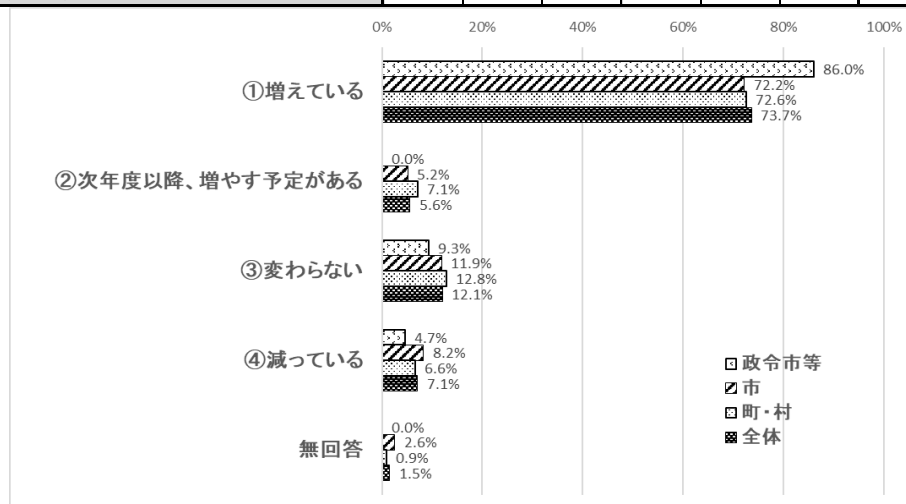
※ご参考資料：日本教育情報化振興会「ICT 教育環境整備ハンドブック 2021」

下記 URL より刊行物ページにて pdf をダウンロード

<https://www.japet.or.jp/publications/ict-handbook-2021/>

1-5-01 2021 年度の教育の情報化における予算枠は、GIGA スクール構想以前と比較して増えていますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
① 増えている	37	86.0%	140	72.2%	164	72.6%	341	73.7%
② 次年度以降、増やす予定がある			10	5.2%	16	7.1%	26	5.6%
③ 変わらない	4	9.3%	23	11.9%	29	12.8%	56	12.1%
④ 減っている	2	4.7%	16	8.2%	15	6.6%	33	7.1%
無回答			5	2.6%	2	0.9%	7	1.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①増えている」が全体で（41.2%→53.5%→73.7%）であり、増えている自治体が大半である。特に政令市等は（40.5%→63.0%→86.0%）となっている。

1-5-02 「2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針」での目標を達成していますか。

●2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針で目標とされている水準

- ・ 学習者用端末 3 クラスに 1 クラス分程度整備
- ・ 指導者用端末 授業を担当する教師 1 人 1 台
- ・ 大型提示装置・実物投影機 100 %整備

各普通教室 1 台、特別教室用として 6 台

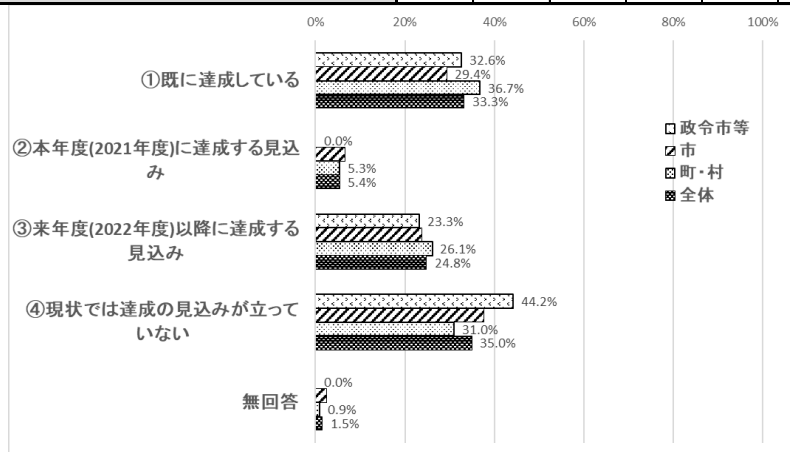
(実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)

- ・ 超高速インターネット及び無線 LAN 100 %整備
- ・ 統合型校務支援システム 100 %整備
- ・ ICT 支援員 4 校に 1 人配置
- ・ 上記のほか、学習用ツール(*)、予備用学習者用端末、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用端末やセキュリティに関するソフトウェアについても整備

(※)ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科等の学習活動に共通で必要なソフトウェア

* 参考：日本教育情報化振興会「ICT 教育環境整備ハンドブック 2019」29 頁

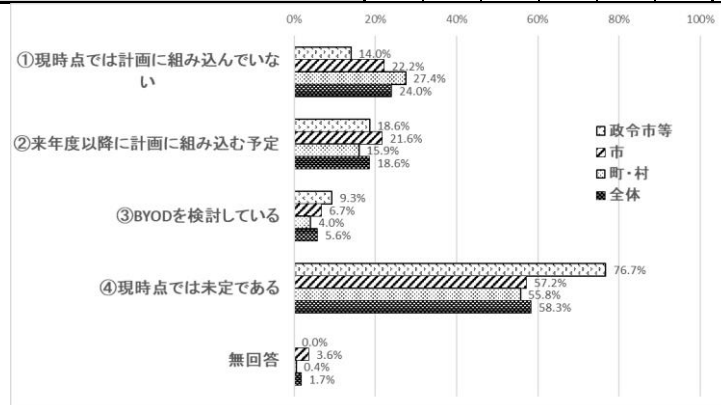
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に達成している	14	32.6%	57	29.4%	83	36.7%	154	33.3%
②本年度(2021年度)に達成する見込み			13	6.7%	12	5.3%	25	5.4%
③来年度(2022年度)以降に達成する見込み	10	23.3%	46	23.7%	59	26.1%	115	24.8%
④現状では達成の見込みが立っていない	19	44.2%	73	37.6%	70	31.0%	162	35.0%
無回答			5	2.6%	2	0.9%	7	1.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①既に達成している」が全体で 33.3%である。「④現状では達成の見込みが立っていない」が全体で 35.0%、政令市等では 44.2%となっており、何らかの対策が必要だと思われる。

1-5-03 GIGA スクール構想で整備した1人1台端末の更新に関して、今後の計画について伺います。(いくつかつでも)

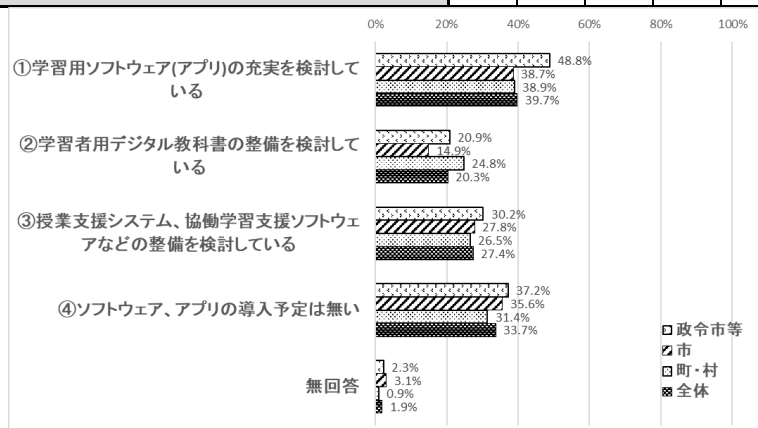
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①現時点では計画に組み込んでいない	6	14.0%	43	22.2%	62	27.4%	111	24.0%
②来年度以降に計画に組み込む予定	8	18.6%	42	21.6%	36	15.9%	86	18.6%
③BYODを検討している	4	9.3%	13	6.7%	9	4.0%	26	5.6%
④現時点では未定である	33	76.7%	111	57.2%	126	55.8%	270	58.3%
無回答			7	3.6%	1	0.4%	8	1.7%
回答数合計	51	118.6%	216	111.3%	234	103.5%	501	108.2%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「①現時点では計画に組み込んでいない」「④現時点では未定である」を合わせて全体で 82.3%、政令市等では 90.7%である。「③BYOD を検討している」は全体で 5.6%となっている。

1-5-04 GIGA スクール構想で導入された1人1台端末で使用するソフトウェア(アプリ)に関して予算措置を予定していますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習用ソフトウェア(アプリ)の充実を検討している	21	48.8%	75	38.7%	88	38.9%	184	39.7%
②学習者用デジタル教科書の整備を検討している	9	20.9%	29	14.9%	56	24.8%	94	20.3%
③授業支援システム、協働学習支援ソフトウェアなどの整備を検討している	13	30.2%	54	27.8%	60	26.5%	127	27.4%
④ソフトウェア、アプリの導入予定は無い	16	37.2%	69	35.6%	71	31.4%	156	33.7%
無回答	1	2.3%	6	3.1%	2	0.9%	9	1.9%
回答数合計	60	139.5%	233	120.1%	277	122.6%	570	123.1%
回答者数(母数)	43		194		226		463	

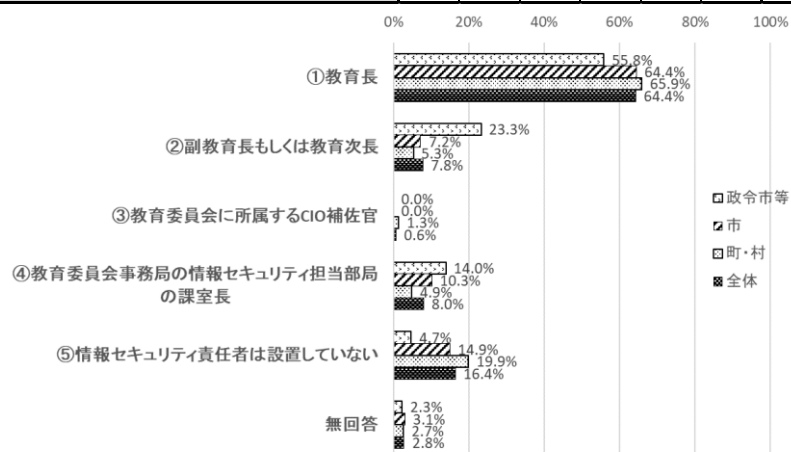


※「①学習用ソフトウェア(アプリ)の充実を検討している」が最も多く全体で 39.7%となっている。次いで「④ソフトウェア、アプリの導入予定は無い」が 33.7%となっている。「②学習者用デジタル教科書の整備を検討している」は全体で 20.3%に留まっている。

1-6 情報セキュリティに関する項目

1-6-01 教育委員会内の最高情報セキュリティ責任者は誰ですか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育長	24	55.8%	125	64.4%	149	65.9%	298	64.4%
②副教育長もしくは教育次長	10	23.3%	14	7.2%	12	5.3%	36	7.8%
③教育委員会に所属するCIO補佐官					3	1.3%	3	0.6%
④教育委員会事務局の情報セキュリティ担当部局の課長	6	14.0%	20	10.3%	11	4.9%	37	8.0%
⑤情報セキュリティ責任者は設置していない	2	4.7%	29	14.9%	45	19.9%	76	16.4%
無回答	1	2.3%	6	3.1%	6	2.7%	13	2.8%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

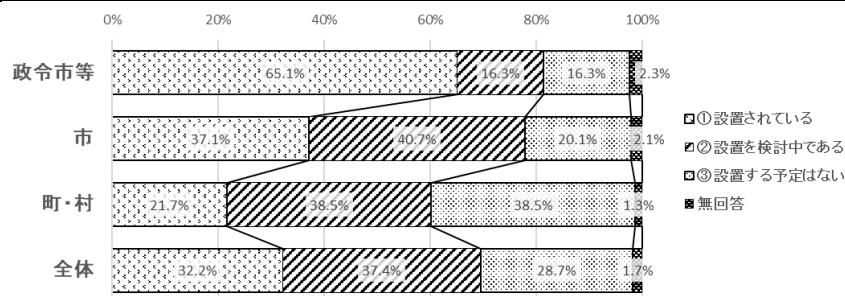


※「①教育長」が最も多く、全体の64.4%となっている。「⑤情報セキュリティ責任者は設置していない」は政令市等で4.7%、市で14.9%、町・村で19.9%となっており、小規模自治体での組織体制の確立に課題があると言える。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-02 教育委員会が参加する情報セキュリティ委員会※(もしくは同等の役割を持つ組織)は設置されていますか。

※情報セキュリティ委員会：情報セキュリティに関する重要事項を決定する機関。構成員は、CISO、CIO、統括教育情報セキュリティ責任者、教育情報セキュリティ責任者、教育情報セキュリティ管理者、教育情報システム管理者等が想定される。

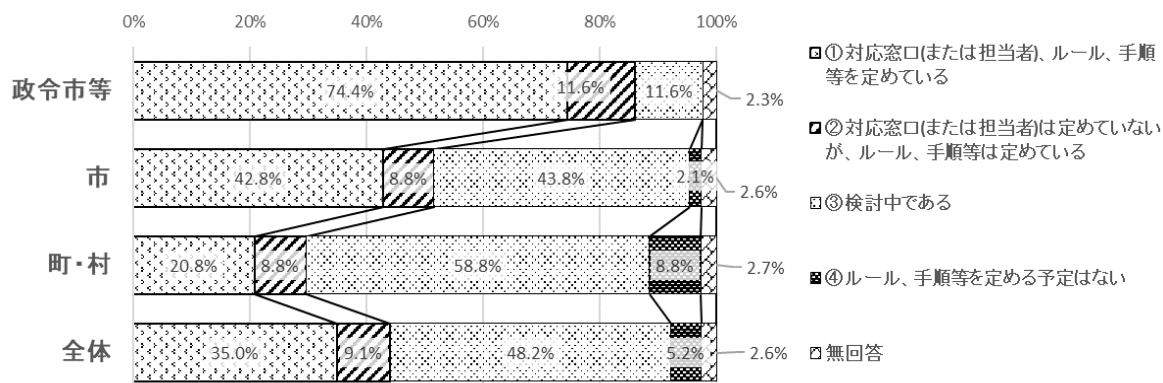
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①設置されている	28	65.1%	72	37.1%	49	21.7%	149	32.2%
②設置を検討中である	7	16.3%	79	40.7%	87	38.5%	173	37.4%
③設置する予定はない	7	16.3%	39	20.1%	87	38.5%	133	28.7%
無回答	1	2.3%	4	2.1%	3	1.3%	8	1.7%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①設置されている」は政令市等で65.1%、市で37.1%、町・村で21.7%に留まっており、自治体規模によって顕著な差がある。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-03 セキュリティ事故に備えて、教育委員会事務局内に統一的な窓口を設置し、報告ルール、対応手順等を定めていますか。

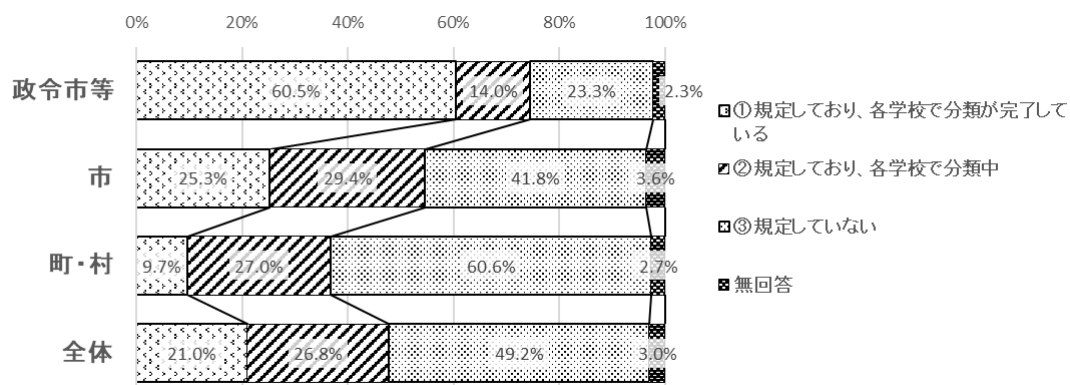
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①対応窓口(または担当者)、ルール、手順等を定めている	32	74.4%	83	42.8%	47	20.8%	162	35.0%
②対応窓口(または担当者)は定めていないが、ルール、手順等は定めている	5	11.6%	17	8.8%	20	8.8%	42	9.1%
③検討中である	5	11.6%	85	43.8%	133	58.8%	223	48.2%
④ルール、手順等を定める予定はない			4	2.1%	20	8.8%	24	5.2%
無回答	1	2.3%	5	2.6%	6	2.7%	12	2.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①対応窓口(または担当者)、ルール、手順等を定めている」は政令市等で74.4%、市で42.8%、町・村で20.8%となっており、自治体規模によって顕著な差がある。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-04 セキュリティポリシーの中で、文部科学省のセキュリティガイドラインに準じた情報資産の分類を行うよう規定していますか。

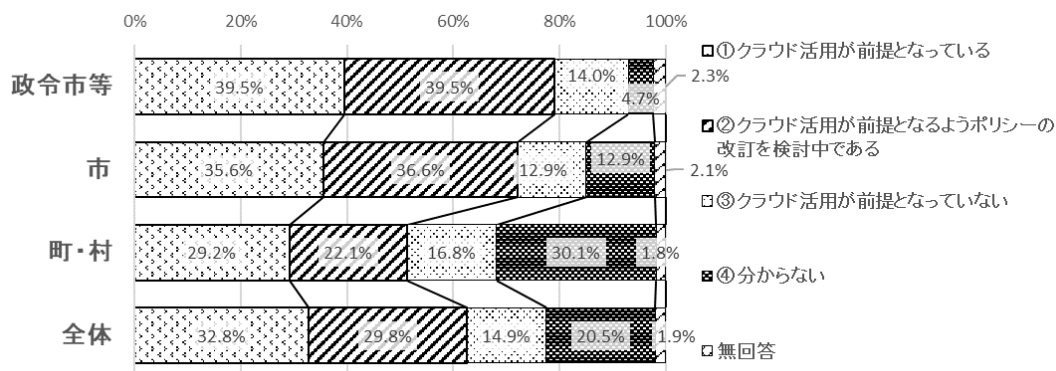
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①規定しており、各学校で分類が完了している	26	60.5%	49	25.3%	22	9.7%	97	21.0%
②規定しており、各学校で分類中	6	14.0%	57	29.4%	61	27.0%	124	26.8%
③規定していない	10	23.3%	81	41.8%	137	60.6%	228	49.2%
無回答	1	2.3%	7	3.6%	6	2.7%	14	3.0%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①規定しており、各学校で分類が完了している」は政令市等で60.5%、市で25.3%、町・村で9.7%となっており、自治体規模によって顕著な差がある。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-05 セキュリティポリシーは、民間のクラウドサービスの活用を前提とした内容となっていますか。

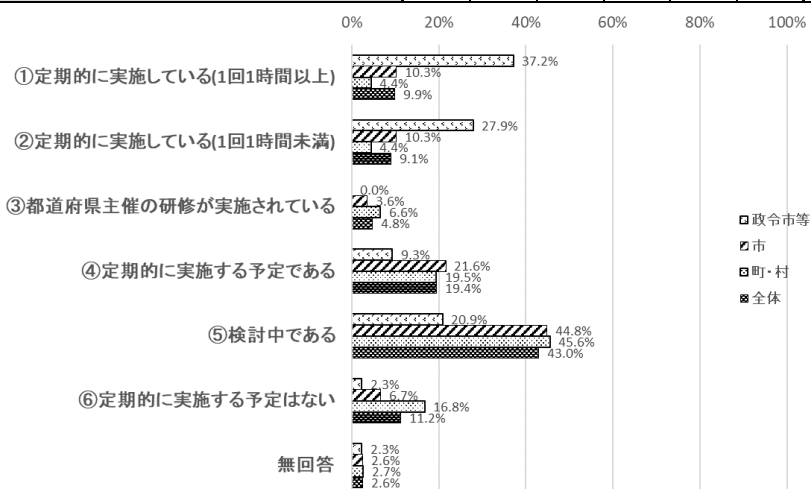
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①クラウド活用が前提となっている	17	39.5%	69	35.6%	66	29.2%	152	32.8%
②クラウド活用が前提となるようポリシーの改訂を検討中である	17	39.5%	71	36.6%	50	22.1%	138	29.8%
③クラウド活用が前提となっていない	6	14.0%	25	12.9%	38	16.8%	69	14.9%
④分からない	2	4.7%	25	12.9%	68	30.1%	95	20.5%
無回答	1	2.3%	4	2.1%	4	1.8%	9	1.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①クラウド活用が前提となっている」が全体の 32.8%、「②クラウド活用が前提となるようポリシーの改訂を検討中である」が全体の 29.8%となっている。

1-6-06 情報セキュリティ研修は、定期的を実施していますか。

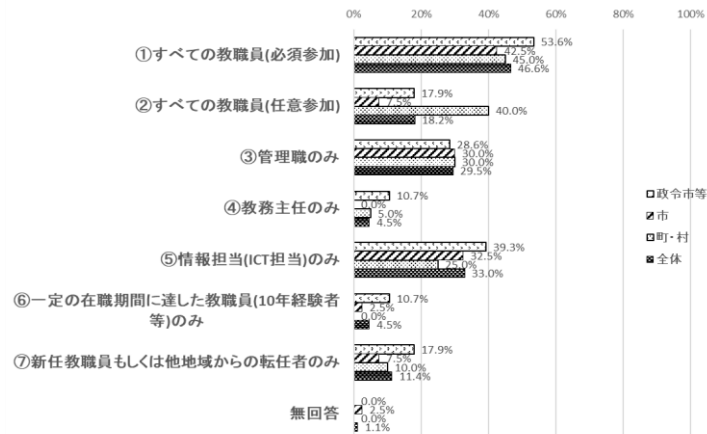
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①定期的を実施している(1回1時間以上)	16	37.2%	20	10.3%	10	4.4%	46	9.9%
②定期的を実施している(1回1時間未満)	12	27.9%	20	10.3%	10	4.4%	42	9.1%
③都道府県主催の研修が実施されている			7	3.6%	15	6.6%	22	4.8%
④定期的を実施する予定である	4	9.3%	42	21.6%	44	19.5%	90	19.4%
⑤検討中である	9	20.9%	87	44.8%	103	45.6%	199	43.0%
⑥定期的を実施する予定はない	1	2.3%	13	6.7%	38	16.8%	52	11.2%
無回答	1	2.3%	5	2.6%	6	2.7%	12	2.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①定期的を実施している(1回1時間以上)」「②定期的を実施している(1回1時間未満)」を合算すると、政令市等で 65.1%、市で 20.6%、町・村で 8.8%となっており、自治体規模によって顕著な差がある。「⑤検討中である」は、政令市等で 20.9%、市で 44.8%、町・村で 45.6%となっている。特に市、町・村では早急な対応が求められる。

1-6-07 前問で①②と回答した方に伺います。実施している情報セキュリティ研修の対象者はどなたですか。(いくつでも)

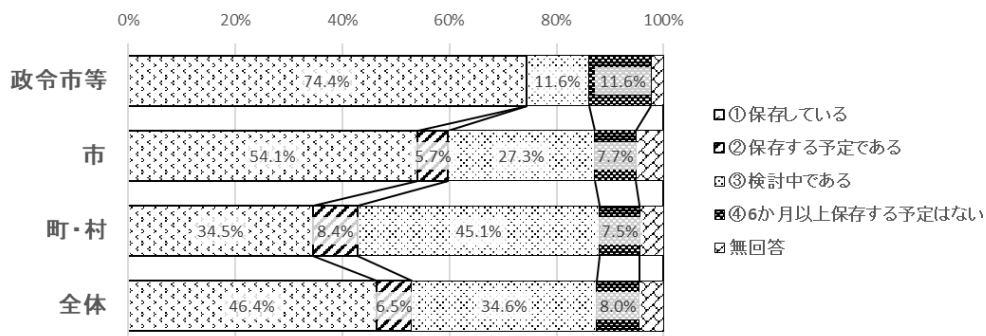
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての教職員(必須参加)	15	53.6%	17	42.5%	9	45.0%	41	46.6%
②すべての教職員(任意参加)	5	17.9%	3	7.5%	8	40.0%	16	18.2%
③管理職のみ	8	28.6%	12	30.0%	6	30.0%	26	29.5%
④教務主任のみ	3	10.7%			1	5.0%	4	4.5%
⑤情報担当(ICT担当)のみ	11	39.3%	13	32.5%	5	25.0%	29	33.0%
⑥一定の在職期間に達した教職員(10年経験者等)のみ	3	10.7%	1	2.5%			4	4.5%
⑦新任教職員もしくは他地域からの転任者のみ	5	17.9%	3	7.5%	2	10.0%	10	11.4%
無回答			1	2.5%			1	1.1%
回答数合計	50	178.6%	50	125.0%	31	155.0%	131	148.9%
回答者数(母数)	28		40		20		88	



※「①すべての教職員(必須参加)」が最も多く、全体の46.6%となっている。前回調査と比較すると、「③管理職のみ」が全体で(38.8%→29.5%)、「⑤情報担当(ICT担当)のみ」が全体で(43.7%→33.0%)と低下している一方、「①すべての教職員(必須参加)」が全体で(27.2%→46.6%)と大きく上昇している。

1-6-08 校務系情報のログ(アクセスログ、システム稼動ログ、障害時のシステム出力ログ)は6か月以上保存していますか。

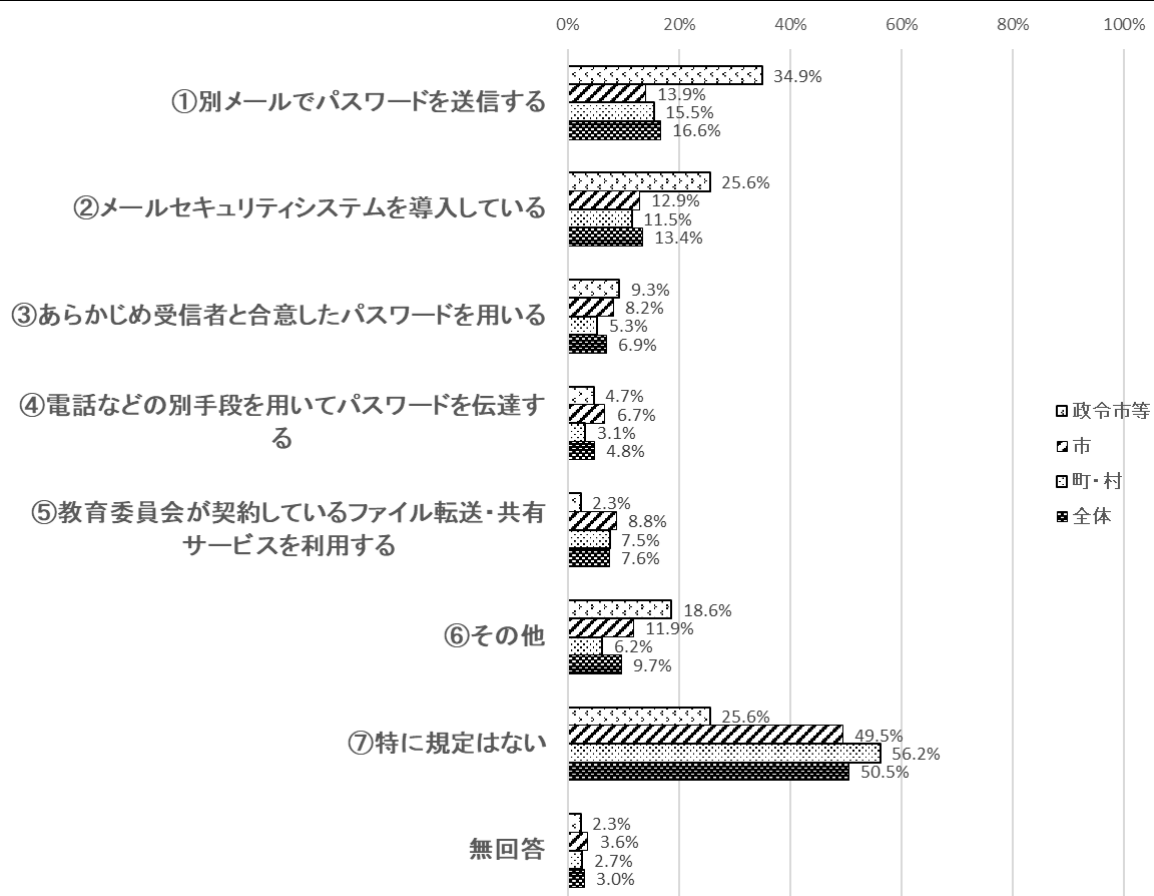
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保存している	32	74.4%	105	54.1%	78	34.5%	215	46.4%
②保存する予定である			11	5.7%	19	8.4%	30	6.5%
③検討中である	5	11.6%	53	27.3%	102	45.1%	160	34.6%
④6か月以上保存する予定はない	5	11.6%	15	7.7%	17	7.5%	37	8.0%
無回答	1	2.3%	10	5.2%	10	4.4%	21	4.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①保存している」は政令市等で74.4%、市で54.1%、町・村で34.5%となっており、自治体規模によって顕著な差がある。規模の大きな自治体ほど校務系情報のログを6か月以上保存している傾向が見られる。

1-6-09 教職員がメールで外部へファイルを送信する際のセキュリティ対策については、どのような規定・システムがありますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①別メールでパスワードを送信する	15	34.9%	27	13.9%	35	15.5%	77	16.6%
②メールセキュリティシステムを導入している	11	25.6%	25	12.9%	26	11.5%	62	13.4%
③あらかじめ受信者と合意したパスワードを用いる	4	9.3%	16	8.2%	12	5.3%	32	6.9%
④電話などの別手段を用いてパスワードを伝達する	2	4.7%	13	6.7%	7	3.1%	22	4.8%
⑤教育委員会が契約しているファイル転送・共有サービスを利用する	1	2.3%	17	8.8%	17	7.5%	35	7.6%
⑥その他	8	18.6%	23	11.9%	14	6.2%	45	9.7%
⑦特に規定はない	11	25.6%	96	49.5%	127	56.2%	234	50.5%
無回答	1	2.3%	7	3.6%	6	2.7%	14	3.0%
回答数合計	53	123.3%	224	115.5%	244	108.0%	521	112.5%
回答者数(母数)	43		194		226		463	

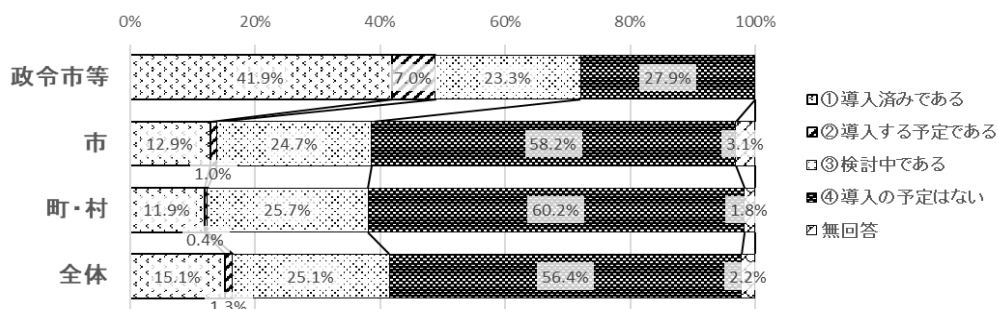


※「①別メールでパスワードを送信する」は政令市等で 34.9%、市で 13.9%、町・村で 15.5%、「②メールセキュリティシステムを導入している」は政令市等で 25.6%、市で 12.9%、町・村で 11.5%となっており、政令市等とその他市町村とで顕著な差がある。「⑦特に規定はない」は政令市等で 25.6%、市で 49.5%、町・村で 56.2%となっており、誤送信などのセキュリティリスクを考えると、早急な対策が望まれる。

1-6-10 教職員が学校内のシステムを利用する際の仕組みとして、二要素認証(多要素認証)は導入していますか。

※二要素認証：ID/パスワードに加えて、物理認証や生体認証を併用する個人認証方式のこと。

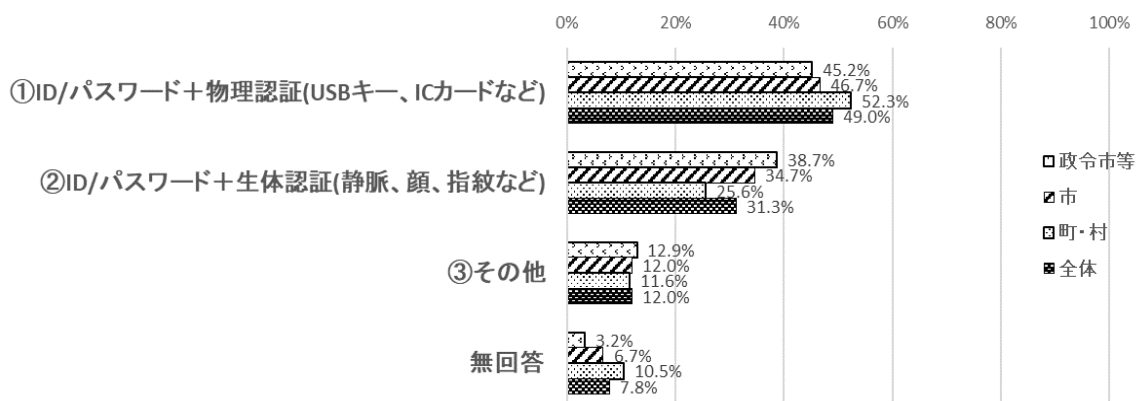
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入済みである	18	41.9%	25	12.9%	27	11.9%	70	15.1%
②導入する予定である	3	7.0%	2	1.0%	1	0.4%	6	1.3%
③検討中である	10	23.3%	48	24.7%	58	25.7%	116	25.1%
④導入の予定はない	12	27.9%	113	58.2%	136	60.2%	261	56.4%
無回答			6	3.1%	4	1.8%	10	2.2%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①導入済みである」は政令市等で41.9%、市で12.9%、町・村で11.9%となっており、政令市等とその他市町村とで顕著な差がある。前回調査と比較して、全体の傾向に大きな変化は見られない。

1-6-11 前問で①～③と回答した方に伺います。導入済みまたは導入予定の二要素認証(多要素認証)の仕組みについて、当てはまるものを選んでください。

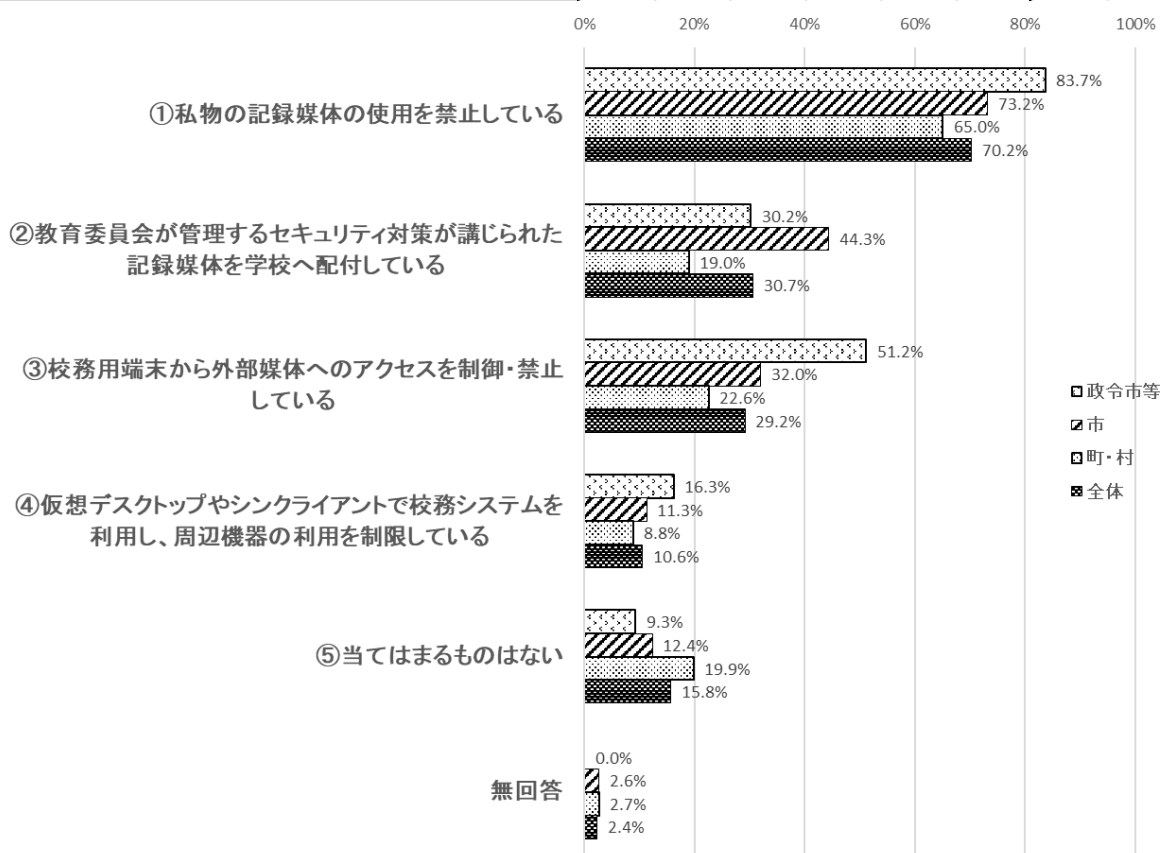
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ID/パスワード+物理認証(USBキー、ICカードなど)	14	45.2%	35	46.7%	45	52.3%	94	49.0%
②ID/パスワード+生体認証(静脈、顔、指紋など)	12	38.7%	26	34.7%	22	25.6%	60	31.3%
③その他	4	12.9%	9	12.0%	10	11.6%	23	12.0%
無回答	1	3.2%	5	6.7%	9	10.5%	15	7.8%
回答者数(母数)	31	100.0%	75	100.0%	86	100.0%	192	100.0%



※「①ID/パスワード+物理認証 (USB キー、IC カードなど)」は全体の49.0%、「②ID/パスワード+生体認証 (静脈、顔、指紋など)」は全体の31.3%となっている。

1-6-12 教職員が情報を外部に持ち出すために利用する USB メモリ等の電磁的記録媒体については、どのようなセキュリティ対策が講じられていますか。(いくつでも)

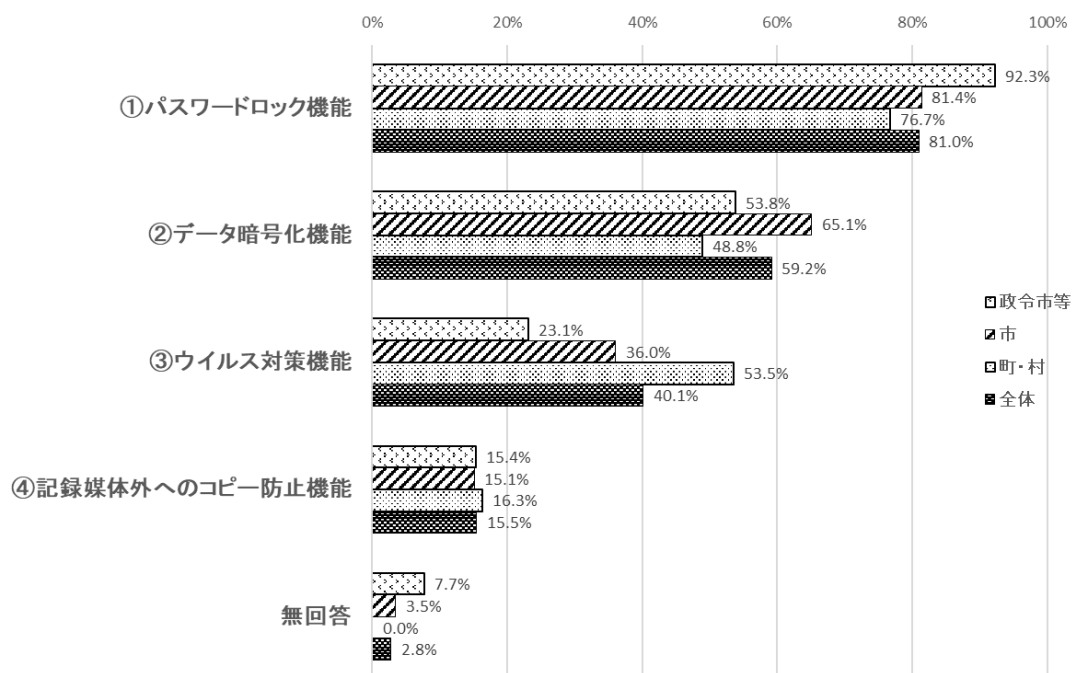
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①私物の記録媒体の使用を禁止している	36	83.7%	142	73.2%	147	65.0%	325	70.2%
②教育委員会が管理するセキュリティ対策が講じられた記録媒体を学校へ配付している	13	30.2%	86	44.3%	43	19.0%	142	30.7%
③校務用端末から外部媒体へのアクセスを制御・禁止している	22	51.2%	62	32.0%	51	22.6%	135	29.2%
④仮想デスクトップやシンククライアントで校務システムを利用し、周辺機器の利用を制限している	7	16.3%	22	11.3%	20	8.8%	49	10.6%
⑤当てはまるものはない	4	9.3%	24	12.4%	45	19.9%	73	15.8%
無回答			5	2.6%	6	2.7%	11	2.4%
回答数合計	82	190.7%	341	175.8%	312	138.1%	735	158.7%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「①私物の記録媒体の使用を禁止している」が最も多く、全体の 70.2%となっている。「②教育委員会が管理するセキュリティ対策が講じられた記録媒体を学校へ配付している」は政令市等で 30.2%、市で 44.3%、町・村で 19.0%となっており、市が最も多くなっている。「③校務用端末から外部媒体へのアクセスを制御・禁止している」は政令市等で 51.2%、市で 32.0%、町・村で 22.6%となっており、政令市等が最も多くなっている。

1-6-13 前問で②と回答した方に伺います。教職員が利用する USB メモリ等の電磁的記録媒体には、どのような機能が搭載されていますか。(いくつでも)

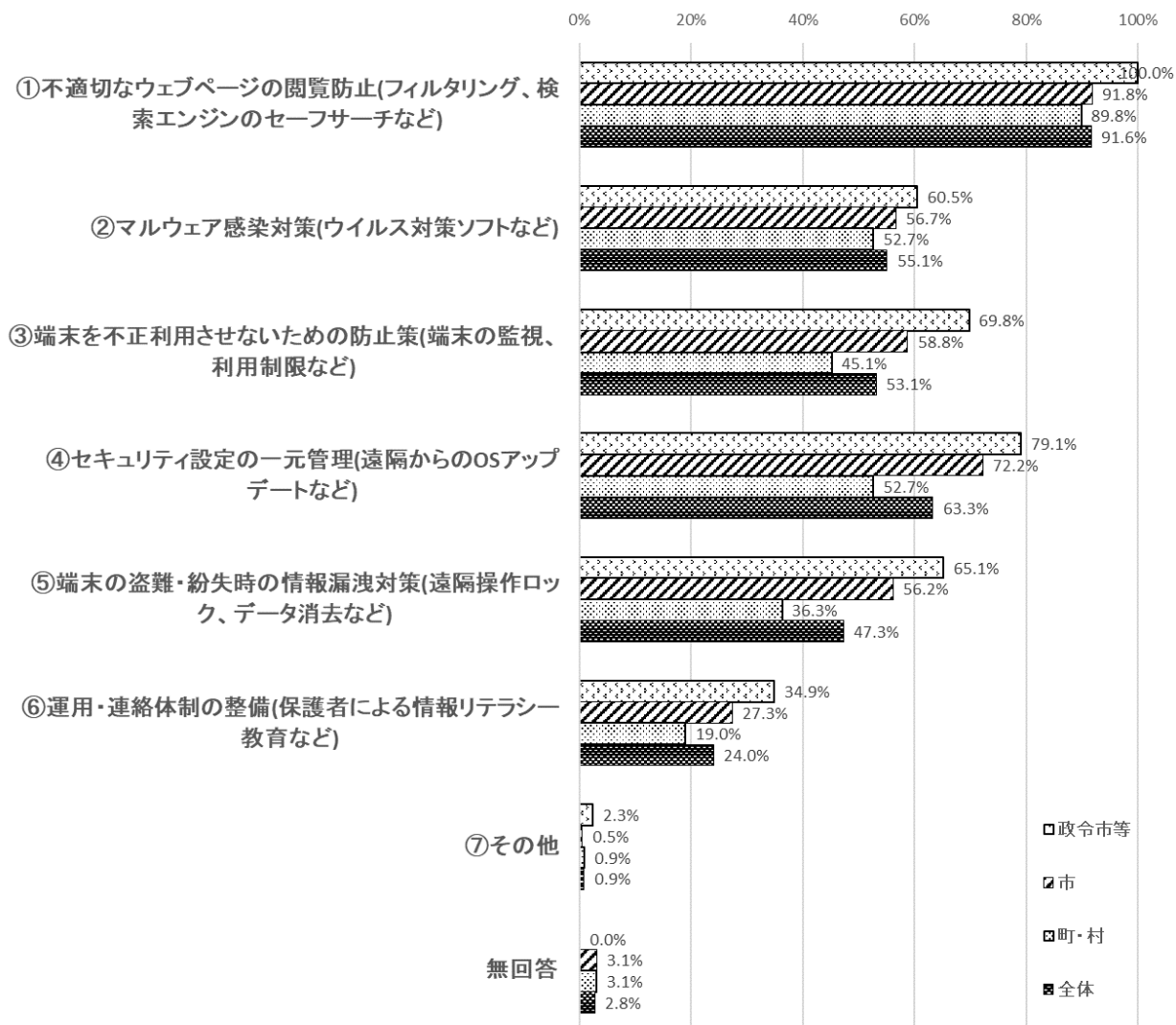
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①パスワードロック機能	12	92.3%	70	81.4%	33	76.7%	115	81.0%
②データ暗号化機能	7	53.8%	56	65.1%	21	48.8%	84	59.2%
③ウイルス対策機能	3	23.1%	31	36.0%	23	53.5%	57	40.1%
④記録媒体外へのコピー防止機能	2	15.4%	13	15.1%	7	16.3%	22	15.5%
無回答	1	7.7%	3	3.5%			4	2.8%
回答数合計	25	192.3%	173	201.2%	84	195.3%	282	198.6%
回答者数(母数)	13		86		43		142	



※「①パスワードロック機能」が最も多く、全体の 81.0%となっている。「②データ暗号化機能」は全体の 59.2%となっている。前回調査と比較して、全体の傾向に大きな変化は見られない。

1-6-14 GIGA スクール構想で整備した1人1台端末については、どのようなセキュリティ対策が講じられていますか。(いくつでも)

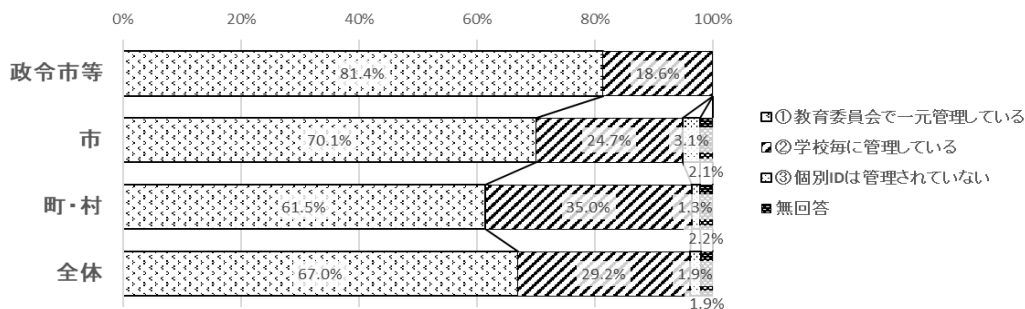
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①不適切なウェブページの閲覧防止(フィルタリング、検索エンジンのセーフサーチなど)	43	100.0%	178	91.8%	203	89.8%	424	91.6%
②マルウェア感染対策(ウイルス対策ソフトなど)	26	60.5%	110	56.7%	119	52.7%	255	55.1%
③端末を不正利用させないための防止策(端末の監視、利用制限など)	30	69.8%	114	58.8%	102	45.1%	246	53.1%
④セキュリティ設定の一元管理(遠隔からのOSアップデートなど)	34	79.1%	140	72.2%	119	52.7%	293	63.3%
⑤端末の盗難・紛失時の情報漏洩対策(遠隔操作ロック、データ消去など)	28	65.1%	109	56.2%	82	36.3%	219	47.3%
⑥運用・連絡体制の整備(保護者による情報リテラシー教育など)	15	34.9%	53	27.3%	43	19.0%	111	24.0%
⑦その他	1	2.3%	1	0.5%	2	0.9%	4	0.9%
無回答			6	3.1%	7	3.1%	13	2.8%
回答数合計	177	411.6%	711	366.5%	677	299.6%	1,565	338.0%
回答者数(母数)	43		194		226		463	



※「①不適切なウェブページの閲覧防止(フィルタリング、検索エンジンのセーフサーチなど)」が最も多く、政令市等で100.0%、全体で91.6%となっている。「⑦その他」「無回答」を除くすべての項目で、規模の大きな自治体ほどセキュリティ対策が講じられている傾向が見られる。

1-6-15 児童・生徒の個別IDは、どのように管理していますか。

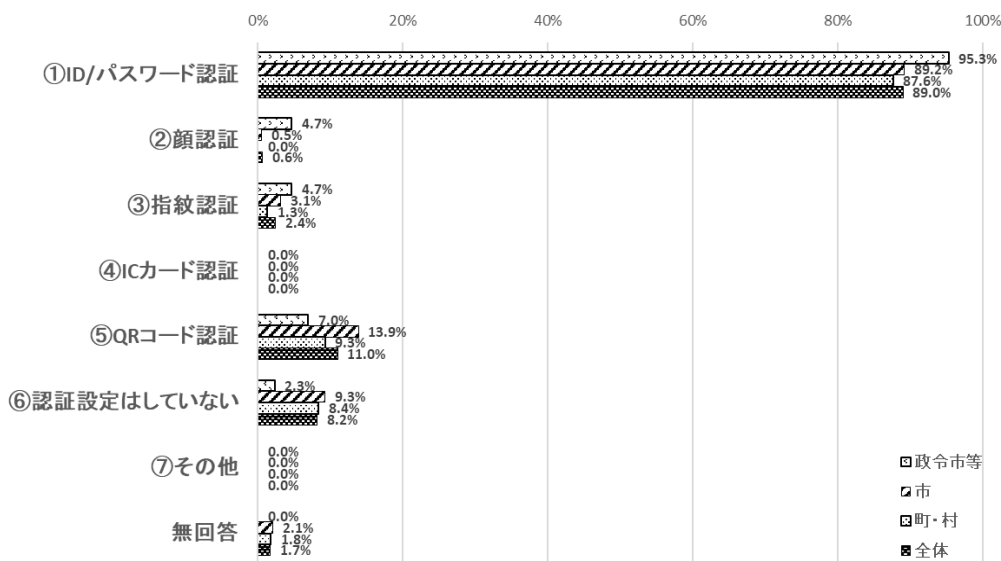
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会で一元管理している	35	81.4%	136	70.1%	139	61.5%	310	67.0%
②学校毎に管理している	8	18.6%	48	24.7%	79	35.0%	135	29.2%
③個別IDは管理されていない			6	3.1%	3	1.3%	9	1.9%
無回答			4	2.1%	5	2.2%	9	1.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①教育委員会で一元管理している」が全体で 67.0%となっており、規模の大きな自治体ほど教育委員会で一元管理している傾向が見られる。

1-6-17 GIGA スクール構想で整備した1人1台端末を利用する際のユーザ認証方法について、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ID/パスワード認証	41	95.3%	173	89.2%	198	87.6%	412	89.0%
②顔認証	2	4.7%	1	0.5%			3	0.6%
③指紋認証	2	4.7%	6	3.1%	3	1.3%	11	2.4%
④ICカード認証								
⑤QRコード認証	3	7.0%	27	13.9%	21	9.3%	51	11.0%
⑥認証設定はしていない	1	2.3%	18	9.3%	19	8.4%	38	8.2%
⑦その他								
無回答			4	2.1%	4	1.8%	8	1.7%
回答数合計	49	114.0%	229	118.0%	245	108.4%	523	113.0%
回答者数(母数)	43		194		226		463	

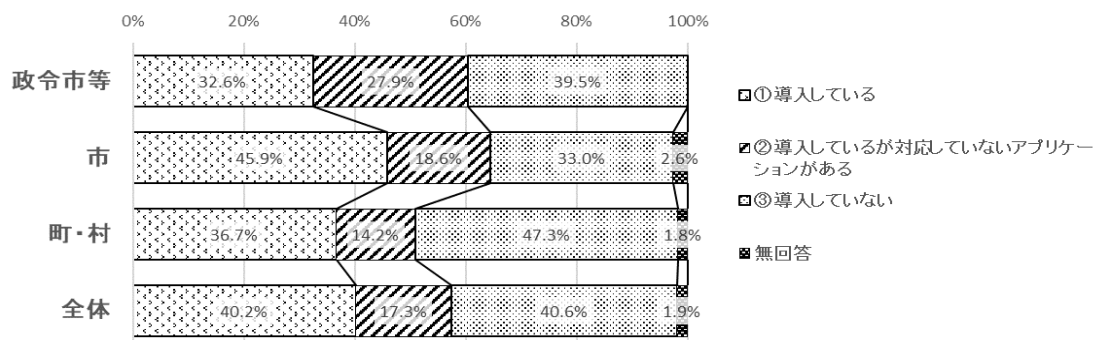


※「①ID/パスワード認証」が自治体規模を問わず最も多く、全体の 89.0%となっている。「⑥認証設定はしていない」が全体の 8.2%となっている。

1-6-18 一度の認証で、各種学習用ツールやクラウドサービス、アプリケーションが利用できるよう、シングルサインオンを導入していますか。

※シングルサインオン：「SSO(Single Sign-On)」とも表記される。一度のユーザ認証で複数の異なるサービス認証と利用を可能にする仕組み。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入している	14	32.6%	89	45.9%	83	36.7%	186	40.2%
②導入しているが対応していないアプリケーションがある	12	27.9%	36	18.6%	32	14.2%	80	17.3%
③導入していない	17	39.5%	64	33.0%	107	47.3%	188	40.6%
無回答			5	2.6%	4	1.8%	9	1.9%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

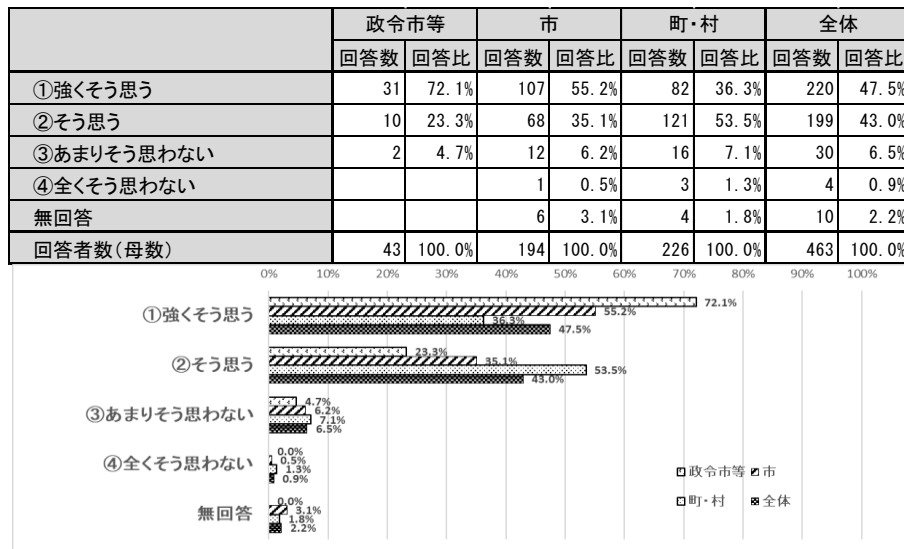


※「①導入している」が全体の40.2%、「②導入しているが対応していないアプリケーションがある」が全体の17.3%となっている。シングルサインオンを導入している自治体が過半数となっているものの、導入していない自治体も多く、児童・生徒の利便性向上のために早急な対応が望まれる。

1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目

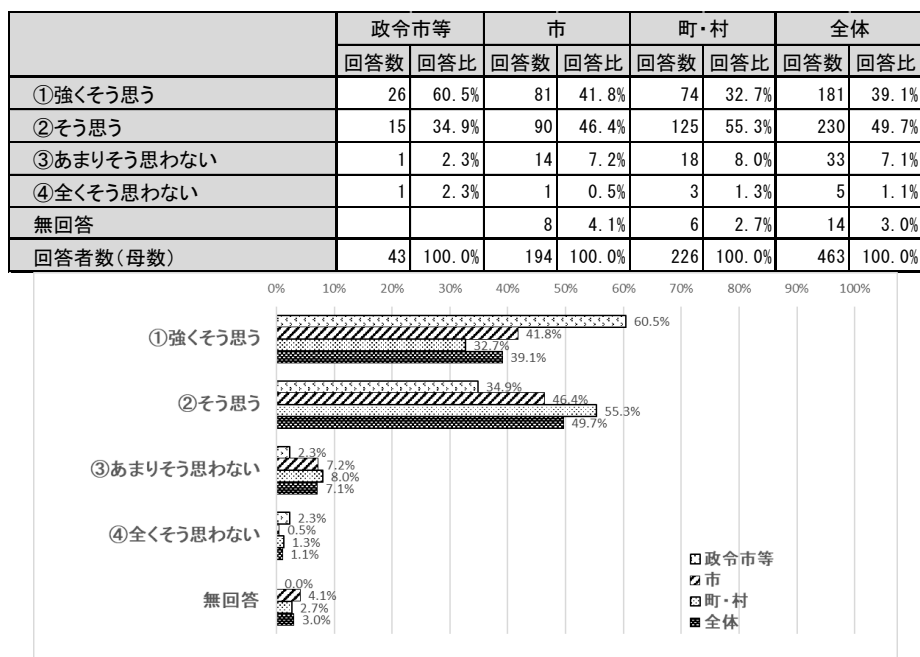
1-7-01 教育の情報化に向けて次の質問項目についてどう思われますか。それぞれの質問項目別にお答えください。

1-7-01(1) すべての教室に、大型提示装置(プロジェクタ、電子黒板、インタラクティブホワイトボード、電子情報ボード)を設置すべきである。



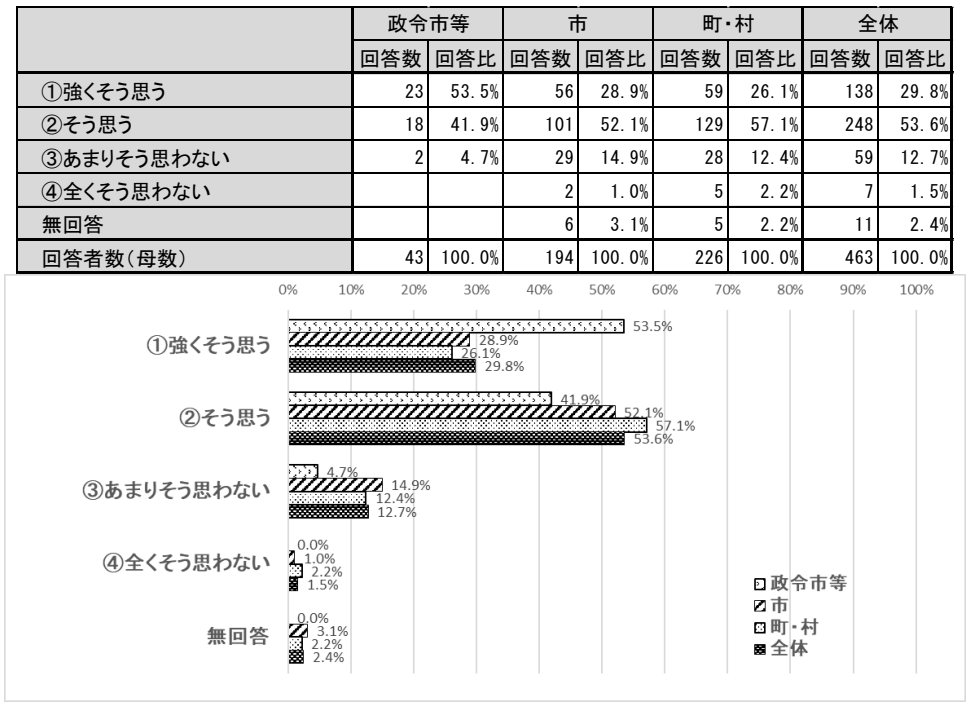
※「①強く思う」が最も多く、全体で(42.0%→47.5%)となっている。特に政令市等では72.1%に上っている。「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で(85.9%→90.5%)であり、大型提示装置は必要とされている。

1-7-01(2) 1人1台端末を活用するために指導者用デジタル教科書が必要である。



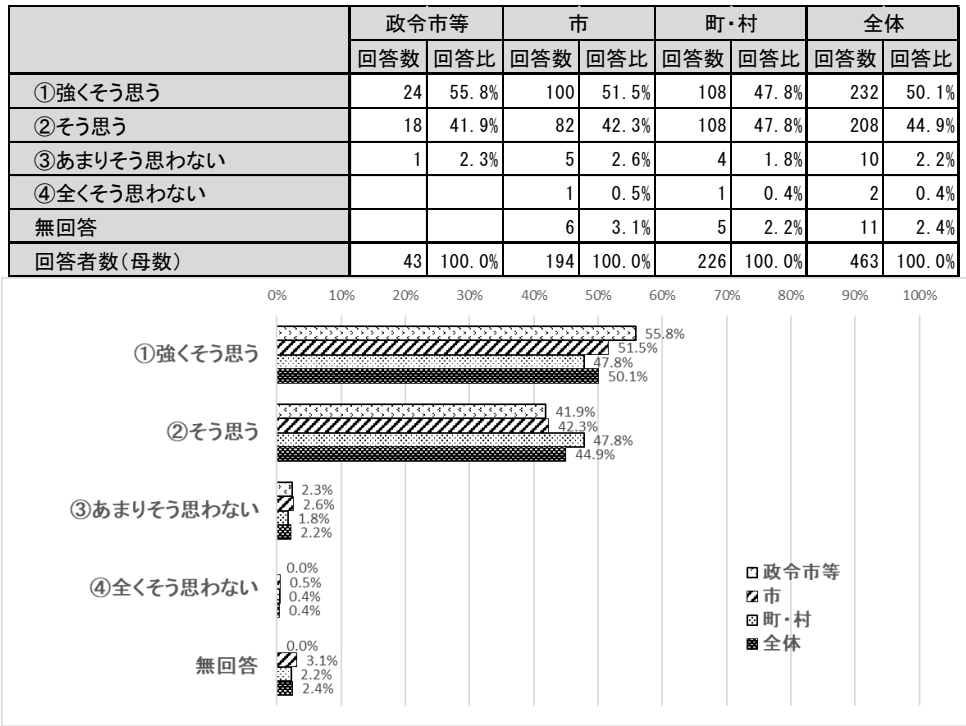
※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で88.8%となっており、指導者用デジタル教科書は必要とされている。

1-7-01(3) 1人1台端末を活用するために学習者用デジタル教材が必要である。



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で（65.4%→83.4%）となっている。政令市等では「①強くそう思う」が（25.9%→53.5%）である。学習者用デジタル教材は必要とされている。

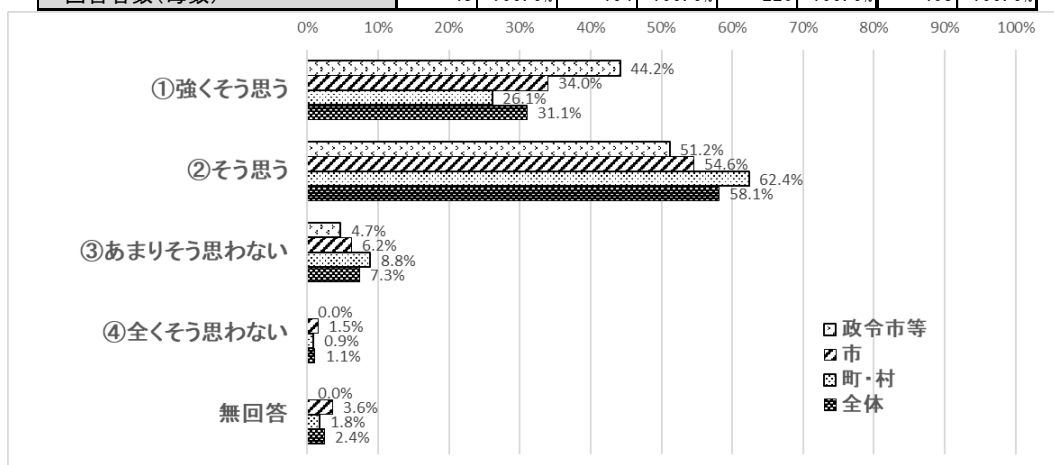
1-7-01(4) 1人1台端末を有効活用するために新たな教員研修が必要である。



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 95.0%であり、新たな教員研修が強く望まれている。

1-7-01(5) リモート(いつでもどこでも受講可能な)での教員研修が必要である。

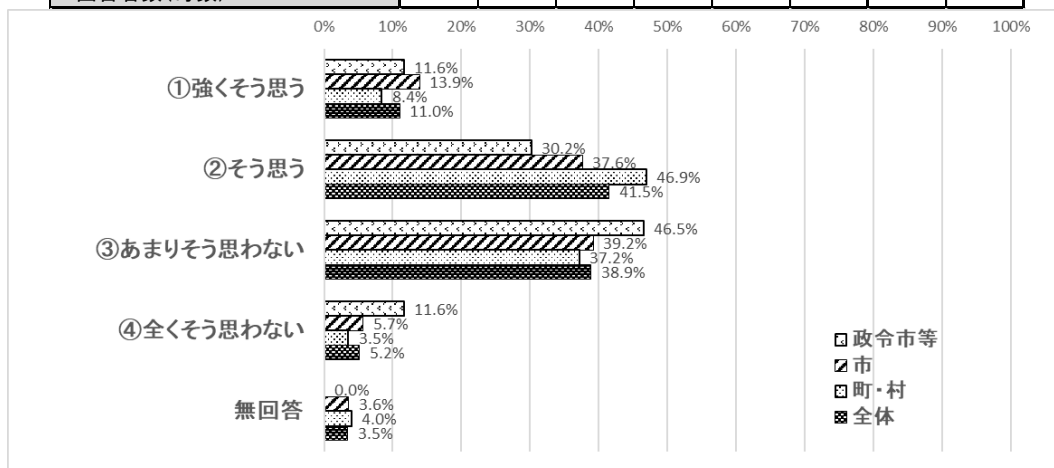
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	19	44.2%	66	34.0%	59	26.1%	144	31.1%
②そう思う	22	51.2%	106	54.6%	141	62.4%	269	58.1%
③あまりそう思わない	2	4.7%	12	6.2%	20	8.8%	34	7.3%
④全くそう思わない			3	1.5%	2	0.9%	5	1.1%
無回答			7	3.6%	4	1.8%	11	2.4%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 89.2%であり、リモートでの研修が必要とされている。「①強く思う」は政令市等で 44.2%、市で 34.0%、町・村で 26.1%と自治体規模で温度差がある。

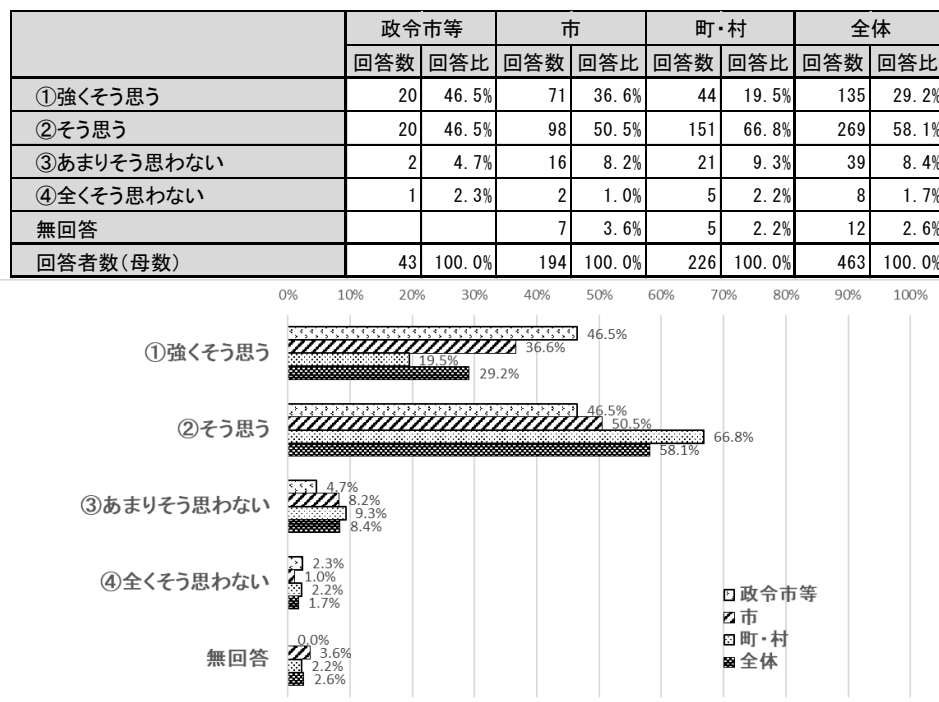
1-7-01(6) 1人1台端末を有効活用するためには、学習指導要領を見直す必要がある。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	5	11.6%	27	13.9%	19	8.4%	51	11.0%
②そう思う	13	30.2%	73	37.6%	106	46.9%	192	41.5%
③あまりそう思わない	20	46.5%	76	39.2%	84	37.2%	180	38.9%
④全くそう思わない	5	11.6%	11	5.7%	8	3.5%	24	5.2%
無回答			7	3.6%	9	4.0%	16	3.5%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%

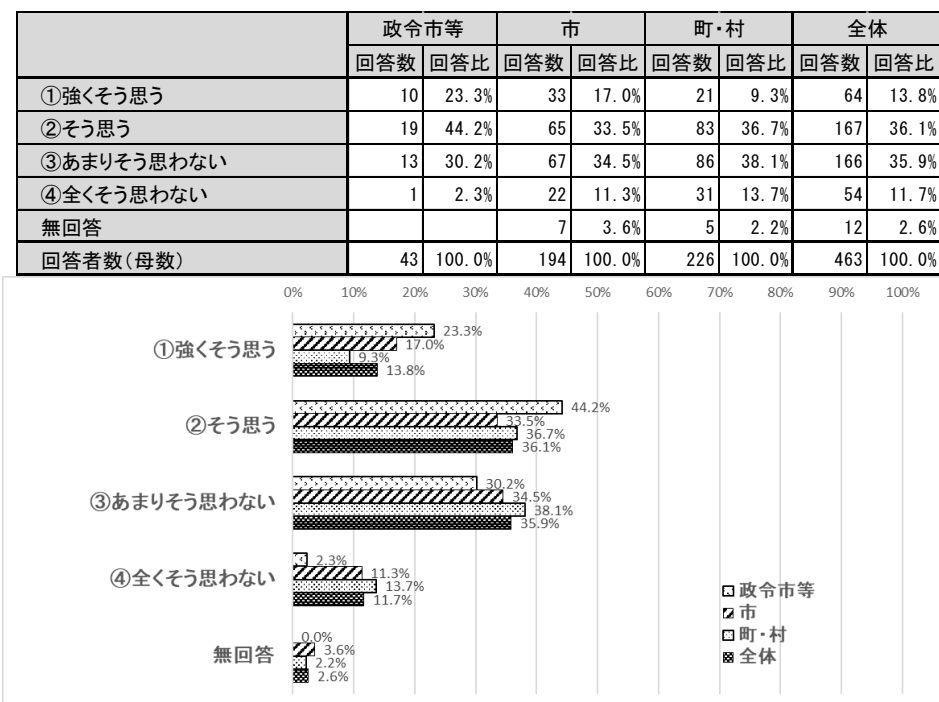


※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 52.5%、「③あまりそう思わない」「④全く思わない」を合わせて 44.1%と意見が分かれる結果となった。

1-7-01(7) 授業や補習・進学指導のために、教材コンテンツやデジタル教材、プリント教材、教員の自作教材等を広く地域内で共有できるクラウドを活用すべきである。(教育クラウド化)

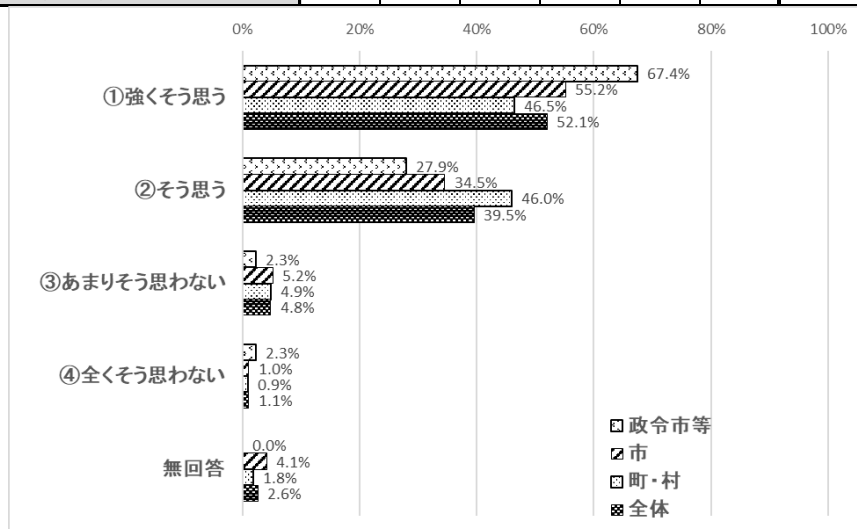


1-7-01(8) セキュリティを確保して、学校外で校務処理を可能とすべきである。



1-7-01(9) 授業での ICT 活用、校務支援システムの導入などで、ICT 支援員は必要である。

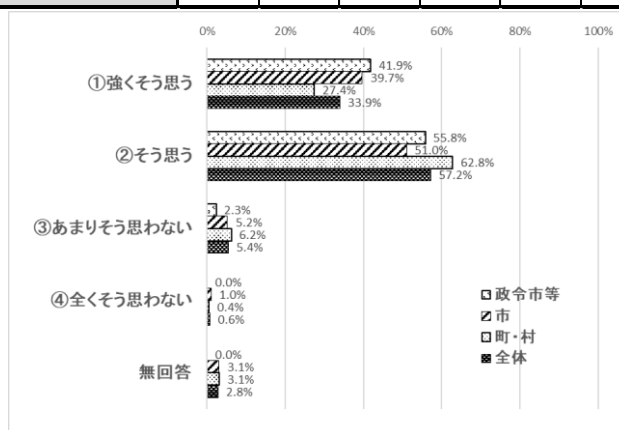
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	29	67.4%	107	55.2%	105	46.5%	241	52.1%
②そう思う	12	27.9%	67	34.5%	104	46.0%	183	39.5%
③あまりそう思わない	1	2.3%	10	5.2%	11	4.9%	22	4.8%
④全くそう思わない	1	2.3%	2	1.0%	2	0.9%	5	1.1%
無回答			8	4.1%	4	1.8%	12	2.6%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて 91.6%で、ICT 支援員は必要とされている。

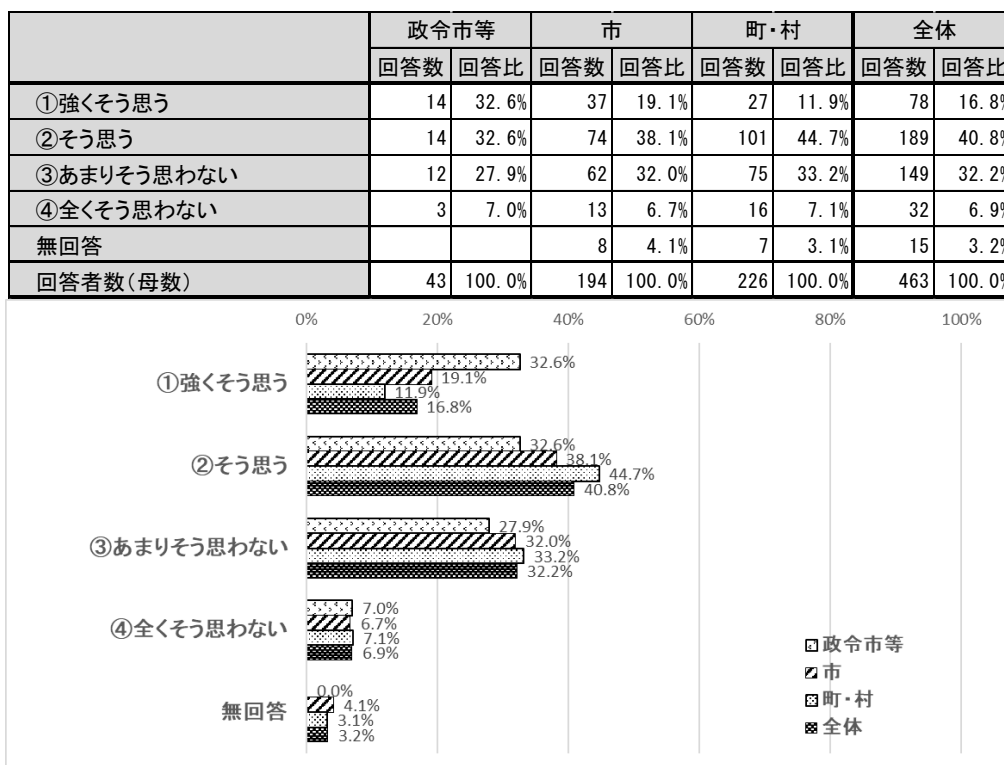
1-7-01(10) 教育の情報化推進やセキュリティ強化にあたって、教育委員会と首長部局の情報政策部門との連携を強める必要がある。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	18	41.9%	77	39.7%	62	27.4%	157	33.9%
②そう思う	24	55.8%	99	51.0%	142	62.8%	265	57.2%
③あまりそう思わない	1	2.3%	10	5.2%	14	6.2%	25	5.4%
④全くそう思わない			2	1.0%	1	0.4%	3	0.6%
無回答			6	3.1%	7	3.1%	13	2.8%
回答者数(母数)	43	100.0%	194	100.0%	226	100.0%	463	100.0%



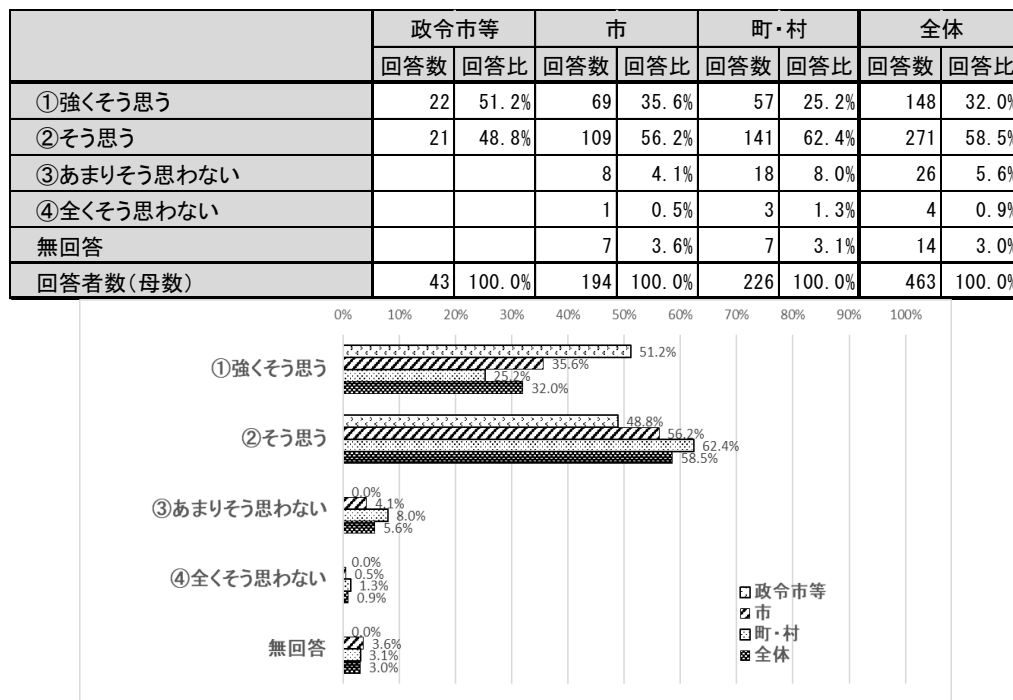
※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて 91.1%であり、情報政策部門との連携が必要とされている。

1-7-01(11) 1人1台端末環境を維持するためには、BYODを進めるべきだ。



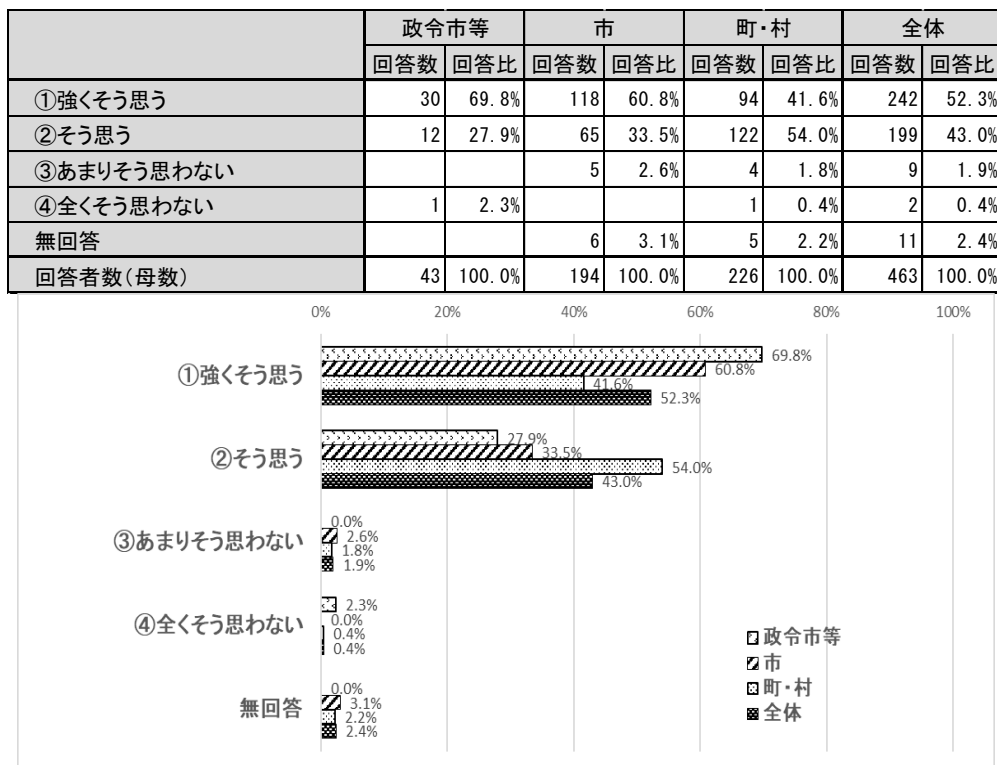
※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて57.6%と多いが、「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせて39.1%あり、考えが分かれている。

1-7-01(12) 特別支援教育の充実を図るために、様々な障害に対応したデジタル教材やICT機器の整備を進めるべきである。



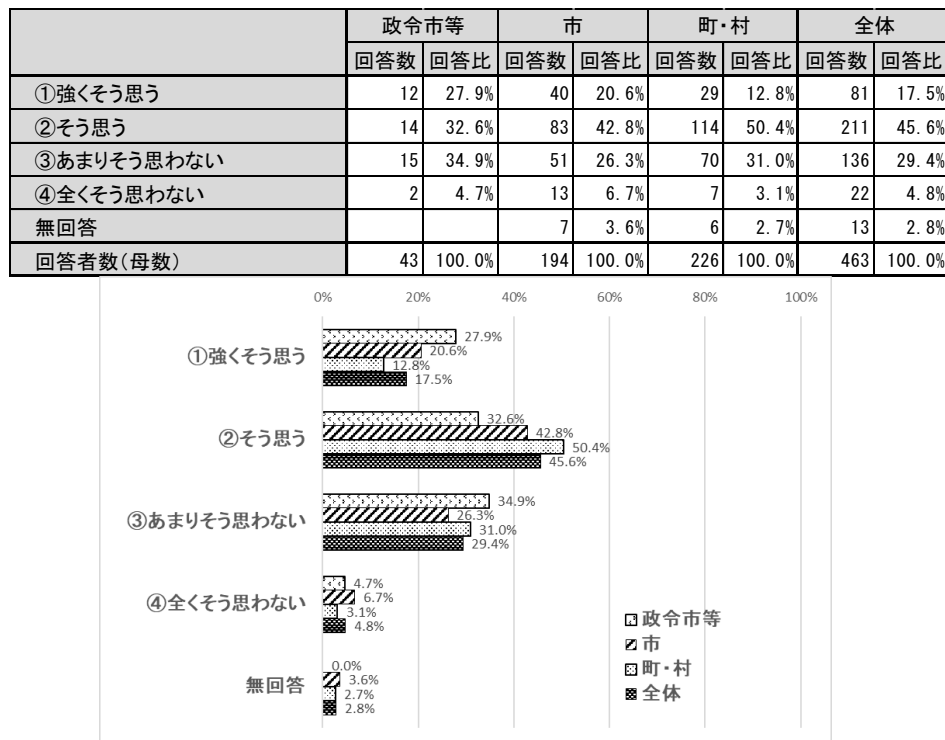
※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて90.5%であり、障害に対応したICT機器の整備やデジタル教材の充実が必要とされている。

1-7-01(13) 1人1台端末環境を有効活用・運用するために、保守サポートの予算を充実すべき。



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて95.3%であり、保守サポート予算の充実が必要とされている。

1-7-01(14) コンピュータ教室は、デジタル図書室、デジタル実験室、デジタルコミュニティエリアといった発展的活用を行うべき。



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて63.1%である。「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせて34.2%である。発展的活用が望まれている。

第Ⅲ部 学校編

学校編は、全国の公立小中学校に対して調査を行い、得られた結果を集計し掲載したものである。

調査内容は、以下のカテゴリに分けて掲載されている。

- 2-0 プロフィール
- 2-1 ネットワーク及び ICT 環境に関する項目
- 2-2 ハードウェアに関する項目
- 2-3 ソフトウェアに関する項目
- 2-4 保守・サポートに関する項目
- 2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

学校編では、さらに「3」として、先進地域・一般地域の分類で集計し、特に注目すべき点があった設問についてのみ掲載している。

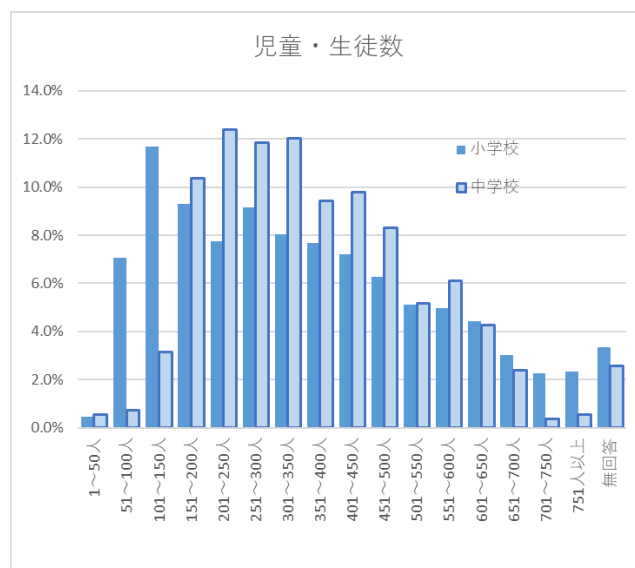
2 全体的傾向（小中学校別の集計）

2-0 回答者プロフィール

学校を対象とする調査は、小学校 3,691 校、中学校 1,559 校の合計 5,250 校を対象として選び、のうち小学校 1,291 校、中学校 541 校から回答が得られた。以下に、今回の調査にこれらの学校のプロフィールとして、児童・生徒数、学級数、教員数、学校内の総コンピュータ台数という 4 つの観点から、回答をいただいた学校数の分布を掲載する。

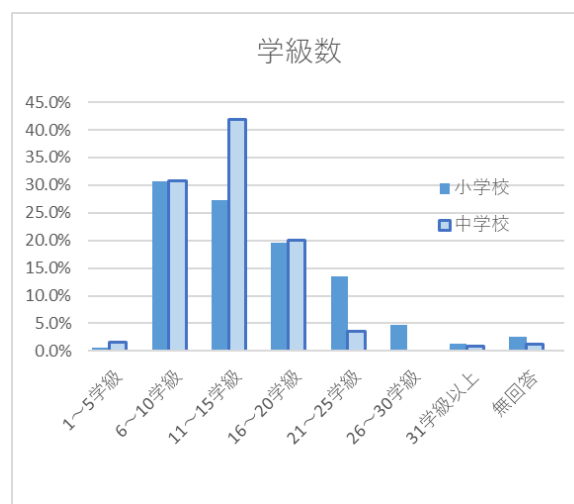
児童・生徒数別学校数分布

児童・生徒数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～50人	6	0.5%	3	0.6%	9	0.5%
51～100人	91	7.0%	4	0.7%	95	5.2%
101～150人	151	11.7%	17	3.1%	168	9.2%
151～200人	120	9.3%	56	10.4%	176	9.6%
201～250人	100	7.7%	67	12.4%	167	9.1%
251～300人	118	9.1%	64	11.8%	182	9.9%
301～350人	104	8.1%	65	12.0%	169	9.2%
351～400人	99	7.7%	51	9.4%	150	8.2%
401～450人	93	7.2%	53	9.8%	146	8.0%
451～500人	81	6.3%	45	8.3%	126	6.9%
501～550人	66	5.1%	28	5.2%	94	5.1%
551～600人	64	5.0%	33	6.1%	97	5.3%
601～650人	57	4.4%	23	4.3%	80	4.4%
651～700人	39	3.0%	13	2.4%	52	2.8%
701～750人	29	2.2%	2	0.4%	31	1.7%
751人以上	30	2.3%	3	0.6%	33	1.8%
無回答	43	3.3%	14	2.6%	57	3.1%
合計	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



学級数別学校数分布

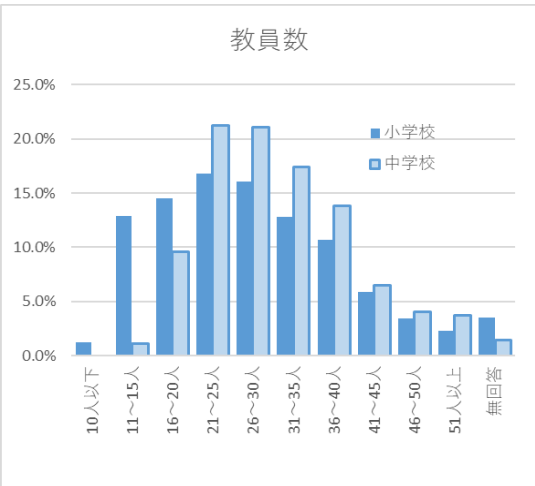
学級数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～5学級	7	0.5%	9	1.7%	16	0.9%
6～10学級	395	30.6%	166	30.7%	561	30.6%
11～15学級	353	27.3%	227	42.0%	580	31.7%
16～20学級	252	19.5%	108	20.0%	360	19.7%
21～25学級	174	13.5%	19	3.5%	193	10.5%
26～30学級	61	4.7%	0	0.0%	61	3.3%
31学級以上	16	1.2%	5	0.9%	21	1.1%
無回答	33	2.6%	7	1.3%	40	2.2%
合計	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



(学校編)

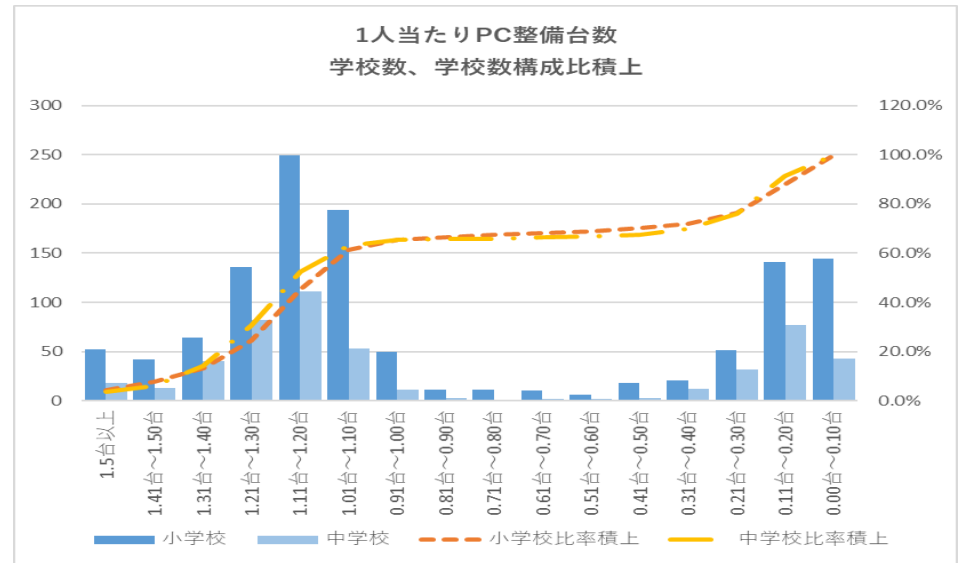
教員数別学校数分布

P C / 児童・生徒数	小学校			中学校			全体		
	学校数	比率	比率積上	学校数	比率	比率積上	学校数	比率	比率積上
1.5台以上	52	4.3%	4.3%	18	3.6%	3.6%	70	4.1%	4.1%
1.41台～1.50台	42	3.5%	7.8%	13	2.6%	6.2%	55	3.2%	7.3%
1.31台～1.40台	64	5.3%	13.2%	40	8.0%	14.1%	104	6.1%	13.5%
1.21台～1.30台	136	11.3%	24.5%	82	16.3%	30.5%	218	12.8%	26.3%
1.11台～1.20台	249	20.8%	45.3%	111	22.1%	52.6%	360	21.2%	47.4%
1.01台～1.10台	194	16.2%	61.4%	53	10.6%	63.1%	247	14.5%	61.9%
0.91台～1.00台	50	4.2%	65.6%	11	2.2%	65.3%	61	3.6%	65.5%
0.81台～0.90台	11	0.9%	66.5%	3	0.6%	65.9%	14	0.8%	66.3%
0.71台～0.80台	11	0.9%	67.4%	0	0.0%	65.9%	11	0.6%	67.0%
0.61台～0.70台	10	0.8%	68.3%	2	0.4%	66.3%	12	0.7%	67.7%
0.51台～0.60台	6	0.5%	68.8%	2	0.4%	66.7%	8	0.5%	68.2%
0.41台～0.50台	18	1.5%	70.3%	3	0.6%	67.3%	21	1.2%	69.4%
0.31台～0.40台	21	1.8%	72.0%	12	2.4%	69.7%	33	1.9%	71.3%
0.21台～0.30台	51	4.3%	76.3%	32	6.4%	76.1%	83	4.9%	76.2%
0.11台～0.20台	141	11.8%	88.0%	77	15.3%	91.4%	218	12.8%	89.0%
0.00台～0.10台	144	12.0%	100.0%	43	8.6%	100.0%	187	11.0%	100.0%
合計	1200	100.0%		502	100.0%		1702	100.0%	



1人当たりコンピュータ台数別の学校数分布（無回答を除く）

教員数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
10人以下	16	1.2%	0	0.0%	16	0.9%
11～15人	166	12.9%	6	1.1%	172	9.4%
16～20人	187	14.5%	52	9.6%	239	13.0%
21～25人	217	16.8%	115	21.3%	332	18.1%
26～30人	207	16.0%	114	21.1%	321	17.5%
31～35人	165	12.8%	94	17.4%	259	14.1%
36～40人	138	10.7%	75	13.9%	213	11.6%
41～45人	76	5.9%	35	6.5%	111	6.1%
46～50人	44	3.4%	22	4.1%	66	3.6%
51人以上	30	2.3%	20	3.7%	50	2.7%
無回答	45	3.5%	8	1.5%	53	2.9%
合計	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%

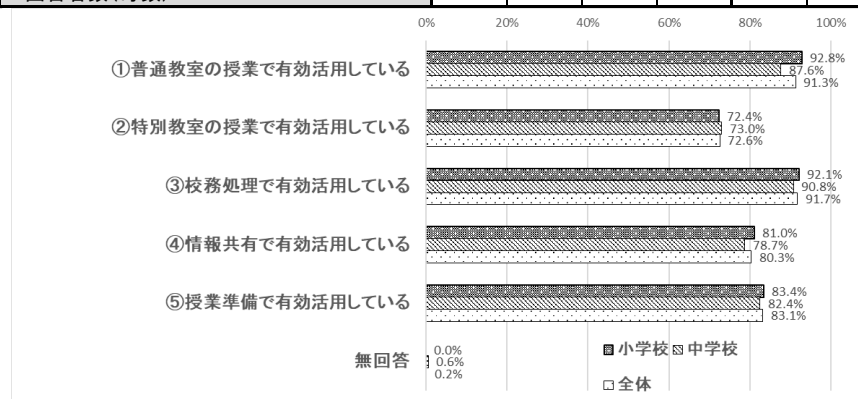


※過渡的ではあるが、GIGA スクール構想による1人1台端末の整備状況の差が見て取れる。6割強の学校で1人1台端末の整備が進んでいる。

2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目

2-1-01 校内 LAN は授業や校務処理で有効に活用していますか。(いくつでも)

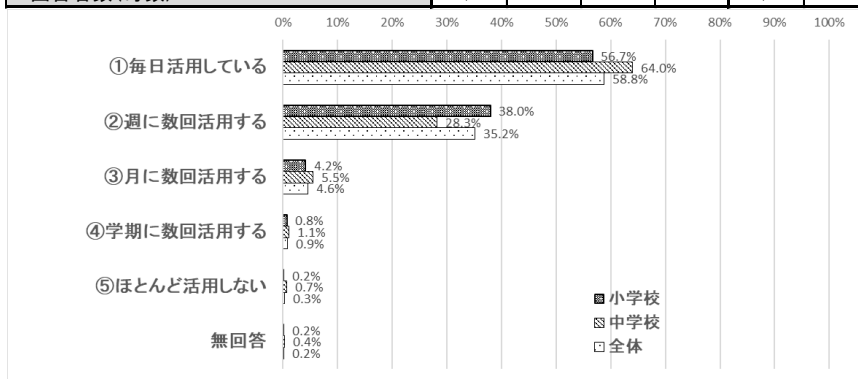
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①普通教室の授業で有効活用している	1,198	92.8%	474	87.6%	1,672	91.3%
②特別教室の授業で有効活用している	935	72.4%	395	73.0%	1,330	72.6%
③校務処理で有効活用している	1,189	92.1%	491	90.8%	1,680	91.7%
④情報共有で有効活用している	1,046	81.0%	426	78.7%	1,472	80.3%
⑤授業準備で有効活用している	1,077	83.4%	446	82.4%	1,523	83.1%
無回答			3	0.6%	3	0.2%
回答数合計	5,445	421.8%	2,235	413.1%	7,680	419.2%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※小中学校での差はなく、全体で「③校務処理で有効活用している」が91.7%、「①普通教室の授業で有効活用している」が91.3%と高く、概ね校内 LAN は有効活用されている。

2-1-02 インターネットを通じて、授業や授業準備のために外部の情報を活用していますか。

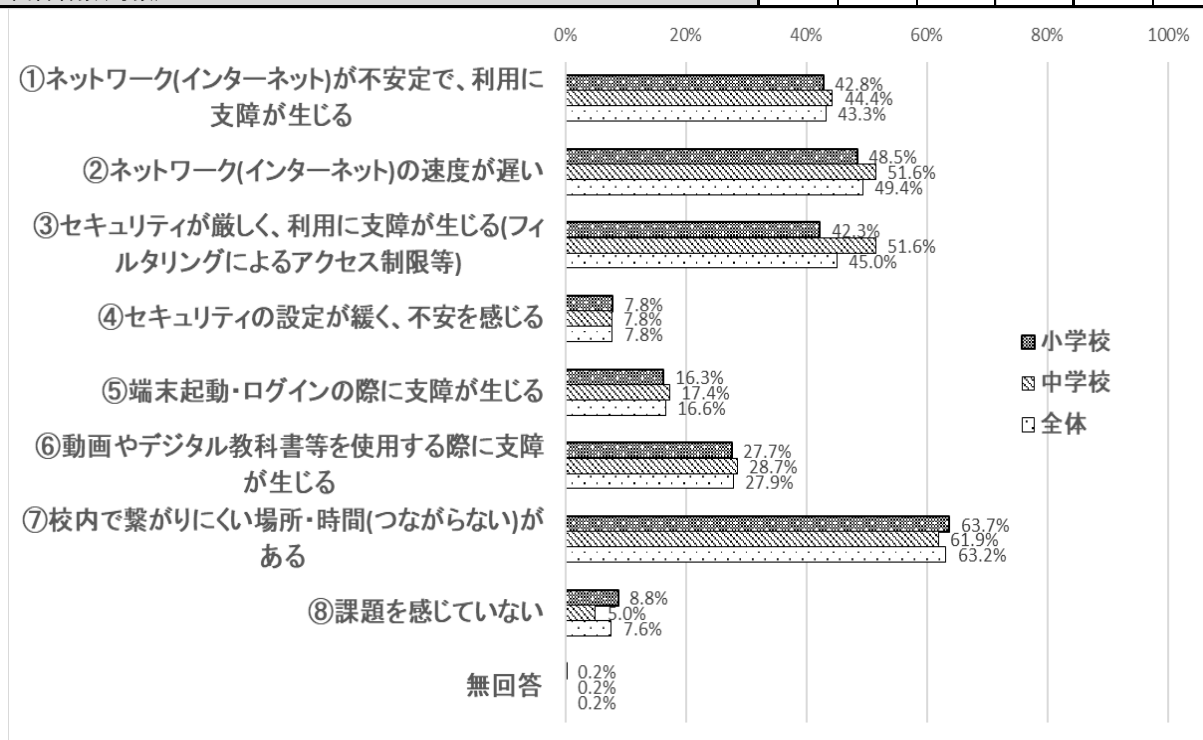
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①毎日活用している	732	56.7%	346	64.0%	1,078	58.8%
②週に数回活用する	491	38.0%	153	28.3%	644	35.2%
③月に数回活用する	54	4.2%	30	5.5%	84	4.6%
④学期に数回活用する	10	0.8%	6	1.1%	16	0.9%
⑤ほとんど活用しない	2	0.2%	4	0.7%	6	0.3%
無回答	2	0.2%	2	0.4%	4	0.2%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①毎日活用している」は中学校で(52.2%→64.0%)、小学校で(42.7%→56.7%)、「②週に数回活用する」は小学校で(44.4%→38.0%)、中学校で(34.7%→28.3%)と、授業や授業準備でのインターネットの日常の活用は進んでいる。

2-1-03 ネットワークの利用について感じていることについて伺います。(いくつかでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる	553	42.8%	240	44.4%	793	43.3%
②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い	626	48.5%	279	51.6%	905	49.4%
③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)	546	42.3%	279	51.6%	825	45.0%
④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる	101	7.8%	42	7.8%	143	7.8%
⑤端末起動・ログインの際に支障が生じる	211	16.3%	94	17.4%	305	16.6%
⑥動画やデジタル教科書等を使用する際に支障が生じる	357	27.7%	155	28.7%	512	27.9%
⑦校内で繋がりにくい場所・時間(つながらない)がある	823	63.7%	335	61.9%	1,158	63.2%
⑧課題を感じていない	113	8.8%	27	5.0%	140	7.6%
無回答	2	0.2%	1	0.2%	3	0.2%
回答数合計	3,332	258.1%	1,452	268.4%	4,784	261.1%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	

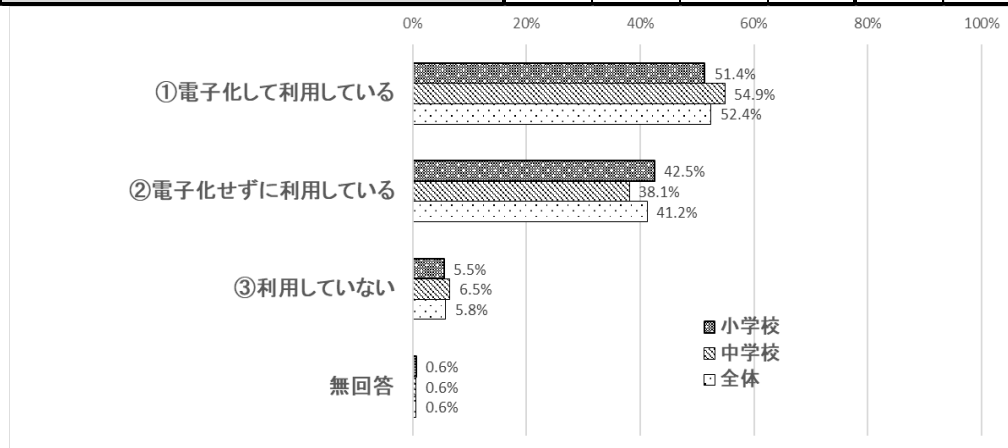


※「⑦校内で繋がりにくい場所・時間(つながらない)がある」が全体で 63.2%と最も多く、次いで「②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い」が 49.4%、「③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)」が 45.0%、「①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる」が 43.3%となっている。ネットワーク環境の改善が望まれる。

2-1-04 以下の学習記録のうち、電子化して利用しているもの、もしくは電子化せずに利用しているものはどれですか。

2-1-04(1) 問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答。

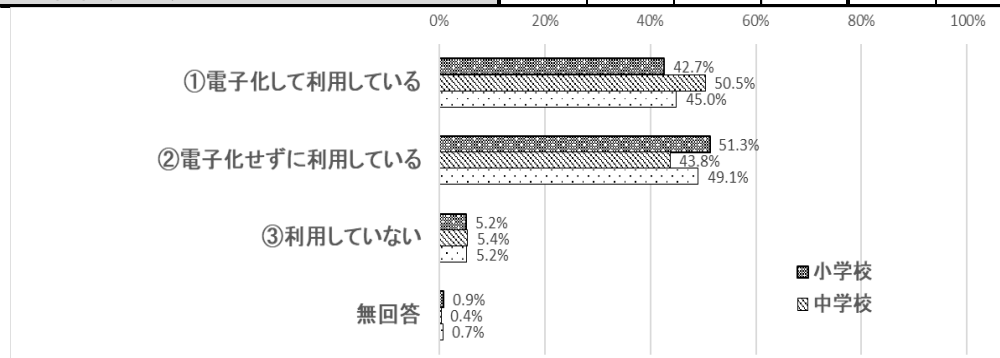
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	663	51.4%	297	54.9%	960	52.4%
②電子化せずに利用している	549	42.5%	206	38.1%	755	41.2%
③利用していない	71	5.5%	35	6.5%	106	5.8%
無回答	8	0.6%	3	0.6%	11	0.6%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」は全体で（43.9%→52.4%）である。GIGA スクール端末の活用が進めば、電子化しての利用が多くなるものと考えられる。

2-1-04(2) 児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物。

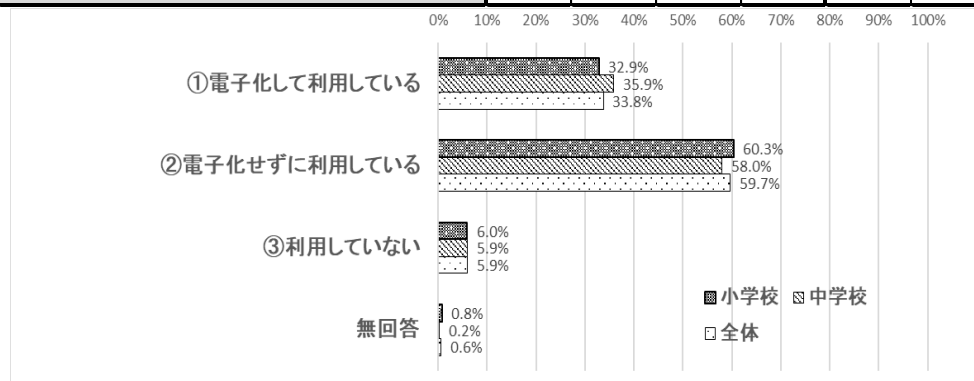
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	551	42.7%	273	50.5%	824	45.0%
②電子化せずに利用している	662	51.3%	237	43.8%	899	49.1%
③利用していない	67	5.2%	29	5.4%	96	5.2%
無回答	11	0.9%	2	0.4%	13	0.7%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」は中学校で(33.3%→50.5%)、小学校で(27.7%→42.7%)と利用が伸びている。GIGA スクール端末の活用が進めば、電子化しての利用がさらに多くなるものと考えられる。

2-1-04(3) ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録。

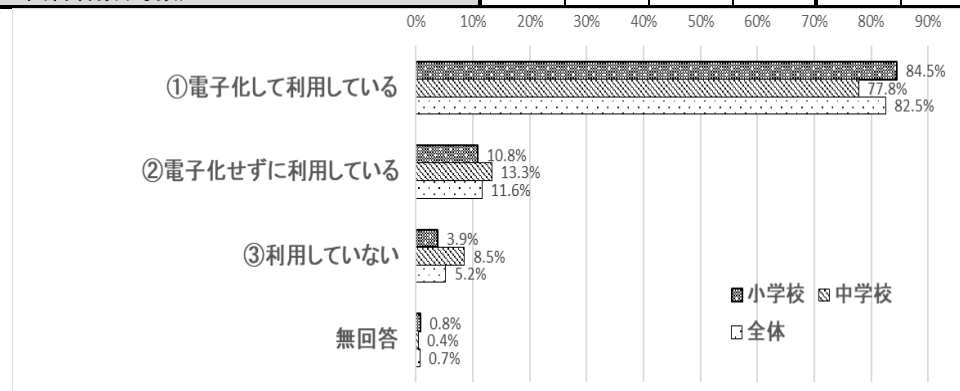
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	425	32.9%	194	35.9%	619	33.8%
②電子化せずに利用している	779	60.3%	314	58.0%	1,093	59.7%
③利用していない	77	6.0%	32	5.9%	109	5.9%
無回答	10	0.8%	1	0.2%	11	0.6%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「②電子化せずに利用している」が全体で (65.7%→59.7%) となっている。GIGA スクール端末の活用が進めば、電子化しての利用が多くなるものと考えられる。

2-1-04(4) 児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画。

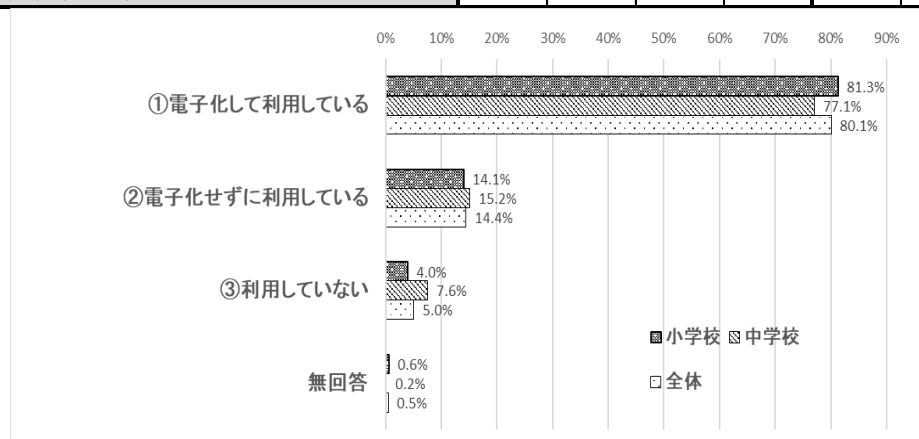
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	1,091	84.5%	421	77.8%	1,512	82.5%
②電子化せずに利用している	140	10.8%	72	13.3%	212	11.6%
③利用していない	50	3.9%	46	8.5%	96	5.2%
無回答	10	0.8%	2	0.4%	12	0.7%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」が全体で 82.5% となっている。

2-1-04(5) 児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画。

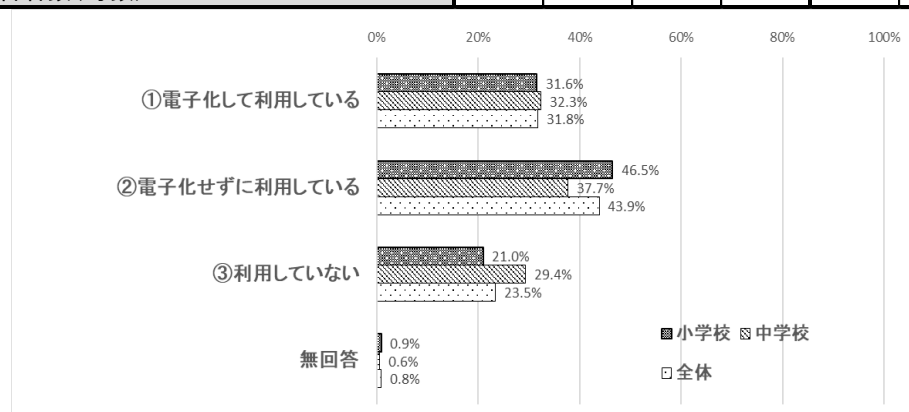
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	1,050	81.3%	417	77.1%	1,467	80.1%
②電子化せずに利用している	182	14.1%	82	15.2%	264	14.4%
③利用していない	51	4.0%	41	7.6%	92	5.0%
無回答	8	0.6%	1	0.2%	9	0.5%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」が全体で 80.1%となっている。

2-1-04(6) 児童・生徒の対話や会話を、ツールを使って記録。

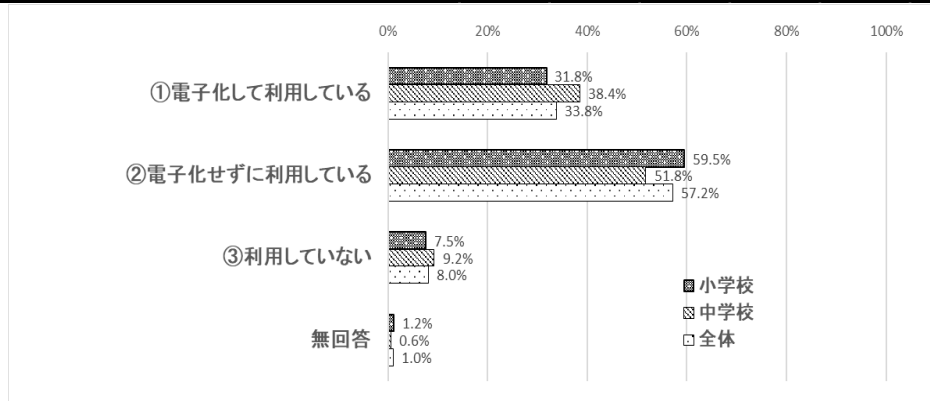
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	408	31.6%	175	32.3%	583	31.8%
②電子化せずに利用している	600	46.5%	204	37.7%	804	43.9%
③利用していない	271	21.0%	159	29.4%	430	23.5%
無回答	12	0.9%	3	0.6%	15	0.8%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」は全体で (20.1%→31.8%) となっている。

2-1-04(7) 自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録。

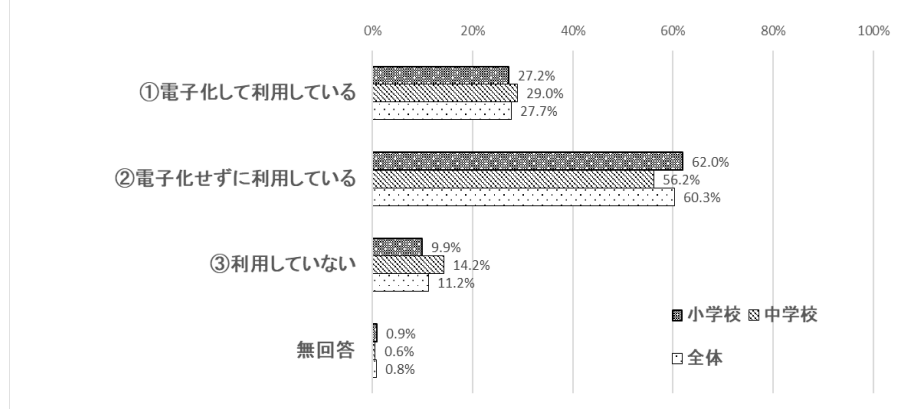
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	411	31.8%	208	38.4%	619	33.8%
②電子化せずに利用している	768	59.5%	280	51.8%	1,048	57.2%
③利用していない	97	7.5%	50	9.2%	147	8.0%
無回答	15	1.2%	3	0.6%	18	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」は全体で（18.4%→33.8%）となっている。GIGA スクール端末の活用が進めば、電子化しての利用が多くなるものと考えられる。

2-1-04(8) 相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録。

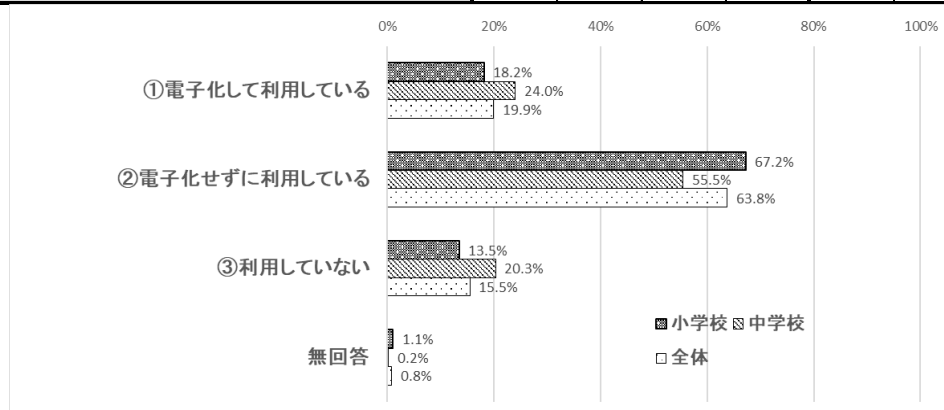
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	351	27.2%	157	29.0%	508	27.7%
②電子化せずに利用している	800	62.0%	304	56.2%	1,104	60.3%
③利用していない	128	9.9%	77	14.2%	205	11.2%
無回答	12	0.9%	3	0.6%	15	0.8%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」は全体で（10.7%→27.7%）となっている。GIGA スクール端末の活用が進めば、電子化しての利用が多くなるものと考えられる。

2-1-04(9) 教師や保護者からのコメント等の記録。

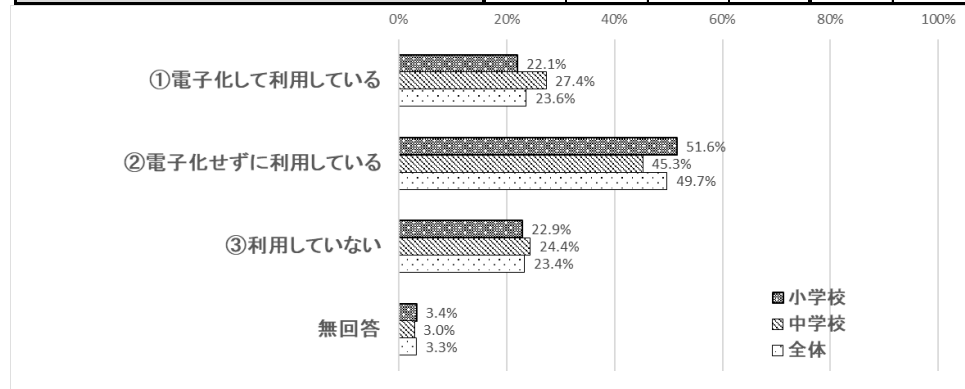
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	235	18.2%	130	24.0%	365	19.9%
②電子化せずに利用している	868	67.2%	300	55.5%	1,168	63.8%
③利用していない	174	13.5%	110	20.3%	284	15.5%
無回答	14	1.1%	1	0.2%	15	0.8%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「②電子化せずに利用している」が全体で 63.8%である。

2-1-04(10) 上記以外の学習記録。

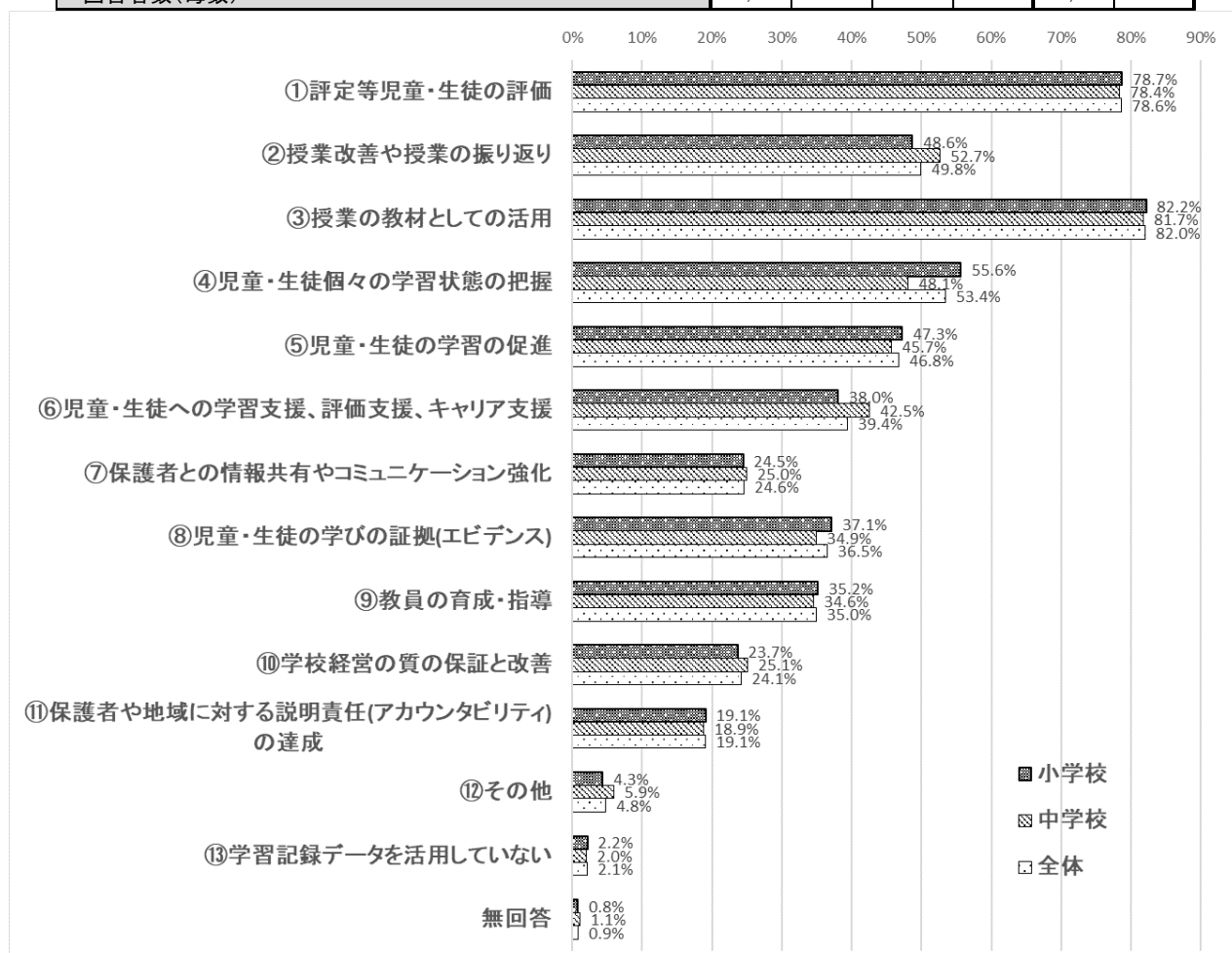
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	285	22.1%	148	27.4%	433	23.6%
②電子化せずに利用している	666	51.6%	245	45.3%	911	49.7%
③利用していない	296	22.9%	132	24.4%	428	23.4%
無回答	44	3.4%	16	3.0%	60	3.3%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「②電子化せずに利用している」は全体で 49.7%である。「①電子化して利用している」を合わせて、全体で 73.3%が何らかの学習記録を利用している。

2-1-05 電子化された学習記録の活用について、既に利用しているものをすべて選択してください。(いくつでも)

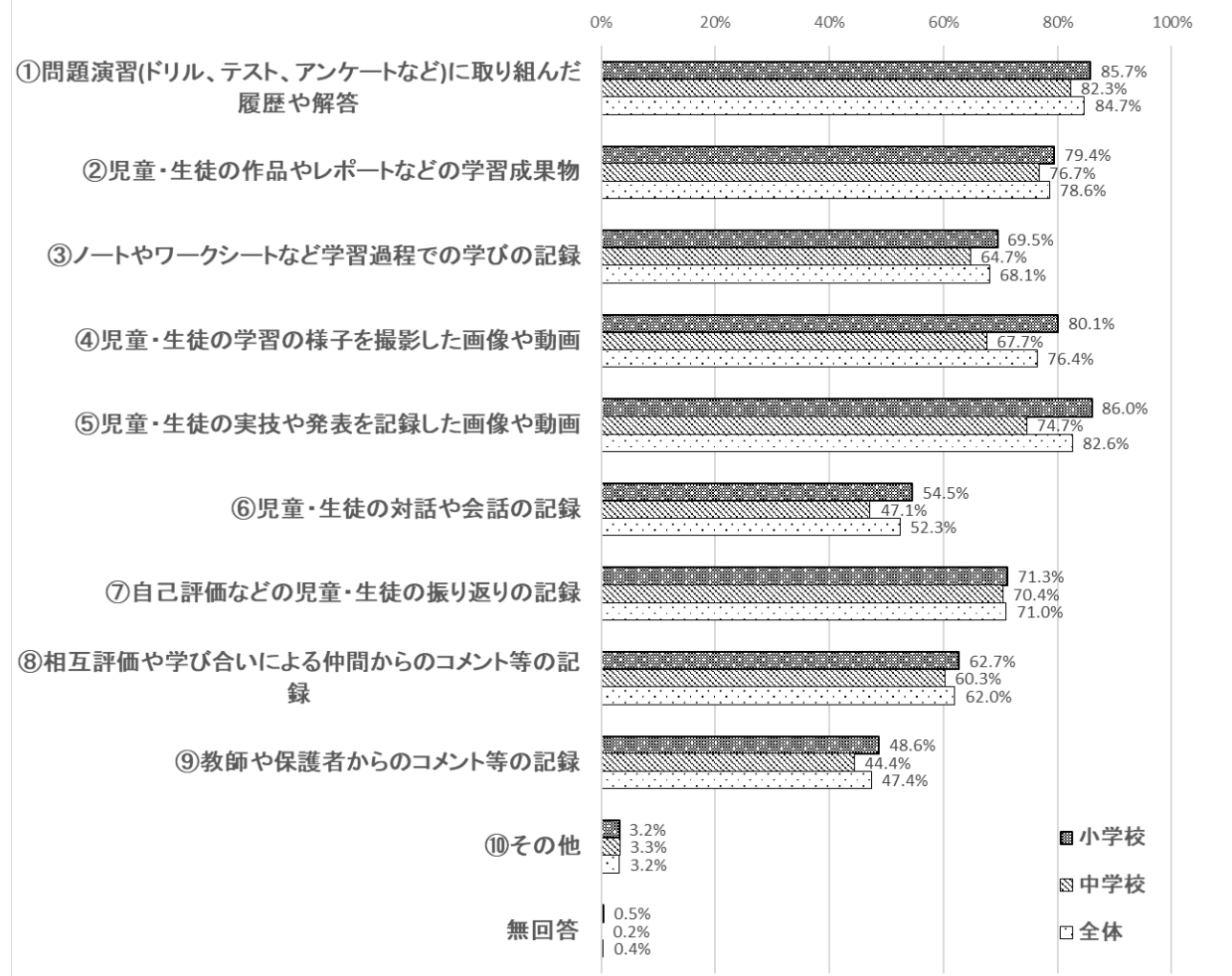
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①評定等児童・生徒の評価	1,016	78.7%	424	78.4%	1,440	78.6%
②授業改善や授業の振り返り	628	48.6%	285	52.7%	913	49.8%
③授業の教材としての活用	1,061	82.2%	442	81.7%	1,503	82.0%
④児童・生徒個々の学習状態の把握	718	55.6%	260	48.1%	978	53.4%
⑤児童・生徒の学習の促進	610	47.3%	247	45.7%	857	46.8%
⑥児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援	491	38.0%	230	42.5%	721	39.4%
⑦保護者との情報共有やコミュニケーション強化	316	24.5%	135	25.0%	451	24.6%
⑧児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)	479	37.1%	189	34.9%	668	36.5%
⑨教員の育成・指導	454	35.2%	187	34.6%	641	35.0%
⑩学校経営の質の保証と改善	306	23.7%	136	25.1%	442	24.1%
⑪保護者や地域に対する説明責任(アカウンタビリティ)の達成	247	19.1%	102	18.9%	349	19.1%
⑫その他	56	4.3%	32	5.9%	88	4.8%
⑬学習記録データを活用していない	28	2.2%	11	2.0%	39	2.1%
無回答	10	0.8%	6	1.1%	16	0.9%
回答数合計	6,420	497.3%	2,686	496.5%	9,106	497.1%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※「③授業の教材としての活用」が全体で82.0%と最も多く、次いで「①評定等児童・生徒の評価」が78.6%となっている。学習記録は様々なところで活用されている。

2-1-06 子供たちの学習記録について、電子化が有効だとお考えになるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答	1,107	85.7%	445	82.3%	1,552	84.7%
②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物	1,025	79.4%	415	76.7%	1,440	78.6%
③ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録	897	69.5%	350	64.7%	1,247	68.1%
④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画	1,034	80.1%	366	67.7%	1,400	76.4%
⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画	1,110	86.0%	404	74.7%	1,514	82.6%
⑥児童・生徒の対話や会話の記録	704	54.5%	255	47.1%	959	52.3%
⑦自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録	920	71.3%	381	70.4%	1,301	71.0%
⑧相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録	810	62.7%	326	60.3%	1,136	62.0%
⑨教師や保護者からのコメント等の記録	628	48.6%	240	44.4%	868	47.4%
⑩その他	41	3.2%	18	3.3%	59	3.2%
無回答	6	0.5%	1	0.2%	7	0.4%
回答数合計	8,282	641.5%	3,201	591.7%	11,483	626.8%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	

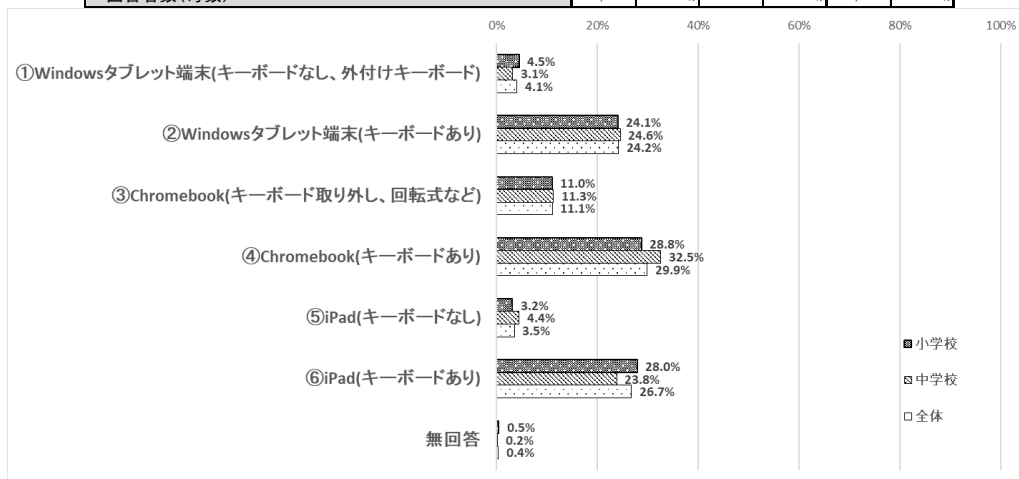


※「①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答」「②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物」「④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画」「⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画」「⑦自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録」が全体で75%以上となっており、その他の項目でも電子化が有効と考えられている。

2-2 ハードウェアに関する項目

2-2-01 GIGA スクール構想で導入された、主な端末は次のどれですか。

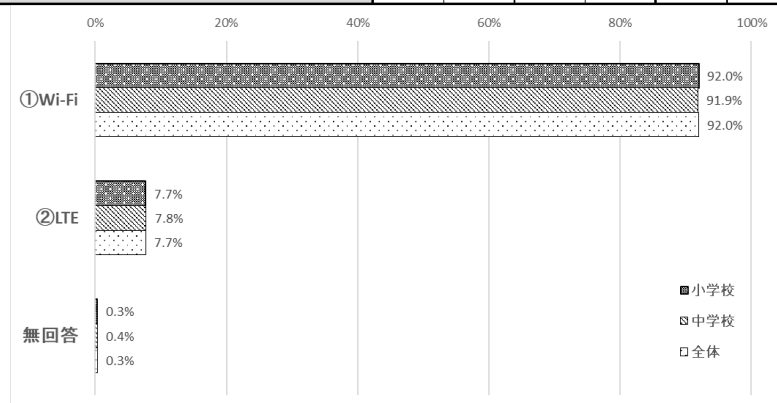
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windowsタブレット端末(キーボードなし、外付けキーボード)	58	4.5%	17	3.1%	75	4.1%
②Windowsタブレット端末(キーボードあり)	311	24.1%	133	24.6%	444	24.2%
③Chromebook(キーボード取り外し、回転式など)	142	11.0%	61	11.3%	203	11.1%
④Chromebook(キーボードあり)	372	28.8%	176	32.5%	548	29.9%
⑤iPad(キーボードなし)	41	3.2%	24	4.4%	65	3.5%
⑥iPad(キーボードあり)	361	28.0%	129	23.8%	490	26.7%
無回答	6	0.5%	1	0.2%	7	0.4%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※この調査では、全体で Windows タブレット端末が合計 28.3%、Chromebook が合計 41.0%、iPad が合計 30.3%と、Chromebook が多く整備されている。前回の「児童・生徒用タブレット型コンピュータの種類」についての調査では、Windows タブレット端末が 71.3%、iPad が 24.3%、Chromebook が 0.1%となっており、GIGA スクール構想では、Chromebook を導入した学校が大幅に増えている。

2-2-02 前問の端末について、ネットワークへの接続手段は次のどれですか。

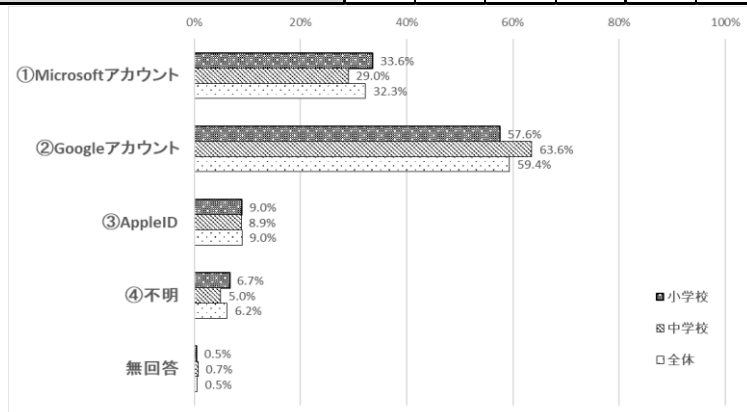
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Wi-Fi	1,188	92.0%	497	91.9%	1,685	92.0%
②LTE	99	7.7%	42	7.8%	141	7.7%
無回答	4	0.3%	2	0.4%	6	0.3%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※全体で「①Wi-Fi」が 92.0%と、ほとんどの端末が Wi-Fi モデルで整備されている。

2-2-03 「2-2-01」で児童・生徒用アカウントは何を利用されていますか。(いくつでも)

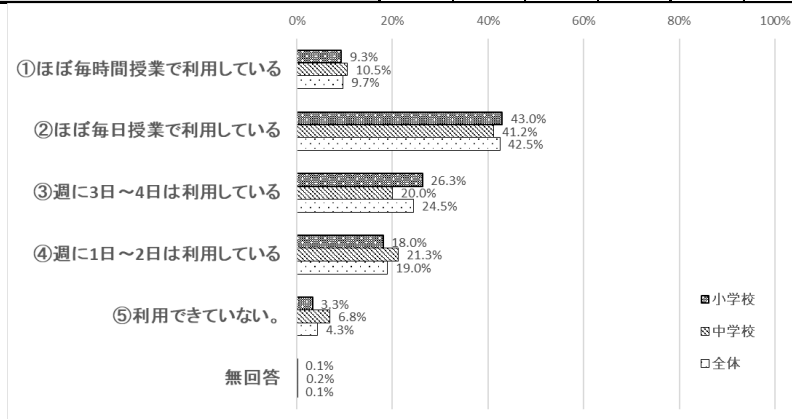
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	434	33.6%	157	29.0%	591	32.3%
②Googleアカウント	744	57.6%	344	63.6%	1,088	59.4%
③AppleID	116	9.0%	48	8.9%	164	9.0%
④不明	86	6.7%	27	5.0%	113	6.2%
無回答	6	0.5%	4	0.7%	10	0.5%
回答数合計	1,386	107.4%	580	107.2%	1,966	107.3%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※2-2-01 で、GIGA スクール構想で導入された端末は Chromebook が全体で 41.0%と回答されているが、児童・生徒用アカウントは「②Google アカウント」が全体で 59.4%と、アカウントの方が高くなっている。また、「③AppleID」が全体で 9.0%と、iPad が導入された割合の 30.3%と比べて低いことから、iPad で Google アカウントを利用していることがうかがえる。

2-2-04 1人1台端末の授業での利用状況について伺います。

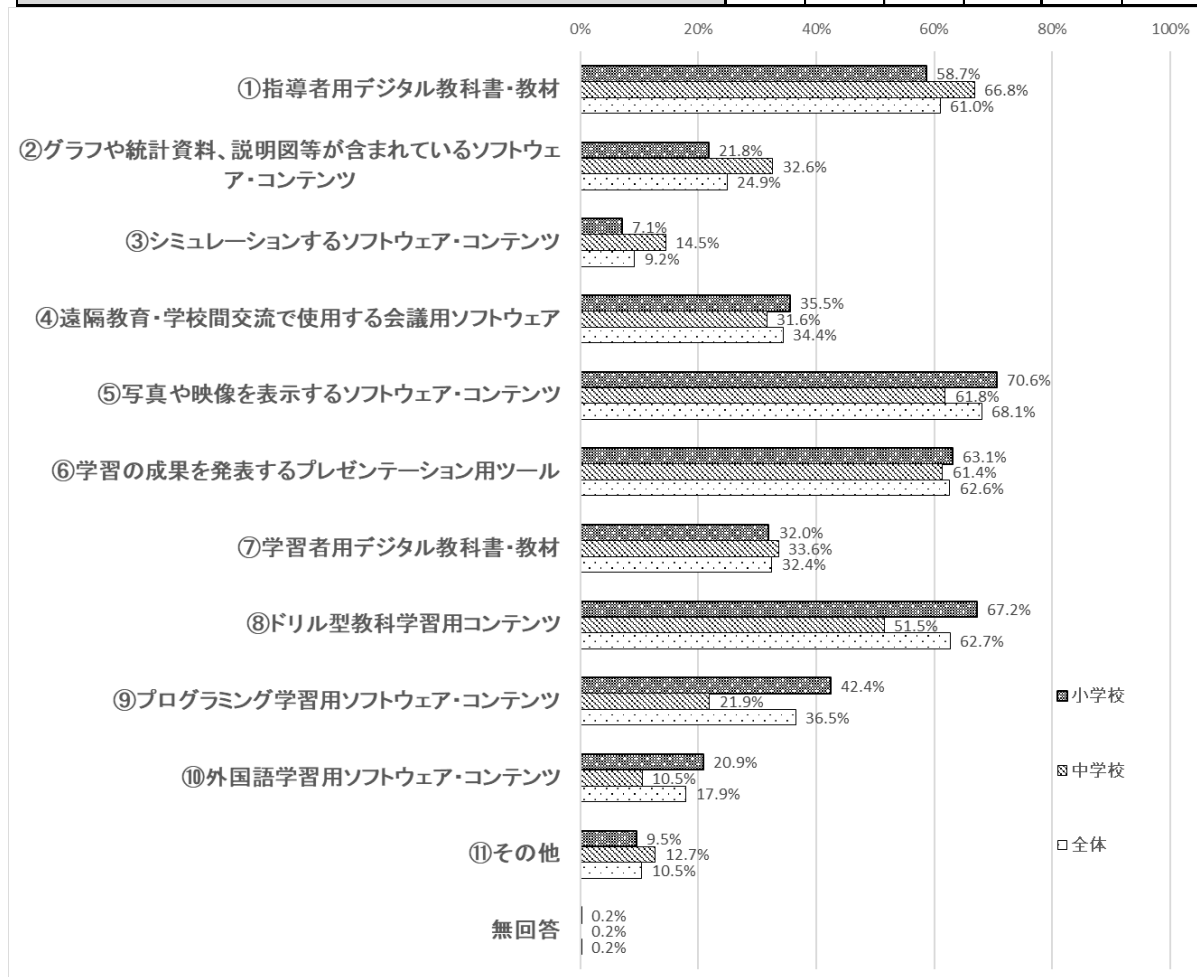
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎時間授業で利用している	120	9.3%	57	10.5%	177	9.7%
②ほぼ毎日授業で利用している	555	43.0%	223	41.2%	778	42.5%
③週に3日～4日は利用している	340	26.3%	108	20.0%	448	24.5%
④週に1日～2日は利用している	233	18.0%	115	21.3%	348	19.0%
⑤利用できていない。	42	3.3%	37	6.8%	79	4.3%
無回答	1	0.1%	1	0.2%	2	0.1%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①ほぼ毎時間授業で利用している」「②ほぼ毎日授業で利用している」を合わせると全体で 52.2%と、半数以上の学校でほぼ毎日利用されていることが分かる。

2-2-05 前問で①～④と回答された方に伺います。どのような学習用ソフトを利用されていますか。(いくつかでも)

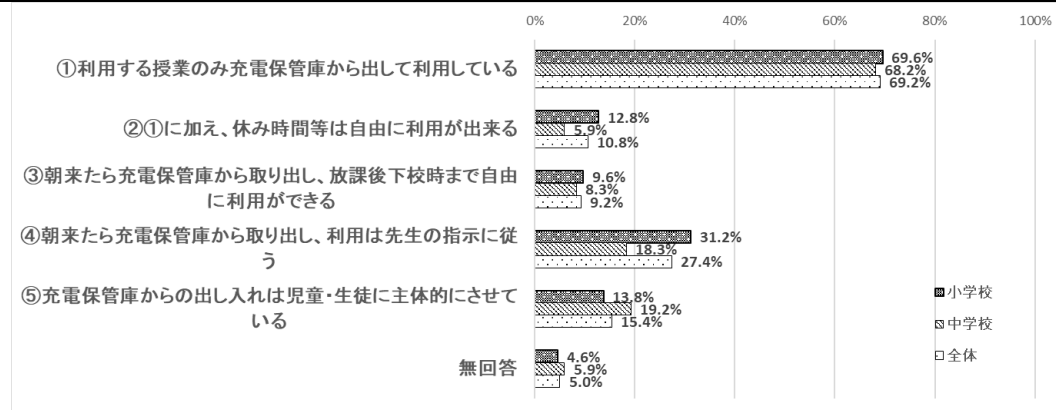
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	732	58.7%	336	66.8%	1,068	61.0%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	272	21.8%	164	32.6%	436	24.9%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	88	7.1%	73	14.5%	161	9.2%
④遠隔教育・学校間交流で使用する会議用ソフトウェア	443	35.5%	159	31.6%	602	34.4%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	881	70.6%	311	61.8%	1,192	68.1%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	787	63.1%	309	61.4%	1,096	62.6%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	399	32.0%	169	33.6%	568	32.4%
⑧ドリル型教科学習用コンテンツ	839	67.2%	259	51.5%	1,098	62.7%
⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	529	42.4%	110	21.9%	639	36.5%
⑩外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	261	20.9%	53	10.5%	314	17.9%
⑪その他	119	9.5%	64	12.7%	183	10.5%
無回答	3	0.2%	1	0.2%	4	0.2%
回答数合計	5,353	428.9%	2,008	399.2%	7,361	420.4%
回答者数(母数)	1,248		503		1,751	



※全体では、「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が68.1%、「⑧ドリル型教科学習用コンテンツ」が62.7%、「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が62.6%、「①指導者用デジタル教科書・教材」が61.0%と多く利用されている。小中学校別では、「⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ」が小学校42.4%、中学校21.9%、また、「⑧ドリル型教科学習用コンテンツ」は小学校67.2%、中学校51.5%となっており、小中学校で活用に差がある。

2-2-06 1人1台端末の学校での運用方法について伺います。(いくつでも)

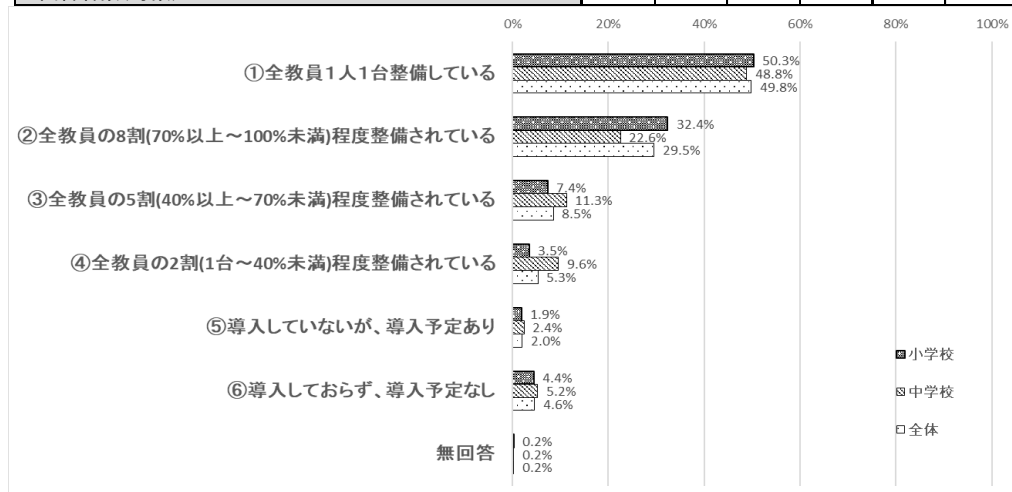
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用している	898	69.6%	369	68.2%	1,267	69.2%
②①に加え、休み時間等は自由に利用が出来る	165	12.8%	32	5.9%	197	10.8%
③朝来たら充電保管庫から取り出し、放課後下校時まで自由に利用できる	124	9.6%	45	8.3%	169	9.2%
④朝来たら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う	403	31.2%	99	18.3%	502	27.4%
⑤充電保管庫からの出し入れは児童・生徒に主体的にさせている	178	13.8%	104	19.2%	282	15.4%
無回答	59	4.6%	32	5.9%	91	5.0%
回答数合計	1,827	141.5%	681	125.9%	2,508	136.9%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※「①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用している」が全体で 69.2%となっている。小中学校別では「④朝来たら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う」が、小学校 31.2%、中学校 18.3%と差がある。

2-2-07 教員が授業で使用する(校務用ではない)指導者用端末の導入状況について伺います。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員1人1台整備している	649	50.3%	264	48.8%	913	49.8%
②全教員の8割(70%以上～100%未満)程度整備されている	418	32.4%	122	22.6%	540	29.5%
③全教員の5割(40%以上～70%未満)程度整備されている	95	7.4%	61	11.3%	156	8.5%
④全教員の2割(1台～40%未満)程度整備されている	45	3.5%	52	9.6%	97	5.3%
⑤導入していないが、導入予定あり	24	1.9%	13	2.4%	37	2.0%
⑥導入しておらず、導入予定なし	57	4.4%	28	5.2%	85	4.6%
無回答	3	0.2%	1	0.2%	4	0.2%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



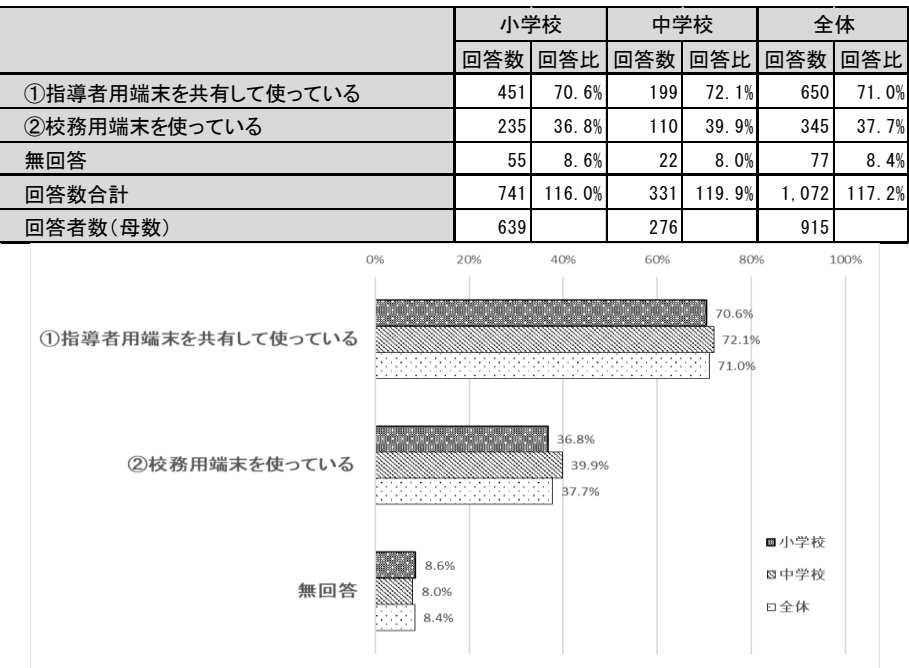
※「①全教員1人1台整備している」が全体で 49.8%と半数以下となっており、教員への指導者用端末の整備が望まれる。

2-2-08 前問でお伺いした端末の種類について教えて下さい。(⑤⑥以外の回答の方)



※全体で Windows タブレット端末が合計 37.4%、Chromebook が合計 30.8%、iPad が合計 28.6%と、Windows タブレット端末が多く整備されている。また、いずれの端末もキーボードありで整備されている学校が多い。

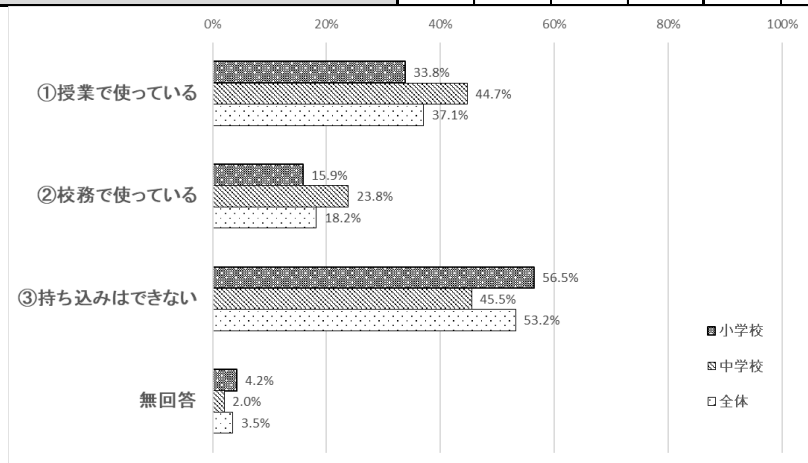
2-2-09 「2-2-07」で、全教員に整備されていない②～⑥と回答された方に、教員が授業で使用する端末について伺います。(いくつでも)



※「②校務用端末を使っている」が全体で 37.7%と多く、教員が授業で利用する（校務用ではない）指導者用端末の整備が望まれる。

2-2-10 校内で教員が私物の端末またはタブレット型端末を使っていますか。(いくつでも)

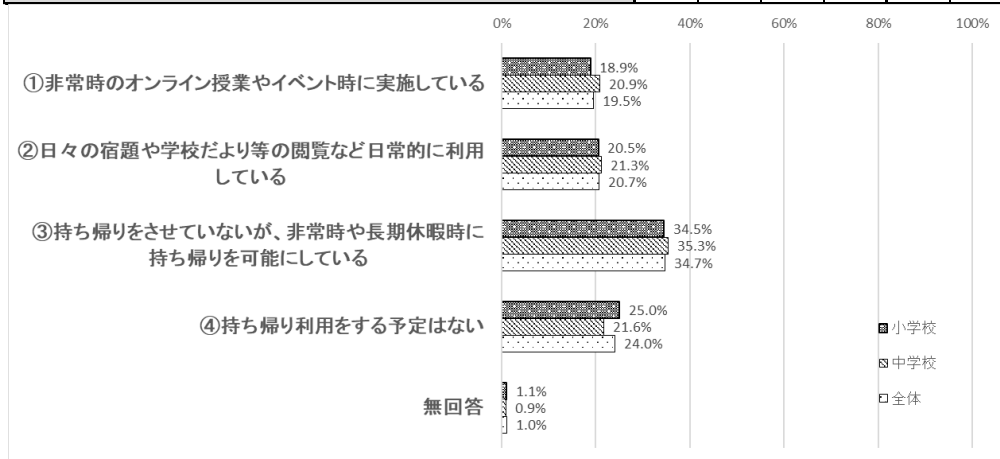
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業で使っている	437	33.8%	242	44.7%	679	37.1%
②校務で使っている	205	15.9%	129	23.8%	334	18.2%
③持ち込みはできない	729	56.5%	246	45.5%	975	53.2%
無回答	54	4.2%	11	2.0%	65	3.5%
回答数合計	1,425	110.4%	628	116.1%	2,053	112.1%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※「①授業で使っている」が全体で 37.1%、「②校務で使っている」が全体で 18.2%と一定の割合で私物を利用している。また、前回と比べて「①授業で使っている」割合は増えており (30.8%→37.1%)、教員が授業で利用する(校務用ではない)指導者用端末の整備が望まれる。

2-2-11 「2-2-01」でお伺いした普通教室用の1人1台端末の持ち帰り利用について伺います。

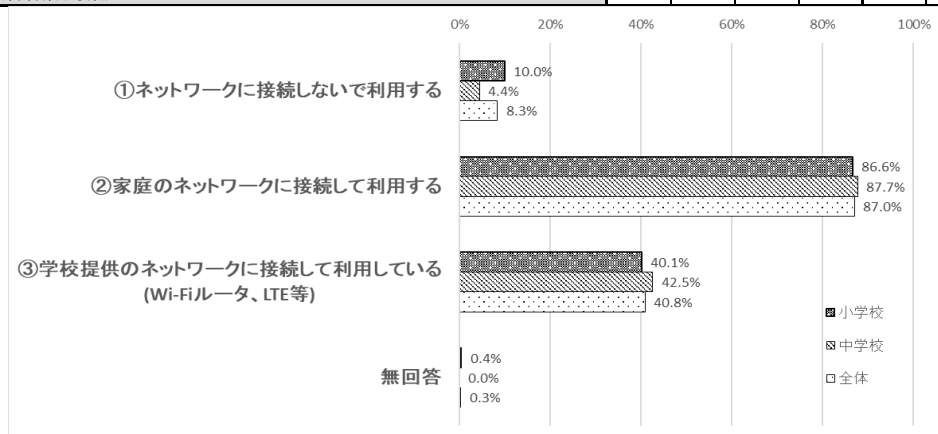
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①非常時のオンライン授業やイベント時に実施している	244	18.9%	113	20.9%	357	19.5%
②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している	265	20.5%	115	21.3%	380	20.7%
③持ち帰りをさせていないが、非常時や長期休暇時に持ち帰りを可能にしている	445	34.5%	191	35.3%	636	34.7%
④持ち帰り利用をする予定はない	323	25.0%	117	21.6%	440	24.0%
無回答	14	1.1%	5	0.9%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①非常時のオンライン授業やイベント時に実施している」「②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している」を合わせると、全体で 40.2%となっており、まだ持ち帰り利用が進んでいないことが分かる。

2-2-12 前問で①②と回答された方に伺います。(いくつでも)

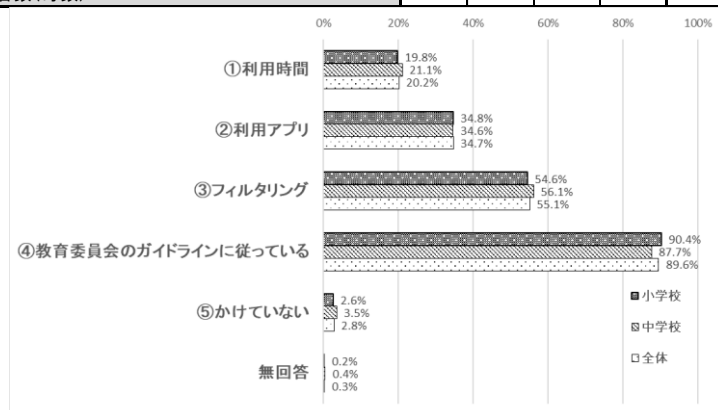
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワークに接続しないで利用する	51	10.0%	10	4.4%	61	8.3%
②家庭のネットワークに接続して利用する	441	86.6%	200	87.7%	641	87.0%
③学校提供のネットワークに接続して利用している(Wi-Fiルータ、LTE等)	204	40.1%	97	42.5%	301	40.8%
無回答	2	0.4%			2	0.3%
回答数合計	698	137.1%	307	134.6%	1,005	136.4%
回答者数(母数)	509		228		737	



※「②家庭のネットワークに接続して利用する」が全体で 87.0% となっているが、「③学校提供のネットワークに接続して利用している(Wi-Fi ルータ、LTE 等)」も全体で 40.8% あることから、ネットワーク環境が無い家庭に Wi-Fi ルータを貸し出すといった利用がされていることが想定される。

2-2-13 「2-2-11」で①②と回答された方に伺います。学校として1人1台端末の利用にかけている制限はありますか。(いくつでも)

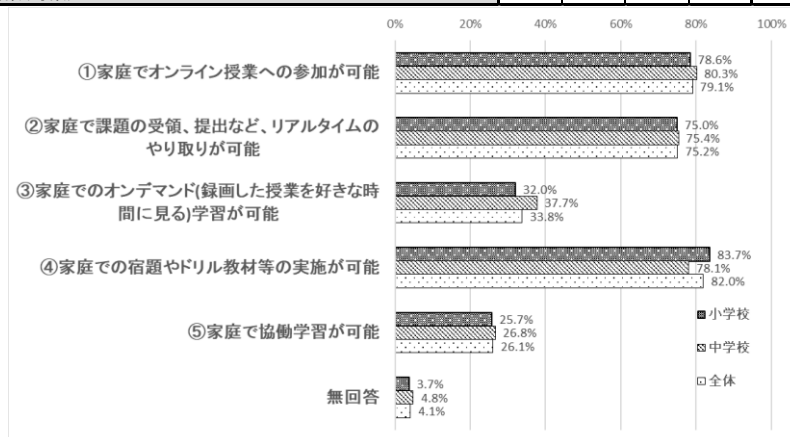
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用時間	101	19.8%	48	21.1%	149	20.2%
②利用アプリ	177	34.8%	79	34.6%	256	34.7%
③フィルタリング	278	54.6%	128	56.1%	406	55.1%
④教育委員会のガイドラインに従っている	460	90.4%	200	87.7%	660	89.6%
⑤かけていない	13	2.6%	8	3.5%	21	2.8%
無回答	1	0.2%	1	0.4%	2	0.3%
回答数合計	1,030	202.4%	464	203.5%	1,494	202.7%
回答者数(母数)	509		228		737	



※「④教育委員会のガイドラインに従っている」が全体で 89.6% と、何らかの制限をかけていることが分かる。しかし、システム的な制限は「③フィルタリング」が一番多くても全体で 55.1% に留まっている。安全性を考えると、より一層のシステム的な対策が望まれる。

2-2-14 「2-2-11」で①②と回答された方に伺います。1人1台端末は家庭でどのような学習が可能となっていますか。(いくつでも)

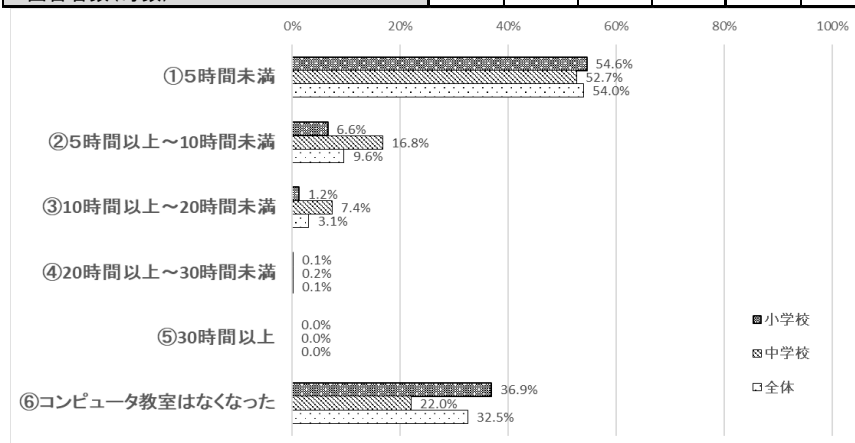
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①家庭でオンライン授業への参加が可能	400	78.6%	183	80.3%	583	79.1%
②家庭で課題の受領、提出など、リアルタイムのやり取りが可能	382	75.0%	172	75.4%	554	75.2%
③家庭でのオンデマンド(録画した授業を好きな時間に見る)学習が可能	163	32.0%	86	37.7%	249	33.8%
④家庭での宿題やドリル教材等の実施が可能	426	83.7%	178	78.1%	604	82.0%
⑤家庭で協働学習が可能	131	25.7%	61	26.8%	192	26.1%
無回答	19	3.7%	11	4.8%	30	4.1%
回答数合計	1,521	298.8%	691	303.1%	2,212	300.1%
回答者数(母数)	509		228		737	



※「①家庭でオンライン授業への参加が可能」、「②家庭で課題の受領、提出など、リアルタイムのやり取りが可能」、「④家庭での宿題やドリル教材等の実施が可能」は全体で75%以上となっており、家庭においても様々な学習が可能となっている。

2-2-15 コンピュータ教室について伺います。週に何時間利用していますか。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①5時間未満	705	54.6%	285	52.7%	990	54.0%
②5時間以上～10時間未満	85	6.6%	91	16.8%	176	9.6%
③10時間以上～20時間未満	16	1.2%	40	7.4%	56	3.1%
④20時間以上～30時間未満	1	0.1%	1	0.2%	2	0.1%
⑤30時間以上						
⑥コンピュータ教室はなくなった	476	36.9%	119	22.0%	595	32.5%
無回答	8	0.6%	5	0.9%	13	0.7%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%

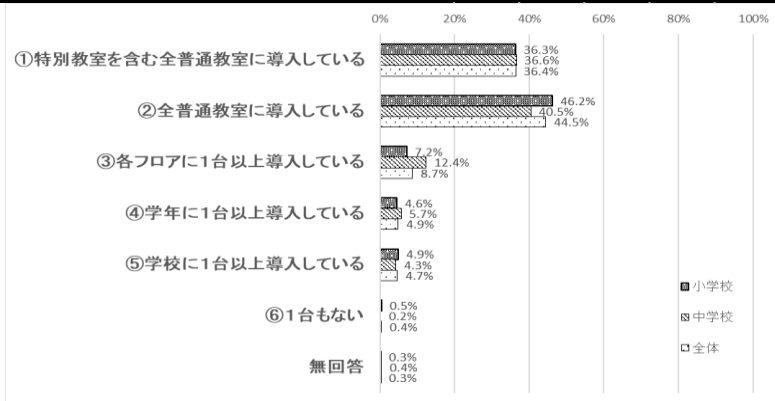


※「⑥コンピュータ教室はなくなった」が全体で32.5%となっている。

2-2-16 授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

2-2-16(1) 大型提示装置

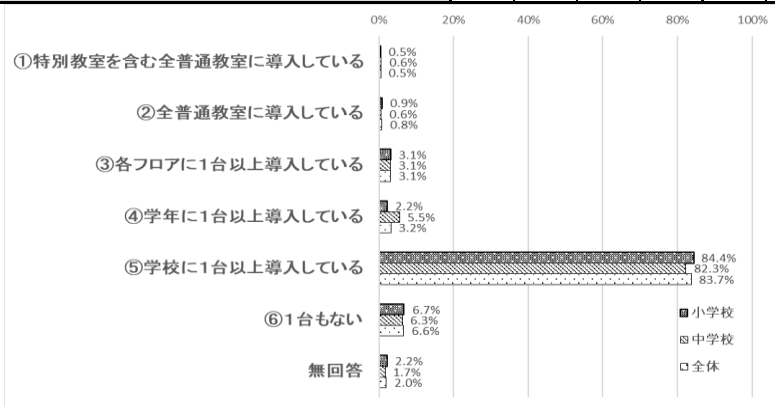
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	469	36.3%	198	36.6%	667	36.4%
②全普通教室に導入している	596	46.2%	219	40.5%	815	44.5%
③各フロアに1台以上導入している	93	7.2%	67	12.4%	160	8.7%
④学年に1台以上導入している	59	4.6%	31	5.7%	90	4.9%
⑤学校に1台以上導入している	63	4.9%	23	4.3%	86	4.7%
⑥1台もない	7	0.5%	1	0.2%	8	0.4%
無回答	4	0.3%	2	0.4%	6	0.3%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると全体で80.9%と、ほとんどの学校で普通教室に導入がされている。また、前回の52.7%から大幅に増えており、GIGA スクール構想の整備に合わせて普通教室への導入が進んだことが分かる。

2-2-16(2) カラープリンタ

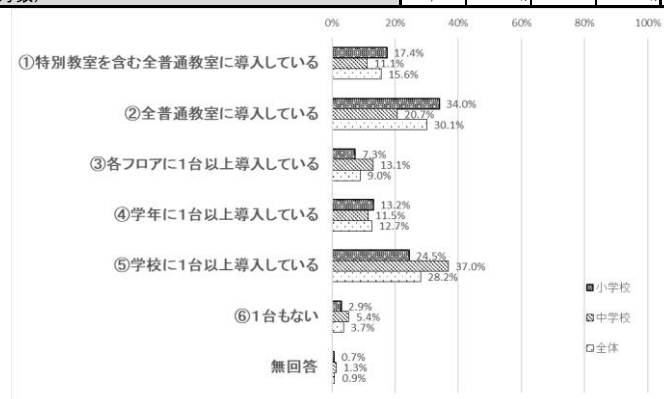
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	7	0.5%	3	0.6%	10	0.5%
②全普通教室に導入している	11	0.9%	3	0.6%	14	0.8%
③各フロアに1台以上導入している	40	3.1%	17	3.1%	57	3.1%
④学年に1台以上導入している	29	2.2%	30	5.5%	59	3.2%
⑤学校に1台以上導入している	1,089	84.4%	445	82.3%	1,534	83.7%
⑥1台もない	87	6.7%	34	6.3%	121	6.6%
無回答	28	2.2%	9	1.7%	37	2.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※教室へのカラープリンタの導入が進んでいない。1人1台環境となり、児童・生徒のタブレット端末の活用が進んでいることを考えると、早期の整備が望ましい。

2-2-16(3) 実物投影機

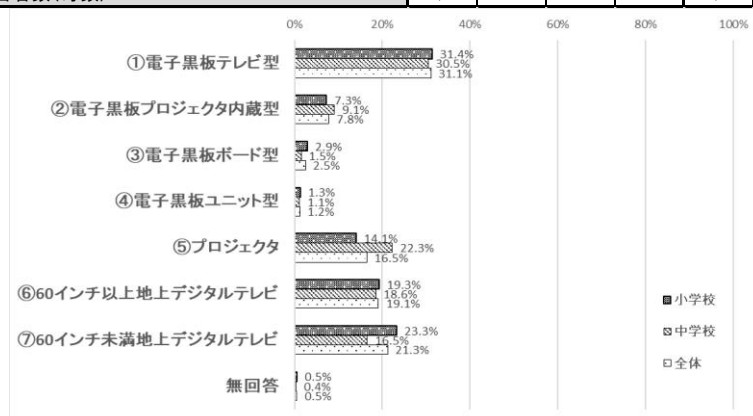
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	225	17.4%	60	11.1%	285	15.6%
②全普通教室に導入している	439	34.0%	112	20.7%	551	30.1%
③各フロアに1台以上導入している	94	7.3%	71	13.1%	165	9.0%
④学年に1台以上導入している	170	13.2%	62	11.5%	232	12.7%
⑤学校に1台以上導入している	316	24.5%	200	37.0%	516	28.2%
⑥1台もない	38	2.9%	29	5.4%	67	3.7%
無回答	9	0.7%	7	1.3%	16	0.9%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせると、小学校では 51.4%、中学校では 31.8%となっている。国の整備指針である小学校への 100% 整備に向けて、より一層の整備が望まれる。

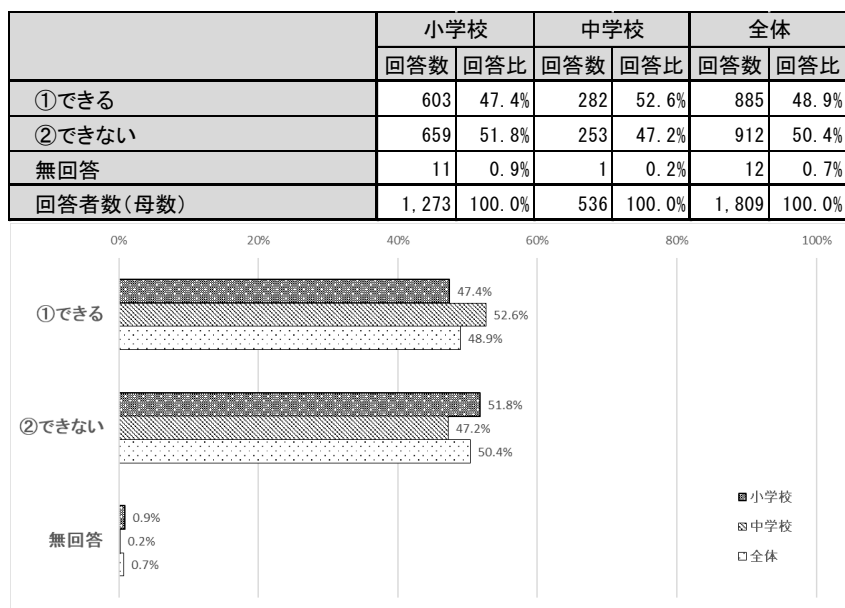
2-2-17 「2-2-16(1)」で答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について 1 種類)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	402	31.4%	164	30.5%	566	31.1%
②電子黒板プロジェクタ内蔵型	93	7.3%	49	9.1%	142	7.8%
③電子黒板ボード型	37	2.9%	8	1.5%	45	2.5%
④電子黒板ユニット型	16	1.3%	6	1.1%	22	1.2%
⑤プロジェクタ	180	14.1%	120	22.3%	300	16.5%
⑥60インチ以上地上デジタルテレビ	247	19.3%	100	18.6%	347	19.1%
⑦60インチ未満地上デジタルテレビ	298	23.3%	89	16.5%	387	21.3%
無回答	7	0.5%	2	0.4%	9	0.5%
回答者数(母数)	1,280	100.0%	538	100.0%	1,818	100.0%



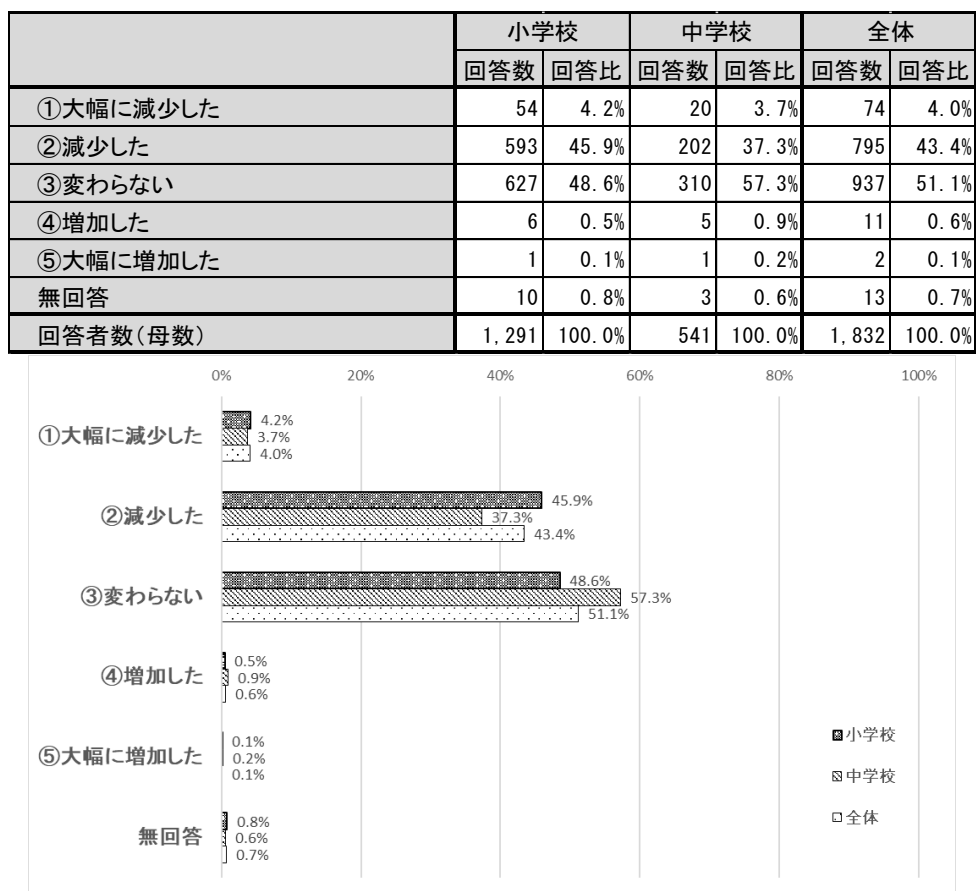
※「①電子黒板テレビ型」が全体で 31.1%と最も多い。次いで多いものは小学校では「⑦60 インチ未満地上デジタルテレビ」が 23.3%、中学校では「⑤プロジェクタ」が 22.3%となっている。

2-2-18 前問でお答えいただいた大型提示装置は、端末を無線で接続できますか。



※「②できない」が全体で50.4%となっており、大型提示装置をより活用するためにも、無線で接続できる環境の整備が望まれる。

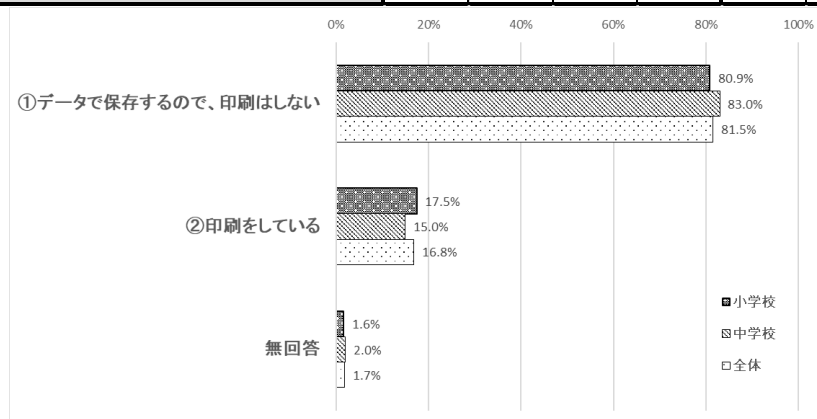
2-2-19 1人1台端末が揃うことにより、補助教材の印刷量は変化しましたか。



※「①大幅に減少した」「②減少した」を合わせると全体で47.4%となっているが、小学校が50.1%、中学校が41.0%と差がある。また、「③変わらない」が全体で51.1%もあり、1人1台端末が揃っても印刷の需要があることが分かる。

2-2-20 1人1台端末から印刷するシーンがありますか。

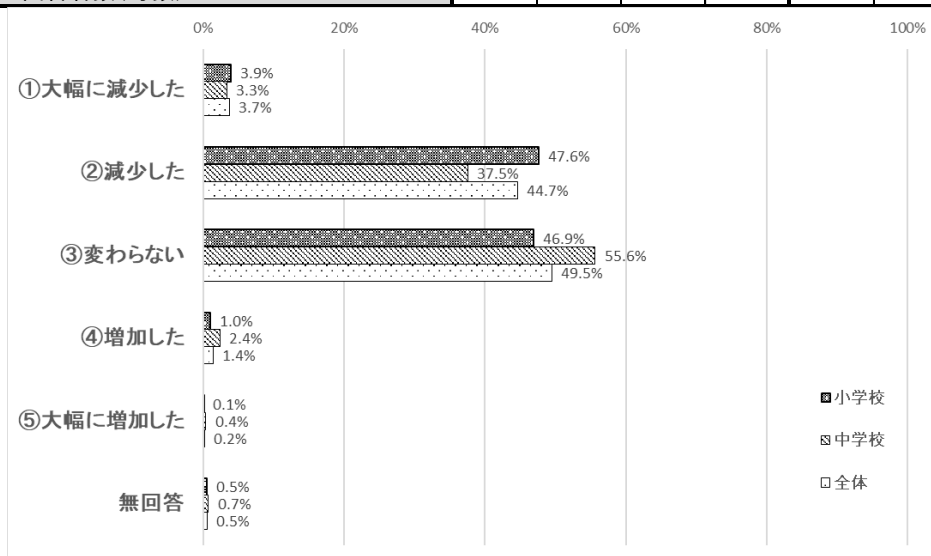
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①データで保存するので、印刷はしない	1,044	80.9%	449	83.0%	1,493	81.5%
②印刷をしている	226	17.5%	81	15.0%	307	16.8%
無回答	21	1.6%	11	2.0%	32	1.7%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①データで保存するので、印刷はしない」が全体で81.5%となっている。

2-2-21 学校全体のICT化が進むなか、教材等がデジタル化し印刷量は変化しましたか。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①大幅に減少した	50	3.9%	18	3.3%	68	3.7%
②減少した	615	47.6%	203	37.5%	818	44.7%
③変わらない	606	46.9%	301	55.6%	907	49.5%
④増加した	13	1.0%	13	2.4%	26	1.4%
⑤大幅に増加した	1	0.1%	2	0.4%	3	0.2%
無回答	6	0.5%	4	0.7%	10	0.5%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



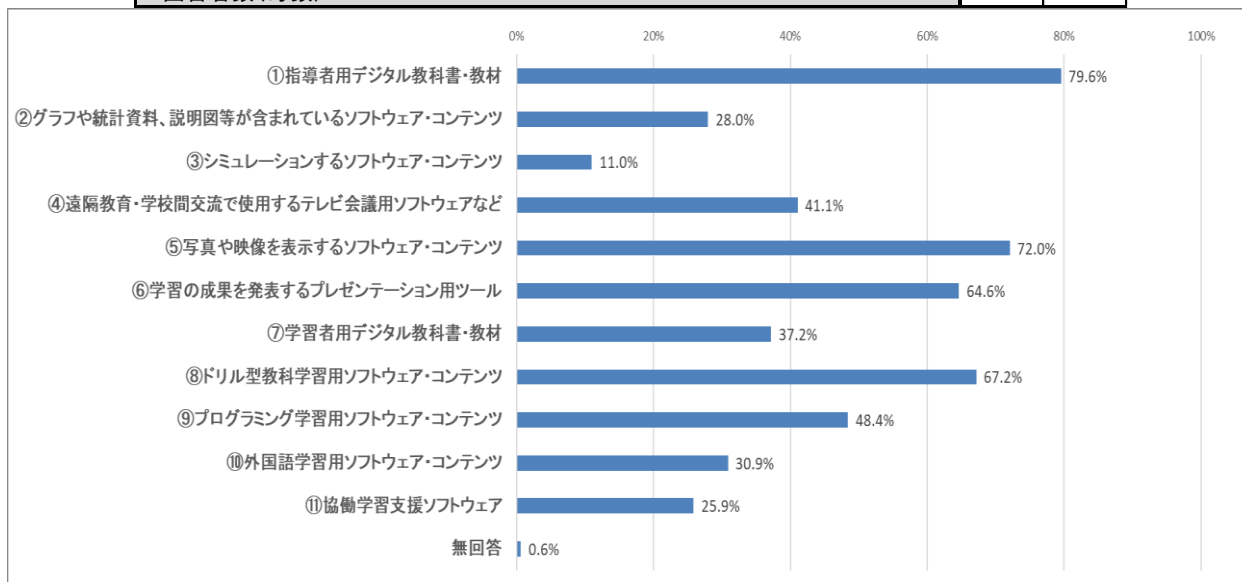
※「①大幅に減少した」「②減少した」を合わせると全体で48.4%となっているが、小学校が51.5%、中学校が40.8%と差が見られる。また、「③変わらない」「④増加した」「⑤大幅に増加した」を合わせると全体で51.1%もあり、学校全体のICT化が進んでも印刷の需要があることが分かる。

(学校編)

2-3 ソフトウェアに関する項目

2-3-01 小学校の教科指導においてどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。
(いくつでも)

	小学校	
	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	1,027	79.6%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	361	28.0%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	142	11.0%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	530	41.1%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	930	72.0%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	834	64.6%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	480	37.2%
⑧ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ	867	67.2%
⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	625	48.4%
⑩外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	399	30.9%
⑪協働学習支援ソフトウェア	334	25.9%
無回答	8	0.6%
回答数合計	6,537	506.4%
回答者数(母数)	1,291	

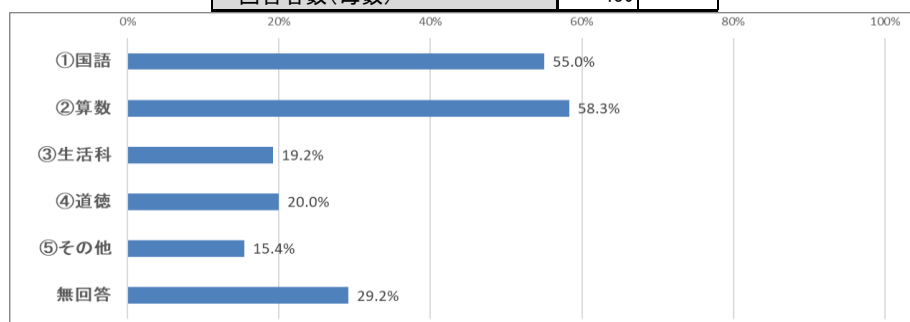


※「①指導者用デジタル教科書・教材」が最も多く、79.6%となっている。次いで、「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が72.0%、「⑧ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ」67.2%となっている。

2-3-02 前問で⑦と回答された方に伺います。導入されている教科は何ですか。

2-3-02(1) 低学年(いくつでも)

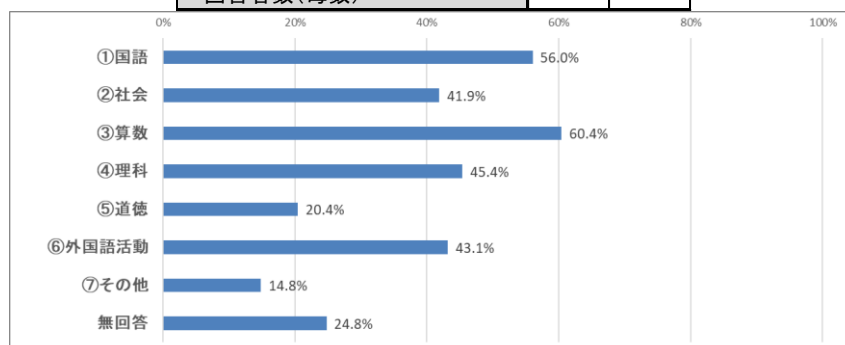
	小学校	
	回答数	回答比
①国語	264	55.0%
②算数	280	58.3%
③生活科	92	19.2%
④道徳	96	20.0%
⑤その他	74	15.4%
無回答	140	29.2%
回答数合計	946	197.1%
回答者数(母数)	480	



※「②算数」が最も多く、58.3%となっている。次いで「①国語」が55.0%となっている。

2-3-02(2) 中学年(いくつでも)

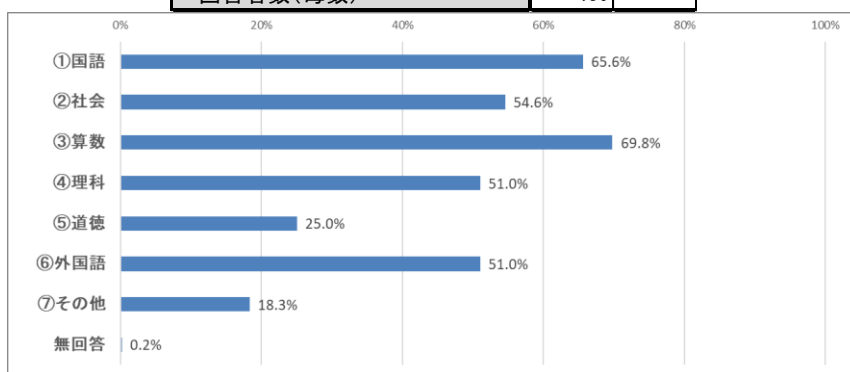
	小学校	
	回答数	回答比
①国語	269	56.0%
②社会	201	41.9%
③算数	290	60.4%
④理科	218	45.4%
⑤道徳	98	20.4%
⑥外国語活動	207	43.1%
⑦その他	71	14.8%
無回答	119	24.8%
回答数合計	1,473	306.9%
回答者数(母数)	480	



※「③算数」が最も多く、60.4%となっている。次いで「①国語」が56.0%となっている。

2-3-02(3) 高学年(いくつでも)

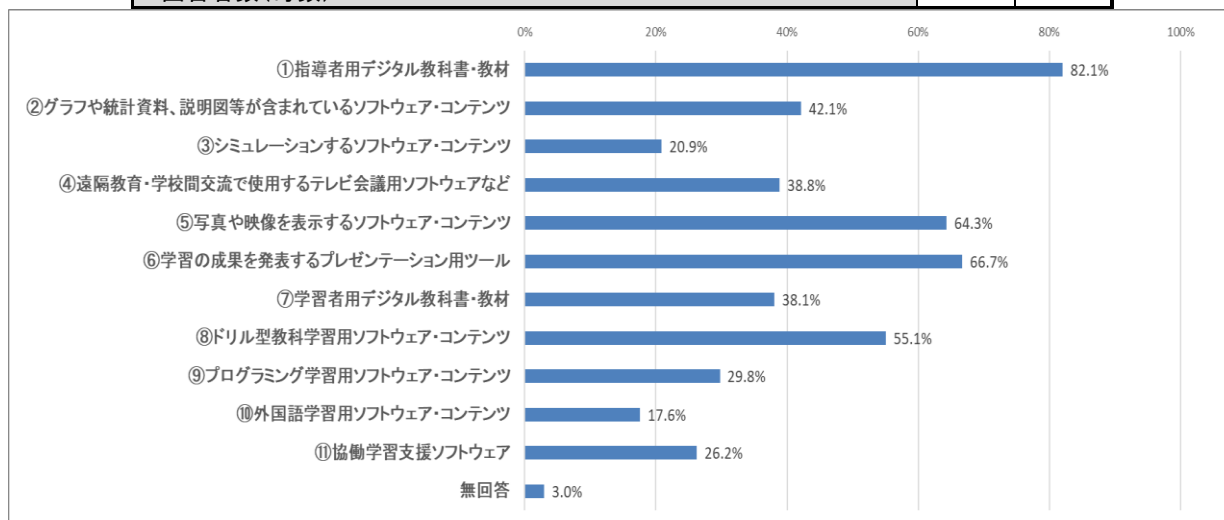
	小学校	
	回答数	回答比
①国語	315	65.6%
②社会	262	54.6%
③算数	335	69.8%
④理科	245	51.0%
⑤道徳	120	25.0%
⑥外国語	245	51.0%
⑦その他	88	18.3%
無回答	1	0.2%
回答数合計	1,611	335.6%
回答者数(母数)	480	



※「③算数」が最も多く、69.8%となっている。次いで「①国語」が65.6%となっている。学年が上がるにつれて、複数教科導入していることがうかがえる。

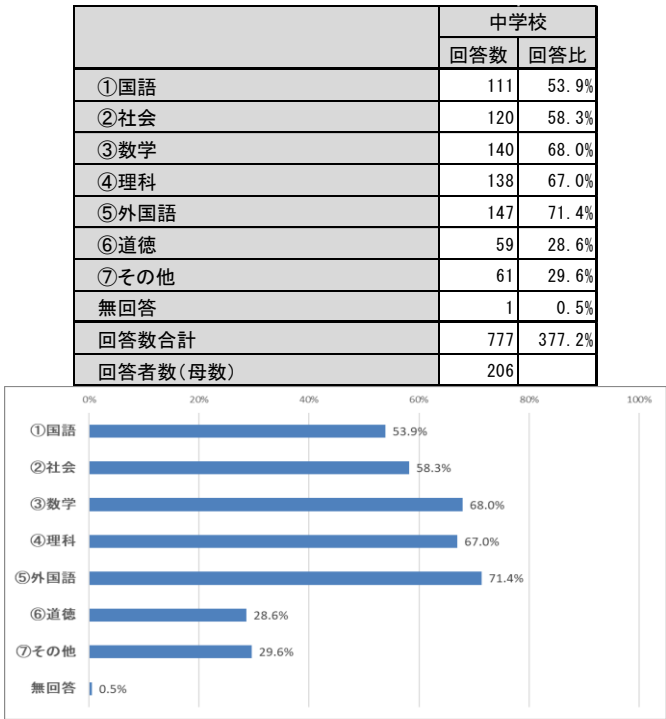
2-3-03 中学校の教科指導においてどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。
(いくつでも)

	中学校	
	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	444	82.1%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	228	42.1%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	113	20.9%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	210	38.8%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	348	64.3%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	361	66.7%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	206	38.1%
⑧ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ	298	55.1%
⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	161	29.8%
⑩外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	95	17.6%
⑪協働学習支援ソフトウェア	142	26.2%
無回答	16	3.0%
回答数合計	2,622	484.7%
回答者数(母数)	541	



※「①指導者用デジタル教科書・教材」が最も多く、82.1%となっている。次いで、「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が66.7%、「⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ」が64.3%となっている。

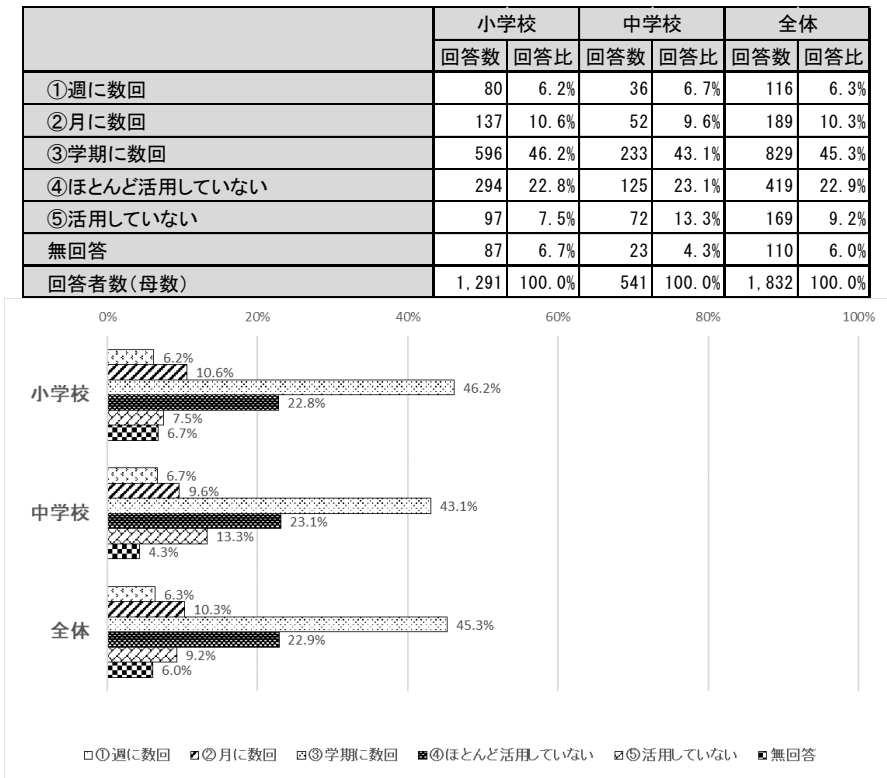
2-3-04 前問で⑦と回答された方に伺います。導入されている教科は何ですか。(いくつでも)



※「⑤外国語」が最も多く、71.4%となっている。次いで「③数学」が68.0%、「④理科」が67.0%となっている。中学校も複数教科で導入していることがうかがえる。

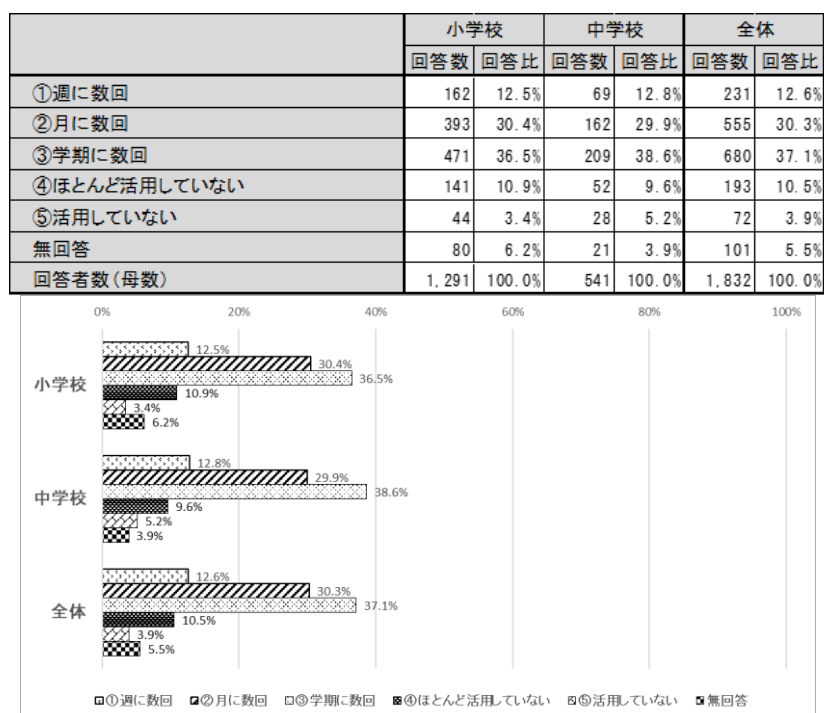
2-3-05 学習用ソフトウェア・コンテンツをどの程度活用していますか。

2-3-05(1) 児童・生徒の情報モラルを向上させるための活用。



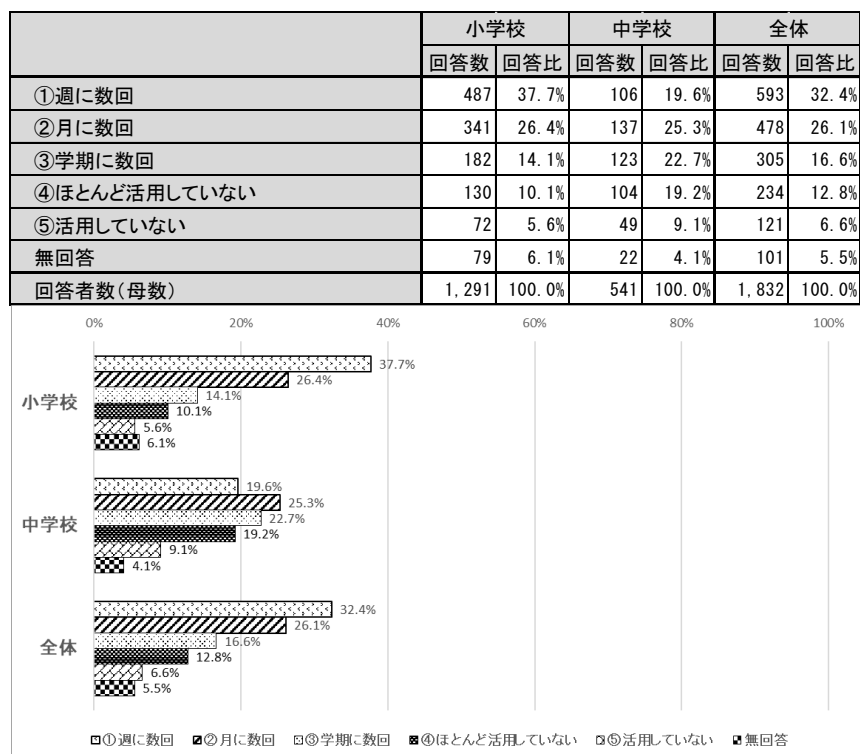
※「③学期に数回」が最も多く、小学校で46.2%、中学校で43.1%となっている。「④ほとんど活用していない」も多く、小学校で22.8%、中学校で23.1%となっている。

2-3-05(2) 児童・生徒の発表(プレゼンテーション)能力を向上させるための活用。



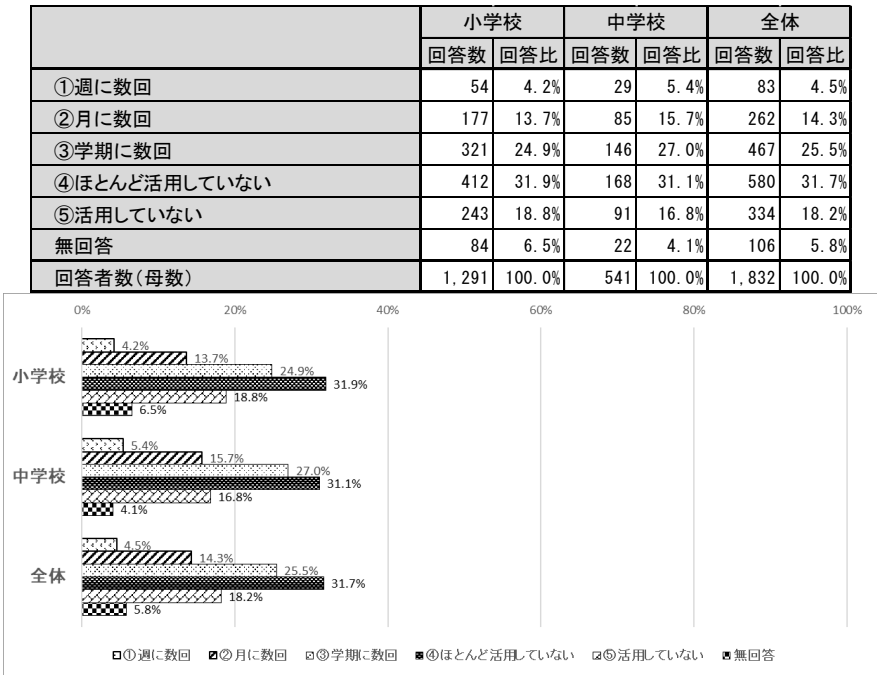
※全体で「③学期に数回」(54.3%→37.1%)、「②月に数回」(14.5%→30.3%)、「①週に数回」(2.3%→12.6%)となっており、活用頻度が上がってきている。

2-3-05(3) 計算能力など、児童・生徒の基礎学力を向上させるための活用。



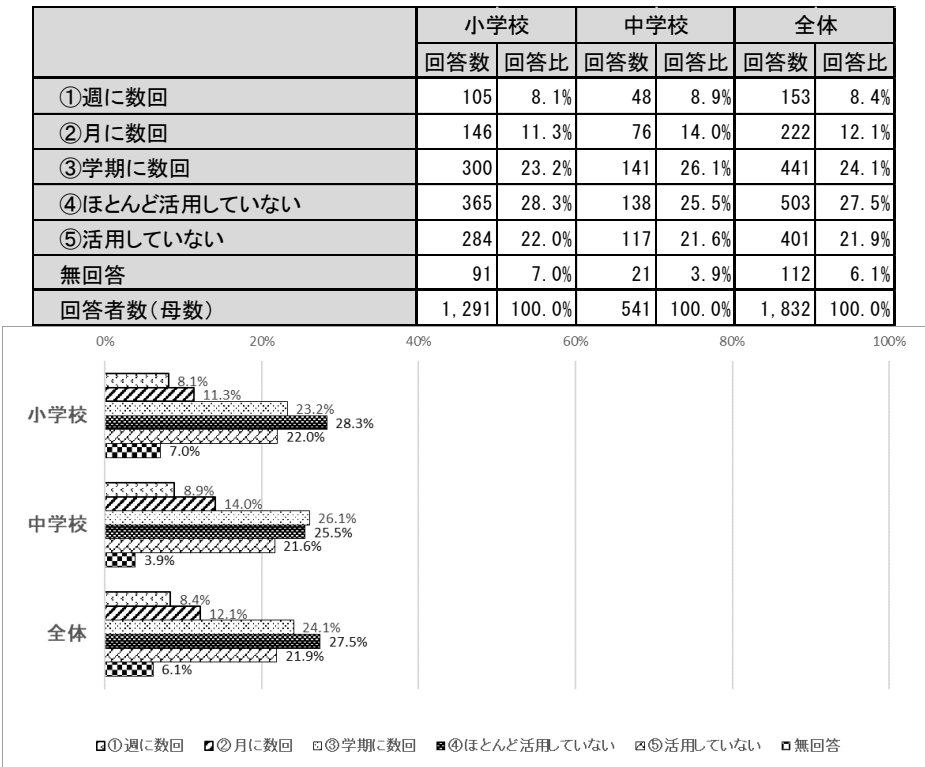
※小学校では「①週に数回」が最も多く 37.7%、中学校では「②月に数回」が最も多く 25.3%となっている。全体で「③学期に数回」(29.9%→16.6%)、「②月に数回」(4.9%→26.1%)、「①週に数回」(1.2%→32.4%)となっており、大幅に活用頻度が上がってきている。

2-3-05(4) アニメーションなど、教科に特化した作品を制作するための活用。



※「④ほとんど活用していない」「⑤活用していない」を合わせると、小学校で50.7%、中学校で47.9%となっている。活用している中では、「③学期に数回」が小学校24.9%、中学校27.0%と最も多くなっている。

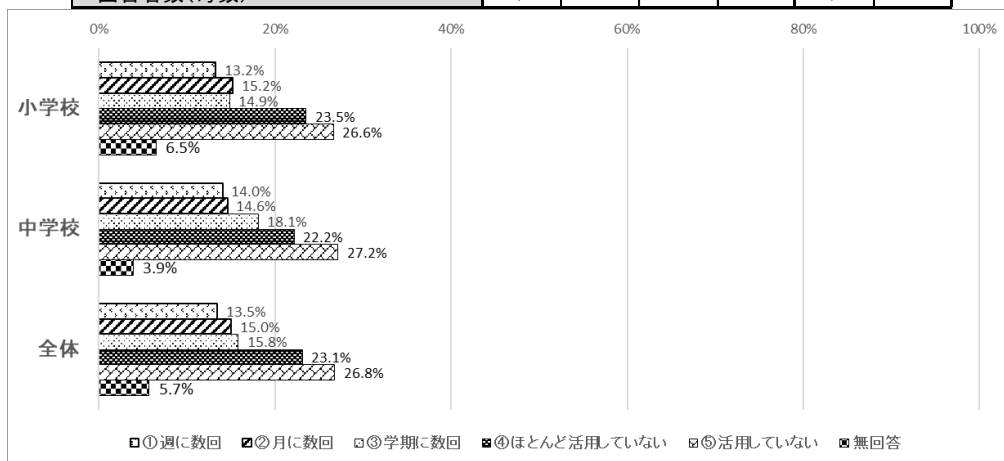
2-3-05(5) 遠隔教育のための活用。



※前回調査と比較すると、全体で「⑤活用していない」（73.5%→21.9%）、「①週に数回」「②月に数回」「③学期に数回」を合わせて（4.5%→44.6%）となっており、大幅に活用頻度が上がってきている。

2-3-05(6) 家庭学習のための活用。

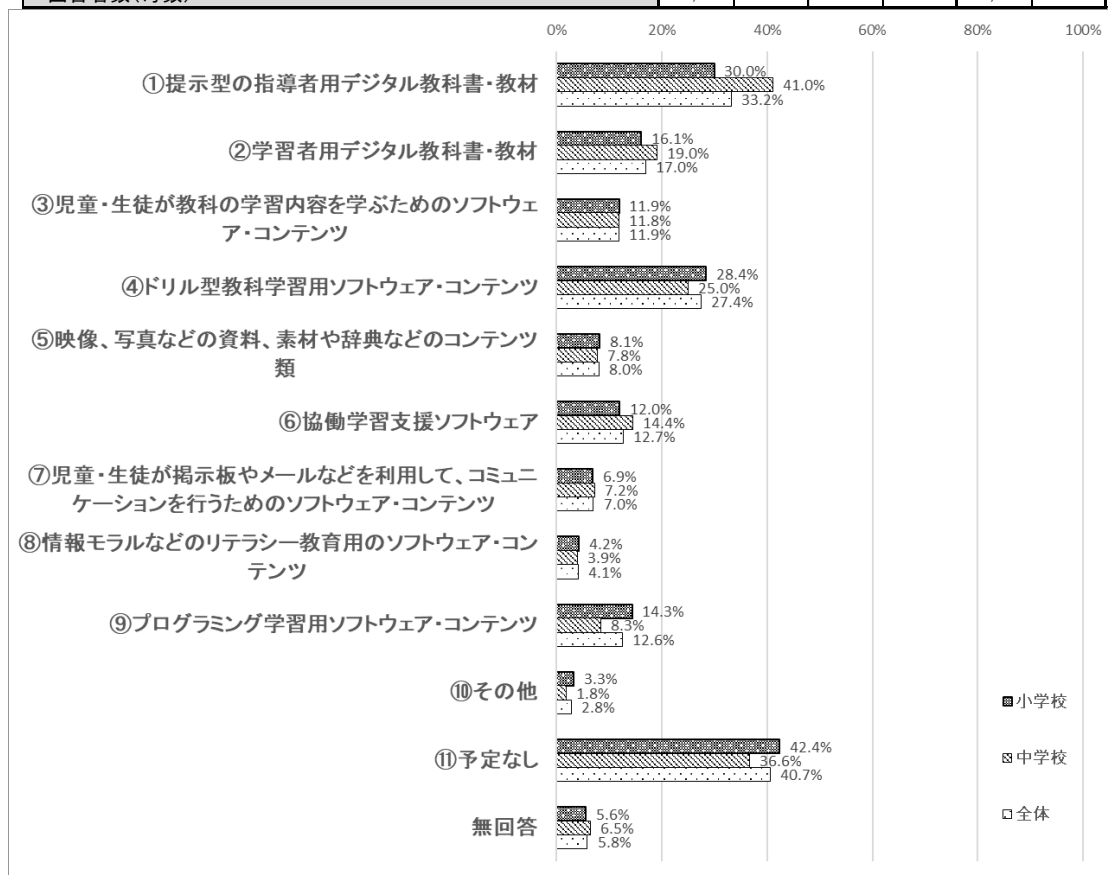
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	171	13.2%	76	14.0%	247	13.5%
②月に数回	196	15.2%	79	14.6%	275	15.0%
③学期に数回	192	14.9%	98	18.1%	290	15.8%
④ほとんど活用していない	304	23.5%	120	22.2%	424	23.1%
⑤活用していない	344	26.6%	147	27.2%	491	26.8%
無回答	84	6.5%	21	3.9%	105	5.7%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①週に数回」「②月に数回」「③学期に数回」を合わせて、全体で 44.3%となっており、ほぼ半数の学校で家庭学習のための活用がされている。

2-3-06 昨年度から今年度にかけて、どのような学習用ソフトウェア・コンテンツを購入しましたか。もしくは購入する予定ですか。(いくつでも)

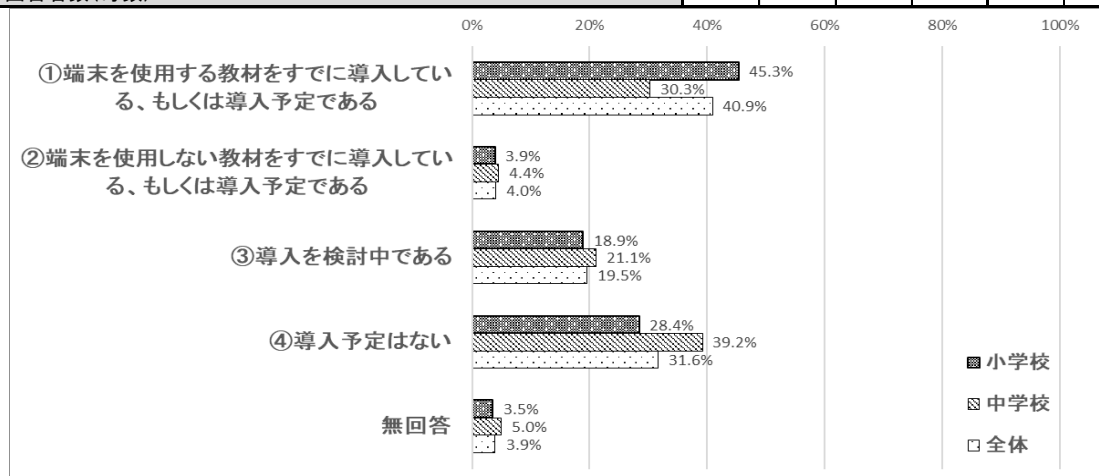
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①提示型の指導者用デジタル教科書・教材	387	30.0%	222	41.0%	609	33.2%
②学習者用デジタル教科書・教材	208	16.1%	103	19.0%	311	17.0%
③児童・生徒が教科の学習内容を学ぶためのソフトウェア・コンテンツ	154	11.9%	64	11.8%	218	11.9%
④ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ	367	28.4%	135	25.0%	502	27.4%
⑤映像、写真などの資料、素材や辞典などのコンテンツ類	105	8.1%	42	7.8%	147	8.0%
⑥協働学習支援ソフトウェア	155	12.0%	78	14.4%	233	12.7%
⑦児童・生徒が掲示板やメールなどを利用して、コミュニケーションを行うためのソフトウェア・コンテンツ	89	6.9%	39	7.2%	128	7.0%
⑧情報モラルなどのリテラシー教育用のソフトウェア・コンテンツ	54	4.2%	21	3.9%	75	4.1%
⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	185	14.3%	45	8.3%	230	12.6%
⑩その他	42	3.3%	10	1.8%	52	2.8%
⑪予定なし	547	42.4%	198	36.6%	745	40.7%
無回答	72	5.6%	35	6.5%	107	5.8%
回答数合計	2,365	183.2%	992	183.4%	3,357	183.2%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※小学校は、「①提示型の指導者用デジタル教科書・教材」が30.0%、「④ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ」28.4%となっている。中学校は、「①提示型の指導者用デジタル教科書・教材」が最も多く41.0%となっている。また「④ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ」が25.0%となっている。

2-3-07 プログラミング教育の実施にともない、ソフトウェア・コンテンツを導入しましたか。

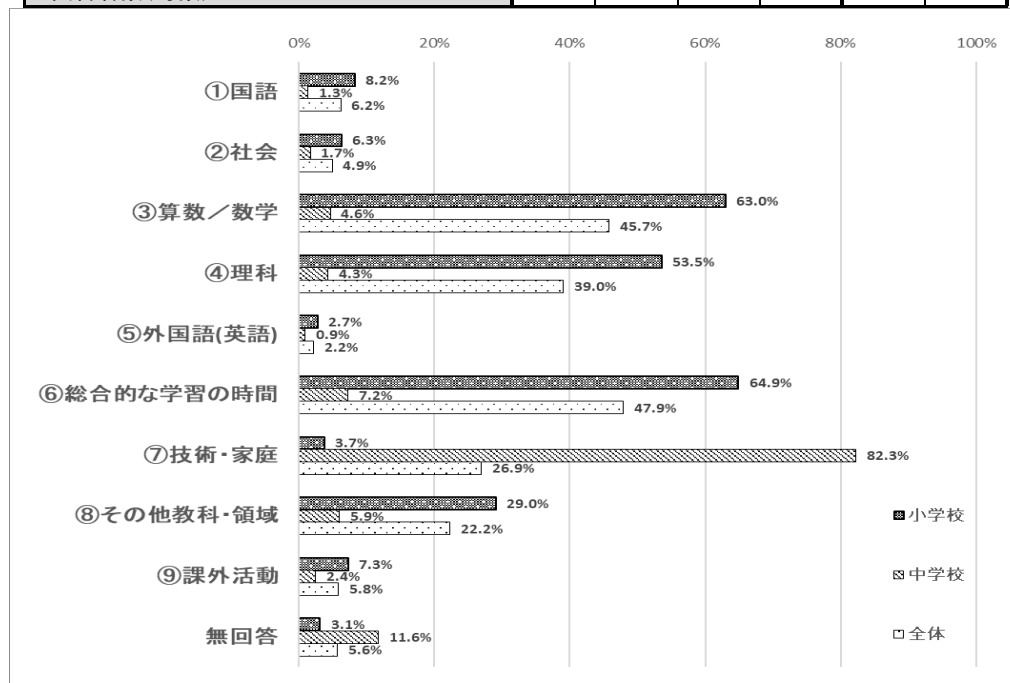
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①端末を使用する教材をすでに導入している、もしくは導入予定である	585	45.3%	164	30.3%	749	40.9%
②端末を使用しない教材をすでに導入している、もしくは導入予定である	50	3.9%	24	4.4%	74	4.0%
③導入を検討中である	244	18.9%	114	21.1%	358	19.5%
④導入予定はない	367	28.4%	212	39.2%	579	31.6%
無回答	45	3.5%	27	5.0%	72	3.9%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①端末を使用する教材をすでに導入している、もしくは導入予定である」「②端末を使用しない教材をすでに導入している、もしくは導入予定である」を合わせて全体で 44.9%となっている。「③導入を検討中である」も含めると、全体で 64.4%が何らかの教材を導入することが分かる。一方で、中学校において「④導入予定はない」が 39.2%となっている。

2-3-08 プログラミング教育はどの教科の時間内で取り組んでいますか。もしくは取り組む予定ですか。
(いくつでも)

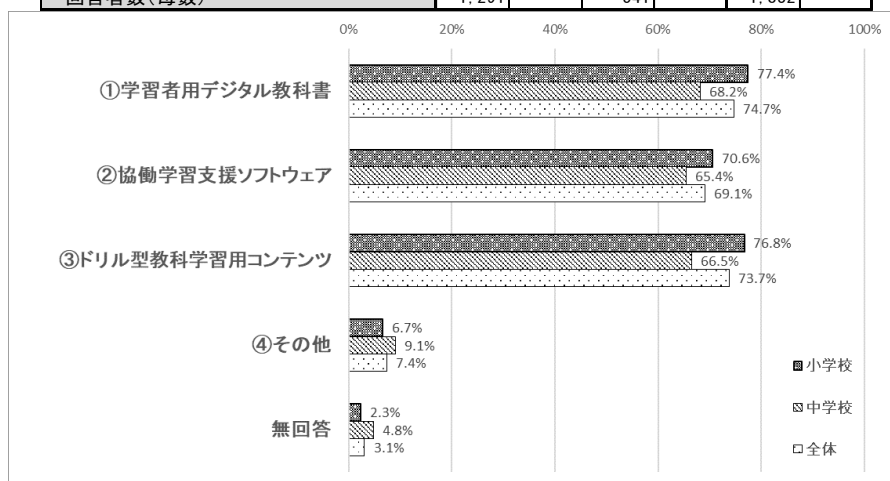
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	106	8.2%	7	1.3%	113	6.2%
②社会	81	6.3%	9	1.7%	90	4.9%
③算数／数学	813	63.0%	25	4.6%	838	45.7%
④理科	691	53.5%	23	4.3%	714	39.0%
⑤外国語(英語)	35	2.7%	5	0.9%	40	2.2%
⑥総合的な学習の時間	838	64.9%	39	7.2%	877	47.9%
⑦技術・家庭	48	3.7%	445	82.3%	493	26.9%
⑧その他教科・領域	375	29.0%	32	5.9%	407	22.2%
⑨課外活動	94	7.3%	13	2.4%	107	5.8%
無回答	40	3.1%	63	11.6%	103	5.6%
回答数合計	3,121	241.8%	661	122.2%	3,782	206.4%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※小学校では、「⑥総合的な学習の時間」が最も多く 64.9%、次いで、学習指導要領で例示されており教科書にも掲載されている「③算数／数学」63.0%、「④理科」53.5%となっている。中学校では、「⑦技術・家庭」が 82.3%で抜きんでて多くなっている。わずかではあるが、「②社会」「⑤外国語(英語)」「⑧その他教科・領域」という回答もみられ、各校における工夫がうかがえる。

2-3-09 1人1台端末を活用するために必要と思われるソフトウェア・コンテンツは何ですか。(いくつでも)

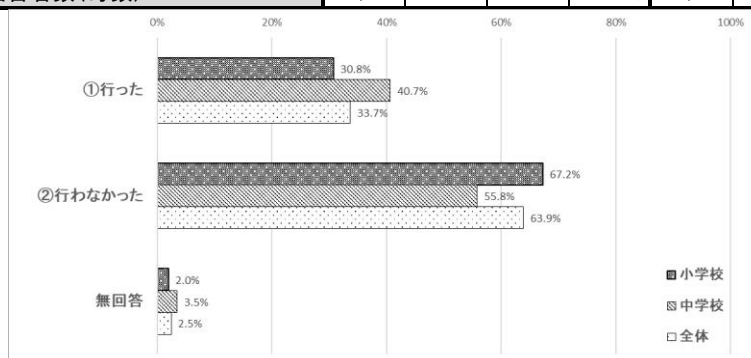
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習者用デジタル教科書	999	77.4%	369	68.2%	1,368	74.7%
②協働学習支援ソフトウェア	911	70.6%	354	65.4%	1,265	69.1%
③ドリル型教科学習用コンテンツ	991	76.8%	360	66.5%	1,351	73.7%
④その他	86	6.7%	49	9.1%	135	7.4%
無回答	30	2.3%	26	4.8%	56	3.1%
回答数合計	3,017	233.7%	1,158	214.0%	4,175	227.9%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※小学校では、「①学習者用デジタル教科書」が最も多く 77.4%、次いで、「③ドリル型教科学習用コンテンツ」76.8%、「②協働学習支援ソフトウェア」70.6%となっている。中学校では、「①学習者用デジタル教科書」が最も多く 68.2%、次いで、「③ドリル型教科学習用コンテンツ」66.5%、「②協働学習支援ソフトウェア」65.4%となっている。全体では、「①学習者用デジタル教科書」が最も多く 74.7%、次いで、「③ドリル型教科学習用コンテンツ」73.7%、「②協働学習支援ソフトウェア」69.1%となっている。

2-3-10 休校中に ICT を活用した家庭学習を行いましたか。

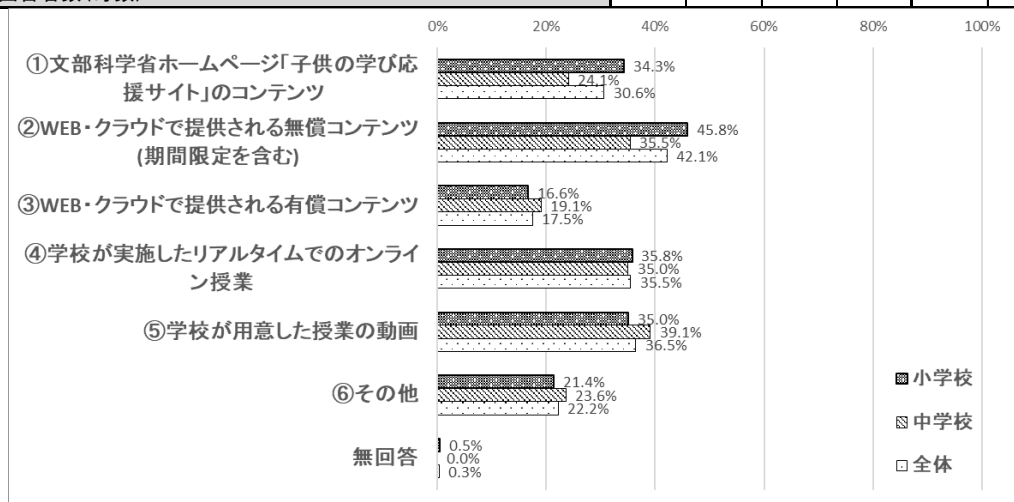
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①行った	397	30.8%	220	40.7%	617	33.7%
②行わなかった	868	67.2%	302	55.8%	1,170	63.9%
無回答	26	2.0%	19	3.5%	45	2.5%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①行った」が、小学校では 30.8%、中学校では 40.7%となっている。若干ではあるが中学校の方が家庭学習での ICT 活用が進んでいる。

2-3-11 前問で①と回答された方に伺います。休校中に ICT を活用した家庭学習を行ったとき、どのようなソフトウェア・コンテンツを活用しましたか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省ホームページ「子供の学び応援サイト」のコンテンツ	136	34.3%	53	24.1%	189	30.6%
②WEB・クラウドで提供される無償コンテンツ(期間限定を含む)	182	45.8%	78	35.5%	260	42.1%
③WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ	66	16.6%	42	19.1%	108	17.5%
④学校が実施したリアルタイムでのオンライン授業	142	35.8%	77	35.0%	219	35.5%
⑤学校が用意した授業の動画	139	35.0%	86	39.1%	225	36.5%
⑥その他	85	21.4%	52	23.6%	137	22.2%
無回答	2	0.5%			2	0.3%
回答数合計	752	189.4%	388	176.4%	1,140	184.8%
回答者数(母数)	397		220		617	



※小学校では、「②WEB・クラウドで提供される無償コンテンツ(期間限定を含む)」が最も多く、45.8%となっている。一方、中学校では、「⑤学校が用意した授業の動画」が最も多く、39.1%となっている。「④学校が実施したリアルタイムでのオンライン授業」は、小学校では35.8%、中学校では35.0%の学校が実施と回答している。

2-4 保守サポートに関する項目

2-4-01 ICT 支援員の配置について伺います。(いくつかでも)

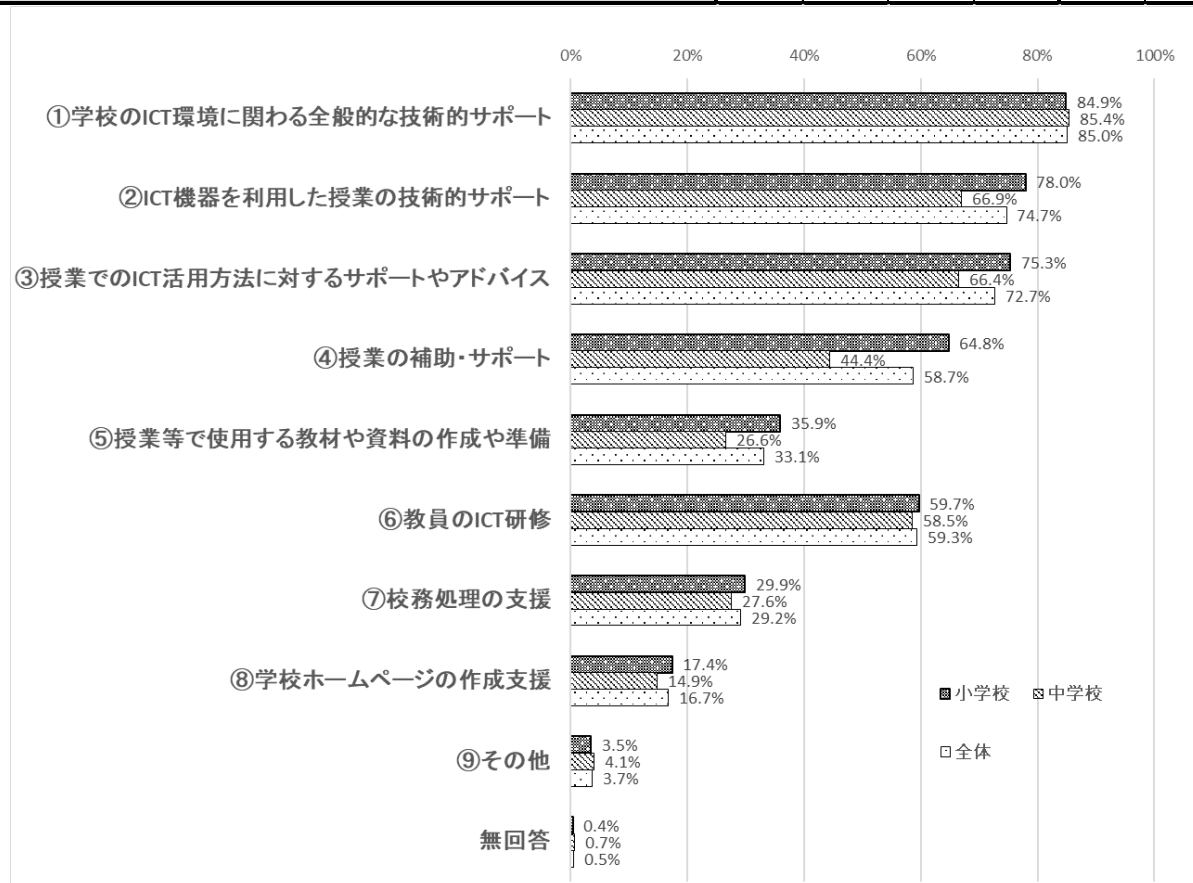
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	35	2.7%	13	2.4%	48	2.6%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	790	61.2%	341	63.0%	1,131	61.7%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	179	13.9%	73	13.5%	252	13.8%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	82	6.4%	54	10.0%	136	7.4%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない	71	5.5%	26	4.8%	97	5.3%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、困ると教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している	38	2.9%	21	3.9%	59	3.2%
⑦かつては支援員が配置されていたが、今は配置されていない	36	2.8%	9	1.7%	45	2.5%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	201	15.6%	86	15.9%	287	15.7%
無回答	3	0.2%	3	0.6%	6	0.3%
回答数合計	1,435	111.2%	626	115.7%	2,061	112.5%
回答者数(母数)	1,291		541		1,832	



※「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」が全体で (31.3%→61.7%) と大きく増えたが、「⑧ICT 支援員は配置されたことがない」は全体で (43.9%→15.7%) となっており、更なる配置が望まれる。

2-4-02 前問で①～④と回答された方に伺います。ICT 支援員にどのような作業を依頼していますか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	832	84.9%	356	85.4%	1,188	85.0%
②ICT機器を利用した授業の技術的サポート	764	78.0%	279	66.9%	1,043	74.7%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	738	75.3%	277	66.4%	1,015	72.7%
④授業の補助・サポート	635	64.8%	185	44.4%	820	58.7%
⑤授業等で使用する教材や資料の作成や準備	352	35.9%	111	26.6%	463	33.1%
⑥教員のICT研修	585	59.7%	244	58.5%	829	59.3%
⑦校務処理の支援	293	29.9%	115	27.6%	408	29.2%
⑧学校ホームページの作成支援	171	17.4%	62	14.9%	233	16.7%
⑨その他	34	3.5%	17	4.1%	51	3.7%
無回答	4	0.4%	3	0.7%	7	0.5%
回答数合計	4,408	449.8%	1,649	395.4%	6,057	433.6%
回答者数(母数)	980		417		1,397	



※「①学校の ICT 環境に関わる全般的な技術的サポート」が最も多く、全体で 85.0%、次いで「②ICT 機器を利用した授業の技術的サポート」が（67.9%→74.7%）、「③授業での ICT 活用方法に対するサポートやアドバイス」が（63.2%→72.7%）と高くなっている。

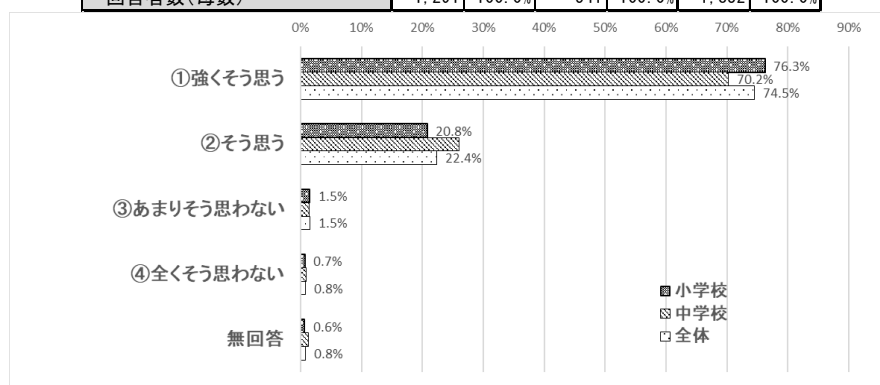
一方「⑦校務処理の支援」は全体で（43.1%→29.2%）、「⑧学校ホームページの作成支援」は（33.7%→16.7%）と比率が下がっており、支援の内容が技術支援、授業に関係する支援に移行しているものと考えられる。

2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

2-5-01 授業での ICT 活用の推進について感じていることは何ですか。

2-5-01(1) 普通教室に大型提示装置などの教材提示装置を整備すべきである。

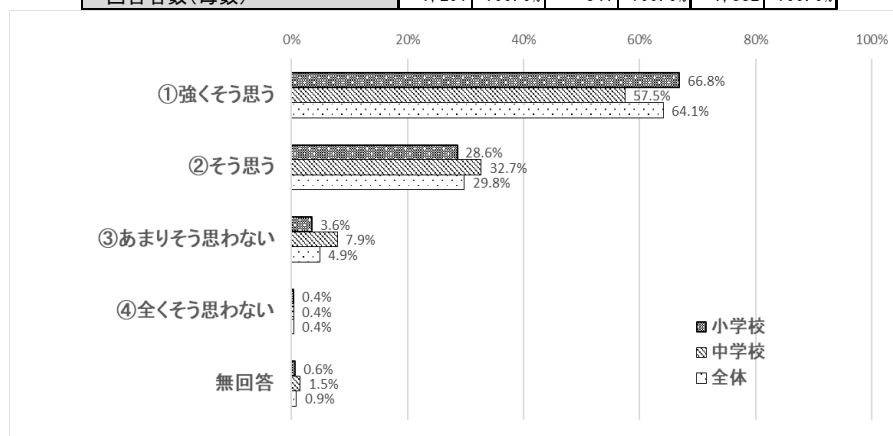
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	985	76.3%	380	70.2%	1,365	74.5%
②そう思う	269	20.8%	141	26.1%	410	22.4%
③あまりそう思わない	20	1.5%	8	1.5%	28	1.5%
④全くそう思わない	9	0.7%	5	0.9%	14	0.8%
無回答	8	0.6%	7	1.3%	15	0.8%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 96.9%となっている。特に「①強くそう思う」は全体で 74.5%となっており、普通教室への大型提示装置の整備は強く望まれている。

2-5-01(2) 教科教育用ソフトウェアやデジタル教材の購入費用を増額（購入ソフトウェアを充実させる）すべきである。

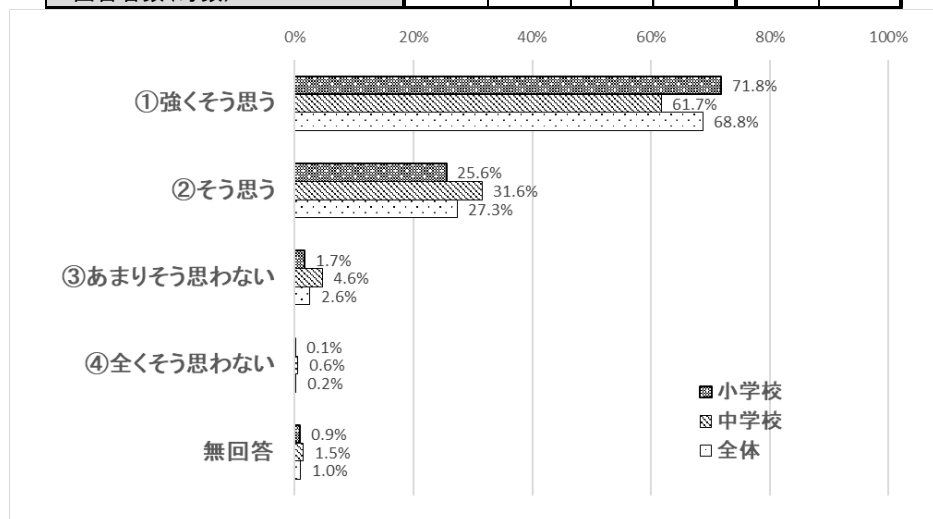
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	863	66.8%	311	57.5%	1,174	64.1%
②そう思う	369	28.6%	177	32.7%	546	29.8%
③あまりそう思わない	46	3.6%	43	7.9%	89	4.9%
④全くそう思わない	5	0.4%	2	0.4%	7	0.4%
無回答	8	0.6%	8	1.5%	16	0.9%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて（89.2%→93.9%）と、ソフトウェアの購入費用の増額が望まれている。

2-5-01(3) 1人1台端末を有効活用するためのデジタル教材を充実させるべきでる。

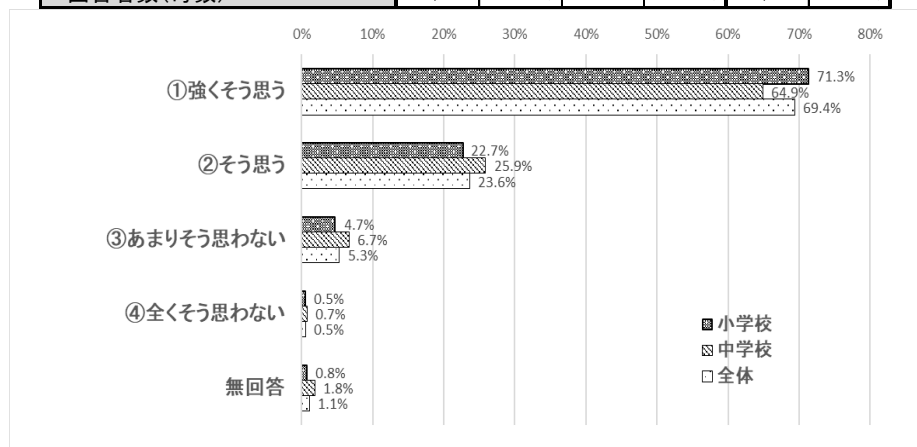
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	927	71.8%	334	61.7%	1,261	68.8%
②そう思う	330	25.6%	171	31.6%	501	27.3%
③あまりそう思わない	22	1.7%	25	4.6%	47	2.6%
④全くそう思わない	1	0.1%	3	0.6%	4	0.2%
無回答	11	0.9%	8	1.5%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で96.1%と、デジタル教材の充実が望まれている。

2-5-01(4) 学校にICT支援員を配置すべきである。

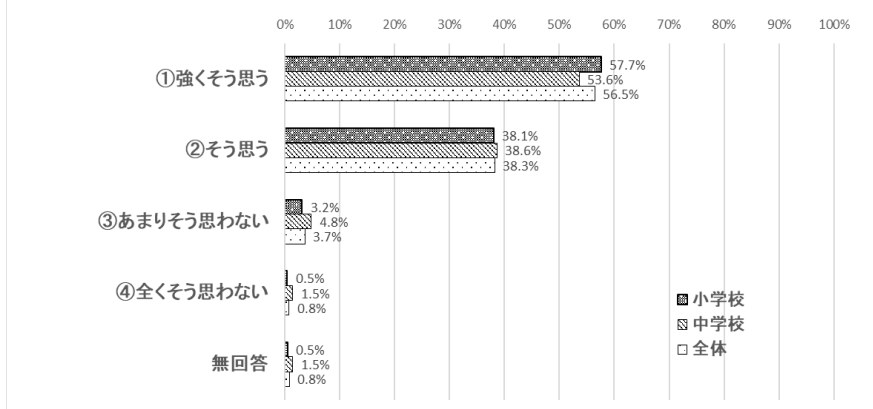
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	921	71.3%	351	64.9%	1,272	69.4%
②そう思う	293	22.7%	140	25.9%	433	23.6%
③あまりそう思わない	61	4.7%	36	6.7%	97	5.3%
④全くそう思わない	6	0.5%	4	0.7%	10	0.5%
無回答	10	0.8%	10	1.8%	20	1.1%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で93.0%であり、ICT支援員の配置は強く望まれている。

2-5-01(5) 教員の ICT 活用研修を充実すべきである。

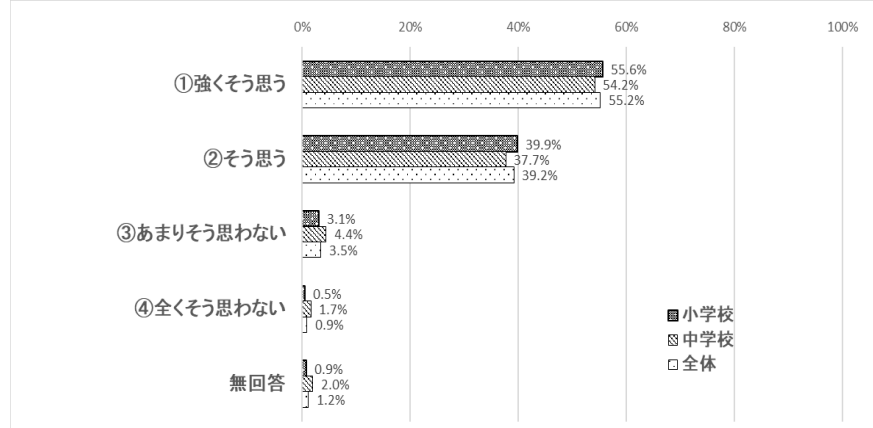
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	745	57.7%	290	53.6%	1,035	56.5%
②そう思う	492	38.1%	209	38.6%	701	38.3%
③あまりそう思わない	41	3.2%	26	4.8%	67	3.7%
④全くそう思わない	6	0.5%	8	1.5%	14	0.8%
無回答	7	0.5%	8	1.5%	15	0.8%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 94.8%であり、教員の ICT 研修は必要とされている。

2-5-01(6) 1人1台端末を有効活用するための教員研修を実施すべきである。

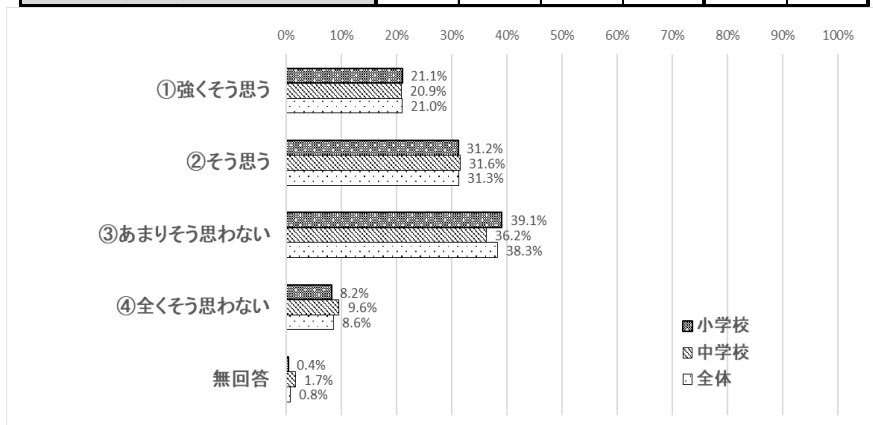
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	718	55.6%	293	54.2%	1,011	55.2%
②そう思う	515	39.9%	204	37.7%	719	39.2%
③あまりそう思わない	40	3.1%	24	4.4%	64	3.5%
④全くそう思わない	7	0.5%	9	1.7%	16	0.9%
無回答	11	0.9%	11	2.0%	22	1.2%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 94.4%であり、1人1台端末活用のための教員研修が必要とされている。

2-5-01(7) 1人1台端末環境を有効活用するため、リモート授業を推進すべきである。

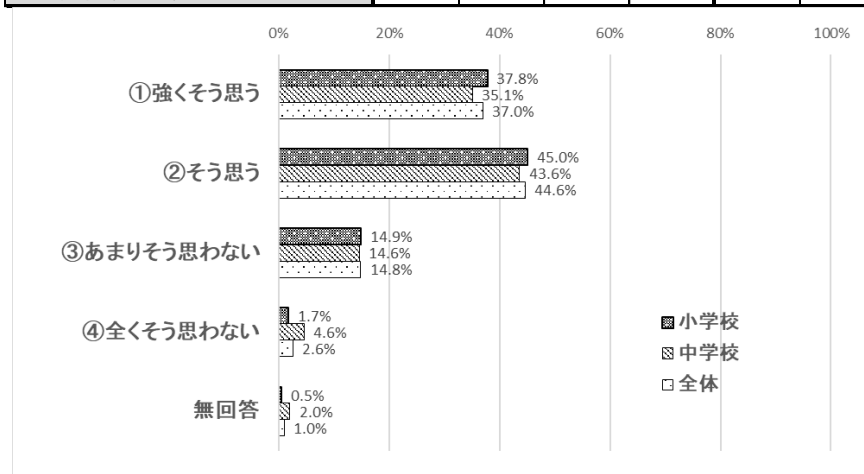
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	272	21.1%	113	20.9%	385	21.0%
②そう思う	403	31.2%	171	31.6%	574	31.3%
③あまりそう思わない	505	39.1%	196	36.2%	701	38.3%
④全くそう思わない	106	8.2%	52	9.6%	158	8.6%
無回答	5	0.4%	9	1.7%	14	0.8%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「③あまりそう思わない」が最も多く、全体で38.3%となっており、「④全くそう思わない」を合わせて46.9%である。「①強く思う」「②そう思う」を合わせて52.3%で意見が分かっている。

2-5-01(8) リモート(いつでもどこでも受講できる)での教員研修を充実すべきである。

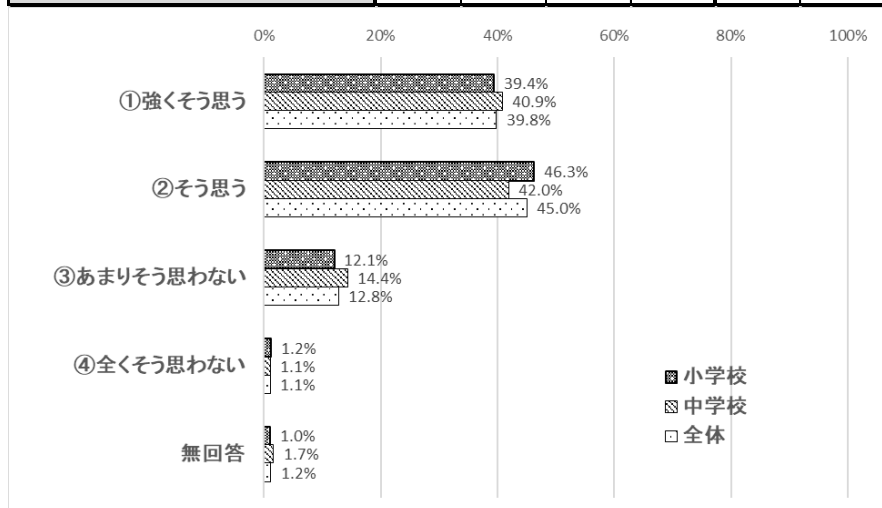
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	488	37.8%	190	35.1%	678	37.0%
②そう思う	581	45.0%	236	43.6%	817	44.6%
③あまりそう思わない	193	14.9%	79	14.6%	272	14.8%
④全くそう思わない	22	1.7%	25	4.6%	47	2.6%
無回答	7	0.5%	11	2.0%	18	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で81.6%であり、リモートでの教員研修が望まれている。

2-5-01(9) 学校の管理職向けの ICT 活用研修を充実すべきである。

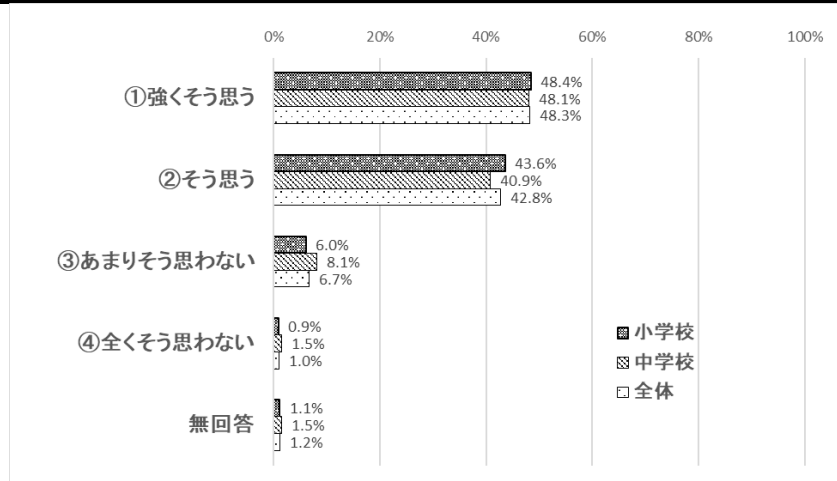
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	509	39.4%	221	40.9%	730	39.8%
②そう思う	598	46.3%	227	42.0%	825	45.0%
③あまりそう思わない	156	12.1%	78	14.4%	234	12.8%
④全くそう思わない	15	1.2%	6	1.1%	21	1.1%
無回答	13	1.0%	9	1.7%	22	1.2%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で（76.5%→84.8%）であり、管理職に対しても ICT 研修が必要とされている。

2-5-01(10) 大学の教員養成において ICT 活用科目は充実すべきである。

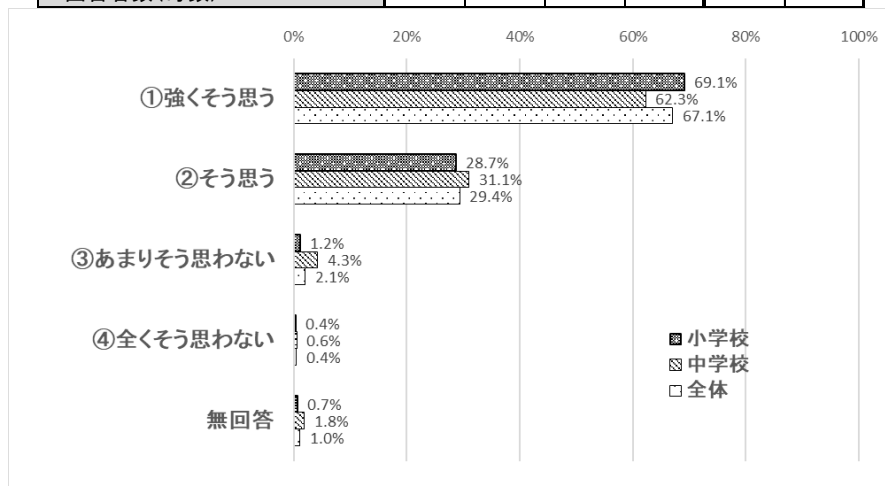
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	625	48.4%	260	48.1%	885	48.3%
②そう思う	563	43.6%	221	40.9%	784	42.8%
③あまりそう思わない	78	6.0%	44	8.1%	122	6.7%
④全くそう思わない	11	0.9%	8	1.5%	19	1.0%
無回答	14	1.1%	8	1.5%	22	1.2%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で（86.3%→91.1%）であり、教員養成段階での ICT 活用科目の充実が望まれている。

2-5-01(11) 指導者用デジタル教科書・教材の整備を進めるべきである。

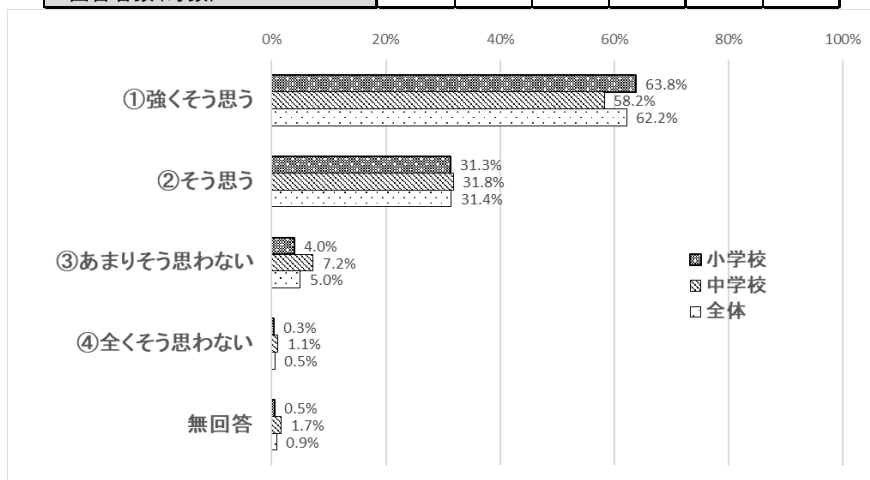
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	892	69.1%	337	62.3%	1,229	67.1%
②そう思う	370	28.7%	168	31.1%	538	29.4%
③あまりそう思わない	15	1.2%	23	4.3%	38	2.1%
④全くそう思わない	5	0.4%	3	0.6%	8	0.4%
無回答	9	0.7%	10	1.8%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 96.5%であり、指導者用デジタル教科書・教材の整備が強く望まれている。

2-5-01(12) 学習者用デジタル教科書の整備を進めるべきである。

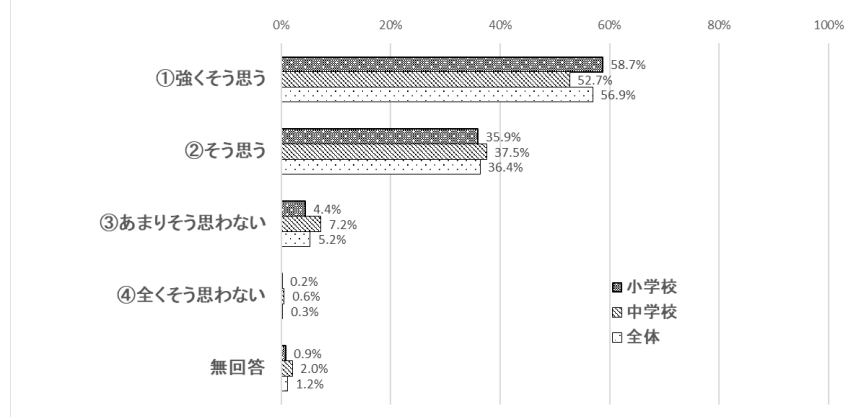
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	824	63.8%	315	58.2%	1,139	62.2%
②そう思う	404	31.3%	172	31.8%	576	31.4%
③あまりそう思わない	52	4.0%	39	7.2%	91	5.0%
④全くそう思わない	4	0.3%	6	1.1%	10	0.5%
無回答	7	0.5%	9	1.7%	16	0.9%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 93.6%であり、指導者用デジタル教科書・教材と同様に整備が強く望まれている。

2-5-01(13) 授業や補習・進学指導のために、教材コンテンツやデジタル教材、プリント教材、教員の自作教材等を広く地域内で共有できるクラウドを構築すべきである。(教育クラウド化)

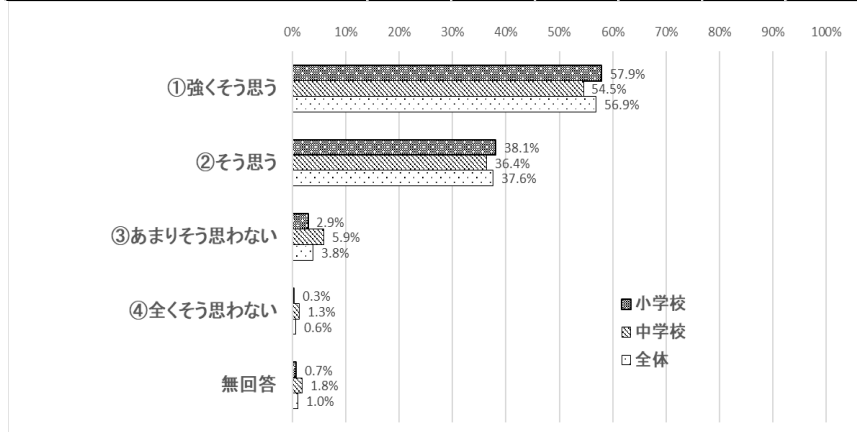
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	758	58.7%	285	52.7%	1,043	56.9%
②そう思う	463	35.9%	203	37.5%	666	36.4%
③あまりそう思わない	57	4.4%	39	7.2%	96	5.2%
④全くそう思わない	2	0.2%	3	0.6%	5	0.3%
無回答	11	0.9%	11	2.0%	22	1.2%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 93.3%であり、教材共有のクラウド化は強く望まれている。

2-5-01(14) 統合型校務支援システムの導入を推進すべきである。

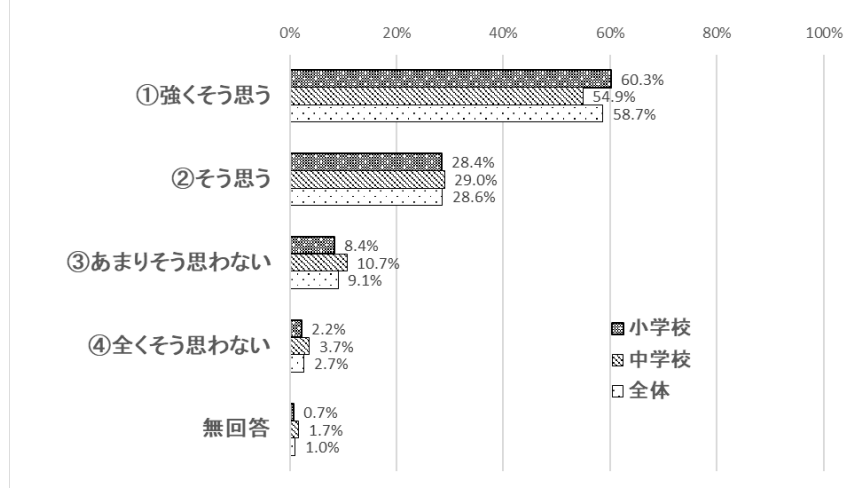
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	748	57.9%	295	54.5%	1,043	56.9%
②そう思う	492	38.1%	197	36.4%	689	37.6%
③あまりそう思わない	38	2.9%	32	5.9%	70	3.8%
④全くそう思わない	4	0.3%	7	1.3%	11	0.6%
無回答	9	0.7%	10	1.8%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 94.5%であり、統合型校務支援システムの導入は強く望まれている。

2-5-01(15) セキュリティを確保して、自宅や出張先で校務処理を可能とすべきである。

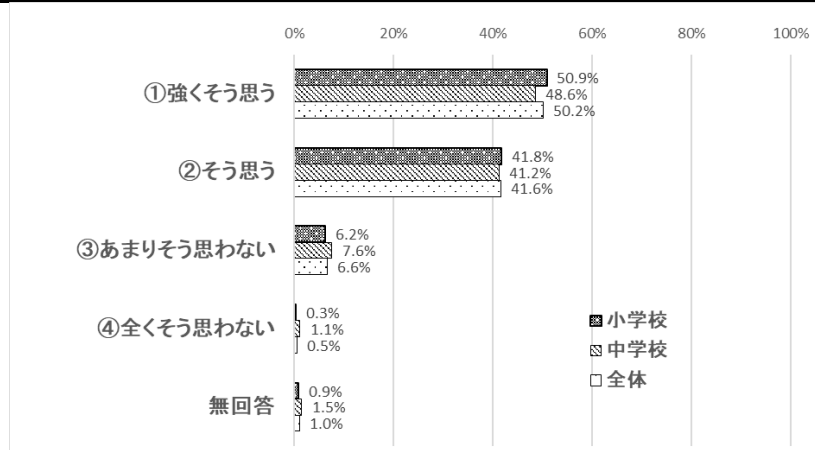
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	778	60.3%	297	54.9%	1,075	58.7%
②そう思う	367	28.4%	157	29.0%	524	28.6%
③あまりそう思わない	108	8.4%	58	10.7%	166	9.1%
④全くそう思わない	29	2.2%	20	3.7%	49	2.7%
無回答	9	0.7%	9	1.7%	18	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で(81.1%→87.3%)であり、学校外での校務処理を可能とすることが望まれている。

2-5-01(16) 1人1台端末を活用して、学力向上のための個別学習を進めるべきである。

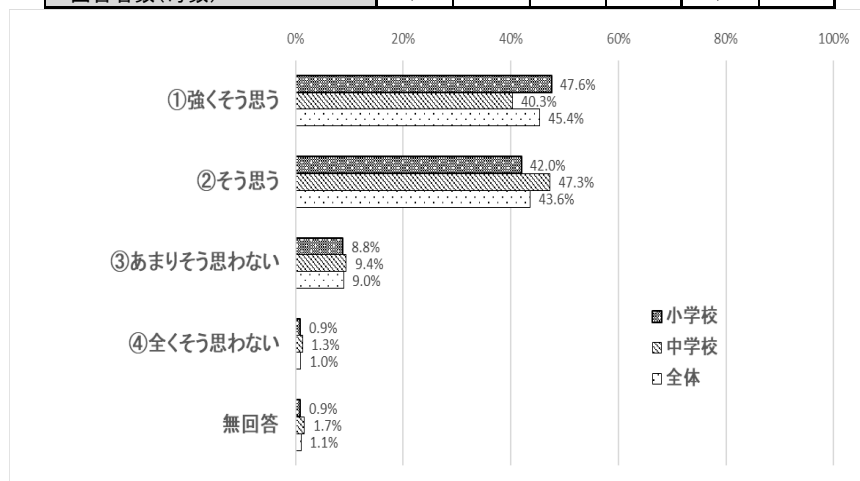
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	657	50.9%	263	48.6%	920	50.2%
②そう思う	539	41.8%	223	41.2%	762	41.6%
③あまりそう思わない	80	6.2%	41	7.6%	121	6.6%
④全くそう思わない	4	0.3%	6	1.1%	10	0.5%
無回答	11	0.9%	8	1.5%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で91.8%であり、個別学習の推進が望まれている。

2-5-01(17) 貧困対策の一環として、学校の ICT 環境を活用した学習支援を行うべきである。

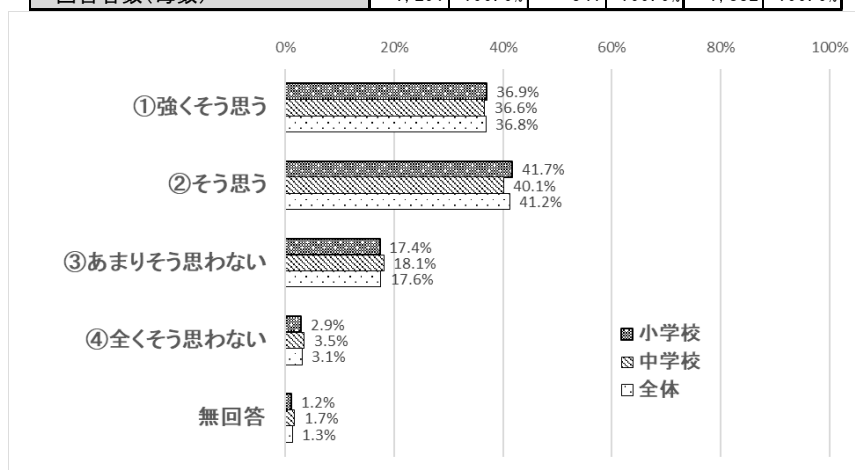
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	614	47.6%	218	40.3%	832	45.4%
②そう思う	542	42.0%	256	47.3%	798	43.6%
③あまりそう思わない	113	8.8%	51	9.4%	164	9.0%
④全くそう思わない	11	0.9%	7	1.3%	18	1.0%
無回答	11	0.9%	9	1.7%	20	1.1%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて(76.0%→89.0%)で、学習支援は必要とされている。

2-5-01(18) コンピュータ教室は、デジタル図書室、デジタル実験室、デジタルコミュニティエリアといった発展的活用を行うべき。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	477	36.9%	198	36.6%	675	36.8%
②そう思う	538	41.7%	217	40.1%	755	41.2%
③あまりそう思わない	224	17.4%	98	18.1%	322	17.6%
④全くそう思わない	37	2.9%	19	3.5%	56	3.1%
無回答	15	1.2%	9	1.7%	24	1.3%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%

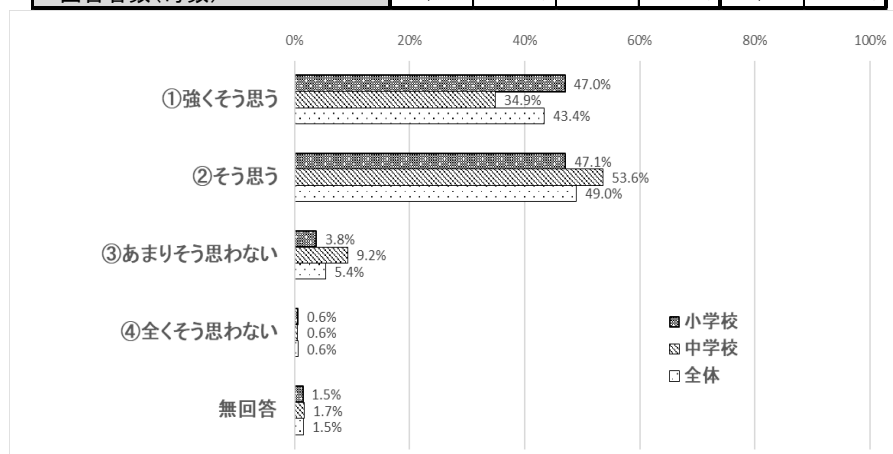


※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で78.0%である。コンピュータ教室の新しい活用が望まれている。

2-5-02 授業用 ICT 環境整備が推進された結果、生じたことは何ですか。

2-5-02(1) デジタル教材や動画を授業に取り入れる時間が増えた。

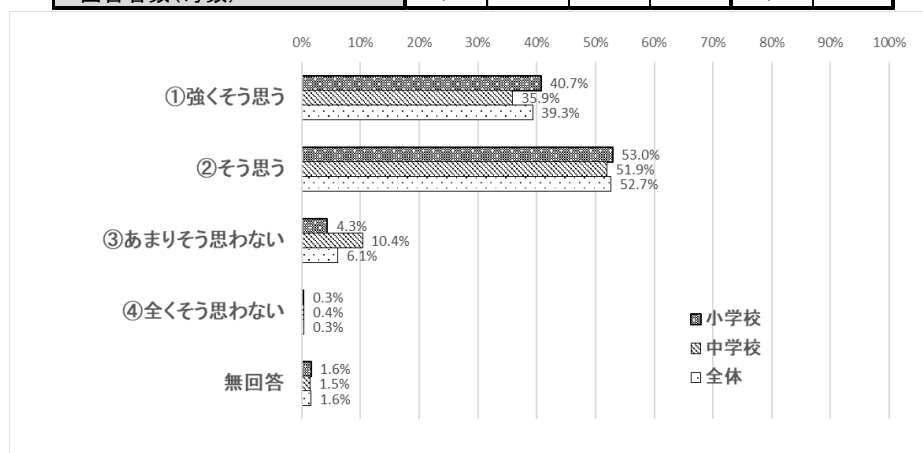
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	607	47.0%	189	34.9%	796	43.4%
②そう思う	608	47.1%	290	53.6%	898	49.0%
③あまりそう思わない	49	3.8%	50	9.2%	99	5.4%
④全くそう思わない	8	0.6%	3	0.6%	11	0.6%
無回答	19	1.5%	9	1.7%	28	1.5%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 92.4%であり、デジタル教材や動画の活用が進んでいる。

2-5-02(2) 電子黒板やプロジェクタ等の大型提示装置、デジタル教材の導入で、よりわかる授業を実施できるようになった。

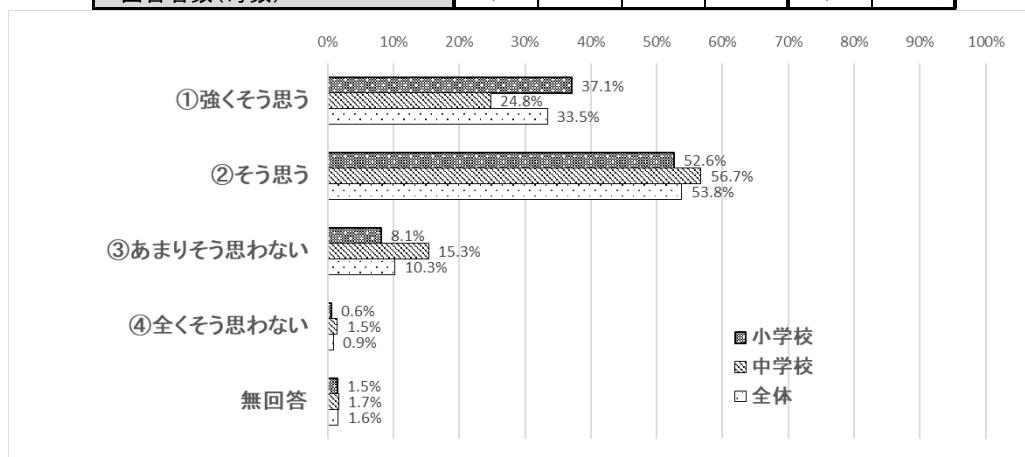
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	526	40.7%	194	35.9%	720	39.3%
②そう思う	684	53.0%	281	51.9%	965	52.7%
③あまりそう思わない	56	4.3%	56	10.4%	112	6.1%
④全くそう思わない	4	0.3%	2	0.4%	6	0.3%
無回答	21	1.6%	8	1.5%	29	1.6%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 92.0%である。

2-5-02(3) 教員の意識が変わり、積極的に ICT 機器を使うようになった。

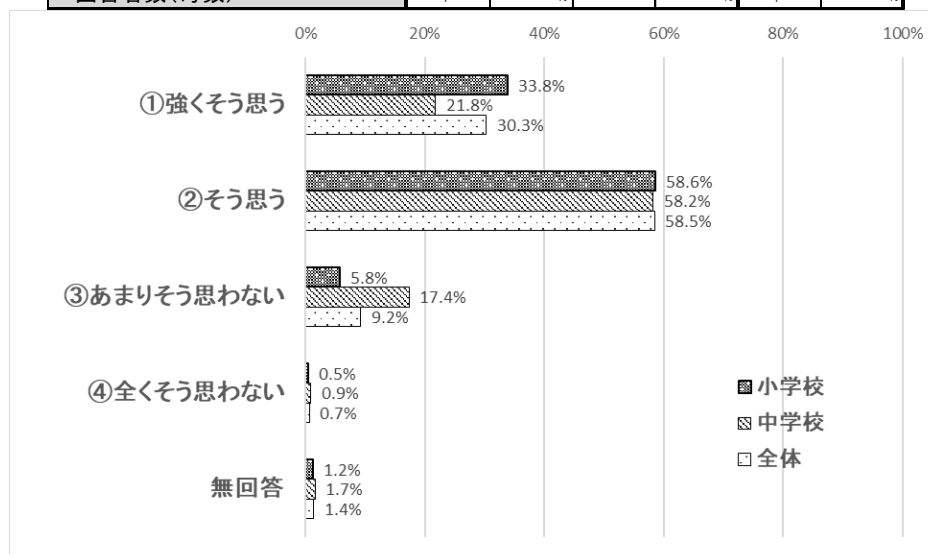
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	479	37.1%	134	24.8%	613	33.5%
②そう思う	679	52.6%	307	56.7%	986	53.8%
③あまりそう思わない	105	8.1%	83	15.3%	188	10.3%
④全くそう思わない	8	0.6%	8	1.5%	16	0.9%
無回答	20	1.5%	9	1.7%	29	1.6%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて (78.8%→87.3%) で、教員の ICT 活用意識は高まっている。

2-5-02(4) 児童・生徒が積極的に授業や学習活動に参加するようになった。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	437	33.8%	118	21.8%	555	30.3%
②そう思う	756	58.6%	315	58.2%	1,071	58.5%
③あまりそう思わない	75	5.8%	94	17.4%	169	9.2%
④全くそう思わない	7	0.5%	5	0.9%	12	0.7%
無回答	16	1.2%	9	1.7%	25	1.4%
回答者数(母数)	1,291	100.0%	541	100.0%	1,832	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて 88.8%と高くなっている。

3 先進地域／一般地域別の集計比較

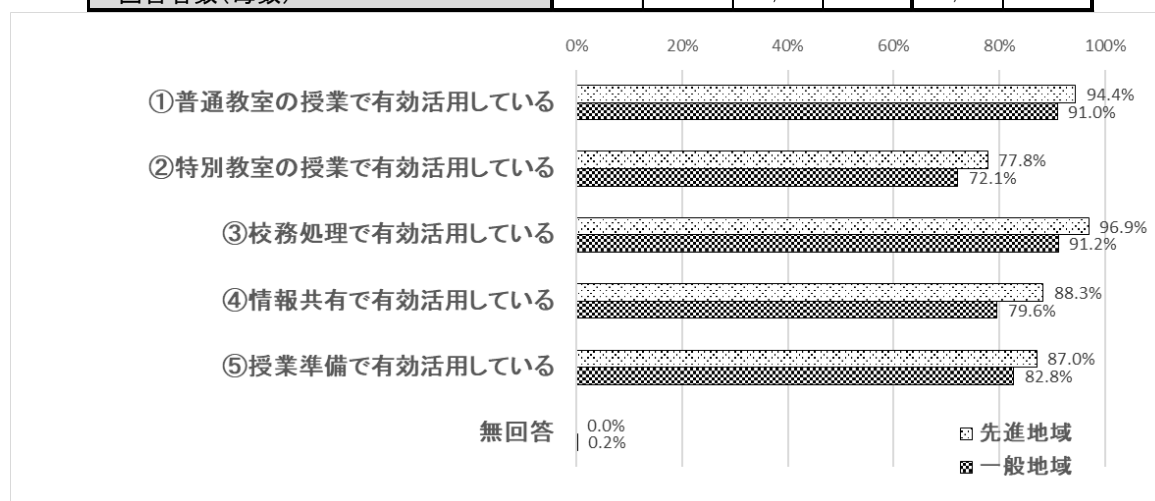
本章は、学校に対して行った調査について、「先進地域」と「一般地域」とに分けて比較対照したものを掲載する。ここで「先進地域」という分類に属する学校は、GIGA スクール構想前に地域全体で児童・生徒に対して1人1台の環境をほぼ実現していると言われている自治体の学校を指す。これに対して、「一般地域」はその他の自治体に属する学校を指す。先進地域としては、17の自治体を選び436の小中学校に協力を依頼し、162校の小中学校から回答を得た。その結果を、他の地域の学校1,670校から得た結果と比較する。

なお、前章において、すでに学校に対する調査の全体的傾向を小学校・中学校・全体のデータを掲載しているため、ここでは先進地域の学校と一般地域の学校との間で顕著な差が出ている設問についてのみ、掲載するものとする。また各設問の項番は、小中学校別の集計解説ページとの照合を容易にするため、前節の項番と同じ番号を使用した。そのため、本節では項番が不連続になっている箇所があることに注意いただきたい。

3-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目

3-1-01 校内 LAN は授業や校務処理で有効に活用していますか。（いくつでも）

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①普通教室の授業で有効活用している	153	94.4%	1,519	91.0%	1,672	91.3%
②特別教室の授業で有効活用している	126	77.8%	1,204	72.1%	1,330	72.6%
③校務処理で有効活用している	157	96.9%	1,523	91.2%	1,680	91.7%
④情報共有で有効活用している	143	88.3%	1,329	79.6%	1,472	80.3%
⑤授業準備で有効活用している	141	87.0%	1,382	82.8%	1,523	83.1%
無回答			3	0.2%	3	0.2%
回答数合計	720	444.4%	6,960	416.8%	7,680	419.2%
回答者数(母数)	162		1,670		1,832	

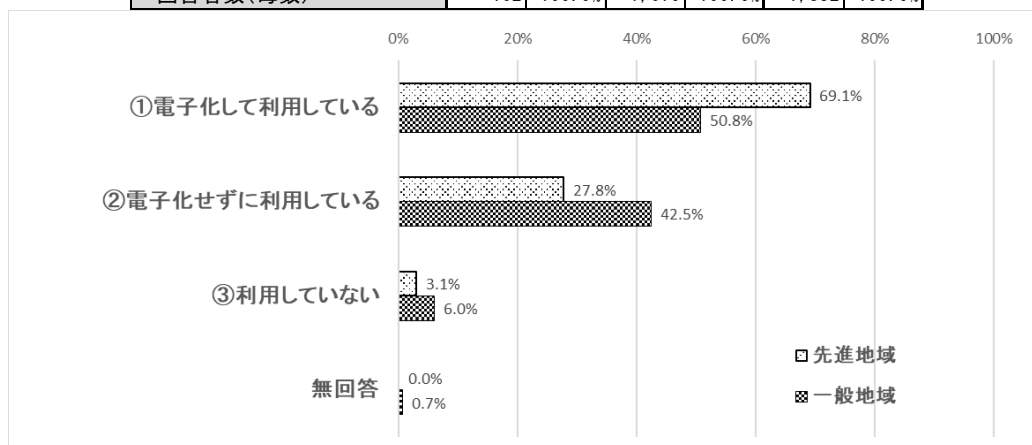


※全ての項目で先進地域の方が高い数値となっているが、前回と比較して差は縮まっている。

3-1-04 以下の学習記録のうち、電子化して利用しているもの、もしくは電子化せずに利用しているものはどれですか。

3-1-04(1) 問題演習（ドリル、テスト、アンケートなど）に取り組んだ履歴や解答。

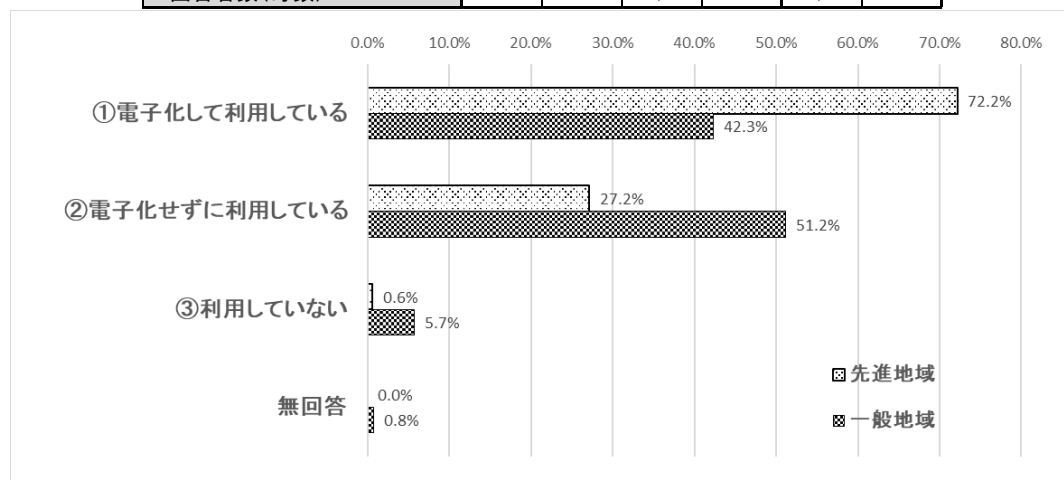
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	112	69.1%	848	50.8%	960	52.4%
②電子化せずに利用している	45	27.8%	710	42.5%	755	41.2%
③利用していない	5	3.1%	101	6.0%	106	5.8%
無回答			11	0.7%	11	0.6%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※「①電子化して利用している」が先進地域では 69.1%と高くなっている。

3-1-04(2) 児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物。

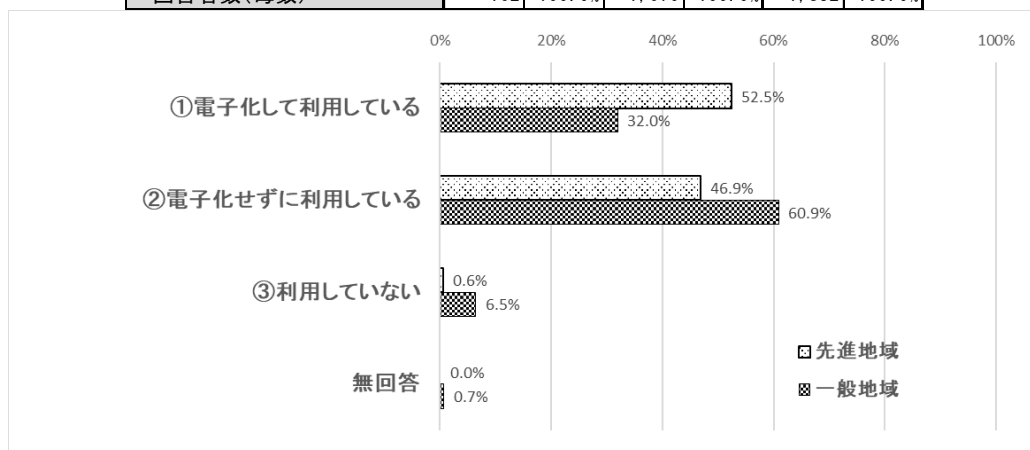
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	117	72.2%	707	42.3%	824	45.0%
②電子化せずに利用している	44	27.2%	855	51.2%	899	49.1%
③利用していない	1	0.6%	95	5.7%	96	5.2%
無回答			13	0.8%	13	0.7%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※先進地域では「電子化して利用している」が 72.2%と高く、電子化が進んでいる。

3-1-04(3) ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録。

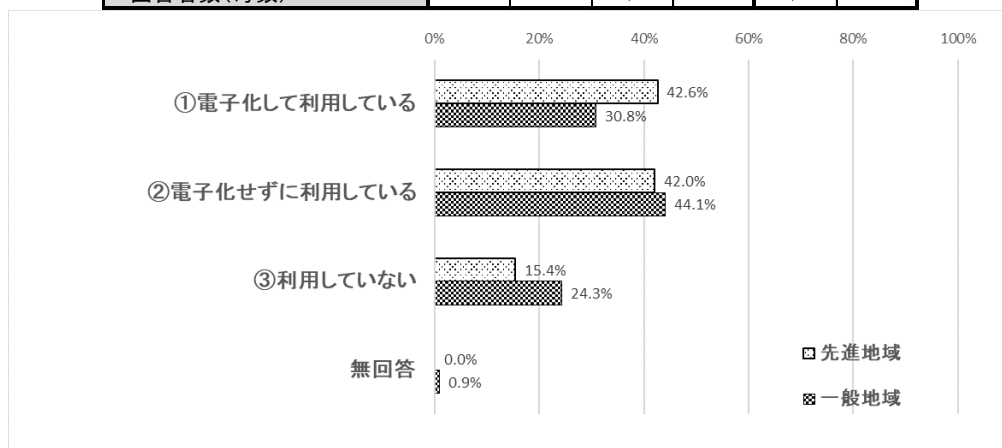
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	85	52.5%	534	32.0%	619	33.8%
②電子化せずに利用している	76	46.9%	1,017	60.9%	1,093	59.7%
③利用していない	1	0.6%	108	6.5%	109	5.9%
無回答			11	0.7%	11	0.6%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が52.5%と高くなっている。

3-1-04(6) 児童・生徒の対話や会話を、ツールを使って記録。

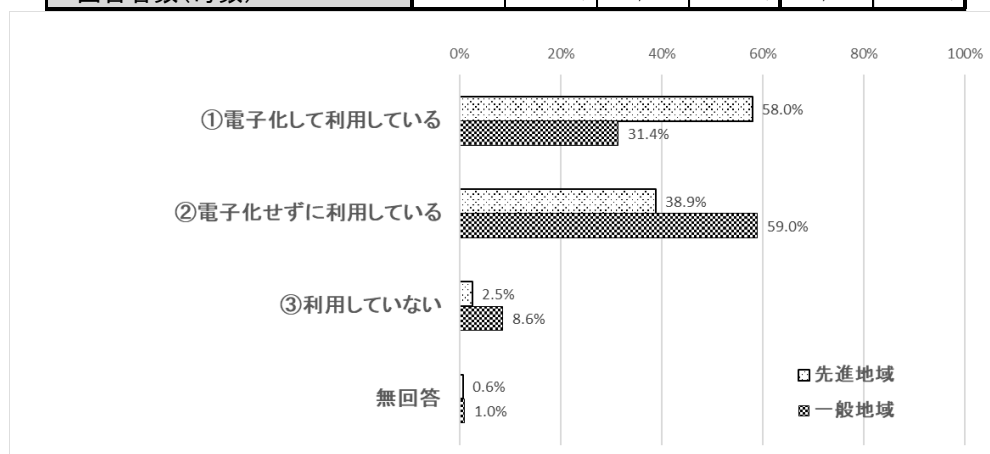
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	69	42.6%	514	30.8%	583	31.8%
②電子化せずに利用している	68	42.0%	736	44.1%	804	43.9%
③利用していない	25	15.4%	405	24.3%	430	23.5%
無回答			15	0.9%	15	0.8%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が（30.9%→42.6%）と高くなっている。一般地域も（18.9%→30.8%）となっている。

3-1-04(7) 自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録。

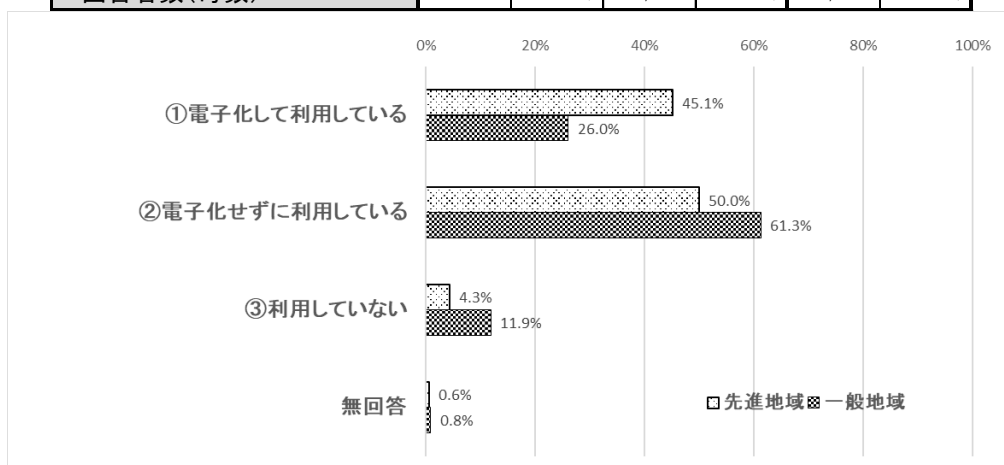
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	94	58.0%	525	31.4%	619	33.8%
②電子化せずに利用している	63	38.9%	985	59.0%	1,048	57.2%
③利用していない	4	2.5%	143	8.6%	147	8.0%
無回答	1	0.6%	17	1.0%	18	1.0%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※先進地域では「①電子化して利用している」が58.0%と高くなっている。

3-1-04(8) 相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子化して利用している	73	45.1%	435	26.0%	508	27.7%
②電子化せずに利用している	81	50.0%	1,023	61.3%	1,104	60.3%
③利用していない	7	4.3%	198	11.9%	205	11.2%
無回答	1	0.6%	14	0.8%	15	0.8%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%

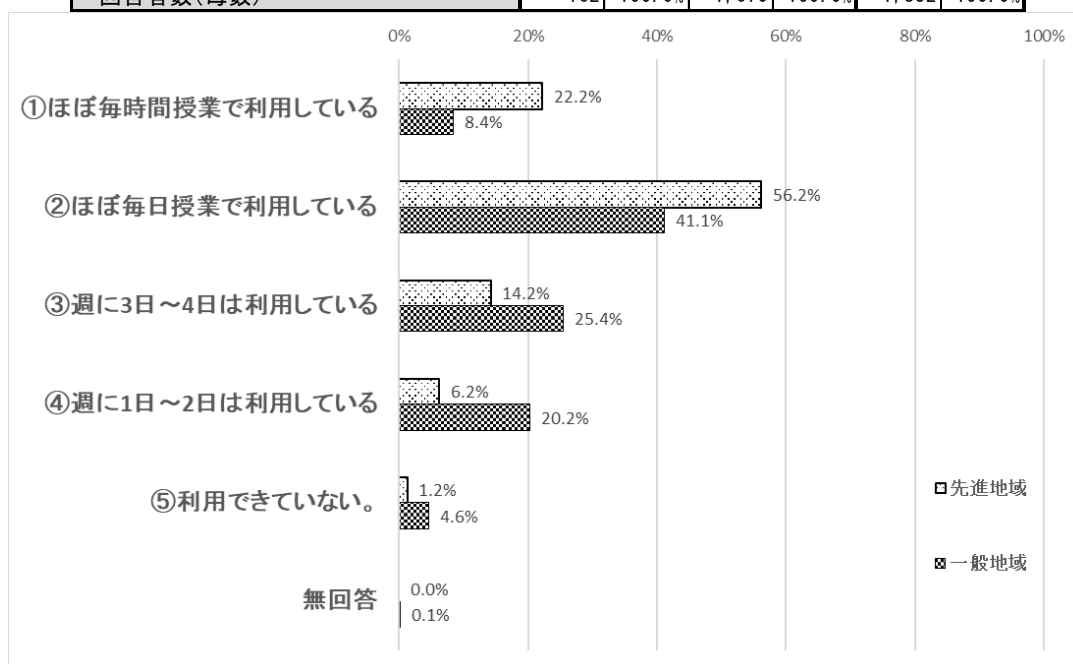


※先進地域では「①電子化して利用している」が45.1%となっている。

3-2 ハードウェアに関する項目

3-2-04 1人1台端末の授業での利用状況について伺います。

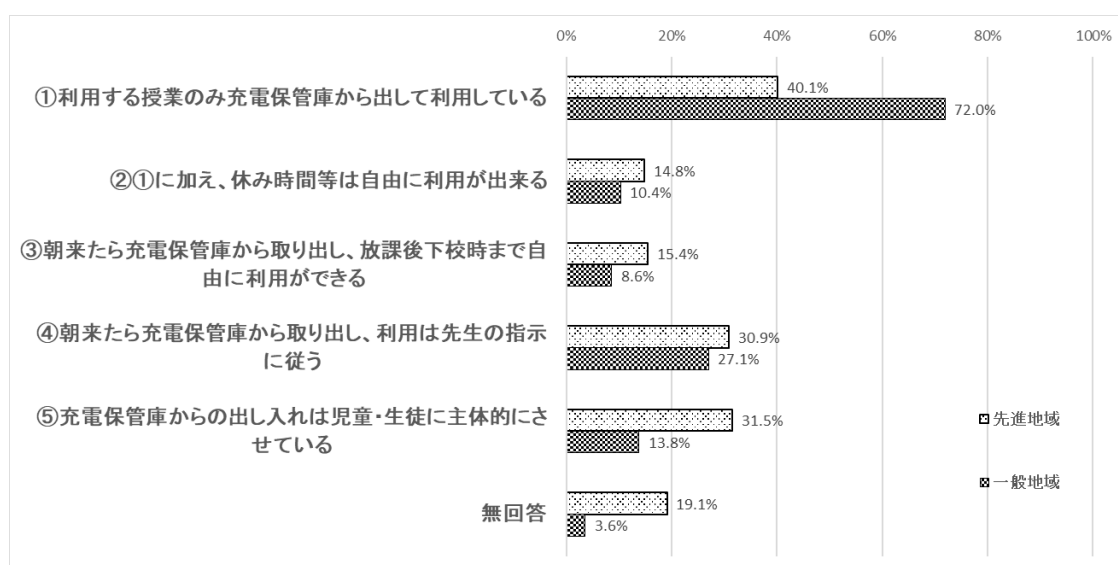
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎時間授業で利用している	36	22.2%	141	8.4%	177	9.7%
②ほぼ毎日授業で利用している	91	56.2%	687	41.1%	778	42.5%
③週に3日～4日は利用している	23	14.2%	425	25.4%	448	24.5%
④週に1日～2日は利用している	10	6.2%	338	20.2%	348	19.0%
⑤利用できていない。	2	1.2%	77	4.6%	79	4.3%
無回答			2	0.1%	2	0.1%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※先進地域では「①ほぼ毎時間授業で利用している」「②ほぼ毎日授業で利用している」を合わせると78.4%となるが、一般地域では49.5%と下がる。端末の利用状況が大きく異なることが分かる。

3-2-06 1人1台端末の学校での運用方法について伺います。(いくつでも)

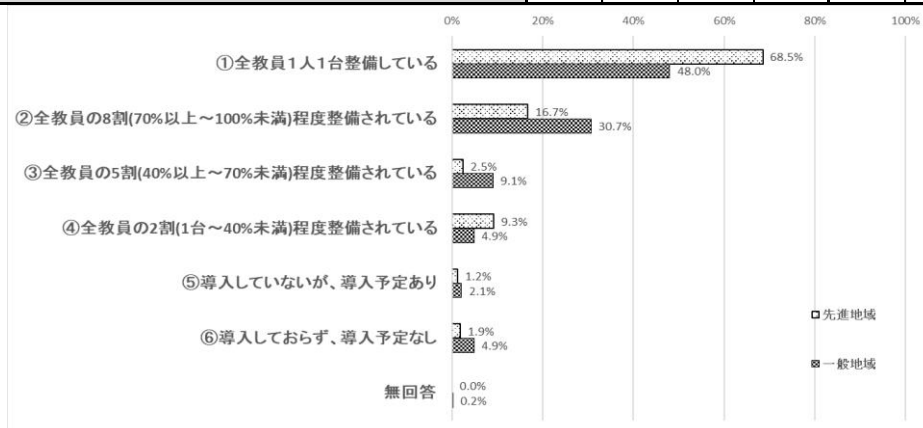
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用している	65	40.1%	1,202	72.0%	1,267	69.2%
②①に加え、休み時間等は自由に利用が出来る	24	14.8%	173	10.4%	197	10.8%
③朝来たら充電保管庫から取り出し、放課後下校時まで自由に利用ができる	25	15.4%	144	8.6%	169	9.2%
④朝来たら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う	50	30.9%	452	27.1%	502	27.4%
⑤充電保管庫からの出し入れは児童・生徒に主体的にさせている	51	31.5%	231	13.8%	282	15.4%
無回答	31	19.1%	60	3.6%	91	5.0%
回答数合計	246	151.9%	2,262	135.4%	2,508	136.9%
回答者数(母数)	162		1,670		1,832	



※一般地域では「①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用している」が72.0%、「④朝来たら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う」が27.1%であることから、先生の指示での活用が多いと見受けられる。先進地域では、①が40.1%に下がり、「③朝来たら充電保管庫から取り出し、放課後下校時まで自由に利用ができる」が15.4%、「⑤充電保管庫からの出し入れは児童・生徒に主体的にさせている」が31.5%となる。先進地域では一般地域より児童・生徒に主体的に利用させている傾向がうかがえる。

3-2-07 教員が授業で使用する(校務用ではない)指導者用端末の導入状況について伺います。

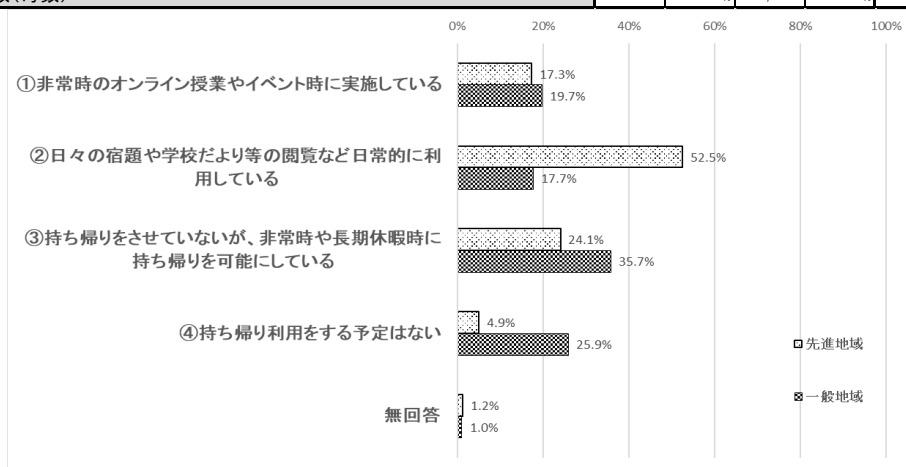
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全教員1人1台整備している	111	68.5%	802	48.0%	913	49.8%
②全教員の8割(70%以上～100%未満)程度整備されている	27	16.7%	513	30.7%	540	29.5%
③全教員の5割(40%以上～70%未満)程度整備されている	4	2.5%	152	9.1%	156	8.5%
④全教員の2割(1台～40%未満)程度整備されている	15	9.3%	82	4.9%	97	5.3%
⑤導入していないが、導入予定あり	2	1.2%	35	2.1%	37	2.0%
⑥導入しておらず、導入予定なし	3	1.9%	82	4.9%	85	4.6%
無回答			4	0.2%	4	0.2%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※「①全教員1人1台整備している」が先進地域で68.5%、一般地域で48.0%と20.5%の大きな差がある。

3-2-11 「3-2-01」でお伺いした普通教室用の1人1台端末の持ち帰り利用について伺います。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①非常時のオンライン授業やイベント時に実施している	28	17.3%	329	19.7%	357	19.5%
②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している	85	52.5%	295	17.7%	380	20.7%
③持ち帰りをさせていないが、非常時や長期休暇時に持ち帰りを可能にしている	39	24.1%	597	35.7%	636	34.7%
④持ち帰り利用をする予定はない	8	4.9%	432	25.9%	440	24.0%
無回答	2	1.2%	17	1.0%	19	1.0%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



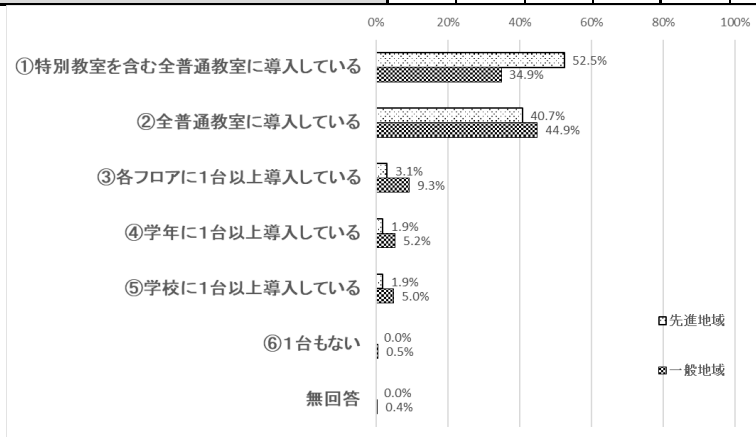
※先進地域は「②日々の宿題や学校だより等の閲覧など日常的に利用している」が52.5%と、一般地域と比較し非常に高い。

一般地域は「③持ち帰りをさせていないが、非常時や長期休暇時に持ち帰りを可能にしている」「④持ち帰り利用をする予定はない」の割合が先進地域と比較して高い。

3-2-16 授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

3-2-16(1) 大型提示装置

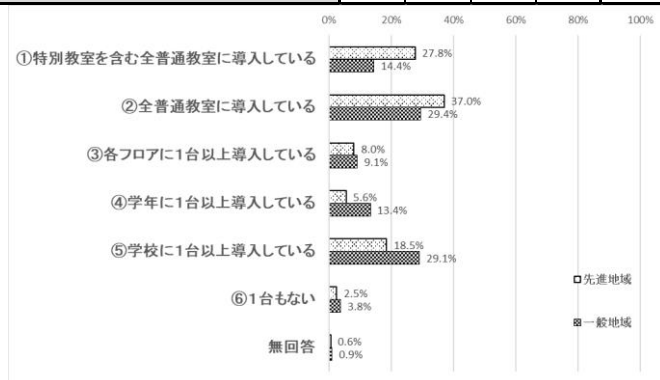
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	85	52.5%	582	34.9%	667	36.4%
②全普通教室に導入している	66	40.7%	749	44.9%	815	44.5%
③各フロアに1台以上導入している	5	3.1%	155	9.3%	160	8.7%
④学年に1台以上導入している	3	1.9%	87	5.2%	90	4.9%
⑤学校に1台以上導入している	3	1.9%	83	5.0%	86	4.7%
⑥1台もない			8	0.5%	8	0.4%
無回答			6	0.4%	6	0.3%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※全普通教室への整備は「①特別教室を含む全普通教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせて先進地域で 93.2%、一般地域で 79.8%と高い水準で整備されている。また、先進地域は一般地域と比較し特別教室への整備も進んでいる。

3-2-16(3) 実物投影機

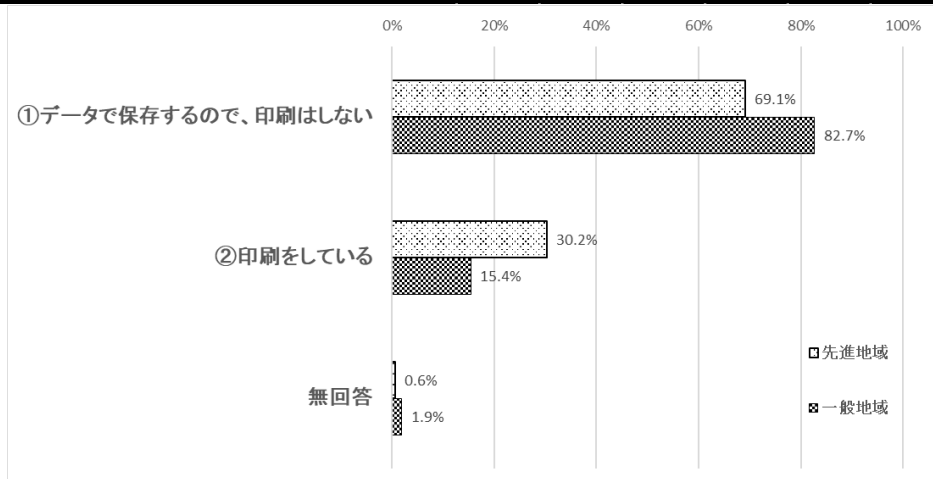
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全普通教室に導入している	45	27.8%	240	14.4%	285	15.6%
②全普通教室に導入している	60	37.0%	491	29.4%	551	30.1%
③各フロアに1台以上導入している	13	8.0%	152	9.1%	165	9.0%
④学年に1台以上導入している	9	5.6%	223	13.4%	232	12.7%
⑤学校に1台以上導入している	30	18.5%	486	29.1%	516	28.2%
⑥1台もない	4	2.5%	63	3.8%	67	3.7%
無回答	1	0.6%	15	0.9%	16	0.9%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※先進地域は「①特別教室を含む全普通教室に導入している」「②全普通教室に導入している」の割合が高く、一般地域は「④学年に1台以上導入している」「⑤学校に1台以上導入している」の割合が高い。

3-2-20 1人1台端末から印刷するシーンがありますか。

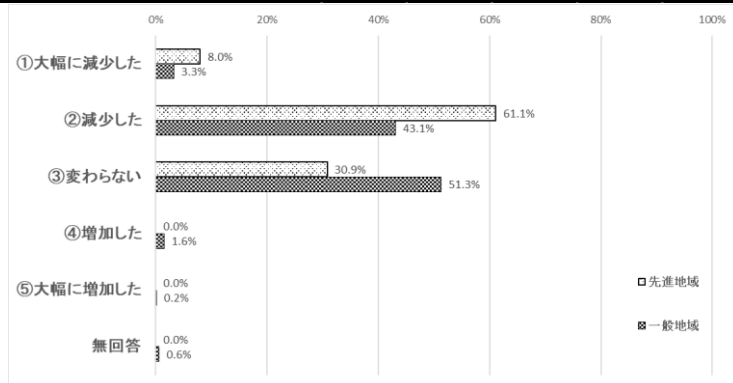
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①データで保存するので、印刷はしない	112	69.1%	1,381	82.7%	1,493	81.5%
②印刷をしている	49	30.2%	258	15.4%	307	16.8%
無回答	1	0.6%	31	1.9%	32	1.7%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※「①データで保存するので、印刷はしない」が先進地域より一般地域が13.6%高い。「②印刷をしている」が先進地域は一般地域より14.8%と高い。先進地域の方が1人1台端末の活用が進んでいる。

3-2-21 学校全体のICT化が進むなか、教材等がデジタル化し印刷量は変化しましたか。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①大幅に減少した	13	8.0%	55	3.3%	68	3.7%
②減少した	99	61.1%	719	43.1%	818	44.7%
③変わらない	50	30.9%	857	51.3%	907	49.5%
④増加した			26	1.6%	26	1.4%
⑤大幅に増加した			3	0.2%	3	0.2%
無回答			10	0.6%	10	0.5%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%

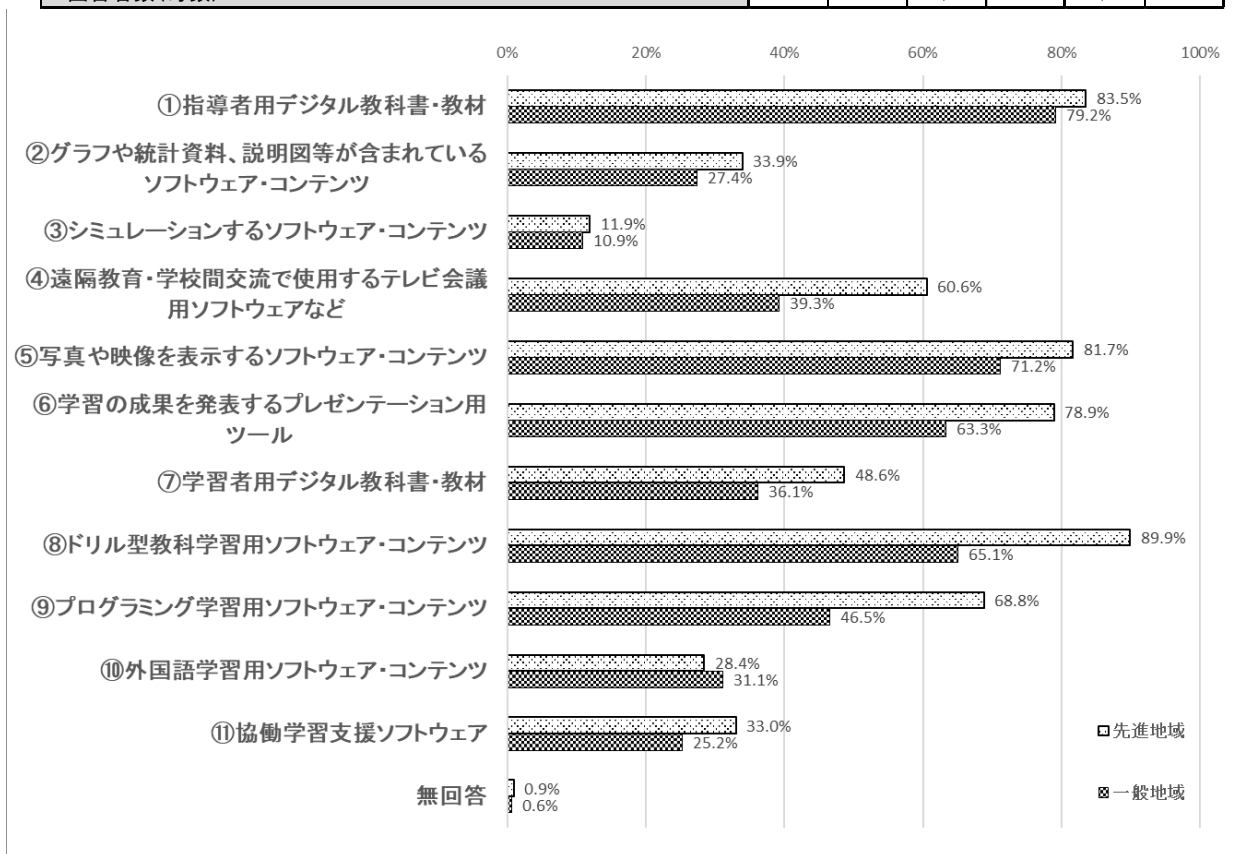


※先進地域は「①大幅に減少した」「②減少した」を合わせて69.1%、「③変わらない」が30.9%、一般地域は「①大幅に減少した」「②減少した」を合わせて46.4%、「③変わらない」が51.3%となっており、一般地域と比較し先進地域は減少率が高く、デジタル化が進んでいる。

3-3 ソフトウェアに関する項目

3-3-01 小学校の教科指導においてどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。 (いくつでも)

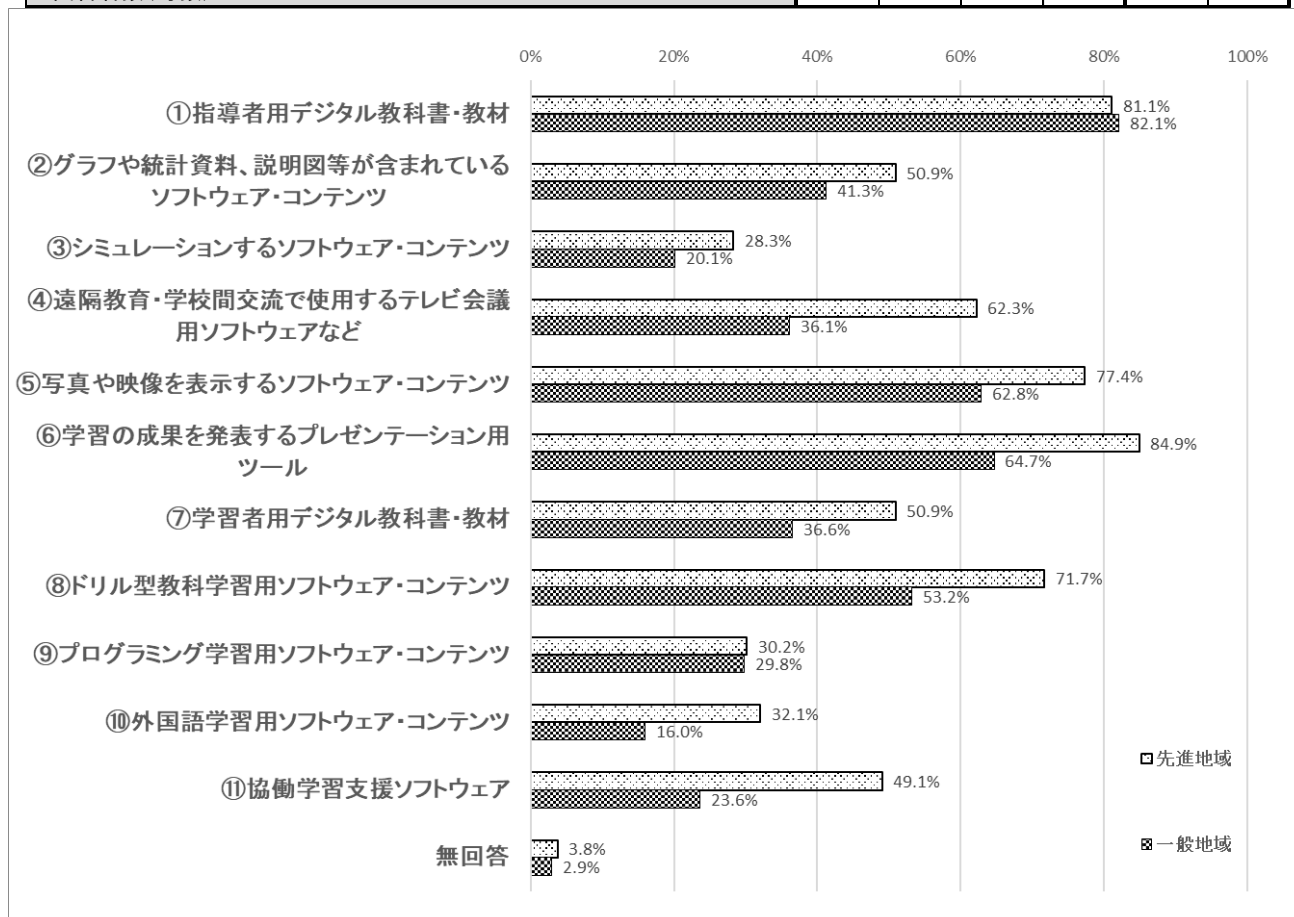
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	91	83.5%	936	79.2%	1,027	79.6%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	37	33.9%	324	27.4%	361	28.0%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	13	11.9%	129	10.9%	142	11.0%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	66	60.6%	464	39.3%	530	41.1%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	89	81.7%	841	71.2%	930	72.0%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	86	78.9%	748	63.3%	834	64.6%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	53	48.6%	427	36.1%	480	37.2%
⑧ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ	98	89.9%	769	65.1%	867	67.2%
⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	75	68.8%	550	46.5%	625	48.4%
⑩外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	31	28.4%	368	31.1%	399	30.9%
⑪協働学習支援ソフトウェア	36	33.0%	298	25.2%	334	25.9%
無回答	1	0.9%	7	0.6%	8	0.6%
回答数合計	676	620.2%	5,861	495.9%	6,537	506.4%
回答者数(母数)	109		1,182		1,291	



※先進地域では「⑧ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ」が最も多く 89.9%、一般地域では 65.1%となっている。先進地域の方が個別学習での活用が進んでいる。「⑦学習者用デジタル教科書・教材」は、先進地域では 48.6%、一般地域では 36.1%となっている。

3-3-03 中学校の教科指導においてどのような学習用ソフトウェア・コンテンツを活用していますか。
(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	43	81.1%	400	82.1%	443	82.0%
②グラフや統計資料、説明図等が含まれているソフトウェア・コンテンツ	27	50.9%	201	41.3%	228	42.2%
③シミュレーションするソフトウェア・コンテンツ	15	28.3%	98	20.1%	113	20.9%
④遠隔教育・学校間交流で使用するテレビ会議用ソフトウェアなど	33	62.3%	176	36.1%	209	38.7%
⑤写真や映像を表示するソフトウェア・コンテンツ	41	77.4%	306	62.8%	347	64.3%
⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール	45	84.9%	315	64.7%	360	66.7%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	27	50.9%	178	36.6%	205	38.0%
⑧ドリル型教科学習用ソフトウェア・コンテンツ	38	71.7%	259	53.2%	297	55.0%
⑨プログラミング学習用ソフトウェア・コンテンツ	16	30.2%	145	29.8%	161	29.8%
⑩外国語学習用ソフトウェア・コンテンツ	17	32.1%	78	16.0%	95	17.6%
⑪協働学習支援ソフトウェア	26	49.1%	115	23.6%	141	26.1%
無回答	2	3.8%	14	2.9%	16	3.0%
回答数合計	330	622.6%	2,285	469.2%	2,615	484.3%
回答者数(母数)	53		487		540	

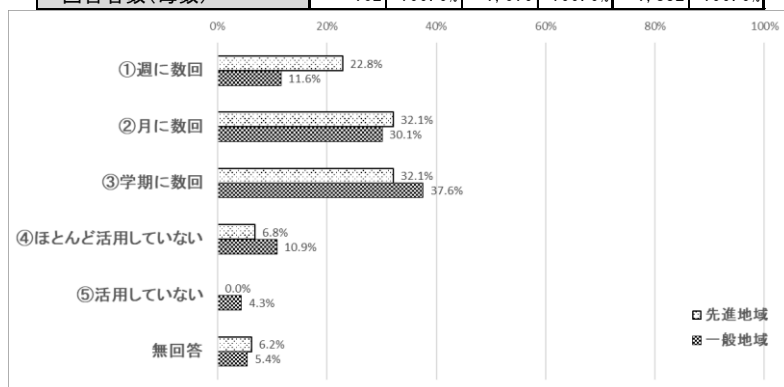


※先進地域では「⑥学習の成果を発表するプレゼンテーション用ツール」が最も多く 84.9%、一般地域では 64.7%となっている。「⑦学習者用デジタル教科書・教材」は、先進地域では 50.9%、一般地域では 36.6%となっている。「①指導者用デジタル教科書・教材」は、先進地域、一般地域のどちらも 8 割を超えている。

3-3-05 学習用ソフトウェア・コンテンツをどの程度活用していますか。

3-3-05(2) 児童・生徒の発表(プレゼンテーション)能力を向上させるための活用。

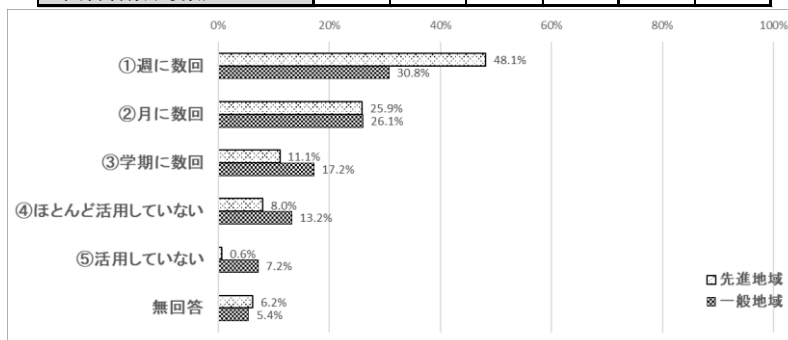
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	37	22.8%	194	11.6%	231	12.6%
②月に数回	52	32.1%	503	30.1%	555	30.3%
③学期に数回	52	32.1%	628	37.6%	680	37.1%
④ほとんど活用していない	11	6.8%	182	10.9%	193	10.5%
⑤活用していない			72	4.3%	72	3.9%
無回答	10	6.2%	91	5.4%	101	5.5%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※「①週に数回」「②月に数回」を合わせると、先進地域 54.9%、一般地域 41.7%と、プレゼンテーション能力を向上させるための活用が進んでいる。特に、前回調査と比較すると、「①週に数回」は先進地域 (9.8%→22.8%)、一般地域 (1.6%→11.6%) となっている。

3-3-05(3) 計算能力など、児童・生徒の基礎学力を向上させるための活用。

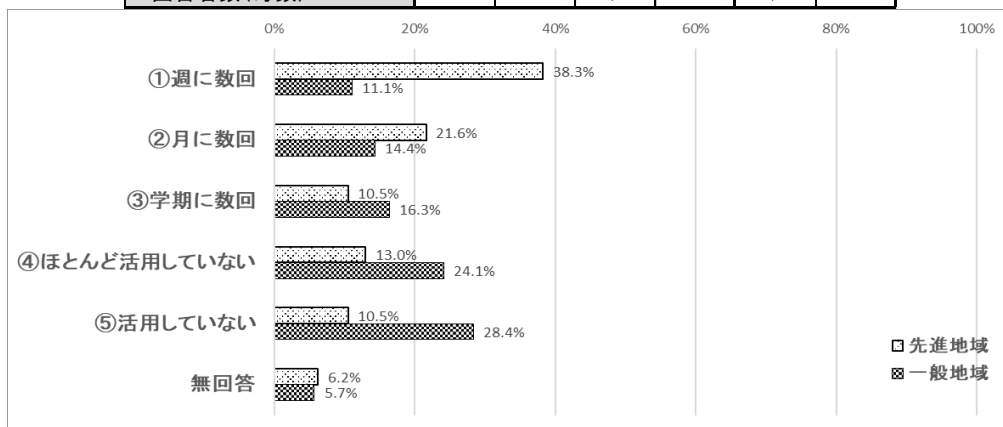
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	78	48.1%	515	30.8%	593	32.4%
②月に数回	42	25.9%	436	26.1%	478	26.1%
③学期に数回	18	11.1%	287	17.2%	305	16.6%
④ほとんど活用していない	13	8.0%	221	13.2%	234	12.8%
⑤活用していない	1	0.6%	120	7.2%	121	6.6%
無回答	10	6.2%	91	5.4%	101	5.5%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※前回調査と比較すると、「①週に数回」が先進地域(23.6%→48.1%)、一般地域(4.7%→30.8%)と、いずれも増加している。コンピュータ1人1台環境がほぼ整ったことで、ドリルなどのデジタル教材の活用が効果的となり、基礎学力の向上につながる活用がますます進むものと思われる。

3-3-05(6) 家庭学習のための活用。

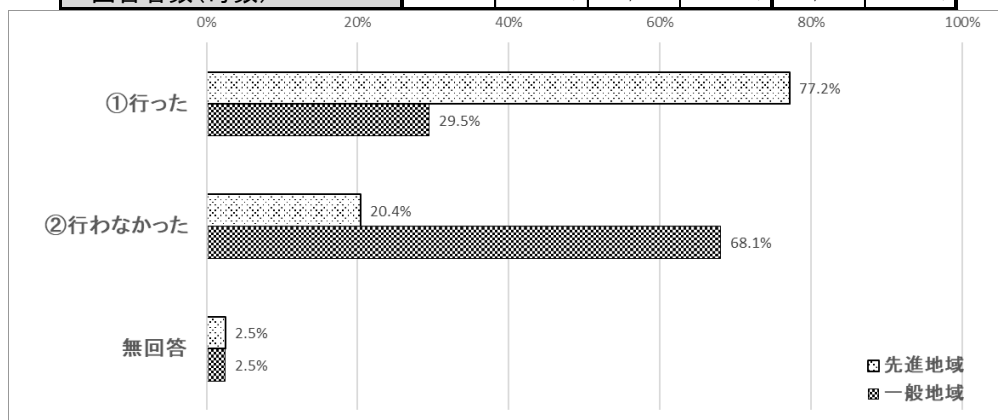
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①週に数回	62	38.3%	185	11.1%	247	13.5%
②月に数回	35	21.6%	240	14.4%	275	15.0%
③学期に数回	17	10.5%	273	16.3%	290	15.8%
④ほとんど活用していない	21	13.0%	403	24.1%	424	23.1%
⑤活用していない	17	10.5%	474	28.4%	491	26.8%
無回答	10	6.2%	95	5.7%	105	5.7%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%



※「①週に数回」が、先進地域 38.3%、一般地域 11.1%、「④ほとんど活用していない」と「⑤活用していない」を合わせると、先進地域 23.5%、一般地域 52.5%となっている。一般地域に比べ、先進地域での活用の多さが目立つ。

3-3-10 休校中に ICT を活用した家庭学習を行いましたか。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①行った	125	77.2%	492	29.5%	617	33.7%
②行かなかった	33	20.4%	1,137	68.1%	1,170	63.9%
無回答	4	2.5%	41	2.5%	45	2.5%
回答者数(母数)	162	100.0%	1,670	100.0%	1,832	100.0%

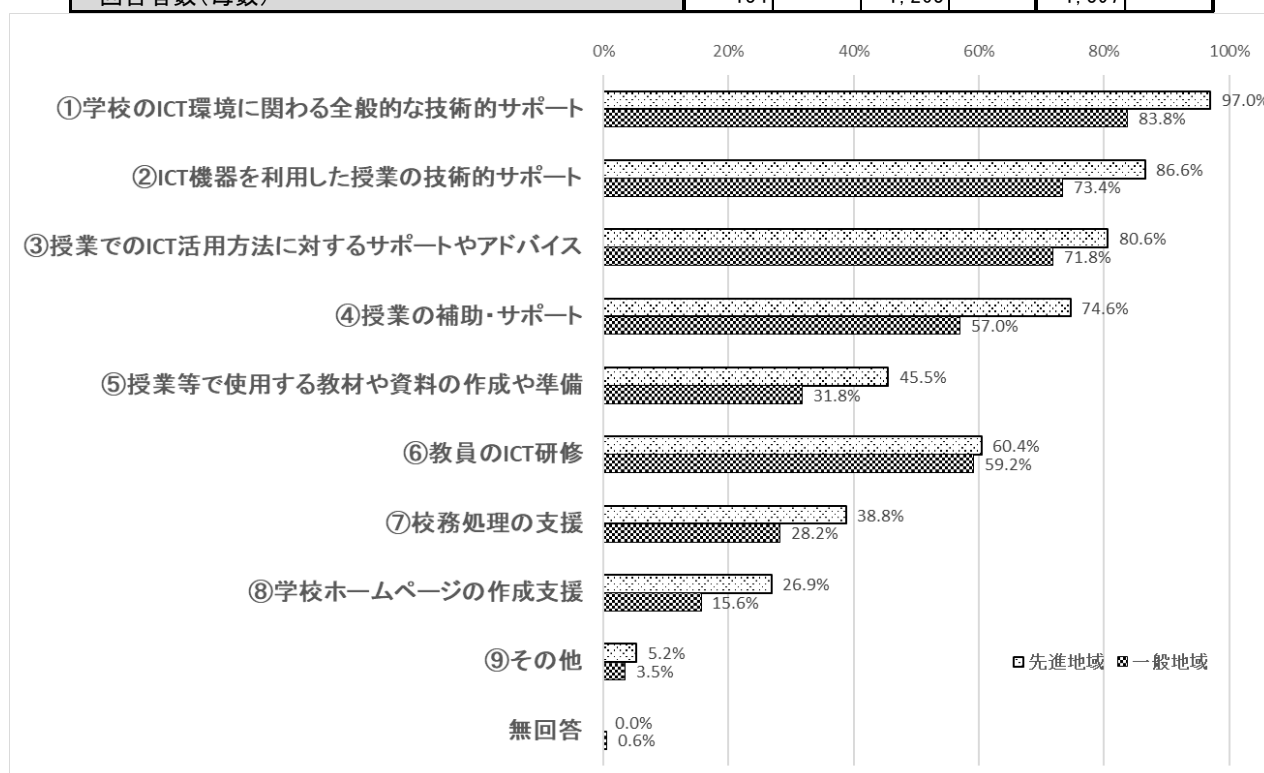


※「①行った」が先進地域では 77.2%、一般地域では 29.5%となっている。歴然たる格差があり、大きな課題だと考えられるので、早期の対策が望まれる。

3-4 保守サポートに関する項目

3-4-2 前問で①～④（ICT 支援員を配置もしくは派遣されている）と回答された方に伺います。ICT 支援員にどのような作業を依頼していますか。（いくつでも）

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	130	97.0%	1,058	83.8%	1,188	85.0%
②ICT機器を利用した授業の技術的サポート	116	86.6%	927	73.4%	1,043	74.7%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	108	80.6%	907	71.8%	1,015	72.7%
④授業の補助・サポート	100	74.6%	720	57.0%	820	58.7%
⑤授業等で使用する教材や資料の作成や準備	61	45.5%	402	31.8%	463	33.1%
⑥教員のICT研修	81	60.4%	748	59.2%	829	59.3%
⑦校務処理の支援	52	38.8%	356	28.2%	408	29.2%
⑧学校ホームページの作成支援	36	26.9%	197	15.6%	233	16.7%
⑨その他	7	5.2%	44	3.5%	51	3.7%
無回答			7	0.6%	7	0.5%
回答数合計	691	515.7%	5,366	424.9%	6,057	433.6%
回答者数(母数)	134		1,263		1,397	



※「④授業の補助・サポート」が先進地域で 74.6%と、一般地域 57.0%より高くなっている。

「①学校の ICT 環境に関わる全般的な技術的サポート」が 97.0%である。GIGA スクールで導入された端末の本格活用が広がると、一般地域でも数値が高くなると思われる。

あとがき

本調査は今回で第13回となりました。隔年で実施している調査ですので、四半世紀を超える継続調査活動となっております。この間、膨大な設問に真摯にご回答いただいた教育委員会の方々、学校現場で日々の教育を実践する中、ご回答に貴重なお時間をいただいた教員の皆様に深く感謝申し上げます。特に昨今、働き方改革が提唱され、外部からの調査やアンケートに対し、回答を控える流れの中で、ご回答いただいた先生方には重ねて御礼申し上げます。そして、この調査報告をまとめるにあたり、ご尽力、ご協力いただいた国内調査部会の JAPET&CEC 会員企業の皆様、事務局の皆様に感謝申し上げます。

この調査活動を始めた当時は、「ハードウェア」「ソフトウェア」に関するものだけでしたが、時代の変化とともに「ネットワーク」「保守・サポート」「教育の情報化への意識」等と調査の幅を広げてまいりました。ネットワークも近年は無線 LAN に関する設問が増え、データの保存場所に関しても外部のデータセンターやクラウドの活用が増えています。統合型校務支援システムの導入や、セキュリティに関する設問も追加するなど時代の変化に対応した設問も多く用意しました。特に今回は GIGA スクール構想に伴い学校現場が大きく変化した直後の調査でしたので、状況に即した新しい設問も加えました。新設の設問だけではなく、経年変化を見るために同じ設問を続けているものもあります。教育委員会様には 130、学校様には 70 もの設問項目を用意し、様々な角度から教育の情報化における現状の見える化を考えてまいりました。

前回に引き続き、GIGA スクール構想以前に児童・生徒用コンピュータのほぼ 1 人 1 台環境を実現し、充実した ICT 環境の学校様から 160 校を超えるご回答をいただき、一般的な学校様との比較を行い、環境が変わることで、教員や児童・生徒の意識の変容や、先生の授業の方法、進め方が変わるということが推測される結果となっています。しかしながら、自治体間の格差はまだ大きく、傾向として、大規模自治体と小規模自治体との差が広がっているように感じています。

今後、教育現場では、GIGA スクール端末のより有効的な活用、セキュリティの強化、校務の情報化、クラウド利用、家庭での ICT 活用等これまで以上に変化が求められるものと考えられます。AI や IoT の活用も出てくるでしょう。学校を取り巻く環境はますます変化して行くものと思われます。国内調査部会は、教育現場の状況の変化に対応しながら、この調査事業を継続、発展させて行く所存です。皆様方により一層のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

日本教育情報化振興会
情報化調査委員会 国内調査部会
部会長 井上義裕

情報化調査委員会 国内調査部会メンバー

部会長	井上 義裕	株式会社 J M C
委員	稲富 裕也	エプソン販売株式会社
委員	岩尾 充彦	株式会社ミライト
委員	岩脇 崇	株式会社エルモ社
委員	奥村 靖	株式会社文溪堂
委員	小関 秀夫	スズキ教育ソフト株式会社
委員	高井 尚一郎	株式会社内田洋行
委員	塚原 潤也	株式会社 J M C
委員	西田 理乃	株式会社教育家庭新聞社
委員	西野 健悟	株式会社 J M C
委員	久松 雅美	光村図書出版株式会社
委員	吉田 隼人	S k y 株式会社
事務局	岩瀬 幹彦	一般社団法人 日本教育情報化振興会

第 13 回 教育用コンピュータ等に関するアンケート調査 報告書

令和 4 年 6 月 1 日発行

編集・発行 一般社団法人 日本教育情報化振興会

〒107-0052

東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 8F

電話 03-5575-5365 FAX 03-5575-5366

URL: <https://www.japet.or.jp/>

禁無断転載

COPYRIGHT © 2022 一般社団法人 日本教育情報化振興会

This page is intentionally left blank

This page is intentionally left blank



Japan Association for Promotion of Educational Technology

一般社団法人 日本教育情報化振興会